

2024年度 科目登録の手引き

人間科学部

2024年度 人間科学部暦

学期	行事	日程
春 学 期	学部入学式	4月2日(火)
	春学期・春クォーター授業開始	4月12日(金)
	授業を行う祝日	4月29日(月)、7月15日(月)
	春クォーター授業終了	6月3日(月)
	夏クォーター授業開始	6月4日(火)
	夏クォーター授業終了	7月22日(月)
	授業予備期間	7月23日(火)～7月29日(月)
	夏季休業期間	7月30日(火)～9月20日(金)
	未済試験受付	7月30日(火)、7月31日(水)
	臨時休業日	8月9日(金)
	成績発表(4年以上)	8月30日(金)
	再試験受付	8月30日(金)
	成績発表(3年以下)	9月3日(火)
	未済試験・再試験期間	9月5日(木)、9月6日(金)
	9月卒業式	9月15日(日)
秋 学 期	秋学期・秋クォーター授業開始	10月4日(金)
	授業を行う祝日	10月14日(月)、11月23日(土)
	創立記念日(授業実施)	10月21日(月)
	早稲田祭(授業休講)	11月2日(土)、11月3日(日)
	秋クォーター授業終了	11月25日(月)
	冬クォーター授業開始	11月26日(火)
	冬季休業期間	12月24日(火)～2025年1月5日(日)
	秋学期授業開始(年明け)	1月6日(月)
	卒業研究提出日	1月上旬～中旬予定(詳細は別途)
	冬クォーター授業終了	1月27日(月)
	授業予備期間	1月28日(火)～2月3日(月)
	春季休業期間	2月4日(火)～3月31日(月)
	未済試験受付	2月4日(火)、2月5日(水)
	成績発表(4年以上)	2月26日(水)
	再試験受付	2月26日(水)、2月27日(木) ※2月27日の受付は9:00～10:00のみ
	成績発表(3年以下)	2月28日(金)
	未済試験・再試験期間	3月4日(火)、3月5日(水)
	卒業式	3月下旬予定(詳細は別途)



・各種試験、成績発表、各行事の日程の変更等については、人間科学部Webサイト (<https://www.waseda.jp/fhum/hum/>) やMyWasedaでお知らせします。

必須！！

科目登録期間までに MyWaseda の初期設定を行ってください。

大学生活を送る上で MyWaseda と Waseda メールによる情報は非常に重要となります。また、科目登録における Web からの申請や問い合わせ、登録結果確認メールの受け取りなどに MyWaseda と Waseda メールが必要です。人間科学部では科目登録を Web 上で行ないますので、必ず MyWaseda の初期設定(Waseda メールアドレスの取得とパスワード変更)を行ってください。

<Waseda ID と初期パスワードの確認方法>

UCARO にログイン後、合否照会画面で「Waseda ID 利用者控を印刷する」を選択してください。「Waseda ID 利用者控(PDF)」が表示されますので、印刷し、大切に保管してください。UCARO の詳細については「入学手続きの手引き」を参照ください。

<MyWaseda の初期設定方法>

詳細は早稲田大学 IT サービスナビを参照ください。

<https://www.waseda.jp/navi/mywaseda/initial.html>



～問い合わせをする前に～

- ・質問したい事項が科目登録の手引きで説明されていないか、まずご自身で確認してください。

科目登録の手引きで説明されていることを質問するケースが非常に多いです。まずは自身で科目登録の手引きを熟読してください。

- ・科目登録の手引き「11. よくある Q&A」を確認してください。
- ・学部要項、Web シラバスを確認してください。
- ・それでも分からない場合は、MyWaseda 科目登録専用メニューの問い合わせフォームから質問してください。回答は原則として 24 時間以内に行いますが、状況によっては時間がかかる場合があります。また、17 時以降の問い合わせへの対応は翌日(翌日は日祝日の場合は翌営業日以降)の対応になります。
- ・言い間違い、聞き間違いによるトラブル防止のため、電話での問い合わせは受け付けておりません。ご了承ください。

「基礎ゼミ」における注意点

■「基礎ゼミⅠ」・「基礎ゼミⅡ」の授業実施週は、通常科目とは異なります。

- ・「基礎ゼミⅠ」→ 春学期
第 1、2、3、5、7、9、11、13 週目に開講します。
- ・「基礎ゼミⅡ」→ 秋学期
クラスによって、授業実施週が異なります。ご注意ください。
1～10 クラス : 第 1、3、5、7、9、11、13* 週目
11～20 クラス: 第 2、4、6、8、10、12、14* 週目

授業が実施される日付は、本冊子の「人科・スポ科・人研・スポ研設置科目 授業実施日」ページをご確認ください。

※「基礎ゼミ」の再履修は、「基礎ゼミⅠ」(春学期)と「基礎ゼミⅡ」(秋学期)の 2 科目を登録する必要があります。詳細は「2.14 再履修科目の登録」を確認してください。

※「基礎ゼミⅠ」が不合格になった場合、同年度の夏季集中科目の再履修者用のクラスに自動登録されます。このクラスは、学期、年間の登録制限単位数に含まれません。

注意点

■登録申請科目を必ず確認してください。

登録申請した科目について必ず MyWaseda の登録科目一覧画面を確認し、「申請中」となっていることを確認してください。この画面に表示されない場合、登録申請は完了していません。

近年、「登録申請したはずだが登録結果が表示されない。」という問い合わせが増えていますが、登録科目一覧画面に表示されていない科目は申請できておらず、登録結果も発表されません。登録申請した際は、その科目が登録科目一覧画面に「申請中」と表示されていることを必ず確認してください。

■指定科目、推奨科目

専門ゼミの登録(2年次の10月頃予定)にあたり、指定科目および推奨科目の履修をしてください。各専門ゼミの指定科目、推奨科目は、本冊子の「13.2 指定科目と推奨科目」をご確認ください。

種別	内容の説明
指定科目	専門ゼミ履修開始前に、履修済となることを原則とする科目(ただし、登録直前に志望ゼミを変更した学生、選外等の理由で履修していない学生は、専門ゼミ終了までに履修済になることを原則とする)
推奨科目	専門ゼミ終了までに履修済となることを推奨する科目

※指定科目を万が一専門ゼミ履修開始前に履修できない場合、専門ゼミと同時履修してください。
※本冊子の「よくあるQ & A」その他の項目で専門ゼミの内容も確認してください。

■各科目の「到達目標」を必ず確認してください。

到達目標は、受講の結果として到達できる知識やスキルの水準(単位修得する学生全員が到達する基準)になります。Web シラバス上の各科目において、「授業の到達目標」が中目標番号(例: Ad1-1)で記載されています。これは、本冊子の巻末にある、「14.1 中目標」に対応しているものです。履修科目の検討の際に確認するようにしてください。

2024年度 人科・スポ科・人研・スポ研設置科目 授業実施日

2023年10月末日時点

春学期	春クォーター							夏クォーター						
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回
月	4月15日	4月22日	4月29日	5月13日	5月20日	5月27日	6月3日	6月10日	6月17日	6月24日	7月1日	7月8日	7月15日	7月22日
火	4月16日	4月23日	4月30日	5月7日	5月14日	5月21日	5月28日	6月4日	6月11日	6月18日	6月25日	7月2日	7月9日	7月16日
水	4月17日	4月24日	5月1日	5月8日	5月15日	5月22日	5月29日	6月5日	6月12日	6月19日	6月26日	7月3日	7月10日	7月17日
木	4月18日	4月25日	5月2日	5月9日	5月16日	5月23日	5月30日	6月6日	6月13日	6月20日	6月27日	7月4日	7月11日	7月18日
金	4月12日	4月19日	4月26日	5月10日	5月17日	5月24日	5月31日	6月7日	6月14日	6月21日	6月28日	7月5日	7月12日	7月19日
土	4月13日	4月20日	4月27日	5月11日	5月18日	5月25日	6月1日	6月8日	6月15日	6月22日	6月29日	7月6日	7月13日	7月20日

秋学期	秋クォーター							冬クォーター						
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回
月	10月7日	10月14日	10月21日	10月28日	11月11日	11月18日	11月25日	12月2日	12月9日	12月16日	12月23日	1月6日	1月20日	1月27日
火	10月8日	10月15日	10月22日	10月29日	11月5日	11月12日	11月19日	11月26日	12月3日	12月10日	12月17日	1月7日	1月14日	1月21日
水	10月9日	10月16日	10月23日	10月30日	11月6日	11月13日	11月20日	11月27日	12月4日	12月11日	12月18日	1月8日	1月15日	1月22日
木	10月10日	10月17日	10月24日	10月31日	11月7日	11月14日	11月21日	11月28日	12月5日	12月12日	12月19日	1月9日	1月16日	1月23日
金	10月4日	10月11日	10月18日	10月25日	11月8日	11月15日	11月22日	11月29日	12月6日	12月13日	12月20日	1月10日	1月17日	1月24日
土	10月5日	10月12日	10月19日	10月26日	11月9日	11月16日	11月23日	11月30日	12月7日	12月14日	12月21日	1月11日	1月18日	1月25日

◆学期毎の授業回数

- (1)「春学期・秋学期」科目 第1回～第14回
- (2)「春クォーター・秋クォーター」科目 第1回～第7回
- (3)「夏クォーター・冬クォーター」科目 第8回～第14回

【備考】

▼早稲田大学学則第9条および早稲田大学大学院学則第26条第3項にもとづき、授業日数を確保するため、休業日に授業を行います。

2024年度は以下の休業日に授業を行います。(上表のうち、太枠で囲んだ日)

4月29日(月): 昭和の日、7月15日(月): 海の日、10月14日(月): スポーツの日

11月23日(金): 勤労感謝の日

▼十分な授業回数を確保するために休業日に授業を実施することから、臨時の休業日を設けます。

臨時休業日: 2023年8月9日、11月1日、12月26日、12月27日

【授業時間】

1時限	8:50 - 10:40
2時限	10:40 - 12:20
3時限	13:10 - 14:50
4時限	15:05 - 16:45
5時限	17:00 - 18:40
6時限	18:55 - 20:35
7時限	19:55 - 21:25

◆ CONTENTS ◆

1. 科目登録を始める前に

P.10

- 1.1 科目登録における注意事項
- 1.2 科目登録関連用語集

2. カリキュラムと卒業要件

P.15

- 2.1 卒業必要単位数表
- 2.2 卒業算入単位を修得できる科目
- 2.3 自由科目と資格関連科目の取り扱い
- 2.4 自動登録
- 2.5 人間科学基礎科目
- 2.6 リテラシー科目
- 2.7 人間科学教養科目
- 2.8 専門科目
- 2.9 専門ゼミ
- 2.10 留学・休学による専門ゼミ履修および卒業研究履修
- 2.11 卒業研究ゼミ・卒業研究
- 2.12 他箇所設置科目
- 2.13 大学院人間科学研究科設置科目の先取履修
- 2.14 再履修科目の登録
- 2.15 履修保留／継続履修
- 2.16 帰国後登録

3. 履修上のルールと注意

P.38

- 3.1 決定科目の取消
- 3.2 他箇所設置科目の科目区分変更
- 3.3 登録の原則
- 3.4 登録制限単位数
- 3.5 登録エラー
- 3.6 抽選
- 3.7 昨年度の抽選科目
- 3.8 登録結果通知
- 3.9 聴講料(実験実習料)の納入

4. 科目の対照表・読み替え表

P.49

- 4.1 新設科目
- 4.2 科目の廃止
- 4.3 科目区分の変更
- 4.4 科目名称の変更
- 4.5 合併科目
- 4.6 科目の読み替え表

5. 成績と卒業見込

P.53

- 5.1 成績の判定
- 5.2 成績の表記
- 5.3 GPA 算出方法
- 5.4 成績評価の問い合わせ期間
- 5.5 卒業・教員免許状取得見込判定《4年生以上対象》
- 5.6 延長生の夏季集中科目・他大学科目の登録に関すること《5年生以上対象》
- 5.7 9月卒業について《5年生以上対象》

6. 試験・レポート

P.55

- 6.1 到達度の確認
- 6.2 未済試験
- 6.3 再試験《4年生以上対象》
- 6.4 レポート
- 6.5 Turnitinによる類似度判定機能の利用に関する同意について

7. 受講態度および課題提出に関するルール

P.60

8. 試験等における不正行為

P.61

9. 資格取得

P.64

- 9.1 人間科学部で取得できる資格
- 9.2 履修指導制度について(2022年度より)
- 9.3 取得可能な資格についての説明会
- 9.4 取得できる教員免許状
- 9.5 教員免許状の申請について
- 9.6 教員免許状取得要件
- 9.7 教職課程聴講料
- 9.8 履修方法

10. その他の伝達事項

P.118

- 10.1 所沢総合事務センターからの連絡
- 10.2 緊急連絡の通知方法
- 10.3 学生情報変更
- 10.4 クラス担任
- 10.5 休講の確認方法
- 10.6 授業休講措置
- 10.7 授業を欠席した場合の扱い
- 10.8 2024年度における延長生の学費
- 10.9 端末室(コンピュータールーム)
- 10.10 代理人申請と委任状

11. よくあるQ&A

P.125

- 11.1 登録全般
- 11.2 科目登録上のルール
- 11.3 単位の取り扱い
- 11.4 語句の意味
- 11.5 その他

12. Web 科目登録利用手順

P.130

13. 科目の構成について

P.136

- 13.1 中目標
- 13.2 2024年度 指定科目と推奨科目
- 13.3 学科目配当表

巻末付録

- 授業時間割記入用紙
- こうはいナビ
- 委任状

2024 年度 科目登録日程表(2年生以上)

日時		項目	方法 場所
3月 8日(金)	9:00	自動登録結果発表	Waseda メール Web 科目登録画面
3月 11日(月) ? 3月 22日(金)	10:00 16:00	学生証裏面シール配布 ※土・日・祝日除く	所沢図書館前ロビー (100号館4階)
3月中旬～		取得可能な資格についての説明会(※1)	Web (オンデマンド映像)
3月 18日(月) ? 3月 21日(木)	9:00 16:59	1次登録申請期間	【対象科目】 ■人間科学部設置科目 ■他箇所設置科目 ■他学部提供 全学オープン科目
			【対象科目】注)受付期間:3/19(金)まで ■大学院人間科学研究科 設置の先取履修科目
4月 8日(月)	9:00	1次登録結果発表 2次登録余裕定員発表 ※余裕定員表は所沢連絡 Web ページで確認	Waseda メール Web 科目登録画面
4月 8日(月) ? 4月 9日(火)	9:00 16:59	2次登録申請期間	【対象科目】 ※定員に余裕のある科目 ■人間科学部設置科目 ■他箇所設置科目 (他学部提供全学オープン科目は対象外)
4月 12日(金)	9:00	2次登録結果発表 3次登録余裕定員発表 ※余裕定員表は所沢連絡 Web ページで確認	Waseda メール Web 科目登録画面
4月 12日(金)		春学期 授業開始 2次登録までの結果を確認して授業に出席してください。ただし、3次登録にて登録予定の科目については、登録結果発表までの間、登録決定“見込み”で授業に出席してください。	
4月 18日(木) ? 4月 19日(金)	9:00 16:59	■3次登録申請期間 ■他学部提供 申請期間	【対象科目】 ■人間科学部設置科目 ■他箇所設置科目 ■他学部提供科目 ※上記のうち、春クォーター科目は申請不可
		■取消期間(※2)	【対象科目】 ■人間科学部設置科目(一部のみ)
		他箇所設置科目区分変更(※3)	Web
4月 24日(水)	9:00	3次・他学部提供登録結果発表 ※余裕定員表は所沢連絡 Web ページで確認	Waseda メール Web 科目登録画面
4月 24日(水)	10:00 ? 16:00	実験調査研究法追加登録(※4) 定員に余裕のある科目のみ対象。4年生以上の資格取得希望者、または専門ゼミ指定科目(自由科目扱い)登録希望者のみ	所沢総合事務センター Wasedaメール
4月 25日(木) ? 5月 1日(水)	時間よ 「3.9 聴講料 (実験実習 料)の納入」 参照	聴講料納入期間(1～3次登録分) ※詳細については「3.9 聴講料(実験実習料)の納入」をご確認ください。 ※Tutorial English A～D(1次登録決定科目のみ)は納入期間が 異なりますのでご注意ください。詳細は「3.9 聴講料(実験実習料)の納 入」をご確認ください。	
4月 25日(木) ? 5月 1日(水)	事務センター 開室時間中	(再履修者向け) 必修 Tutorial English 科目区分振替受付	所沢総合事務センター Wasedaメール

日 時	項 目	方 法 場 所
9月12日(木) 9月13日(金)	事務センター 開室時間中 春学期の成績による登録取り消し受付 ※対象は、選択外国語科目Ⅱのみ。ただし、Ⅰが不合格の場合に限る。	所沢総合事務センター
9月18日(水) 9:00 9月20日(金) 16:59	1次登録申請期間 【対象科目】 ■人間科学部設置科目 ■他箇所設置科目 ■他学部提供 全学オープン科目	Web
9月26日(木) 9:00	1次登録結果発表 2次登録余裕定員発表 ※余裕定員表は所沢連絡 Web ページで確認	Waseda メール Web 科目登録画面
9月26日(木) 9:00 9月27日(金) 16:59	2次登録申請期間 【対象科目】 ※定員に余裕のある科目 ■人間科学部設置科目 ■他箇所設置科目 (他学部提供全学オープン科目は対象外)	Web
10月2日(水) 9:00	2次登録結果発表 3次登録余裕定員発表 ※余裕定員表は所沢連絡 Web ページで確認	Waseda メール Web 科目登録画面
10月4日(金)	秋学期 授業開始 2次登録までの結果を確認して授業に出席してください。ただし、3次登録にて登録予定の科目については、登録結果発表までの間、登録決定“見込み”で授業に出席してください。	
10月10日(木) 9:00 10月11日(金) 16:59	■3次登録申請期間 ■他学部提供 申請期間 【対象科目】 ■人間科学部設置科目 ■他箇所設置科目 ■他学部提供科目 ※上記のうち、秋クォーター科目は申請不可	Web
10月11日(金) 16:59	■取消期間(※2) 【対象科目】 ■人間科学部設置科目(一部のみ)	Web
10月16日(水) 9:00	他箇所設置科目区分変更(※3)	Web
10月16日(水) 10:00 16:00	3次・他学部提供登録結果発表 ※余裕定員表は所沢連絡 Web ページで確認 実験調査研究法追加登録(※4) 定員に余裕のある科目のみ対象。4年生以上の資格取得希望者、または専門ゼミ指定科目(自由科目扱い)登録希望者のみ	Waseda メール Web 科目登録画面
10月17日(木) 10月23日(水)	聴講料納入期間(1~3次登録分) ※詳細については「3.9 聴講料(実験実習料)の納入」をご確認ください。 ※Tutorial English A~D(1次登録決定科目のみ)は納入期間が異なりますのでご注意ください。詳細は「3.9 聴講料(実験実習料)の納入」をご確認ください。	
10月17日(木) 10月23日(水)	事務センター 開室時間中 (再履修者向け) 必修 Tutorial English 科目区分振替受付	所沢総合事務センター Wasedaメール

- 〈※1〉 取得可能な資格についての説明会 → 例年3月に開催している説明会は 2022 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により開催しません。詳細は、「9.3 取得可能な資格についての説明会」を参照ください。
- 〈※2〉 登録取消 → 詳細は、「3.1 決定科目の取消」を参照ください。
- 〈※3〉 他箇所設置科目 区分変更 → 詳細は、「3.2 他箇所設置科目の科目区分変更」を参照ください。
- 〈※4〉 実験調査研究法追加登録 → 詳細は、「2.8 専門科目」の「1)専門科目Ⅰ(実験調査研究法)」を参照ください。

2024 年度 科目登録日程表(新入生)

春学期科目登録

日時	項目	方法 場所
3月27日(水) 10:00 視聴期間開始	新入生ガイダンス<※1>	Web (オンデマンド映像)
3月27日(水) 10:00 ? 16:00	外国語授業免除申請<※2>	窓口・メール
4月1日(月) 9:00 ? 4月3日(水) 16:59	1次登録申請期間 【対象科目】 ■人間科学部設置科目 ■他箇所設置科目 ■他学部提供 全学オープン科目	Web
4月8日(月) 9:00	1次登録結果発表 2次登録余裕定員発表 ※余裕定員表は所沢連絡 Web ページで確認	Waseda メール Web 科目登録画面
4月8日(月) 9:00 ? 4月9日(火) 16:59	2次登録申請期間 【対象科目】 ※定員に余裕のある科目 ■人間科学部設置科目 ■他箇所設置科目 (他学部提供全学オープン科目は対象外)	Web
4月12日(金) 9:00	2次登録結果発表 3次登録余裕定員発表 ※余裕定員表は所沢連絡 Web ページで確認	Waseda メール Web 科目登録画面
4月12日(金)	春学期 授業開始 2次登録までの結果を確認して授業に出席してください。ただし、3次登録にて登録予定の科目については、登録結果発表までの間、登録決定“見込み”で授業に出席してください。	
4月18日(木) 9:00 ? 4月19日(金) 16:59	■3次登録申請期間 ■他学部提供 申請期間 【対象科目】 ■人間科学部設置科目 ■他箇所設置科目 ■他学部提供科目 ※上記のうち、春クォーター科目は申請不可 ■取消期間<※3> 【対象科目】 ■人間科学部設置科目 (一部科目のみ)	Web
	他箇所設置科目区分変更<※4>	Web
4月24日(水) 9:00	3次・他学部提供登録結果発表 ※余裕定員表は所沢連絡 Web ページで確認	Waseda メール Web 科目登録画面
4月25日(木) 時間 「3.9 聴講料 (実験実習 料)の納入」 ? 参照 5月1日(水)	聴講料納入期間(1~3次登録分) ※詳細については「3.9 聴講料(実験実習料)の納入」をご確認ください。 ※詳細は「3.9 聴講料(実験実習料)の納入」をご確認ください。	

<※1> 新入生ガイダンス

集合・対面形式ではなく、インターネットによるオンデマンド映像視聴形式です。各自で必ず視聴してください。詳細は入学手続き類に同封の「新入生ガイダンス・入学式について(案内)」を参照してください。

<※2> 外国語授業免除申請

詳細は、「2.6 リテラシー科目」の「5.外国語授業免除制度」を参照ください。

日時	項目	方法場所
9月18日(水) 9:00 ? 9月20日(金) 16:59	1次登録申請期間 【対象科目】 ■人間科学部設置科目 ■他箇所設置科目 ■他学部提供 全学オープン科目	Web
9月26日(木) 9:00	1次登録結果発表 2次登録余裕定員発表 ※余裕定員表は所沢連絡 Web ページで確認	Waseda メール Web 科目登録画面
9月26日(木) 9:00 ? 9月27日(金) 16:59	2次登録申請期間 【対象科目】 ※定員に余裕のある科目 ■人間科学部設置科目 ■他箇所設置科目 (他学部提供全学オープン科目は対象外)	Web
10月2日(水) 9:00	2次登録結果発表 3次登録余裕定員発表 ※余裕定員表は所沢連絡 Web ページで確認	Waseda メール Web 科目登録画面
10月4日(金)	秋学期 授業開始 2次登録までの結果を確認して授業に出席してください。ただし、3次登録にて登録予定の科目については、登録結果発表までの間、登録決定“見込み”で授業に出席してください。	
10月10日(木) 9:00 ? 10月11日(金) 16:59	■3次登録申請期間 ■他学部提供 申請期間 【対象科目】 ■人間科学部設置科目 ■他箇所設置科目 ■他学部提供科目 ※上記のうち、秋クォーター科目は申請不可 ■取消期間(※3) 【対象科目】 ■人間科学部設置科目 (一部科目のみ)	Web Web
	他箇所設置科目区分変更(※4)	Web
10月16日(水) 9:00	3次・他学部提供登録結果発表 ※余裕定員表は所沢連絡 Web ページで確認	Waseda メール Web 科目登録画面
10月17日(木) 時間は「3.9 聴講料(実験実習料)の納入」参照 ? 10月23日(水)	聴講料納入期間(1~3次登録分) ※詳細については「3.9 聴講料(実験実習料)の納入」をご確認ください。	

〈※3〉登録取消

詳細は、「3.1 決定科目の取消」を参照ください。

〈※4〉他箇所設置科目 区分変更

詳細は、「3.2 他箇所設置科目の科目区分変更」を参照ください。

1. 科目登録を始める前に

1.1 科目登録における注意事項

： 決定科目の取り消し

3次登録期間中において、1次～2次登録で「決定」となっている科目の取り消しを申請することが可能です(ただし、一部科目のみ)。申請方法など詳細は「3.1 決定科目の取消」で確認してください。なお、取消できる科目は一部に限られません。安易に取消できると考えず、計画的な科目登録申請を行ってください。

： 科目区分(卒業算入→非算入)の変更

3次登録期間中において、既に当学期1次および2次登録で登録した他箇所設置科目の科目区分を、「自由科目」から「他箇所聴講科目」、または「他箇所聴講科目」から「自由科目」への区分変更が可能です。ただし、自由科目から他箇所聴講科目へ区分を変更した結果、登録制限単位数オーバーになる場合は変更できません。

申請方法など詳細は「3.2 他箇所設置科目の科目区分変更」で確認してください。

： Web シラバスを参照してください

科目の詳細は Web シラバスを参照してください。

<https://www.wsl.waseda.jp/syllabus/JAA101.php> (早稲田大学 HP - 右上「データ集」 - シラバス検索)

学科目配当表は、科目登録の手引き(本冊子)「13.3 学科目配当表」もしくは所沢総合事務センター連絡 Web ページを確認してください。科目登録画面の情報とその他資料との相違が発生した場合は、**科目登録画面の情報が最新データとなります。**

： Web 科目登録システム利用にあたって

Web 科目登録システムは、利用者が集中した場合に「サービス制限画面」が表示される場合があります。全学生が待機することなく登録できるように、申請する科目を決めてから、システムにログインしてください。

受付締め切り間際にはアクセスが集中し時間内に申請ができないことがあります。余裕をもったスケジュールで申請を行ってください。また、「登録したはずなのに結果が出てこない」という問い合わせは、受け付けられませんので、各自責任を持って登録を行ってください。



Web 科目登録の詳細は、「13. Web 科目登録利用手順」を確認してください。

： 登録方法・結果確認

早稲田大学の科目登録は、Web 上で申請を受け付けるため、MyWaseda へのログインが必要です。パスワードを忘れた方は早稲田ポータルオフィス窓口またはオンラインで再発行の手続きを行ってください。登録毎の結果発表は Waseda メールへ送信します。登録結果は Waseda メール容量に空きがない場合、受信することができません。科目登録期間中は不要なメールを破棄し、常にメールを受信できるようにしてください。

： 未決定科目の授業参加

春学期、秋学期ともに3次登録期間前に授業が開始されます。3次登録で申請予定の科目は、登録が決定する前でも授業に参加してください。欠席の場合でも救済措置は原則ありません。

： 聴講料(実験実習料)の納入

全学オープン科目等、一部科目において、聴講料(実験実習料)が必要となります。聴講料を納入しない場合、履修は認められません。必ず、納入期間内に聴講料・実験実習料を支払ってください。救済措置はありません。

： 伝達事項の周知

科目登録に関する訂正などの伝達事項は、人間科学部 Web サイトに掲載します。科目登録の前に確認してください。
【URL】 <https://www.waseda.jp/fhum/hum/>

： 留学する際の注意事項

留学する際は、当年度の集中講義科目の日程に注意してください。万が一、留学期間が講義日程と重複しても取消は出来ません。特に秋学期から留学する場合、夏季集中授業の日程に注意してください。

また、留学による専門ゼミや卒業研究の履修については「2.10 留学による専門ゼミ履修および卒業研究履修」で確認してください。

1.2 科目登録関連用語集

科目登録では特有の用語が使用されています。

下記に代表的な用語を列挙しましたので、本手引きを読む際に確認してください。

用語	説明
自動登録科目	登録すべき科目・クラスが指定されている科目。春の登録申請より前に登録されるので、1次登録の前に登録済クラスを必ず確認してください。自動登録科目の変更・取消はできません。
必修科目	卒業するために必ず単位を修得しなければならない科目。
選択必修科目	履修する科目を選択できる必修科目。
選択科目	必修ではないが、卒業算入および登録制限単位数にも含まれる科目。
前提科目	特定の科目を履修する前に修得しておかなければならない科目。
自由科目	卒業算入単位として扱われず、登録制限単位数にも含まれない科目。成績証明書には記載されるが、GPAには反映されない。
卒業必要単位数	卒業に必要な単位数。124 単位。科目毎に「単位数」が決められており、4年間で定められた条件を満たすように履修をします。
卒業算入単位	卒業に必要な単位数に算入される単位のこと。
卒業算入上限単位	卒業に必要な単位数に算入可能な単位数の上限。超えた分は卒業必要単位に含まれない。
登録制限単位数	年度、学期、科目群、科目毎に定められている登録可能な単位数の上限。
定員	科目の性質や教室の大きさにより割り当てられている収容人数。
抽選	科目登録において、履修希望者があらかじめ定められている科目の定員や、割り当てられている教室の収容定員を超えてしまった場合に行われます。
選外	抽選にもれ、申請した科目の履修ができなくなること。
余裕定員表	登録可能な科目およびその余裕のある定員数の一覧表。所沢総合事務センター連絡 Web ページで確認することができます。
登録結果確認メール	科目登録手続後に送信する各登録における「登録結果内容」が記載されたメール（科目登録を行わなかった学生には送信されません）。
他箇所	他学部、他研究科、各センター（協定他大学を含む）など学内の人間科学部以外の箇所のこと。
他機関	3年次編入学生の出身教育機関、同志社大学（学生交流制度）、海外留学先大学
他学部提供科目	各学部が他学生に履修を認める科目の内、2次登録終了後に定員に余裕のある科目。
他箇所設置科目	グローバルエデュケーションセンター、留学センター、日本語教育センター等の設置科目
Tutorial English	グローバルエデュケーションセンターが設置している英語科目。学生4人に対して、チューター1人という徹底した少人数教育。新入生は必修として自動登録されます。
実験実習料（聴講料）	「社会福祉現場実習Ⅰ・Ⅱ」「心理実習」（人間科学部設置科目）や全学オープン科目等、一部科目に発生する履修（登録）にあたって必要となる実習料。期限までに納入しなかった場合、決定科目の履修が認められないばかりか、その後の科目登録において抽選の優先順位が下がることがあります。なお、新入生で自動登録された必修「Tutorial English」の聴講料は支払い対象外です。
履修学年	在籍年数（入学してからの年数）から休学年数を引いたもの。
配当年次	各科目について履修可能となる学年（履修学年で計算する）。 ※配当年次に記載された学年以上ならば登録可能。
集中講義	夏季や冬季、春季において、短期間に集中して授業を行う科目。集中講義科目は、日程を重複して、履修することはできません。また、万が一日程が重複しても取消はできません。必ず科目登録の前に、所沢総合事務センター Web ページを参照ください。
Waseda ID	MyWaseda をはじめとする早稲田大学内の様々な IT サービスを利用する際に必要なユーザ ID。
MyWaseda	学校行事・休講情報など様々な情報を提供しているポータルサイト。 科目登録、成績照会、Web メールなどでも利用。

●他箇所設置科目の種類

以下の2種類になります。

- (1)全学オープン科目
 - ・グローバルエデュケーションセンター設置科目
 - ・他学部等提供全学オープン科目(一部資格関連科目を除く)
- (2)他学部提供科目

用語	説明
全学オープン科目	「全学オープン科目」とは、早稲田大学の各箇所(グローバルエデュケーションセンター等)が他学部生に対して「最初から」開放している科目の集まりであり、対象科目もあらかじめ公表されています。また、1次登録の早い登録機会での申請が可能で、人間科学部設置科目と並行して登録申請が可能です。
グローバルエデュケーションセンター設置科目	「グローバルエデュケーションセンター設置科目」とは、「全学オープン科目」の一つという位置づけになります。
他学部等提供全学オープン科目	「他学部等提供全学オープン科目」とは、他の学部が、「全学オープン科目」として設置した科目です。「全学オープン科目」の一つという位置づけになります。
他学部提供科目	「他学部提供科目」も、他学部生に開放している科目ですが、科目を設置している学部の科目登録がある程度(おおむね2次登録)終了した段階で、まだ定員に空きのある科目が対象となります。この点がオープン科目と異なります。 よって、具体的にどの科目が他学部提供科目になるかは、他学部提供科目登録の実施日(おおむね3次登録)の前日もしくは当日に公表されます。各科目設置箇所の余裕定員表を参照してください。

●セメスター制・クォーター制

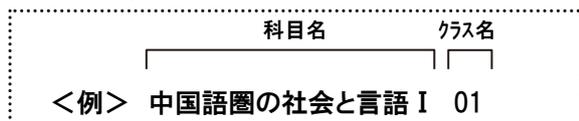


春の科目登録では「春学期、春クォーター、夏クォーター、夏季集中、通年」科目の登録を受付し、秋の科目登録では「秋学期、秋クォーター、冬クォーター、冬季集中、春季集中」科目の登録を受付します。(留学センター提供科目、グローバルエデュケーションセンターの協定他大学提供科目を除く)。(「2.12 他箇所設置科目」参照)

※春クォーター科目および秋クォーター科目は3次登録での申請はできません。また、1次登録で定員が満たされた場合、2次登録での申請はできません。

●科目とクラス

クラス名は、科目名の最後にある二桁の算用数字です。ただし、クラス名がない科目も多く存在しています。



クラスが異なっても、同じ科目で2度単位を修得することはできません。

例えば、上記の科目をすでに単位修得した場合、「中国語圏の社会と言語 I 02」は同じ科目であるため登録できません。ただし、教育学部など他箇所では表記ルールが異なる場合あり(各箇所の手引き等参照)。

《確認例1》「Academic 英語」→選択必修科目ですが、2年生以上の学生が登録できます。

シラバス詳細照会

授業情報			
開講年度	2016年度	開講箇所	人間科学部
科目名	Academic Reading 中級 01		
担当教員	池山 和子		
学期曜日時限	秋学期 水3時限		
科目区分	英語(選択)	配当年次	2年以上
使用教室	101-305	キャンパス	所沢
科目キー	1930001150	科目クラスコード	01
授業で使用する言語	英語		
コース・コード	LANE100L		
大分野名称	語学		
中分野名称	英語		
小分野名称	英語		
レベル	初級レベル(入門・導入)	授業形態	講義
単位数	2		

《確認例2》「専門科目Ⅱ B」科目 →配当年次1年生ですが、春学期開講の場合、1年生は登録できません。秋学期の科目であれば、1年生は登録できます。

授業情報			
開講年度	2016年度	開講箇所	人間科学部
科目名	日常記憶心理学		
担当教員	杉森 絵里子		
学期曜日時限	秋学期 火2時限		
科目区分	専門科目ⅡB(発展科目)	配当年次	1年以上
使用教室	101-101	キャンパス	所沢
科目キー	1930006465	科目クラスコード	01
授業で使用する言語	日本語		
コース・コード	HUME300L		
大分野名称	人間科学		
中分野名称	環境デザイン・行動心理		
小分野名称	環境デザイン・行動心理		
レベル	上級レベル	授業形態	講義
単位数	2		

シラバス情報		最終更新日時: 2016/02/29 17:42:38
授業概要	基本的な記憶のシステムについての講義を行ったのち、「偽りの目撃証言」「無意識の剽窃」「自伝的記憶」「潜在記憶」「感情と記憶」「顔の認知」「記憶の個人差」といった日常記憶について扱う。最新の研究を具体的に紹介し、毎回授業の終わりには、日	

Q2 3次登録期間でも、科目の取消ができません 《手引き 3.1 決定科目の取消 参照》

- ①取り消し期間の確認をしてください。
- ②対象科目の確認をしてください。

● その他

※教育学部教職課程設置科目のうち「教職に関する科目(必修・選択)」、「教育の基礎的理解に関する科目等(必修・選択)」、「各教科の指導法(必修・選択)」は聴講料の支払いが発生しますので注意してください。

※一部の科目実験実習料(聴講料)のみ納入することはできません。

2. カリキュラムと卒業要件

2.1 卒業必要単位数表

本学部には、次の表に示す科目区分が設置されています。必要単位数、配当年次、必修／選択必修／選択の区分、および後述する各学科目の注意事項等をよく理解した上で、正しく履修してください。

なお、**配当年次は「履修すべき学年」という観点で記載している**ので、**登録規則上は配当年次より上の学年においても履修可能となるので誤解のないよう注意してください**(例:1年配当科目は3年生以上も履修できる)。また、科目の配当は年度により変更があり得るので、毎年度の『Web シラバス』や科目登録資料等を参照してください。

単位履修基準表は学部要項に記載しているので、そちらも参照してください。

また、「所沢総合事務センター連絡 Web ページ」>人間科学部生>成績・卒業>お知らせ」に掲載している「卒業要件を満たすためのチェックリスト」も各学期の科目登録時に参考にしてください。

【2023 年度以降入学者】

科目区分		卒業必要単位数	卒業算入上限単位数	卒業算入上限を超える登録の可否	配当年次	設置	必修／選択
人間科学基礎科目		6以上	14	×	1年以上	学部	必修
					2年以上	人間環境科学科	学科必修
						健康福祉科学科 人間情報科学科	
1年以上または2年以上 (※4)	学部	選択					
リテラシー科目	データ	6以上	16	×	1年以上 2年以上または3年以上 (※4)	学部	必修 選択
	日本語	1	1	×	1年以上	学部	必修
	英語	4	18	×	1年以上	学部	必修
		2以上			2年以上		選択必修
	外国語 (英語以外)	0～12	16	×	1～4年	学部	学部・学部指定
		4			1年以上		選択必修
0以上	2年以上または3年以上 (※4)	学部	選択				
人間科学教養科目	A～G (※1)	8以上	上限なし		1年以上	学部	選択必修
	その他	0以上					選択
専門科目	I (実験調査研究法)	6以上	8	×	1年以上または2年以上 (※4)	学部・学科	選択必修
	II-A (基盤科目)	6以上	上限なし				
	II-B (発展科目)	32以上	上限なし		1～4年		
	III (大学院合併科目)	0以上	上限なし		3年以上	学部	選択
専門ゼミ		8	8	×	3年以上	各学科	必修
卒業研究	卒業研究ゼミ	12	12	×	4年以上	学部	必修
	卒業研究						
他箇所聴講科目		0以上	26	×	1～4年		
そのうち保健体育科目		0以上	4 (※2)	8単位まで 可(※3)	年間4単位まで登録可		
卒業に必要な総単位数		124以上					

〈※1〉カテゴリA～Gのうち、4つのカテゴリを選択し、各カテゴリ1科目以上、計4科目以上を履修することを推奨していますが、カテゴリ数は卒業判定の対象ではありません。

〈※2〉卒業算入上限単位数にご注意ください。**卒業算入上限を超えた分については、算入されません。**

例：保健体育科目を8単位修得した場合、卒業算入単位数は4単位となります。

例：他箇所聴講科目を26単位修得、うち、保健体育科目を8単位修得した場合、卒業算入単位数は22単位となります。

〈※3〉卒業単位への算入上限を超えて保健体育科目を登録した場合、年間および半期の登録制限を受けます。

〈※4〉科目によって配当年次が異なります。詳細は「13.3 学科目配当表」を参照してください。

繰り返しになりますが、**配当年次は「履修すべき学年」という観点で記載しているので、登録規則上は配当年次より上の学年においても履修可能となるので誤解のないよう注意してください**(例：1年配当科目は3年生以上も履修できる)。

【2018年度から2022年度入学者】

科目区分		卒業必要単位	卒業算入上限単位数	卒業算入上限を超える登録の可否	配当年次	設置	必修/選択					
人間科学基礎科目		6以上	14	×	1年以上	学部	必修					
					2年以上	人間環境科学科 健康福祉科学科 人間情報科学科	学科必修					
					1年以上または2年以上 (※4)	学部	選択					
リテラシー科目	データ	8以上	16	×	1年以上	学部	必修					
					2年以上		選択					
					2年以上または3年以上 (※4)		選択					
	日本語	2	2	×	1年以上	学部	必修 選択必修					
					英語		4 2以上 0～12	18	×	1年以上	学部	必修
										2年以上		選択必修
	1～4年	学部・学部指定	選択									
	外国語 (英語以外)	4 0以上	16	×	1年以上	学部	選択必修					
2年以上または3年以上 (※4)					学部		選択					
人間科学教養科目	A	2以上	上限なし	1～4年	学部	必修						
	B～G (※1)	6以上				選択必修						
	その他	0以上				選択						
専門科目	I (実験調査研究法)	6以上	8	×	1年以上または2年以上 (※4)	学部・学科	選択必修					
	II-A (基盤科目)	6以上	上限なし		1～4年							
	II-B (発展科目)	32以上	上限なし			学部	選択					
	III (大学院合併科目)	0以上	上限なし		3年以上	学部	選択					
専門ゼミ		8	8	×	3年以上	各学科	必修					
卒業研究	卒業研究ゼミ	12	12	×	4年以上	学部	必修					
	卒業研究											
他箇所聴講科目		0以上	26	×	1～4年							
そのうち保健体育科目		0以上	4 (※2)	8単位まで 可(※3)	年間4単位まで登録可							
卒業に必要な総単位数		124以上										

〈※1〉カテゴリB～Gのうち、**3つ以上のカテゴリ**からそれぞれ1科目以上を選択し、卒業までに6単位以上を必ず履修してください。

〈※2〉卒業算入上限単位数にご注意ください。**卒業算入上限を超えた分については、算入されません。**

例：保健体育科目を8単位修得した場合、卒業算入単位数は4単位となります。

例：他箇所聴講科目を26単位修得、うち、保健体育科目を8単位修得した場合、卒業算入単位数は22単位となります。

〈※3〉卒業単位への算入上限を超えて保健体育科目を登録した場合、年間および半期の登録制限を受けます。

〈※4〉科目によって配当年次が異なります。詳細は「13.3 学科目配当表」を参照してください。

繰り返しになりますが、**配当年次は「履修すべき学年」という観点で記載しているので、登録規則上は配当年次より上の学年においても履修可能となるので誤解のないよう注意してください**(例:1年配当科目は3年生以上も履修できる)。

【2013年度から2017年度入学者】

科目区分		卒業必要単位	卒業算入上限単位数	卒業算入上限を超える登録の可否	配当年次	設置	必修/選択
人間科学基礎科目		6以上	14	×	1年以上	学部	必修
					2年以上	人間環境科学科	学科必修
						健康福祉科学科 人間情報科学科	
1年以上または2年以上 〈※4〉	学部	選択					
リテラシー科目	データ	8以上	16	×	1年以上	学部	必修
					2年以上		選択
	日本語	2	2	×	2年以上または3年以上 〈※4〉	学部	選択
					1年以上		学部
	英語	4	18	×	1年以上	学部	必修
		2以上			2年以上		選択必修
	外国語 (英語以外)	0~12	16	×	1~4年	学部・学部指定	選択
		4			0以上	1年以上	学部
人間科学 教養科目	A	2以上	上限なし		1~4年	学部	必修
	B~G 〈※1〉	6以上					選択必修
	その他	0以上					選択
専門科目	I (実験調査研究法)	6以上	8	×	1年以上または2年以上 〈※4〉	学部・学科	選択必修
	II-A (基盤科目)	6以上	上限なし				
	II-B (発展科目)	32以上	上限なし				
専門ゼミ		8	8	×	3年以上	各学科	必修
卒業研究	卒業研究ゼミ	12	12	×	4年以上	学部	必修
	卒業研究						
他箇所聴講科目		0以上	26	×	1~4年		
そのうち保健体育科目		0以上	4 〈※2〉	8単位まで 可〈※3〉	年間4単位まで登録可		
卒業に必要な総単位数		124以上					

〈※1〉カテゴリーB~Gのうち、**3つ以上のカテゴリー**からそれぞれ1科目以上を選択し、卒業までに6単位以上を必ず履修してください。

〈※2〉卒業算入上限単位数にご注意ください。卒業算入上限を超えた分については、算入されません。

例:保健体育科目を8単位修得した場合、卒業算入単位数は4単位となります。

例:他箇所聴講科目を26単位修得、うち、保健体育科目を8単位修得した場合、卒業算入単位数は22単位となります。

〈※3〉卒業単位への算入上限を超えて保健体育科目を登録した場合、年間および半期の登録制限を受けます。

〈※4〉科目によって配当年次が異なります。詳細は「13.3 学科目配当表」を参照してください。

繰り返しになりますが、**配当年次は「履修すべき学年」という観点で記載しているので、登録規則上は配当年次より上の学年においても履修可能となるので誤解のないよう注意してください**(例:1年配当科目は3年生以上も履修できる)。

2.2 卒業算入単位を修得できる科目

種別		取り扱い
人間科学部設置科目(一部資格関連科目を除く)		所定の科目区分の卒業単位の算入されます。 卒業非算入(自由科目)での履修はできません。
他箇所 設置科目	全学 オープン科目	グローバルエデュケーションセンター 提供科目
		他学部等提供全学オープン科目 (一部資格関連科目を除く)
	他学部提供科目	科目区分「他箇所聴講科目」として、卒業単位の 算入されます。

※他箇所聴講科目は、登録の制限を受けることがあります。詳細は「2.1 卒業必要単位数表」の「卒業算入上限単位数」を参照ください。

※一定の条件を満たしていれば、留学先で修得した単位を、卒業算入単位の認定することも可能です(学部要項参照)。

2.3 自由科目と資格関連科目の取り扱い

自由科目は卒業単位の算入されない代わりに、登録制限単位にも含まれません。従って単位数制限に縛られず自由に選択履修できます。資格取得のために単位が必要だが登録制限単位数オーバーで登録できない場合に役立ちます。

対象科目
・教育学部設置の教職課程等資格関連科目
・設置箇所卒業単位の算入されない科目(「2.12 他箇所設置科目」参照)

※資格に関わる科目がすべて自由科目扱いになるとは限りません。

※他箇所設置科目は、科目登録時に、「自由科目」もしくは「他箇所聴講科目」の科目区分を選択できます。「13.Web 科目登録利用手順」を参照ください。

2.4 自動登録

自動登録科目とは、登録すべき科目・クラスが指定されている科目です。自動登録科目は春の登録手続きより前に登録されるので、1次登録の前に MyWaseda 科目登録メニューから登録済クラスを必ず確認してください。自動登録科目の変更・取消はできません。なお、自動登録の条件を満たしているのに対象科目が登録されていない場合は、速やかに所沢総合事務センターに問い合わせてください。

学年	学期	科目名	単位	前提となる条件等
1年生	春クォーター	スタディスキル	1	・1年で20単位登録されます。
	夏クォーター	学生生活とセルフマネジメント	1	
	春	基礎ゼミ I	1	
	春	データリテラシー I	2	
	春	選択外国語基礎 I	1	
	春	選択外国語会話入門 I	1	
	春	Current Topics I	1	
	春/秋 いずれか	Tutorial English 2 科目	2	
	秋	基礎ゼミ II	1	
	秋	データリテラシー II	4	
	秋	選択外国語基礎 II	1	
	秋	選択外国語会話入門 II	1	
	秋	Current Topics II	1	
秋クォーター	人間科学概論	1		
秋クォーター	学術的文章の作成	1		
2年生	春クォーター/ 夏クォーター いずれか	各学科概論	1	・履修学年2年以上
	春	データリテラシー III (2022年度以前入学者のみ)	2	
3年生	春	専門ゼミ I	4	・履修学年2年以上 ・2年次春学期までに卒業算入単位20単位以上 修得かつ秋学期登録単位数との統計が42単位以上 ・2年次秋学期までに卒業算入単位42以上修得
	秋	専門ゼミ II	4	
4年生	春	卒業研究ゼミ I	2	・卒業算入単位83単位以上修得 ・専門ゼミ II 修得 ・卒業算入単位83単位以上修得
	秋	卒業研究ゼミ II	2	
	秋	卒業研究	8	

※自動登録と勘違いしやすい必修科目:「日本語と日本文化」(2022 年度以前入学者のみ)、「2年次の英語選択必修科目」は忘れずにご自身で科目登録をしてください。

【再履修時に、自動登録されない必修科目】

在學生 再履修	<ul style="list-style-type: none"> ・Current Topocs I・II ・選択外国語基礎 I・II ・選択外国語会話入門 I・II ・Tutorial English
------------	---

※次の科目を再履修する場合は、自動登録となります。

基礎ゼミ I・II、データリテラシー I・II・III、スタディスキル、学生生活とセルフマネジメント、学術的文章の作成、人間科学概論、各学科概論、統計学 II、専門ゼミ I・II、卒業研究ゼミ I・II、卒業研究

※「基礎ゼミ」の再履修は、「基礎ゼミ I」(春学期)と「基礎ゼミ II」(秋学期)の 2 科目を登録する必要があります。

※以前に登録し、成績が不合格であった科目を再び登録する場合、その科目を再履修科目といいます。

※データリテラシー III が自動登録されるのは 2022 年度以前入学者に限られます。

「データリテラシー I」「データリテラシー II」「データリテラシー III」が再履修となり、「専門ゼミ I」「専門ゼミ II」の曜日・時限と重複した場合は専門ゼミが優先登録されます。登録できなかった「データリテラシー I」「データリテラシー II」「データリテラシー III」は、その翌年度に自動登録されます。履修計画や卒業可否に影響を及ぼすため、早めに単位修得するようにしてください。

2.5 人間科学基礎科目

2013年度以降入学者は、人間科学基礎科目において、必修科目が自動登録されます(「基礎ゼミ」の再履修は除く)。なお、自動登録されたクラスの変更はできません。

科目名	必修/選択	配当年次・学期	単位
スタディスキル	必修	1・春クォーター	1
学生生活とセルフマネジメント		1・夏クォーター	1
基礎ゼミ I・II		1・春 秋	1・1
人間科学概論		1・秋クォーター	1
人間環境科学概論	学科必修	2・夏クォーター	1
健康福祉科学概論	学科必修	2・春クォーター	1
人間情報科学概論	学科必修	2・春クォーター	1
人間科学のための微分積分 人間科学のための線形代数 人間科学のための力学 人間科学のための電磁気学 人間科学のための基礎化学 人間科学のための生命科学	選択	1~4・春 秋	各2単位

■「基礎ゼミ I」「基礎ゼミ II」の授業実施週は、通常科目とは異なります。ご注意ください。

授業が実施される日付は、本冊子の「人科・スポ科・人研・スポ研設置科目 授業実施日」ページをご確認ください。

・「基礎ゼミ I」 → 第 1、2、3、5、7、9、11、13 週目に開講します。

・「基礎ゼミ II」 → クラスによって、授業実施週が異なります。ご注意ください。

1~10 クラス : 第 1、3、5、7、9、11、13*週目

11~20 クラス: 第 2、4、6、8、10、12、14*週目

*「基礎ゼミ II」の 13 週目、14 週目はオンデマンド授業となる。当該週での対面授業はありません。

■「スタディスキル」「学生生活とセルフマネジメント」「基礎ゼミ I」が不合格になった場合、同年度の夏季集中科目の再履修者用のクラスに自動登録され、受講が必要となります。また、対象者にはその旨が Waseda メールにて通知されます。このクラスは1年生のみ、学期、年間の登録制限単位数に含まれません。

■再履修者用クラスと他の夏季集中科目が日時重複した場合、「スタディスキル」「学生生活とセルフマネジメント」「基礎ゼミ I」の再履修者用クラスが優先登録され、他の夏季集中科目は取消となります。

■「基礎ゼミ I」再履修者用クラスの単位を修得できなかった場合、**秋学期に自動登録されている「基礎ゼミ II」は登録取消となります。**

■必修の「所属の各学科概論」は、自動登録されます。一方、選択科目の他学科の学科概論は、Web での申請が可能です。なお、必修の「所属の各学科概論」が不合格になった場合、翌年度に自動登録されます。このクラスは、学期、年間の登録制限単位数に含まれます。

- 「所属の各学科概論」が再履修となり、それが「専門ゼミⅠ」の曜日・時限と重複した場合、専門ゼミが優先登録されます。登録できなかった「所属の各学科概論」は、その翌年度に自動登録されます。履修計画や卒業可否に影響を及ぼすため、早めに単位修得するようにしてください。
- 「人間科学のための力学・電磁気学」を修得した学生は、「人間科学のための力学」および「人間科学のための電磁気学」を履修できません。
- 「人間科学のための解析・線形代数」を修得した学生は、「人間科学のための微分積分」および「人間科学のための線形代数」を履修できません。

2.6 リテラシー科目

1. データリテラシーの履修

科目区分	科目名	必修/選択	配当年次・学期	単位	登録
データ	データリテラシーⅠ	必修	1・春	2	自動登録
	データリテラシーⅡ		1・秋	4	自動登録
データ	データリテラシーⅢ (2022年以前入学者のみ)	必修	2・春・秋	2	自動登録

- 「データリテラシーⅡ」は「データリテラシーⅠ」の単位を修得しないと履修できません。
- 「データリテラシーⅡ」は1年次秋学期前に自動登録されます。1年次春学期時点では自動登録されません。
- 「データリテラシーⅢ」は「データリテラシーⅡ」の単位を修得しないと履修できません。
- 2023年度以降入学者は「データリテラシーⅢ(R)(Python)(SPSS)」を2年次以降に選択科目として履修できます。

【2024年度以降のデータリテラシーⅢの履修について】

- 2022年度以前入学者は「データリテラシーⅢ(R)」を履修できません。
(自動登録される必修「データリテラシーⅢ」の内容を含むため)
- 科目の読み替え表に記載のとおり、2023年度までに「多変量解析」を履修済みの場合、2024年度以降開講される「データリテラシーⅢ」の履修に制限があります。

履修済みの科目・クラス	履修できない科目・クラス
多変量解析 02	データリテラシーⅢ(R) 02
多変量解析 01	データリテラシーⅢ(SPSS)

【データリテラシーの再履修パターン】

科目名	通常	再履修	再々履修	登録
データリテラシーⅠ	春	夏季集中(再履修者用クラス)	翌春(通常クラス)	自動登録
データリテラシーⅡ	秋	翌春(再履修者用クラス)	翌秋(通常クラス)	自動登録
データリテラシーⅢ (2022年度以前入学者のみ)	春	秋(再履修者用クラス)	翌春(再履修者用クラス)	自動登録

- 夏季集中の「データリテラシーⅠ」再履修クラスは、登録制限単位数に含まれません。
- 「データリテラシーⅠ」再履修クラスの単位を修得できない場合、秋学期に自動登録されている「データリテラシーⅡ」は登録取消となります。
- 「データリテラシーⅠ」再履修クラスと他の夏季集中科目が日時重複した場合、「データリテラシーⅠ」再履修クラスが優先登録され、他の夏季集中科目は取消となります。

2. リテラシー科目(日本語)の履修

科目区分	科目名	必修/選択	配当年次・学期	単位	登録
日本語	学術的文章の作成	必修	1・秋クォーター	1	自動登録
	日本語と日本文化 (2022年度以前入学者のみ)	選択必修	1・秋クォーター 冬クォーター	1	Web登録申請

- 「日本語と日本文化」は自動登録されません。クラスを1つ選んで、自身でWeb登録申請してください。
- 「日本語と日本文化」は、2022年度以前入学者のみ履修可能(2023年度以降入学者は履修不可)。
- 他の科目と曜日時限重複して「日本語と日本文化」が申請できない場合、次年度にあらためて申請してください。

3. 英語の履修

科目区分	科目名	必修/選択	配当年次・学期	単位	登録
英語	Current Topics I	必修	1・春	1	自動登録
	Current Topics II		1・秋	1	自動登録
	Tutorial English 2 科目	必修	1・春/秋 いずれか	2	自動登録
	Academic Reading Academic Writing Academic Listening Oral Presentation	選択必修	2	各2単位	Web 登録申請
	英文学講読 米文学講読 米文学史 ほか	選択	1~4	各2単位	Web 登録申請

■「Current Topics」の I と II は、異なる教員のクラスで自動登録されます。なお、再履修登録の際は同じ教員のクラスでも構いません。

■春学期に「Current Topics I」の単位を修得できなかった場合も、引き続き秋学期に「Current Topics II」を受講してください。

■「Tutorial English」は、1年生の春学期、または秋学期に自動登録されます。春学期の場合は「Tutorial English (Compulsory), Spring・Summer」が自動登録され、秋学期の場合は「Tutorial English (Compulsory), Fall・Winter」が自動登録されます。さらにその後、入学前に受験した LANGX Speaking の結果により、「Basic」「Intermediate」「Upper Intermediate」「Advanced」のレベル別にクラス分けされます。

※1年生時の必修「Tutorial English」には聴講料は発生しません。支払不要です。

※科目登録画面において、備考欄に「¥」マークが付与され、聴講料等の支払対象と表示されますが、1年生時の必修科目の場合、聴講料の支払いは不要です。

※この科目は半期に週2コマ履修します。

※「Tutorial English」の履修については新入生ガイダンス内で詳しく説明します。

※初回授業は例年、春学期は4月中旬、秋学期は10月初旬に行われます(通常科目とは異なります)。

※受講に際しては、所定日までにLANGX Speakingを受験する必要があります。

授業日程および LANGX Speaking の詳細は、以下の URL から「履修ガイド」を参照してください。

<http://www.w-int.jp/gogaku/te/index.html>

■「Academic Reading」、「Academic Writing」、「Academic Listening」、「Oral Presentation」のいずれか1科目以上を、2年生以上で履修してください。なお、各科目には中級・上級クラスがあり、1年生時の **WeTEC**(2023年度以前入学者)、TOEIC IP テスト(2024年度以降入学者)のスコアを基に、「中級」、「上級」として分けられます。なお、**中級・上級の変更は一切できません**。

※WeTEC・TOEIC IP テストを受験しなかった場合、上記の選択必修科目を受講できなくなることがありますので、必ず受験してください。

※英語の授業免除者はスコアに関わらず「上級」として分けられます。

■「Academic Reading」、「Academic Writing」、「Academic Listening」、「Oral Presentation」の4科目は、第3希望まで科目とクラスを申請でき、1クラスが決定となります。1次登録だけでなく、2次登録・3次登録でも第3希望まで申請でき、それぞれ1クラスが決定となります。申請方法については「13.Web 科目登録利用手順」の「希望順位登録」を確認してください。なお、登録結果表示は次のようになります。

(例1)第3希望まで申請し、第1希望が登録決定となった場合

	登録結果
第1希望	決定
第2希望	無効
第3希望	無効

※登録結果に表示されます。

※登録結果には表示されません。

※登録結果には表示されません。

(例2)第3希望まで申請し、全て選外となった場合

	登録結果
第1希望	選外
第2希望	選外
第3希望	選外

※登録結果に表示されます。

※登録結果に表示されます。

※登録結果に表示されます。

■人間科学部設置の「英文学講読」、「米文学講読」、「米文学史」のほか、下表のグローバルエデュケーションセンター設置科目を、計6科目(12 単位)まで「リテラシー(英語)」の選択科目として履修できます。各科目の詳細は別冊の「全学オープン科目履修ガイド」あるいはグローバルエデュケーションセンターの Web ページを参照してください。

科目名	単位	配当年次	登録
Writing Scientific Papers 1	1	1年次以降	Web 登録申請
Writing Scientific Papers 2	1	1年次以降	Web 登録申請

4. 外国語(英語以外)

科目区分	科目名	必修/選択	配当年次・学期	単位		
外国語 (英語以外)	ドイツ語基礎Ⅰ	選択必修 ※	1・春	1		
	ドイツ語基礎Ⅱ		1・秋	1		
	ドイツ語会話入門Ⅰ		1・春	1		
	ドイツ語会話入門Ⅱ		1・秋	1		
	フランス語基礎Ⅰ		1・春	1		
	フランス語基礎Ⅱ		1・秋	1		
	フランス語会話入門Ⅰ		1・春	1		
	フランス語会話入門Ⅱ		1・秋	1		
	中国語基礎Ⅰ		1・春	1		
	中国語基礎Ⅱ		1・秋	1		
	中国語会話入門Ⅰ		1・春	1		
	中国語会話入門Ⅱ		1・秋	1		
	スペイン語基礎Ⅰ		1・春	1		
	スペイン語基礎Ⅱ		1・秋	1		
	スペイン語会話入門Ⅰ		1・春	1		
	スペイン語会話入門Ⅱ		1・秋	1		
			ドイツ語圏の社会と言語Ⅰ・Ⅱ ドイツ語コミュニケーションⅠ・Ⅱ ドイツ語圏社会文化論 A・B フランス語圏の社会と言語Ⅰ・Ⅱ フランス語コミュニケーションⅠ・Ⅱ フランス語圏社会文化論 A・B 中国語圏の社会と言語Ⅰ・Ⅱ 中国語コミュニケーションⅠ・Ⅱ 中国語圏社会文化論 A・B スペイン語圏の社会と言語Ⅰ・Ⅱ スペイン語コミュニケーションⅠ・Ⅱ スペイン語圏社会文化論 A・B	選択	2~4	各2単位

※入学手続き時に選択した外国語の「基礎Ⅰ/Ⅱ」、「会話入門Ⅰ/Ⅱ」が自動登録されます。

1年次に自動登録された外国語の「基礎Ⅰ/Ⅱ」、「会話入門Ⅰ/Ⅱ」は取り消すことができません。春学期に外国語の「基礎Ⅰ」または「会話入門Ⅰ」の単位を修得できなかった場合でも、引き続き秋学期に外国語の「基礎Ⅱ」または「会話入門Ⅱ」を受講してください。

指定した外国語の1年次選択必修科目を全て単位修得済みの場合、英語以外の外国語科目で入学時に指定していない1年次選択必修科目(指定した科目と異なる外国語の基礎・会話入門のみ)を、2年次以上で選択科目として履修することもできます。ただし、Web での申請はできません。各登録期間に所沢総合事務センターで申請してください。

例:入学時にドイツ語を指定し、ドイツ語の1年次選択必修科目を全て単位修得済みの場合、2年次以上でフランス語の基礎Ⅰ・Ⅱ、会話入門Ⅰ・Ⅱを履修できる。(社会と言語Ⅰ・Ⅱ、コミュニケーションⅠ・Ⅱ、社会文化論 A・Bは履修できません。)

■外国学生

母語が日本語でない外国籍の学生については、「外国語(英語以外)」は「日本語」となります。日本語教育研究センター設置の日本語科目4単位が必修となります。自身で日本語教育研究センター設置の科目を登録のうえ、履修してください。なお、日本語教育研究センター設置科目の授業は、原則として早稲田キャンパスで行われます。

5. 外国語授業免除制度

下記の条件を満たしている学生は、申請により外国語の授業が免除されます。科目登録申請時までに外国語授業免除の適用を受けた場合には、2年次配当の外国語科目を1年次から履修することが可能です。該当者で当該科目の履修を希望する場合は所沢総合事務センターに相談してください。

なお、免除対象科目は1年次に自動登録される外国語科目のみとなります(英語免除の場合でも、2年次配当の選択必修科目は免除されません)。

■条件: 免除を希望する外国語で以下の各項目を全て満たしていること。

	条 件
英語	【2018年度以前入学者】 (1)TOEFL(iBT)が80以上または TOEIC Listening & Reading Test のスコアが 730 以上のいずれかであること <u>※IP および ITP など、公式認定でないものでは申請できません。</u> (2)授業免除申請日が上記試験実施日から2年以内であること
	【2019年度以降入学者】 (1)TOEFL(iBT)または TOEIC スコアが次の基準を満たしていること <u>※IP および ITP など、公式認定でないものでは申請できません。</u> ①TOEFL(iBT)の場合 83 以上であること ②TOEIC の場合 Listening & Reading Test + Speaking & Writing Tests × 2.5 = 1700 以上であること (Speaking & Writing Tests のスコアを 2.5 倍し、Listening & Reading Test のスコアと合算して 1700 以上であること) (2)授業免除申請日が上記試験実施日から2年以内であること
ドイツ語	(1)ドイツ語技能検定試験3級以上(財団法人ドイツ語学文学振興会) 上記資格検定試験に準ずる試験合格 (2)授業免除申請日が上記試験合格日から2年以内であること
フランス語	(1)実用フランス語技能検定試験3級以上(財団法人フランス語教育振興協会) 上記資格検定試験に準ずる試験合格 (2)授業免除申請日が上記試験合格日から2年以内であること
中国語	(1)中国語検定試験3級以上(財団法人中国語検定協会) 上記資格検定試験に準ずる試験合格 (2)授業免除申請日が上記試験合格日から2年以内であること
スペイン語	(1)スペイン語技能検定試験4級以上(財団法人日本スペイン協会)、DELE スペイン語検定 B1 以上(スペイン教育・職業訓練省/インスティトゥト・セルバンデス東京)および上記資格検定試験に準ずる試験合格 (2)授業免除申請日が上記試験合格日から2年以内であること
日本語	(1)日本語能力試験 N1(独立行政法人国際交流基金&財団法人日本国際教育支援協会) 上記資格検定試験に準ずる試験合格 (2)授業免除申請日が上記試験合格日から2年以内であること

■手続き方法

- (1)期限 春学期:夏クォーター終了日まで 秋学期:冬クォーター終了日まで
 ※なるべく早めの提出をお願いします。提出するまで、授業に参加し平常点が加算された場合、「Tutorial English」(自由科目)の成績評価がされます。ご注意ください。
- (2)準備物: 上記の免除条件を満たすことを証明できる公式認定書(コピー可)または合格証明書(コピー可)
- (3)申請方法: 下記のいずれか
 - ①所沢総合事務センターに来訪
 - ②所沢総合事務センターへメール送信
 ※送信先等の詳細については人間科学部 Web サイトを必ず参照してください。
【URL】<https://www.waseda.jp/fhum/hum/>
 「外国語授業免除制度」

■免除の方法

- ①申請書が提出された時点から、免除申請をした外国語科目の授業が免除されます。
- ②申請した年度の申請学期以降に登録されている必修の外国語科目が、自動的に免除クラスに登録変更され、A⁺評価が与えられます。
例：英語免除者の場合
「Tutorial English(授業免除)」
「Current Topics I (授業免除)」
「Current Topics II (授業免除)」
が自動登録され、成績で A⁺評価が与えられます。
- ③さらに未履修の必修外国語科目がある場合、翌年度に免除クラスが自動登録され、A⁺評価が与えられます(翌年度の科目登録画面を、春学期の科目登録前に必ず確認してください)。
- ④免除クラスは出席の必要がなく、曜日・時限の指定もありませんが、登録された単位数はその年度の登録制限単位に含まれます。
- ⑤申請書が提出された学期より前の学期で既に履修した必修外国語科目の成績は変更されません。

■新入生の授業免除について

- (1)期限：3月27日(「科目登録日程表」を要参照)
- (2)準備物：上記の免除条件を満たすことを証明できる公式認定書(コピー可)または合格証明書(コピー可)
- (3)申請方法：下記のいずれか
 - ①所沢総合事務センターに来訪
 - ②所沢総合事務センターへメール送信
※送信先等の詳細については所沢総合事務センター連絡 Web ページを必ず参照してください。
http://www.waseda.jp/tokorozawa/kg/human-school/registration_h.html
「外国語授業免除制度」
- (4)その他：
上記の期限後も申請は受け付けます。但しその場合、一部の科目は免除とならず受講が必要です。具体的には、次のとおりです。
 - ①英語 「Current Topics I」「Current Topics II」：授業免除
「Tutorial English」：免除されず受講が必要。但し、必修科目ではなく自由科目扱いとなります。
(自由科目：卒業算入単位や登録制限単位には含まれない科目)
 - ②英語以外の外国語 「●●語基礎 I」「●●語基礎 II」：授業免除
「●●語会話入門 I」「●●語会話入門 II」：授業免除※全ての外国語において、秋学期に免除申請した場合、春学期受講済の科目は免除されず成績も変更されません。

2.7 人間科学教養科目

- 2022年度以前の入学者は、カテゴリ「人間科学教養科目A(必修)」に属する科目を必ず1科目以上履修してください。さらに、B～Gのカテゴリ(体育実技A～Dは含まれません)から**3つのカテゴリを選択し、各カテゴリ1科目以上**を選択履修してください。**必修のカテゴリAから1科目、選択必修のカテゴリB～Gから3カテゴリ3科目、合計4科目の履修が必要です。**

必修/選択	カテゴリ	科目名	配当年次	単位
必修	人間科学教養科目A(人間学)	Web シラバス 又は 本冊子の 「13.3 学科目 配当表」参照	1～4	各2単位
選択必修 ※3つのカテゴリ を選択し、各カテ ゴリーから1科目 以上を履修	人間科学教養科目B(科学論) 人間科学教養科目C(論理的・数理的思考) 人間科学教養科目D(言語) 人間科学教養科目E(システム) 人間科学教養科目F(デザイン) 人間科学教養科目G(倫理と共生)			
選択	人間科学教養科目(選択)	体育実技A 体育実技B 体育実技C 体育実技D	1～4	各2単位

※選択必修は B～G の中から必ず 3 カテゴリの科目を履修してください。1～2 カテゴリ一では卒業要件を満たしません。

※3つのカテゴリには含まれません

- 履修例とその可否は、次のとおりです。

No.	可否	カテゴリ	科目数	必修/選択	備考
1	○	人間科学教養科目A	1	必修	必修カテゴリA から 1 科目、選択必修カテゴリB～G から 3 カテゴリ3 科目
		人間科学教養科目B	1	選択必修	
		人間科学教養科目D	1	選択必修	
		人間科学教養科目G	1	選択必修	
2	×	人間科学教養科目A	1	必修	選択必修カテゴリが 1 つ不足 ※人間科学教養科目(選択)は、B～G の 3 つのカテゴリには含まれません。
		人間科学教養科目B	1	選択必修	
		人間科学教養科目C	1	選択必修	
		人間科学教養科目(選択)	1	選択	
3	×	人間科学教養科目A	2	必修	選択必修カテゴリが 1 つ不足
		人間科学教養科目B	1	選択必修	
		人間科学教養科目C	1	選択必修	
4	×	人間科学教養科目A	1	必修	選択必修カテゴリが 1 つ不足
		人間科学教養科目D	2	選択必修	
		人間科学教養科目E	1	選択必修	
5	×	人間科学教養科目B	2	選択必修	必修カテゴリA が不足
		人間科学教養科目F	1	選択必修	
		人間科学教養科目G	1	選択必修	

- 人間科学教養科目の各科目がどのカテゴリに属するかを必ず確認のうえ、登録申請してください。詳細は「13.3 学科目配当表」を参照してください。誤認等によりカテゴリ不足となった場合、卒業不可となりますので十分注意してください。

- 2023年度以降入学者は、A～Gのカテゴリから4つのカテゴリを選択し、各カテゴリ1科目以上、計4科目以上を履修することを推奨していますが、カテゴリ数は卒業判定の対象ではありません。

2.8 専門科目

1) 専門科目 I (実験調査研究法)

	卒業必要単位数	算入上限
2013 年度以降入学者	6以上	8

■1年次の秋学期から履修できます。1年次の春学期は履修できません。選択できる科目数および定員が少なく、希望通りの登録が行えないことも予想されます。その場合は2年生以降に履修するようにしてください。専門科目 I 群は、2年生の履修が最優先の抽選ルール設定となっています。(「3.6 抽選」参照)

■以下に示す科目は、いずれかのうち 2 科目まで履修が可能ですのでご注意ください。

心理学実験 A 01	心理学実験 A 02	いずれかのうち2クラスまで履修可能
心理学実験 B 01	心理学実験 B 02	
心理学実験 C 01	心理学実験 C 02	
心理学実験 D 01	心理学実験 D 02	

※1科目のみでも履修できます。3科目以上は履修できません。

なお、実験心理学研究法(心理学実験)、心理行動学研究法の単位を修得している場合、履修できません。

■以下に示す科目は、いずれかの1科目のみ、履修が可能ですのでご注意ください。また、02 クラスは資格取得希望者向けのクラスとなっていますので、履修申請の際は注意してください。

社会福祉演習 I 01	社会福祉演習 I 02	いずれかの1クラスのみ履修可能
社会福祉演習 II 01	社会福祉演習 II 02	いずれかの1クラスのみ履修可能

※社会福祉演習 I と社会福祉演習 II は、セットで同時に履修する必要があります。

同時に履修申請しないとエラーとなります。

■以下の科目は全クラスとも同一の曜日・時限・担当教員のため、授業運営の都合で申請時と異なるクラスで登録される場合があります。ご了承ください。

科目クラス名	単位	配当年次
環境心理測定法 01	2	1～4
環境心理測定法 02	2	1～4
行動観察法 02	2	1～4
行動観察法 03	2	1～4
ものづくり設計演習 A 01	2	1～4
ものづくり設計演習 A 02	2	1～4
人間計測・人間情報モデリング研究法 01	2	1～4
人間計測・人間情報モデリング研究法 02	2	1～4
人間計測・人間情報モデリング研究法 03	2	1～4

例:「環境心理測定法」の「01」クラスを申請したが、決定は「02」クラスになる。

「行動観察法」の「02」クラスを申請したが、決定は「03」クラスになる。

■実験調査研究法追加登録(資格取得を理由とする場合)

(1) 日程: 春学期: 4月24日(水)、秋学期: 10月16日(水)

(2) 申請方法: 下記のいずれか

① 所沢総合事務センターに来訪

② 所沢総合事務センターへメール送信

※送信先等の詳細については人間科学部 Web サイトの科目登録ページを必ず参照してください。

<https://www.waseda.jp/fhum/hum/>

(3) 対象者: 以下の①～③を全て満たす者

① 4年生以上

② 資格取得のため、実験調査研究法科目の履修が必要である。

③ 既に実験調査研究法の登録上限単位(8 単位)を満たしている。または、上限単位を満たしていないが資格取得のため新たに実験調査研究法科目を登録することで、上限単位(8 単位)を超える。

(4) 対象科目: 以下の①～②を全て満たす科目

① 資格取得対象の実験調査研究法科目であること。

② 追加登録申請時点で余裕定員のある実験調査研究法科目であること。

※余裕定員の無い科目は追加登録できません。

(5)注意事項

- ①「自由科目」として卒業要件非算入で追加登録されます。
- ②追加登録希望の科目がある場合、予め初回の授業から出席してください。ただし、出席しても定員などの理由により、追加登録できないことがあります。

■実験調査研究法追加登録(専門ゼミの指定科目を理由とする場合)

(1)日程:春学期:4月24日(水)、秋学期:10月16日(水)

(2)申請方法:下記のいずれか

- ①所沢総合事務センターに来訪
- ②所沢総合事務センターへメール送信
※送信先等の詳細については所沢総合事務センター連絡 Web ページを必ず参照してください。
http://www.waseda.jp/tokorozawa/kg/human-school/registration_h.html
「その他手続」

(3)対象者:以下の①～④を全て満たす者

- ①所属先ゼミが決定しており、今年度以降に専門ゼミが登録されること。
- ②登録される専門ゼミの指定科目(実験調査研究法科目)が未履修であること。
- ③既に実験調査研究法の登録上限単位(8単位)を満たしている。または、上限単位を満たしていないが専門ゼミの指定科目となっている実験調査研究法科目を登録することで、上限単位(8単位)を超える。

(4)対象科目:以下の①～②を全て満たす科目

- ①登録される専門ゼミの指定科目(実験調査研究法科目)であること。
- ②追加登録申請時点で余裕定員のある実験調査研究法科目であること。
※余裕定員の無い科目は追加登録できません。

(5)注意事項

- ①「自由科目」として卒業要件非算入で追加登録されます。
- ②追加登録希望の科目がある場合、予め初回の授業から出席してください。ただし、出席しても定員などの理由により、追加登録できないことがあります。
- ③余裕定員が無いため追加登録できない場合、専門ゼミ担当教員に相談してください。専門ゼミ担当教員から研究法に関する課題が出される等の対応が行われます。

■専門ゼミ指定科目となっている実験調査研究法科目を履修できない場合

(1)登録される専門ゼミの指定科目となっている実験調査研究法科目を申請したが全て選外となり、余裕定員が無いため追加登録もできない場合、専門ゼミ担当教員に相談してください。専門ゼミ担当教員から研究法に関する課題が出される等の対応が行われます。

(2)登録される専門ゼミの指定科目となっている実験調査研究法科目を申請し忘れ、余裕定員が無いため追加登録もできない場合、専門ゼミ担当教員に相談してください。専門ゼミ担当教員から研究法に関する課題が出される等の対応が行われます。

2)専門科目Ⅱ-A(基盤科目)

■卒業までに6単位以上の履修の必要があります。

3)専門科目Ⅱ-B(発展科目)

■卒業までに32単位以上の履修の必要があります。**1年次の秋学期から履修できます。**1年次の春学期は履修できません。

※2018年度までに自由科目「神経・生理心理学」の単位を修得している場合、「システムニューロサイエンス」を履修することはできません。2019年度以降は、専門Ⅱ-B(発展科目)の「神経・生理心理学」の単位を修得しても「システムニューロサイエンス」を履修できます。2018年度以前に自由科目「神経・生理心理学」を合格した学生も、専門科目ⅡB(発展科目)「神経・生理心理学」は履修でき、卒業単位の算入することができます。

4)専門科目Ⅲ(大学院合併科目)

■大学院人間科学研究科との合併科目のため、配当年次は3年以上となります。

■2017年度以前入学者は、科目区分「専門科目Ⅱ-B」として登録されます。

■大学院科目の先取履修と異なり、修得した単位は大学院人間科学研究科の修了単位とはなりません。

2.9 専門ゼミ

新3年生の専門ゼミⅠ・Ⅱの登録では例年、前年度の10月～2月にかけて研究室訪問や志望動機書の提出などの専門ゼミ登録の手続きが必要となります。この専門ゼミ登録で決定した科目が自動登録されていますので、自動登録結果メールで必ず確認してください。

前年度専門ゼミの成績が不合格である学生は、再履修のための同一科目が自動登録されますので、自動登録結果メールで確認してください。

なお、次の条件を全て満たした学生が履修可能です。また、各専門ゼミの「指定科目」および「推奨科目」は、本冊子の「13.2 指定科目と推奨科目」をご確認ください。指定科目を万が一専門ゼミ履修開始前に履修できない場合、専門ゼミと同時履修してください。

1

履修学年が3年以上であること

2

専門ゼミ登録を行う当該年次春学期までの卒業要件算入履修済み単位が20以上、かつその履修済単位数と秋学期卒業要件算入登録単位数の総計が42以上あることを登録参加の条件とする

→専門ゼミ登録後2年間で卒業の可能性があること

3

当該年次秋学期の成績が出た際に卒業要件算入履修済単位数が42に満たない場合は、専門ゼミ登録を取り消しとする

→専門ゼミ登録後2年間で卒業の可能性がない学生は専門ゼミの履修を不可とする

なお、取り消しの場合、選抜の過程も無効となり、当該学生は再度翌年度に登録手続きをする必要があります。

【重要】専門ゼミ登録の手続きについて(専門ゼミ登録対象となる2年生以上対象)

- ・「専門ゼミ登録ガイダンス」を開催します。詳細については、メールや掲示等で案内します。
- ・専門ゼミ登録では、上記のガイダンスへの出席が極めて重要となります。ガイダンスの出欠が専門ゼミの定員数や選抜結果に影響します。
- ・専門ゼミ登録では、当該年度春学期までの学修履歴(成績や履修科目など)が選抜の際の参考資料となります。また、定められた期間に研究室訪問や志望動機書の提出などの手続きを行なう必要があります。詳細については、ガイダンスで説明されます。
- ・一旦登録決定となった専門ゼミを変更することはできません。登録手続きの際、くれぐれも慎重にゼミを選択してください。

2.10 留学・休学による専門ゼミ履修および卒業研究履修

1. 留学にあたって

所属するゼミ決定後に留学に行く場合は、時期、留学期間によってゼミ履修のパターンが異なります。「留学・休学に伴う専門ゼミ・卒業研究履修パターン」の表を参照し、今後のゼミ登録について事前に担当教員・事務センターに相談するようにしてください。特に半期休学(もしくは休学扱いの半期留学)の場合は、必ず、事務センターで専門ゼミ・卒業研究の履修パターンを確認してください。

2. 留学・休学からの復学後

専門ゼミ・卒業研究は自動登録科目であるため、通常のWeb申請では履修登録できません。秋学期に復学する場合、専門ゼミ・卒業研究を登録するためには、担当教員の承認が必要ですので(専用の用紙での申請が必要です)、復学する際には担当教員と事務センターに履修に関する相談をしてください。

留学・休学からの復学後の専門ゼミ、卒業研究ゼミおよび卒業研究においても、「2.9 専門ゼミ」および「2.11 卒業研究ゼミ・卒業研究」に記載されている前提条件(履修学年、卒業要件算入履修済単位数、前提科目単位修得等)を全て満たすことが必要です。この前提条件を満たさない場合、専門ゼミおよび卒業研究ゼミ・卒業研究を登録・履修することはできません。

3. 留学・休学に伴う専門ゼミ・卒業研究履修パターン

■パターン表「対象」欄の見方

「留学」: 本学プログラムによる半期以上の留学者、留学扱いの私費留学で単位認定・認定料支払・在学期間算入をした者

「休学」: 休学者、留学扱いの私費留学だが単位認定・認定料支払・在学期間算入しない者、留学扱いでない私費留学生

NO.	3年次		4年次		5年次		対象
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	
1		専門ゼミⅠ 専門ゼミⅡ	卒研ゼミⅠ	卒研ゼミⅡ 卒業研究	—	—	留学
2		専門ゼミⅠ	卒研ゼミⅠ 専門ゼミⅡ	卒研ゼミⅡ 卒業研究	—	—	留学
3		専門ゼミⅠ	卒研ゼミⅠ	卒研ゼミⅡ 卒業研究 専門ゼミⅡ	—	—	留学
4		専門ゼミⅡ	専門ゼミⅠ	卒研ゼミⅡ	卒研ゼミⅠ 卒業研究	—	留学 休学
5		専門ゼミⅡ	卒研ゼミⅠ 専門ゼミⅠ	卒研ゼミⅡ 卒業研究	—	—	留学
6		—	専門ゼミⅠ	専門ゼミⅡ	卒研ゼミⅠ	卒研ゼミⅡ 卒業研究	留学 休学
7		—	卒研ゼミⅠ 専門ゼミⅠ	卒研ゼミⅡ 卒業研究 専門ゼミⅡ	—	—	留学
8	専門ゼミⅠ		卒研ゼミⅠ 専門ゼミⅡ	卒研ゼミⅡ 卒業研究	—	—	留学
9	専門ゼミⅠ		卒研ゼミⅠ	卒研ゼミⅡ 卒業研究 専門ゼミⅡ	—	—	留学
10	専門ゼミⅠ		—	専門ゼミⅡ	卒研ゼミⅠ	卒研ゼミⅡ 卒業研究	留学 休学
11			卒研ゼミⅠ 専門ゼミⅠ	卒研ゼミⅡ 卒業研究 専門ゼミⅡ	—	—	留学
12			専門ゼミⅠ	卒研ゼミⅡ 専門ゼミⅡ	卒研ゼミⅠ 卒業研究	—	留学
13			専門ゼミⅠ	専門ゼミⅡ	卒研ゼミⅠ	卒研ゼミⅡ 卒業研究	留学 休学
14	専門ゼミⅠ			卒研ゼミⅡ 専門ゼミⅡ	卒研ゼミⅠ 卒業研究	—	留学
15	専門ゼミⅠ			専門ゼミⅡ	卒研ゼミⅠ	卒研ゼミⅡ 卒業研究	留学 休学
16	専門ゼミⅠ	専門ゼミⅡ		卒研ゼミⅡ	卒研ゼミⅠ 卒業研究	—	留学 休学
17	専門ゼミⅠ	専門ゼミⅡ	卒研ゼミⅠ		卒研ゼミⅡ 卒業研究		留学 休学

- ・すべての登録方法において、担当教員と学部の承認が必要です。担当教員の承認印を得た上で、復学関係の書類一式に封入された必要書類「専門ゼミ・卒業研究履修願」を提出してください。最終的な履修の可否は、学部により決定されます。
- ・対象欄「休学」のパターンは、いずれも4年間で卒業することはできません。
- ・3年次秋学期のみ半期休学の場合(NO.10)、「専門ゼミⅡは4年次秋学期」の登録になります。
- ・「2.9 専門ゼミ」「2.11 卒業研究ゼミ・卒業研究」に記載されている条件を満たさない場合、登録・履修はできません。

2.11 卒業研究ゼミ・卒業研究

卒業研究ゼミは、次の条件を全て満たした学生が履修可能です(自動登録)。

- 1 履修学年が4年以上であること
- 2 前年度までに卒業算入単位を83以上修得していること
- 3 「専門ゼミⅡ」の単位を修得していること

卒業研究の単位を修得するためには、「卒業研究ゼミⅠ(春学期)」、「卒業研究ゼミⅡ(秋学期)」と「卒業研究(秋学期)」の3科目を、専門ゼミを担当した教員のもとで履修することとなります。「卒業研究ゼミⅠ」と「卒業研究ゼミⅡ」は、「卒業研究」の単位を修得したと同時に単位が認められます。それまでは成績も出ず、単位も修得できません。

また、卒業研究は Web シラバスには記載がありません。

2.12 他箇所設置科目

- ・各科目の登録日程や登録における注意事項など、詳細については当該科目に関連する履修ガイドや Web ページ等を参照してください。
- ・科目の講義内容は、Web シラバスを参照してください。
- ・春学期科目登録の対象となるのは、以下の期間に開講する科目です。
「通年」「春学期」「春クォーター」「夏クォーター」「夏季集中」「集中講義(春学期)」「集中講義(春・秋学期)」「夏秋期」「夏シーズン」
- ・秋学期科目登録の対象となるのは、以下の期間に開講する科目です。
「秋学期」「秋クォーター」「冬クォーター」「冬季集中」「春季集中」「集中講義(秋学期)」「冬シーズン」

分類	科目	参照先要項・手引き等	科目登録時期						取消可否 (※2)	
			春学期登録			秋学期登録				
			1次	2次	3次	1次	2次	3次		
全学オープン科目	グローバルエデュケーションセンター提供科目		○	○	○	○	○	○	○ (※3)	
	Web 科目登録	アカデミック・ライティング科目	・全学オープン科目履修ガイド ・GEC Web ページ (https://www.waseda.jp/inst/gec/)	「春クォーター」「秋クォーター」科目のうち 週2コマ(週に2時限実施する)科目は、 3次登録の開放は行いません。 2次登録までに科目登録をするようにしてください。 <例: 週2コマ科目> 火2時限・金2時限(週2回授業がある科目) 水4~5時限(2時限連続の科目) 水2時限+オンデマンド(ハイブリッド科目) 2次・3次登録で登録可能な科目については、 GEC Web ページに掲載する「余裕定員表」を参 照してください。						
		数学科目								
		データ科学科目								
		情報科目								
		英語科目(※1)								
		言語科目								
		保健体育科目								
		自然科学科目								
	人文・社会科目									
日本語教育科目										
他大学提供科目	・他大学マニュアル ・GEC Web ページ (https://www.waseda.jp/inst/gec/) →学部学生の方へ →→他大学提供科目	各大学の登録スケジュールや申請方法については、左記 Web ページを参照してください。						×		
留学センター提供科目	・全学オープン科目履修ガイド ・留学センター Web ページ	○	○	○	○	○	○	○		
学部提供全学オープン科目	・全学オープン科目履修ガイド ・各学部 Web ページ	○	—	—	○	—	—	○ (※4)		
他学部提供科目	各学部 Web ページ	—	—	○	—	—	○	-		
教職等資格関連科目	『教職課程履修の手引き』(教職支援センター発行)	○	○	○	○	○	○	○ (※5)		

※1 グローバルエデュケーションセンター提供の以下の英語科目は、グループ編成の都合上、登録機会が以下の通りとなります。

- ・Tutorial English (春クォーター、秋クォーター開講) : 1次登録のみ

※2 1~2次登録期間に Web 科目登録で申請し、履修決定となった科目を3次登録期間中に取消可能か示しています。

一部授業運営に支障が出るため、取消不可の科目があります。※3~※5も確認してください。

※3 グローバルエデュケーションセンター提供の科目のうち、1~2次登録で決定した以下の科目は取り消しできません。

- ・聴講料支払対象科目 ・学術的文章の作成

※4 若干数の科目は取消不可となっています。取消不可の科目は全学オープン科目履修ガイド 科目一覧の備考欄に記載されています。

※5 教職等資格関連科目のうち「教育実習演習」「教職実践演習」「介護体験実習講義」は取消不可

国際教養学部の他学部提供科目登録について

- ・国際教養学部の Web ページ(<http://www.waseda.jp/fire/sils/students/registration/>)で、他学部生が登録可能な科目を公開しますので、事前に確認の上、Web から履修申請を行ってください。
- ・1人1科目までの申請となりますので、2科目以上登録した場合は、無作為に超過分がエラーとなります。
- ・中級科目は2年生以上、上級科目は3年生以上のみが登録可能です。
- ・英語力の証明は求めませんが、TOEFL ITP 530 点以上の英語力がある方を対象の目安としています。

他箇所設置されている科目の単位は、原則として「他箇所聴講科目」の系列として、登録制限単位に含まれ、卒業単位に算入されます。ただし、履修申請時に「自由科目」としての履修も選択できます。

【他箇所設置科目履修の注意点】

- ①他箇所設置科目(グローバルエデュケーションセンター設置科目を含む)は再試験の対象となりません。
- ②他キャンパス開講科目を選択する際は、移動に要する時間を十分考慮に入れましょう。(移動ができない科目を登録しても登録エラーとなります。)
- ③成績発表が設置箇所によって異なる場合があるため、発表時期によって卒業や留学が影響を受ける場合には履修を控えてください。(例:4年次に他箇所設置の春季集中科目を履修した場合、3月卒業の判定時まで成績が確定せず、卒業に影響が生じる場合があります。)
- ④他箇所設置科目を履修する場合、定期試験が自箇所設置科目と重なる場合があります。その場合には**他箇所設置科目を定期試験期間中に受験し、科目設置箇所の定期試験受験証明書をもって、自箇所設置科目の未済試験を受験してください。**
- ⑤他箇所科目の開講学期ごとの登録受付可否は、科目を設置している箇所(学部・センター)により、それぞれ異なります。

1 他学部設置科目(学部提供全学オープン科目も含む)

次の科目は卒業必要単位には算入できません。

- ①教育学部教職課程科目等、資格に関する科目
- ②科目設置学部で卒業算入単位として扱われていない科目(下表参照)
(設置学部で卒業算入されないため、人間科学部では自由科目となる科目)

学部	科目名	学部	科目名
政経	日本史概論A	文	人文地理学1
政経	日本史概論B	文	人文地理学2
政経	外国史概論A	文	地誌1
政経	外国史概論B	文	地誌2
文	憲法	文	法学原論
文	書道(書写)1	文	政治学原論
文	書道(書写)2	文	生涯学習支援論1
文	自然地理学1	文	生涯学習支援論2
文	自然地理学2		

学部提供オープン科目とは別に、他学部提供科目は3次登録で申請可能です。

2 グローバルエデュケーションセンター設置科目

詳細は、『グローバルエデュケーションセンター履修ガイド』、ホームページを参照してください。

グローバルエデュケーションセンターホームページ >>>>> <http://www.waseda.jp/gec/>

- グローバルエデュケーションセンターの保健体育科目(スポーツ理論・スポーツ実習Ⅰ・スポーツ実習Ⅱ)の履修には次の制限があります。

在学期間中の履修制限単位数	8単位
年間の最大登録可能単位数	4単位
在学期間中に卒業算入可能な単位数	4単位

グローバルエデュケーションセンター提供の科目は他学部設置科目と同様に「他箇所聴講科目」の系列で卒業単位に算入されます。ただし、上記のとおり**4単位を超えた保健体育科目による修得単位は卒業算入単位としては扱われませんので、成績通知を確認する際にはご注意ください。**

- 他の科目とは別の時期に追加で登録される「インターンシップ実習※」の単位も「他箇所聴講科目」として卒業単位に算入されます。ただし、その場合は登録制限の対象となりますので、**年間または半期の登録制限単位数に余裕がない場合には自動的に「自由科目」の扱いとなり科目の登録自体は有効ですが、卒業単位には算入されなくなります。**

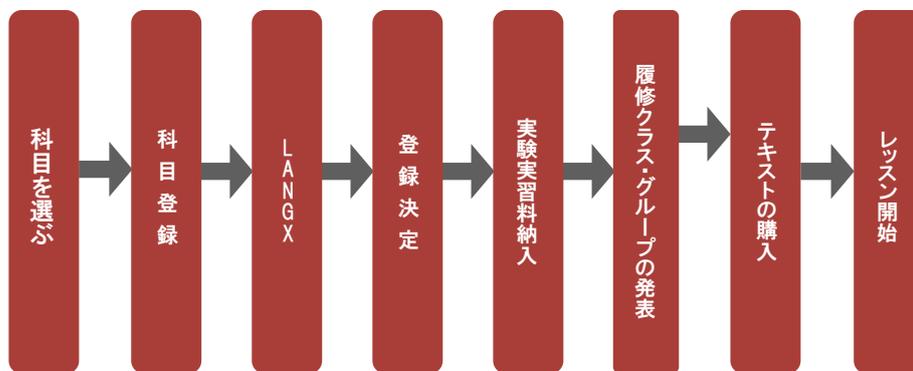
※インターンシップ実習の詳細についてはキャリアセンター配布の「インターンシップの手引き」を参照してください。

① Tutorial English(全学オープン科目履修)の履修可能学期・キャンパス

1年次必修での履修後も所沢キャンパスで引き続き全学オープン科目(選択科目)として履修することができます。身につけた英語力にさらに磨きをかけるためにも、継続的に Tutorial English を履修し、次のレベルへチャレンジすることをお勧めします(秋・冬クォーターに Tutorial English を必修科目履修する1年生は、必修科目履修前にオープン科目として Tutorial English を履修することも可能)。

科目	学期	履修キャンパス
Tutorial English (Basic, Intermediate, Upper Intermediate, Advanced) A/B/C/D	A:春クォーター B:夏クォーター C:秋クォーター D:冬クォーター	早稲田、西早稲田、所沢
Tutorial English (Basic, Intermediate, Upper Intermediate, Advanced) A&B/C&D	A&B:夏季集中 C&D:春季集中 (ただし、Advancedのみ春季集中も A&B)	早稲田

② Tutorial English(全学オープン科目履修)の科目登録の流れと事前手続き



※全学オープン科目履修と必修科目履修における事前手続きの違い

履修形態	実験実習料の納入	LANGX 受験
全学オープン科目履修の場合	○	○
必修科目履修の場合(1年次)	×	○

※履修の際は、Tutorial English 履修ガイド A～D を熟読の上、事前手続きを行ってください。

【Tutorial English 履修ガイド A～D 入手方法】

冊子版: 所沢総合事務センター、早稲田大学アカデミックソリューション(早稲田キャンパス 29 号館)で入手

Web 版: 以下 URL にアクセスし、ダウンロード

<https://led.w-as.jp/guide.html>

グローバルエデュケーションセンターでは、Tutorial English をはじめ、その他英語科目の履修を検討されている方向けに、科目登録期間中に「科目登録相談会」を実施致します。履修相談や学習相談の他、実際に授業を担当しておりますチューターによるレベルチェックも行っていますので、詳細を確認の上、皆様、奮ってご参加ください。

「グローバルエデュケーションセンター英語科目 科目登録相談会」

実施日程・時間・場所(オンライン実施)などの詳細は、MyWaseda のお知らせや、

以下 WEB サイトよりご確認ください。

<https://led.w-as.jp/>

■日本教育研究センター設置科目の履修には次の制限があります。

半期登録制限単位数	8単位	※2017年度から適用
在学中登録制限単位数	32単位	※2020年度から適用

2.13 大学院人間科学研究科設置科目の先取履修

次年度に大学院人間科学研究科の修士課程に進学を希望している4年生以上の方が対象です。修得した単位はすべて自由科目の扱いとなり、大学院入学後に自動的に大学院修了単位となります。よって、単位を修得した科目は大学院入学後に再度履修することはできません。

1. 対象学生

次年度に大学院人間科学研究科に進学を希望している学部学生(通学制)を対象とします。

2. 申請方法

学期	登録手続期間	手続方法	登録結果発表
春学期	3月18日(月)～ 19日(火)	「先取履修登録願」<※1>に必要事項を記入し、左記の期間内に次のいずれかにて提出してください。 ①所沢総合事務センターへ持参提出 ②所沢総合事務センターへメール送信<※2>	4月8日(月) <※3>
秋学期	9月18日(水)～ 19日(木)		10月2日(水) <※3>

※1:「先取履修登録願」は所沢総合事務センターで受け取るか、人間科学部 Web サイトからダウンロードしてください。

<https://www.waseda.jp/fhum/hum/>

「大学院人間科学研究科設置科目の先取履修に関するお知らせ」

※2:メール送信先等の詳細については上記の「大学院人間科学研究科設置科目の先取履修に関するお知らせ」を必ず参照してください。

※3:提出された「先取履修登録願」により、科目担当教員が登録可否の判定をします。登録結果は他の科目同様、Waseda メールおよび MyWaseda にて発表されます。

3. 先取履修科目の取り扱い

学部学生が履修した大学院設置科目は、学部では卒業単位としては扱わずに自由科目とします。大学院入学後に単位認定を申請することで大学院修了単位として取り扱います。

4. 対象科目

「先取履修対象科目」を参照してください。提出された「登録願」※により、担当教員が登録許可の判定をします。

※「登録願」は所沢総合事務センターWeb ページよりダウンロードもしくは事務センターで配布しています。

5. 上限単位

申請できる登録許可単位数の上限 6単位(通年)。

6. 注意事項

①登録が決定した科目の取消、変更は一切行いません。学部の科目が登録される可能性がある曜日・時限の科目は申請しないでください。

②学部の科目と曜日・時限が重複した場合は、学部の科目が優先して登録されます。

※オンデマンド授業で行われる科目は、曜日・時限の設定はありません。

【先取履修対象科目】

科目名	単位数	担当教員氏名
調査企画・設計特論	2	柏 雅之
文化人類学の理論と方法	1	竹中 宏子
		橋爪 太作
歴史学の理論と方法	1	加藤 茂生
		牧野 広樹
環境デザイン学特論	1	佐藤 将之
意味生成の発達科学特論	1	佐治 伸郎
保健医療福祉文献検索評価法	1	扇原 淳
生活支援工学特論	1	巖淵 守
福祉サービス・支援評価法	1	古山 周太郎
		岩崎 香
		川村 颯
医療・福祉マネジメント分析法	1	松原 由美
認知行動療法実践特論	2	嶋田 洋徳
		熊野 宏昭
		鈴木 伸一
犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	2	野村 和孝
加齢人間工学特論	1	倉片 憲治
国際教育コミュニケーション特論	1	杉本 清香
地球環境史学特論	1	山田 和芳
大気環境科学特論	1	松本 淳
動物保全生態学特論	1	風間 健太郎
極限環境生物学特論	1	赤沼 哲史
		八木 創太
生態モデリング特論	1	横沢 正幸
環境社会学特論	1	井上 真
開発援助実践学特論Ⅰ	1	平塚 基志
開発援助実践学特論Ⅱ	1	平塚 基志
人口社会学特論	1	武田 尚子
環境人類学特論	1	原 知章
国際社会学特論	1	樋口 直人
家族社会学特論	1	松本 洋人
都市社会学特論	1	浅川 達人
階級・階層論特論	1	橋本 健二
移民研究特論	1	森本 豊富
科学史・科学論特論	1	加藤 茂生
技術史・技術文化研究特論	1	余語 琢磨
儀礼・祝祭研究特論	1	竹中 宏子
政治・文化複合史特論	1	牧野 広樹
歴史考古学特論	1	中山 なな
芸術学特論	1	福島 勲
歴史人類学特論	1	里見 龍樹
建築環境学特論(実験的調査法)	1	小島 隆矢
建築計画学特論	1	佐野 友紀
発達動機づけ特論	1	外山 紀子
社会文化心理学特論	1	古山 宣洋
生活環境特論	1	佐治 伸郎
		佐野 友紀
		古山 宣洋
		小島 隆矢
		佐藤 将之
		外山 紀子

科目名	単位数	担当教員氏名
老化機構・加齢制御学特論	1	千葉 卓哉
体温・体液生理学特論	1	永島 計
食品生命科学特論	1	原 太一
分子神経科学特論	1	榊原 伸一
認知神経科学特論	1	大須 理英子
緩和医療学・臨床死生学特論	1	笹月 桃子
ウェルネス・バイオフィードバック論	1	鈴木 里砂
リハビリテーション工学特論	1	村岡 慶裕
健康福祉産業学特論	1	岡崎 善朗
子ども家庭福祉特論	1	上鹿渡 和宏
社会保障政策特論	1	川村 颯
ソーシャルワーク特論	1	岩崎 香
子どもの健康福祉学特論	2	前橋 明
老年社会福祉学特論	1	大島 千帆
言語情報科学特論	1	菊池 英明
パフォーマンス認知科学特論	1	三浦 哲都
生態心理学特論	1	三嶋 博之
マルチモーダルコミュニケーション特論	1	関根 和生
劇場認知科学特論	1	野村 亮太
福祉工学特論	1	藤本 浩志
産業人間工学特論	1	肥田 拓哉
学習環境デザイン特論	2	尾澤 重知
教育システム開発特論	2	井上 典之
学校学習システム特論	2	浅田 匡
協調学習と学習科学特論	1	望月 俊男
Applied Linguistics in Practice	1	ムラー セロン
里山における生態系サービスの再評価・保全の意義	1	平塚 基志
		風間 健太郎
老化に伴う生体ロバストネスの変容と加齢性疾患の制御への介入方法	1	千葉 卓哉
子どものウェルビーイングと環境・関係	1	上鹿渡 和宏
		大島 千帆
先進 ICT 技術によるグローバルヘルス課題解決と人間科学に基づく政策形成	2	西村 昭治
		扇原 淳
		金 群
臨床心理学研究の最前線	1	大月 友
質問によるリーダーシップ	1	松居 辰則

7. 先取履修と合併科目

先取履修とは別に、人間科学研究科との合併科目があります。合併科目の場合、先取履修のような登録手続は不要です。他の学部科目同様、Web 科目登録申請してください。合併科目の一覧や詳細は、「4.5 合併科目」をご確認ください。

種別	概要	学部卒業要件	大学院修士課程入学後の取扱い	登録制限単位数	登録手続
先取履修	通常、学部生は履修できないが、担当教員が許可すれば、修士課程進学予定の4年生以上の学部生が履修可能	非算入	自動的に修士課程修了要件単位となる	年間6単位	先述の期間内に事務センターへ「登録願」を提出
合併科目	学部科目と大学院科目の合同で授業を行う。配当年次以上の学部生が履修可能	算入	修士課程修了要件単位とならない(※)	他の科目と合計して、学部で定める登録制限単位数以内であること	1～3次登録期間内に Web 科目登録申請

※合併科目の単位は修士課程修了要件とはなりませんが、修士課程入学後にあらためて同じ科目を履修することができます。また、そこで修得した単位は自動的に修了要件となります。

2.14 再履修科目の登録

1 外国語科目

●対象科目：1年必修外国語(必修 Tutorial English を除く)

2年生以上で、卒業に必要な外国語科目の単位を修得していない学生は、再履修する必要があります。希望順位を指定して、複数クラス申請できます。

春学期科目登録期間では、春学期と秋学期の外国語科目を申請可能です。また、秋学期科目登録期間では、秋学期の外国語科目を申請可能です。ただし、既に定員に達した場合は申請できません。

【再履修対象科目一覧】

科目名
Current Topics I・II
中国語語基礎 I・II
中国語語会話入門 I・II
ドイツ語基礎 I・II
ドイツ語会話入門 I・II
フランス語基礎 I・II
フランス語会話入門 I・II
スペイン語基礎 I・II
スペイン語会話入門 I・II

Current Topics II、●●語基礎 II、●●語会話入門 II は秋学期開講ですが、春学期科目登録で再履修申請することができます。

2 必修 Tutorial English

■必修 Tutorial English の再履修

1年生時必修の「Tutorial English」が不合格となった場合、再履修科目として、全学オープン科目の「Tutorial English」を登録・履修する必要があります。2年生以降に再履修科目を登録・履修してください。

■再履修登録手順

1. 単位修得できなかった科目と再履修すべき科目を把握してください。

1)具体的には、次のとおりです。

単位修得できなかった科目		再履修すべき科目
2020年度以前入学者	2021年度以降入学者	
Tutorial English α および β	Tutorial English A・B または C・D	Tutorial English A・B または C・D ※Tutorial English A&B Intensive のような集中科目は対象外
Tutorial English α のみ	Tutorial English A または C のみ	Tutorial English A または C のみ
Tutorial English β のみ	Tutorial English B または D のみ	Tutorial English B または D のみ

2)再履修では、科目のレベル(Basic～Advanced)は問いません。1年生時に履修した Tutorial English と異なるレベルでも問題ありません。自身のレベルに合った科目クラスを登録してください。

例:「Tutorial English (Intermediate) A」の単位を落としたが、再履修科目は「Tutorial English (Basic) A」でも問題ありません。

2. 上記1で把握した再履修科目を科目登録期間内に申請してください。

1)再履修科目は、次のように条件指定のうえ検索してください。

- ・開講学部:グローバル
- ・科目群:英語科目
- ・検索条件:科目名、学期、曜日、時限のいずれかを入力または選択

1. 科目の開講学部を選択して[確定]ボタンを押してください。

グローバル

2. 科目群を選択してください。

英語科目

3. 検索条件(1項目以上)を指定して[科目検索]ボタンを押してください。

科目名

科目名は先頭2、3文字を指定してください。

学期

曜日

時限

2)科目区分は必ず「他箇所聴講科目」を選択のうえ登録してください。「自由科目(他箇所)」を選択した場合、再履修として認められない場合があります。

秋学期一次登録		2022年9月20日 9:00~2022年9月22日 17:00										
備考に「★」マークのある科目は聴講料等が必要な科目です。また、[関連URL] ボタンを押すと関連情報が表示されます。												
科目検索結果一覧		選択したい科目の選択欄にチェックしてください。										検索を終了して一覧へ戻る
選択	学期	曜日	時限	開講学部	備考	科目名	担当教員	キャンパス	教室名	科目区分	単位	希望順位
<input type="checkbox"/>	冬クォーター	月木	1 5	グローバル	★(要聴講料等) 関連URL	Tutorial English (Basic) D.A5	近藤 悠介	早稲川		他箇所聴講科目	1	
<input type="checkbox"/>	冬クォーター	月木	1 5	グローバル	★(要聴講料等) 関連URL	Tutorial English (Intermediate) D.A5	近藤 悠介	早稲田		他箇所聴講科目	1	

3. 登録決定後、所定期間内に再履修登録科目の科目区分振替手続きをしてください。(他箇所聴講科目から英語必修への科目振替手続)

- 1) 手続期間は先述の「科目登録日程表」を必ず参照してください。期間外の手続は認められません。
- 2) 手続申請書、提出方法等の詳細は所沢総合事務センター連絡 Web ページを必ず参照してください。

【掲載先】

http://www.waseda.jp/tokorozawa/kg/human-school/registration_h.html

「その他手続」-「必修 Tutorial English 科目区分振替(再履修者向け)」

3) 半期または年間の登録制限単位数オーバーとなる場合、科目区分振替は認められません。

例:「Tutorial English (Basic) A」を自由科目(他箇所)で登録後、英語必修へ区分振替手続したが、半期または年間の登録制限単位数オーバーとなる。

→この場合、区分振替は認められません。自由科目(他箇所)として履修することになります。

4) 振替は半期につき 2 単位分までとなります。それ以上の振替は認められません。

4. 登録決定後、所定期間内に聴講料を納入してください。納入期間や納入方法の詳細は後述の「3.9 聴講料(実験実習料)の納入」を必ず参照してください。

※期間内に聴講料が納入されなかった場合、理由の如何に問わず登録取消となり、再履修は認められません。またその場合、区分振替も無効となります。

3 基礎ゼミ(旧基礎演習)

2年生以上で基礎ゼミの単位を修得していない場合、再履修する必要があります。2018 年度より「基礎ゼミⅠ」と「基礎ゼミⅡ」に分割されました。卒業要件を満たすには「基礎ゼミⅠ」と「基礎ゼミⅡ」両方の単位修得が必要です。

「基礎ゼミⅠ」の再履修は、夏季集中の再履修者用クラスに自動登録されます。「基礎ゼミⅡ」の再履修は、秋学期の科目登録前に対象者へ MyWaseda または Waseda メールにて詳細をお知らせします。

なお、「基礎ゼミⅡ」は「基礎ゼミⅠ」の単位を修得しないと、登録・履修できません。「基礎ゼミⅠ」の単位を修得できなかった場合、既に登録されている「基礎ゼミⅡ」は取消となります。

2.15 履修保留／継続履修

「履修保留／継続履修」とは、登録決定となった春学期・秋学期および通年科目について、海外大学のサマースクール等に参加するために授業期間の途中で履修を保留し、翌学期または翌年度に開講される同一科目を継続して履修することができる制度です。履修保留／継続履修については、それぞれ所定の期間に手続きを行う必要があります。

- ・制度・スケジュールについては「全学オープン科目履修ガイド」をご参照ください。
- ・申請には文書の提出が必要になります。所沢総合事務センターに問い合わせ、期日までに所定の手続きを行ってください。

2.16 帰国後登録

「帰国後登録」とは、留学(主として長期留学)から帰国した学期に、夏クォーター／冬クォーターに開講する科目や夏季／春季休業期間中の集中科目を新たに履修することができる制度です。

帰国後登録については、それぞれ所定の期間に手続きを行う必要があります。

制度・スケジュールについては「全学オープン科目履修ガイド」をご参照ください。

3. 履修上のルールと注意

3.1 決定科目の取消

3次登録期間中に、1次～2次登録で「決定」となっている科目の取消申請ができます。ただし、下記「取り消しのできない科目」にある科目は取り消すことができません。また、取り消し単位数の上限はありませんが、3次登録終了後は追加登録の機会はありませんので、取り消しの際は細心の注意を払ってください(取り消した単位数を3次登録・他学部提供科目で補うことは可能です)。

① 取り消しのできない科目

以下の科目の取り消しは認められません。

自動登録科目	専門Ⅰ(実験調査研究法)	専門ゼミ
卒業研究ゼミ	春・夏・秋・冬クォーター科目	英語選択必修科目
リテラシー科目(日本語)	外国語1年次必修科目の再履修	2年生以上の基礎ゼミ再履修
聴講料の納入が必要な科目	一部の他箇所設置科目	

※日本語教育研究センター設置の日本語科目のみ、2次登録期間で科目の取消申請ができます。

取り消しできる科目は限られています。また取り消す代わりに登録したい科目が3次登録期間まで余裕定員があるとは限りません。安易に取り消しを考えるのではなく、取り消しをしないで済むよう1次登録の段階から計画的に登録申請してください。

② 取り消し期間

【春学期】 春学期3次登録期間 4月18日(木)9:00 ~ 19日(金)16:59

【秋学期】 秋学期3次登録期間 10月10日(木)9:00 ~ 11日(金)16:59

※各学期の1～2次登録で決定した科目に限ります。例えば、春学期で決定した科目を秋学期取り消し期間中において、取り消すことはできません。

③ 取り消し方法(Web操作方法)

1 科目取り消し

登録決定科目の取り消しの場合、一度取り消すと登録データが消えてしまい、**再度登録決定に戻すことはできません**。十分注意してください。

科目取消

を選択します。

2 取り消しの確認

取り消し可能な科目の一覧が表示されますので、

- ①取り消したい科目のチェックボックスにチェックを入れて
- ②[取消]ボタンを押してください。

取消ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。



3次登録では人間科学部設置科目の定員に余裕のある科目、他学部提供科目が申請可能です。既に1次登録、2次登録で抽選対象となって締め切った科目は登録できません(既に締め切った科目については、3次登録期間中の科目取消によって定員が生じても登録することはできません)。

3.2 他箇所設置科目の科目区分変更

他箇所設置科目の科目区分を自由科目から他箇所聴講科目、または他箇所聴講科目から自由科目への区分変更が可能です。ただし、自由科目から他箇所聴講科目に区分を変更した結果、登録制限単位数オーバーになる場合は変更できません。

① 科目区分変更期間

【春学期】春学期3次登録期間 4月18日(木)9:00～19日(金)16:59

【秋学期】秋学期3次登録期間 10月10日(木)9:00～11日(金)16:59

※他箇所設置科目に限ります。人間科学部設置科目の科目区分へ変更することは出来ません。

※各学期の1～2次登録で決定した科目に限ります。過去の学期・学期に取得した科目の区分は変更できません。

例えば、春学期で決定した科目を秋学期の登録期間中において、区分変更することはできません。

※「超過履修」で決定した科目を「算入」に戻すことはできません。

② 区分変更の方法(Web操作方法)

1 変更画面への移行

「発表後算入変更」ボタンを押してください。

発表後算入変更

2 科目区分の変更

変更可能な科目の一覧が表示されます

- ① 変更したい科目のチェックボックスにチェックを入れて
- ② 希望する科目区分を選択して
- ③ [変更]ボタンを押してください。

変更ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。

3. 履修上のルールと注意

3.3 登録の原則

登録にあたっては、入学時に配付された学部要項に記載されている「単位履修基準表」を確認してください。この基準表は、各学年に比較的均等に学習能力が活用できるよう、一定の配慮の元に決められています。この基準表を参考に、記載された単位数を満たすよう科目を選択してください。

科目登録では、以下のようなルールがあります。

- 1 年間および半期の登録制限があります。(「3.4 登録制限単位数」参照)
- 2 一つの科目について、単位修得は1回限り可能です。
- 3 同じ学期の同じ曜日時限に2つ以上の科目を登録することはできません。
- 4 複数のキャンパスで授業がある場合、規定の移動時間を空ける必要があります。(次ページ参照)
- 5 特定の科目区分(系列)には登録制限単位数が設定されています。(「2.1 卒業必要単位数表」参照)
- 6 特定の科目には、登録するための前提条件があります。

3.4 登録制限単位数

登録できる単位数の上限(以下、「登録制限単位数」と呼びます)が決められています。自由科目を除き、登録制限単位数を超えて登録することはできません。

登録制限単位数には自動登録科目の単位数も含まれますので注意してください。

年間の登録制限単位数	41単位
半期の登録制限単位数	24単位

登録したが単位を修得できなかった場合も、登録制限単位数としてカウントされますので注意してください。

例)春学期に24単位登録し、14単位修得した。この場合、秋学期の登録可能単位数は17単位です(年間41単位－春学期24単位＝秋学期17単位)。秋学期に27単位(41単位－14単位)を登録できるわけではありません。

■年間を通してバランスよく学習するため、春学期、秋学期それぞれの科目にも登録制限単位数が設定されています。配当時期による半期の登録制限の扱いは以下のとおりです。特に通年科目の取り扱いに注意してください。

春学期として扱われる配当時期	春学期、春クォーター、夏クォーター、 通年 、夏季集中、夏季シーズン等
秋学期として扱われる配当時期	秋学期、秋クォーター、冬クォーター、 冬期集中、春期集中、冬期シーズン等

※卒業研究(4単位)は秋学期配当科目となります。

卒業単位に算入される単位数は、「2.1 卒業必要単位数表」に記載されています。ただしグローバルエデュケーションセンター設置の保健体育科目については、算入上限を越えた単位数は登録制限単位(登録制限の対象となる単位)には含まれますが、卒業単位には算入されません(「2.2 卒業算入単位を修得できる科目」参照)。

【3年卒業制度適用者について】

3年卒業制度適用者は、以下のように2年次、3年次の登録制限単位数が引き上げられます。

- ・年間 49 単位 半期 26 単位

【オンライン授業科目の算入上限について(2022 年度以降の科目が対象)】

2022 年度より、各授業科目について、対面授業科目扱いかオンライン授業科目扱いかを明確に区分したうえで、**オンライン授業科目の卒業算入単位数が上限 60 単位に制限されます。**卒業可否に影響を与える可能性があることから、科目履修にあたってはシラバスシステムに記載されている「授業方法区分」をよく確認のうえ、自身の履修計画がオンライン授業に偏らないよう、十分に注意してください。

シラバスシステムに掲載される授業方法区分

オンライン授業 60 単位制限算入	授業方法区分名称	備 考
対象外	【対面】	全時限対面として実施(ハイフレックス型を含む)
対象外	【対面】ハイブリッド(対面回数半数以上)	対面とオンラインの併用(対面の割合が半数以上)
対象	【オンライン】ハイブリッド(対面回数半数未満)	対面とオンラインの併用(対面の割合が半数未満)
対象	【オンライン】フルオンデマンド	全時限フルオンデマンドとして実施
対象	【オンライン】リアルタイム配信	全時限をオンラインで行う授業において一部または全時限をリアルタイム配信として実施

※2020 年度および 2021 年度に新型コロナウイルス感染症の影響により対面からオンラインに切り替わった授業科目については、特例としてこの 60 単位制限の対象となりません。

3.5 登録エラー

登録処理では、**まず登録チェックを行ってエラー科目を除外し、次にエラーのなかった登録希望科目を対象に抽選を行います。**エラー科目の除外は自箇所設置科目を中心にエラーが解消されるまで無作為に行います。

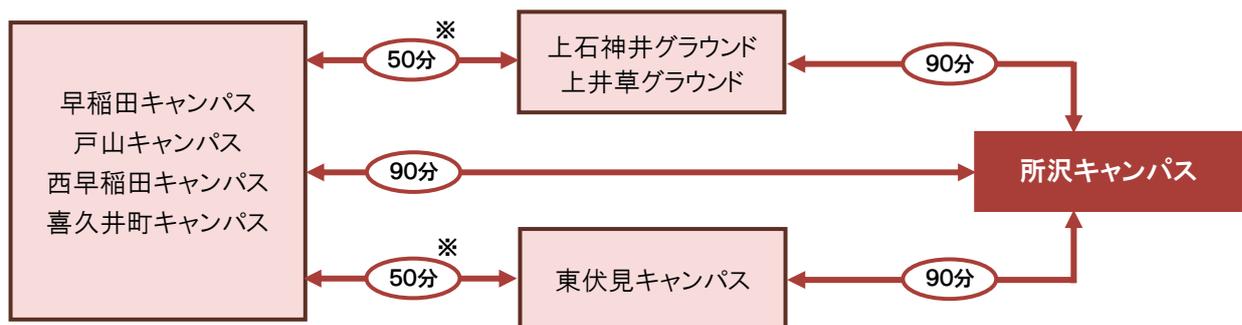
1)既登録エラー	既に登録した科目を再度申請した。
2)配当年次エラー	配当年次の条件を満たしていない科目を申請した。
3)既得エラー※	既に単位を修得した科目を申請した。
4)前提条件エラー	その科目を登録するための前提条件を満たしていないのに申請した。
5)並行履修エラー	一つの科目につき複数のクラスを登録申請した。
6)曜日・時限重複エラー	曜日・時限が重複する科目を登録申請した。
7)系列別登録制限単位数 オーバーエラー	その系列の登録制限単位数を超えて申請した。※「専門科目Ⅰ(実験調査研究法)」の科目登録する際は、特に注意
8)登録制限単位数 オーバーエラー	年間または半期の登録制限単位数を超えて申請した。
9)遠距離エラー	キャンパス間移動に必要な時間を空けずに申請した。〈※1〉

※科目の名称変更があった場合、名称変更後の既得済科目は登録できません。

※人間科学部設置科目で、2科目を1科目へ統合した上で、名称変更をした場合、変更前の一方の科目単位だけを修得済でも、名称変更後科目は登録できません。

※集中講義の科目同士で、日程が重複していないか、十分確認してください。

〈※1〉キャンパス間移動に必要な時間を空けずに科目を登録しようとすると、**遠距離エラー**となり登録申請無効の科目が発生します。各キャンパス間の移動のため、下記の時間を確保する必要があります。**全学的な決定事項のため、自動車やバイク等を利用した個人的な移動可能性による特例は認められません。**



〈不可の例〉 2時限に所沢、3時限に東伏見開講の科目を申請

→ 登録不可(遠距離エラー)移動に90分必要なところ、昼休み50分しか空いていないため

〈可の例〉 ※2限に早稲田・戸山・西早稲田・喜久井町、3限に東伏見(上石神井)開講の科目を申請する場合
→ 登録可

3.6 抽選

登録チェック終了後、希望者が定員を上回った科目は機械的に抽選を行います。**数字が小さい順に優先的に決定されます。**

なお、選外を避けるために登録制限単位数を超えて登録しても、登録チェックが先に実施されるため、まずは登録制限単位数を超えた分の科目が無作為で取り消され、それから抽選が実施されます。よってこういった登録で有利になることはありませんので、注意してください。

科目区分、学部設置科目、学科配当科目ごとの優先順位は下記のとおりです。

優先順位	人間科学教養科目	専門科目Ⅰ (実験調査研究法)	専門科目Ⅱ-A (基盤科目)	学部設置科目
1	2年生	2年生	1年生	4年生以上
2	1年生	4年生以上	2年生	3年生
3	4年生以上	3年生	3年生	2年生
4	3年生	1年生	4年生以上	1年生

なお、学部設置科目となるのは以下の科目群となります。

科目群
人間科学基礎科目、リテラシー科目、別表指定の専門Ⅱ-B(発展科目)、 専門Ⅲ(大学院合併科目)

※学部設置の専門Ⅱ-B(発展科目)

環境化学,大気環境計測論,環境微生物学,動物生態学,水域環境変遷学,基礎生態学,ヒトと水界生態系,ヒトと陸上生態系,里山保全論,熱帯林保全論,植物生理生態学,生物環境物理学,現代家族論,地域資源論,環境経済学,現代社会理論,階級・階層論,国際社会学,経済人類学,社会調査論,アメリカ地域研究,Topics in Migration Studies,環境人類学,歴史人類学,環境民俗学,現代芸術論,ヨーロッパ地域研究,日本民俗学,環境史,芸術・技術の哲学,環境動機づけ論,文化心理学,身体・環境論,環境行動学,建築人間工学,行動の発達科学,防災安全論,インテリア環境論,建築環境心理学,社会・集団・家族心理学,ブレインサイエンス,予防医療の科学的意義,健康教育の理論と実践,エイジングサイエンス,生体環境の生理学,フードアンドライフサイエンス,薬理学,免疫学,発生学,栄養科学,ライフサイエンス入門 A(遺伝子と物質),ライフサイエンス入門 B(生体システム),システムニューロサイエンス,救急医学,リハビリテーションと身体科学,死生学と医療,生活習慣病の人間科学,医療人類学,産業医学,労働安全衛生法Ⅰ,労働安全衛生法Ⅱ,児童青年期の精神医学,子どもと女性の医学,東洋医学の人間科学(井深大基金講座),生命の哲学と倫理,環境医科学,神経科学,国際保健医療協力論,健康福祉産業論,生活支援工学,神経科学研究法,高齢者・超高齢社会の医学,情報技術とバリアフリー,保健福祉制度,福祉サービスの組織と経営,健康福祉指導法,健康福祉マネジメント論,ソーシャルワーク論Ⅲ,ソーシャルワーク論Ⅳ,権利擁護を支える法制度,行動分析学,行動医学,認知行動療法,産業・組織心理学,心理学的支援法,神経・生理心理学,健康・医療心理学,司法・犯罪心理学,障害者・障害児心理学,精神疾患とその治療,知覚・認知心理学,日常記憶心理学,加齢人間工学,産業人間工学,言語情報科学,パフォーマンス認知科学,身体運動解析力学,人工知能論,生態心理学,劇場認知科学,感覚情報工学,色彩情報論,情報コミュニケーション科学,学習環境デザイン,ヒューマンコンピュータインタラクション,生涯学習と成人教育学,情報メディア教育論,心理教育学,教育データ解析論,教育イノベーション論,協調学習と学習科学,インターネットサービス,教師学,International Education and Communication,身体コミュニケーション概論,プログラミングⅠ(Python 言語),情報数理学,福祉心理学
--

学科配当科目

学科設置科目は、自学科優先となり、自学科同士では上位学年が優先されます。

学科目配当		
優先順位		学年
自学科	他学科	
1	5	4年生以上
2	6	3年生
3	7	2年生
4	8	1年生

各学科配当科目となるのは、「資格取得等に関わる」以下の科目となります。

人間環境科学科	基礎地理学,基礎地形学,基礎気候学,世界地誌学,家族社会学,労働社会学,社会開発論,人口社会学,都市社会学,環境社会学,人文地理学 A,人文地理学 B,史学方法論,アジア地域研究,ドイツ近現代史,日本史 A,日本史 B,中国史,オリエント史,地中海史,ヨーロッパ中世史,発達心理学
健康福祉科学科	医療福祉機器創出論,社会福祉援助技術総論Ⅰ,社会福祉援助技術総論Ⅱ,社会保障論Ⅰ,社会保障論Ⅱ,地域福祉論Ⅰ,地域福祉論Ⅱ,子どもの健康福祉学,子ども家庭福祉論,障害者福祉論,貧困に対する支援,介護学概論,ソーシャルワーク論Ⅰ,ソーシャルワーク論Ⅱ
人間情報科学科	非言語行動論,マルチメディア,情報社会におけるキャリアデザイン,情報システム入門,インタラクショナルデザイン,遠隔学習支援論,Intercultural Communication,情報社会及び情報倫理,教えることの科学(教育・学校心理学),教育のアセスメント理論,英語学,応用言語学入門,英語圏文化概論,Introduction to Sociolinguistics,コンピュータハードウェア,アルゴリズムとデータ構造,プログラミングⅠ(Java 言語),プログラミングⅠ(Perl 言語),プログラミングⅡ(Java 言語),プログラミングⅡ(C 言語),プログラミングⅡ(モバイルプログラミング),プログラミングⅡ(Python 言語),ウェブ検索,ウェブデザイン入門,メディアコンテンツデザイン,情報通信ネットワーク

以下の科目は学科配当科目と同じ優先順位となります。

人間情報科学科	英文学講読、米文学講読、米文学史
---------	------------------

3.7 昨年度の抽選科目

昨年度の科目登録(1次登録)において抽選が行われた科目のうち、選外者が10名を超えた科目と選外率(※)が10%を超えた科目は下表の通りです。担当教員・講義内容・曜日時限・開講キャンパスなどの変更により、今年度は状況が変わることも考えられますが、登録の際の参考としてください。

※選外率…科目ごとの申請者数のうち抽選によって選外となった方の割合

※2年次選択必修の英語科目は、第1希望分のみで算出

【1次登録において選外者数が10名を超えた科目】

科目名/クラス名	選外者数	科目名/クラス名	選外者数
パフォーマンス認知科学	452	行動臨床科学研究法(心理学実験)01	35
産業医学	293	Academic Reading 上級 03	34
心理教育学	278	森林科学野外実習	34
解剖学	171	Academic Listening 上級 02	30
知覚・認知心理学	140	社会調査法 01	29
Academic Reading 中級 01	139	Academic Listening 中級 02	28
非言語行動論	125	心理学実験 C 02	27
情報学	103	アンケート調査法 02	25
臨床死生学	94	アンケート調査法 05	25
脳の間人科学	83	Oral Presentation 上級 01	23
Academic Reading 中級 03	65	Academic Reading 上級 02	22
Academic Reading 上級 01	64	ケースフォーミュレーション(心理的アセスメント) 02	18
グローバルゼーション論	63	情報科学研究法 04	18
Academic Listening 上級 01	53	健康福祉指導法	18
参与観察法 03	53	実験計画法	16
インタビュー調査法 02	51	Academic Reading 中級 07	16
対人関係性支援研究法 01	51	Academic Listening 中級 04	15
インタビュー調査法 04	45	参与観察法 04	15
心理学実験 C 01	44	Academic Reading 中級 06	14
Academic Reading 中級 02	41	ライフサイエンス研究法 A	14
Academic Listening 中級 01	41	心理学実験 D 01	14
Academic Listening 上級 03	39	Academic Writing 上級 01	13
文化人類学	36		

【1次登録で選外率が10%を超えた科目】

●選外率 60%以上

科目名/クラス名	科目名/クラス名
Academic Reading 中級 01	Academic Listening 上級 02
Academic Reading 上級 01	非言語行動論
Academic Reading 上級 03	森林科学野外実習
Academic Listening 上級 03	心理教育学
パフォーマンス認知科学	対人関係性支援研究法 01
Academic Listening 上級 01	Academic Listening 中級 01
Academic Reading 中級 03	参与観察法 03
Oral Presentation 上級 01	

●選外率 40%以上、60%未満

科目名/クラス名	科目名/クラス名
インタビュー調査法 02	Academic Listening 中級 02
Academic Reading 中級 02	解剖学
産業医学	心理学実験 C 02
心理学実験 C 01	社会調査法 01
インタビュー調査法 04	知覚・認知心理学
Academic Writing 上級 01	Oral Presentation 上級 02
行動臨床科学研究法(心理学実験)01	アンケート調査法 02
Academic Reading 上級 02	アンケート調査法 05

●選外率 20%以上、40%未満

科目名/クラス名	科目名/クラス名
ライフサイエンス研究法 A	参与観察法 04
健康福祉指導法	文化人類学
脳の間脳科学	臨床死生学
ケースフォーミュレーション(心理的アセスメント) 02	ライフサイエンス研究法 B
情報学	実験計画法
Academic Listening 中級 04	Academic Writing 中級 02
Academic Reading 中級 07	参与観察法 02
情報科学研究法 04	ケースフォーミュレーション(心理的アセスメント) 01
Academic Reading 中級 06	グローバルゼーション論
中国語コミュニケーション I 02	行動臨床科学研究法(心理学実験)03
心理学実験 D 01	思想文化研究法 02

3.8 登録結果通知

登録の締め切り後、登録チェック・抽選を行い、その結果を後日発表します。登録チェックや抽選の結果、申請した科目が無効になる場合もありますので、登録結果は必ず確認してください。例年、登録結果の確認を怠り、登録されていない科目へ出席し続けるというケースが見受けられますが、当然のことながら登録されていない科目の単位は修得できませんので十分注意してください。

登録結果通知では、科目名の後ろに以下の情報が記載されます。

1	開講学期
2	登録時期
3	科目区分
4	単位数
5	開講キャンパス名
6	教室
7	登録の結果(状態) 決定…登録が決定した科目 不可…登録エラーのため、登録されなかった科目 選外…抽選の結果、登録されなかった科目 無効…希望順位登録を行い、登録されなかった科目

それぞれの登録における結果発表は以下の方法にて行います。

① 登録結果確認メール

登録結果確認メールは登録結果発表日までにWasedaメールアドレス宛に送信されます。必ずメールボックスの空き容量を確認し、Wasedaメールアドレス宛のメールを受け取れる状態にしておいてください。なお、メールアドレスの登録処理が完了していない場合は送信されませんので、新入生は必ず登録処理を行っておいてください。

② Web 科目登録画面からの登録結果発表

登録結果発表日の所定の時間以降に Web 科目登録画面から登録結果を確認することができます。こちらも利用してください。

※登録単位数と登録算入単位数について

登録結果通知に記載されている「登録算入単位数」というのは登録制限単位数に算入される単位数の合計です。したがって、教育学部の資格関連科目など自由科目扱いの科目は「登録算入単位数」には含まれませんが、「登録単位数」には含まれます。また、グローバルエデュケーションセンターの保健体育科目については、在学中の総修得単位数で4単位を超えた分は「登録算入単位数」には含まれますが卒業単位には算入されませんので注意してください。

(「2.12 他箇所設置科目」参照)

3.9 聴講料(実験実習料)の納入

1. 聴講料・実験実習料の納入が必要な科目について

履修にあたり、聴講料・実験実習料が必要な科目については、所定の期間内に納入をする必要があります。

聴講料・実験実習料納入が必要な科目は、科目登録結果メールや科目登録メニュー画面に「¥」マークが表示されます。

2. 納入期間について

登録学期	納入対象科目	納入期間
春学期登録	1次登録で決定となった Tutorial English ※1年次に英語必修科目として自動登録された Tutorial English は納入不要です。	4月9日(火) ～4月15日(月)23:59
	上記以外の0次～3次登録決定科目	4月25日(木) ～5月1日(水)23:59
秋学期登録	1次登録で決定となった Tutorial English ※1年次に英語必修科目として自動登録された Tutorial English は納入不要です。	9月27日(金) ～10月1日(火)23:59
	上記以外の0次～3次登録決定科目	10月17日(木) ～10月23日(水)23:59

※上記期間外の納入は一切受け付けられません。

※1次登録で決定となった「Tutorial English」については、レッスングループ編成の都合上、その他の登録決定科目とは異なる期間に実験実習料を納入します。

3. 納入方法について

科目の登録が決定したら、以下の方法で納入を完了させてください。

①納入案内メールの確認

納入期間初日に、Waseda メールアドレス宛に**納入案内メール**が届きます。

メールには、納入にあたり必要な情報が記載されていますので、必ず確認をしてください。

<納入案内メール>

差出人: fee-payment@list.waseda.jp

件名:【重要】●●●●年度●学期登録 聴講料・実験実習料の納入について

本文:【**納入金額(合計)・納入期限・納入方法選択画面の URL・注意事項**】などが記載

※Wasedaメールの受信ボックス容量が一杯の場合、メールを受信することができません。事前に容量を確認するようにしてください。

②納入方法の選択・確定

納入方法は以下の3つから選択できます。

メール本文中の URL をクリックし、納入方法選択画面から納入方法を1つ選択してください。

一度確定した納入方法を変更することはできませんのでご注意ください。

納入方法	説明	備考・注意
コンビニエンスストア(受付番号)決済	納入方法選択画面より支払用番号を発行し、コンビニ店舗で納入する方法 【詳細ページ】 https://waseda.box.com/v/waseda-feepayment	・Web 上で納入先のコンビニを選択する必要あり(番号発行後のコンビニ変更不可)。 ・基本的にクレジットカードでの納入不可。 ・30万円を超える納入不可。
ペイジー決済	納入方法選択画面で支払用番号を発行し、各金融機関のインターネットバンキングまたはATMを利用して納入する方法 【詳細ページ(利用可能な金融機関など)】 http://www.pay-easy.jp/howto/index.html	・納入金額が10万円を超える場合、金融機関のATMは利用不可(インターネットバンキングは可)。 ・コンビニ設置のATMは不可。
クレジットカード決済	納入方法選択画面でクレジットカード情報を入力して納入する方法	・VISA・MasterCard のみ対応。その他のブランド不可。 ・分割・リボ払い不可。 ・決済不可の場合は、納入方法選択画面に戻る。

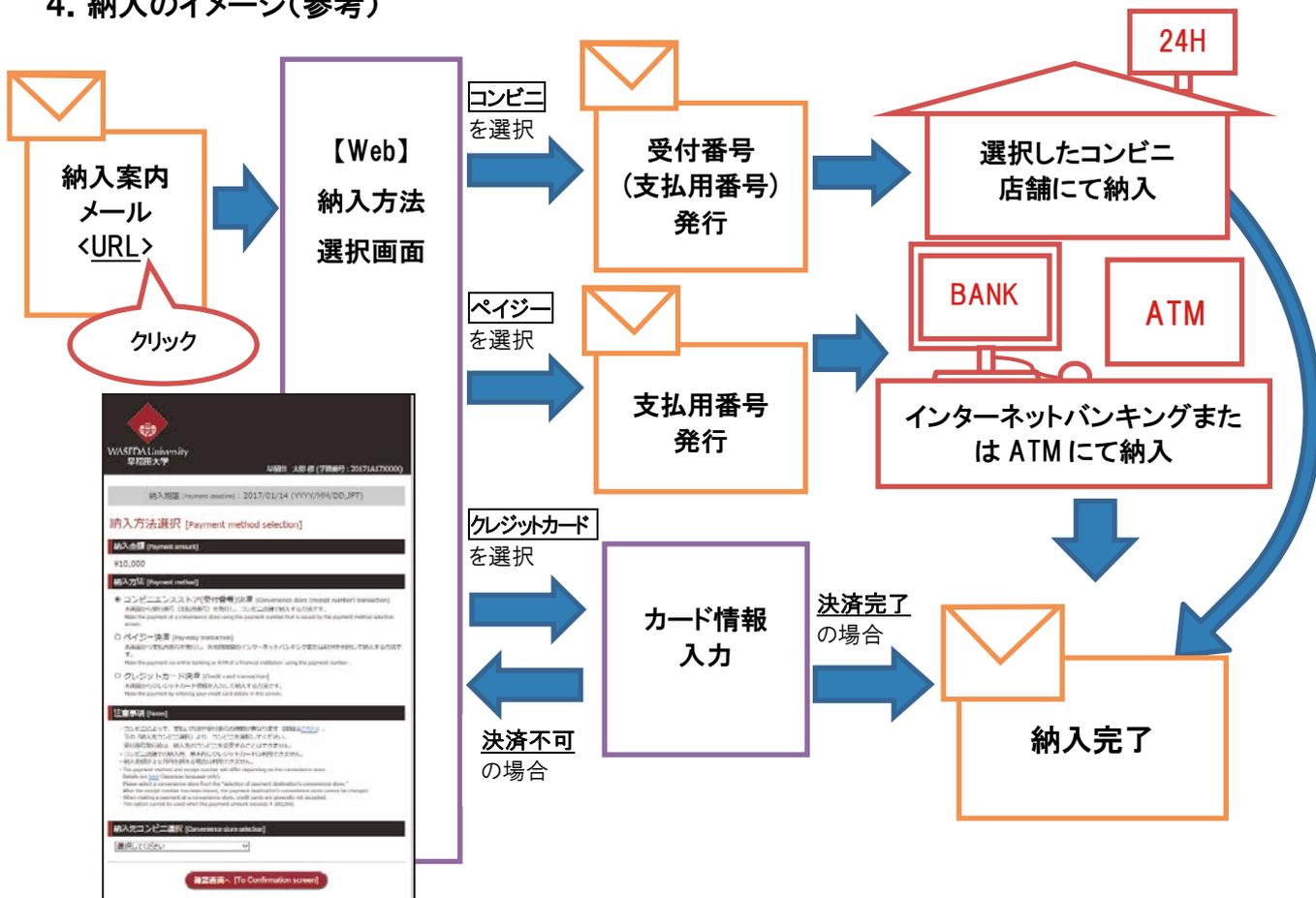
③納入手順の確認・納入完了

納入方法の確定後、Waseda メールアドレス宛に**納入手順案内メール**が届きます。

その手順にしたがって、期限までに納入を完了すると、**納入完了通知メール**が届きます。

※「クレジットカード決済」選択者は、②で納入方法が確定した時点で決済完了となり、納入完了通知メールが届きます（納入手順案内メールは届きません）。

4. 納入のイメージ(参考)



納入案内メール(案)※変更される可能性があります。

差出人: fee-payment@list.waseda.jp

件名:【重要】●●●●年度●学期登録 聴講料・実験実習料の納入について/[Important] Payment of audit/course enrollment fees for ● Course Registration in ●●●●

メール本文:

早稲田 太郎 様

あなたは、●●●●年度●学期登録にて、聴講料・実験実習料が必要な科目を申請し、登録決定となりました。以下の案内に沿って、【納入金額】に記載の金額を納入してください。

【学籍番号】 1JXXXXXX

【納入期限】 20**/**/**

【納入金額】 ¥10,000

【聴講料明細】

【納入方法】

「コンビニエンスストア(受付番号)決済」、「ページー決済」、「クレジットカード決済(VISA・MasterCard)」のいずれかから選択できます。

以下の URL をクリックし、各納入方法の案内にしたがって上記期限までに納入手続きを行ってください。

納入方法選択画面 URL : <https://●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●>

【注意事項】

【参考】

- ・コンビニエンスストア(受付番号)決済 利用方法: <https://waseda.box.com/v/waseda-feepayment>
- ・ペイジー決済 利用方法・利用可能な金融機関: <http://www.pay-easy.jp/howto/index.html>

【納入に関するお問い合わせ】

fee-payment@list.waseda.jp (早稲田大学 教育企画課)

※お問い合わせ対応時間: 月曜～金曜 9:00～17:00(土日除く)

※学籍番号、氏名、Waseda メールアドレスの記載のない問合せには返信できません。

以上

5. 実験実習料(聴講料)納入についての注意

- 期間外の納入はいかなる理由があっても認められません(期間間に納入を試みましたが、完了しなかった場合も含む)。未納の場合、決定科目の履修が認められないばかりか、その後の科目登録において抽選の順位が下がることがあります。
- 聴講料・実験実習料は納入案内メールに記載された合計金額をすべて納入してください。一部の科目の聴講料・実験実習料のみ納入することはできません。また、納入後の返金もできません。
- 納入方法の確定後は、別の方法に変更できません。
- クレジットカード決済を利用する際は、カードの利用限度額や有効期限に注意してください。
- 新入生で自動登録されている必修 Tutorial English には実験実習料(聴講料)は発生しません。

聴講料の支払いが発生する科目
<ul style="list-style-type: none"> ・教育学部教職課程設置科目のうち「教職に関する科目(必修・選択)」「教育の基礎的理解に関する科目等(必修・選択)」、「各教科の指導法(必修・選択)」※2015年以降入学者 ・グローバルエデュケーションセンター設置科目の一部 ・「博物館実習」 ・「博物館情報・メディア論」

注)下記の科目については一度納入すれば、¥マークが付いていてもそれ以上の聴講料は発生しません

(学部在学中有効)。

一度聴講料を納入すれば聴講料が在学中有効となる科目
<ul style="list-style-type: none"> ・教育学部教職課程設置科目のうち「教職に関する科目」※2014年度以前入学者のみ ・教育学部設置の図書館司書・学校図書館司書教諭関連科目(「生涯学習」を除く)

6. 教育学部教職課程聴講料

《2019年度以降入学者》

対象科目	聴講料	聴講料納入
教職課程設置科目 「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」および「各教科の指導法」(情報通信技術の活用を含む。)の必修および選択科目	1単位につき 1,000円	左記の区分の科目を登録する度毎に、登録単位数に応じた聴講料の納入が必要です。

※上記の科目については、教職支援センター発行「教職課程履修の手引き」をご参照ください。

《2015年度～2018年度入学者》

対象科目	聴講料	聴講料納入
教職課程設置科目 教職に関する科目(必修科目) 教職に関する科目(選択科目)	1単位につき 1,000円	「教職に関する科目(必修・選択)」を登録する度毎に、登録単位数に応じた聴講料の納入が必要です。

※教職に関する科目(必修・選択)については、教職支援センター発行「教職課程履修の手引き」をご参照ください。

《2014年度以前入学者》

対象科目	聴講料	聴講料納入
教職課程設置科目	10,000円	聴講料を1度納入すれば在学中有効。
教職に関する科目(必修科目)		
教職に関する科目(選択科目)		
教科又は教職に関する科目		

4. 科目の対照表・読み替え表

科目新設、廃止、科目区分変更、名称変更が多数存在します。以下に示す内容を必ず確認したうえで科目登録に臨んでください。

4.1 新設科目

科目区分名称	科目名付クラス名
データ(選択)	データテラシーⅢ(R) 01
データ(選択)	データテラシーⅢ(R) 02
データ(選択)	データテラシーⅢ(R) 03
データ(選択)	データテラシーⅢ(Python) 01
データ(選択)	データテラシーⅢ(Python) 02
データ(選択)	データテラシーⅢ(SPPS) 01
専門科目ⅡB(発展科目)	リハビリテーションと身体科学
専門科目ⅡB(発展科目)	死生学と医療
専門科目ⅡB(発展科目)	神経科学
専門科目ⅡB(発展科目)	協調学習と学習科学
専門科目ⅡB(発展科目)	International Education and Communication
専門科目Ⅲ(大学院合併科目)	Intercultural Study D
専門ゼミ	専門ゼミⅠ(物質文化研究)
専門ゼミ	専門ゼミⅠ(健康管理科学)
専門ゼミ	専門ゼミⅠ(国際教育コミュニケーション論)
専門ゼミ	専門ゼミⅠ(Sociolinguistics of Education and Communication)
専門ゼミ	専門ゼミⅠ(コラボレーションと学習科学)
専門ゼミ	専門ゼミⅡ(物質文化研究)
専門ゼミ	専門ゼミⅡ(健康管理科学)
専門ゼミ	専門ゼミⅡ(国際教育コミュニケーション論)
専門ゼミ	専門ゼミⅡ(Sociolinguistics of Education and Communication)
専門ゼミ	専門ゼミⅡ(コラボレーションと学習科学)

科目区分名称	科目名付クラス名
卒業研究ゼミ	卒業研究ゼミⅠ(物質文化研究)
卒業研究ゼミ	卒業研究ゼミⅠ(健康管理科学)
卒業研究ゼミ	卒業研究ゼミⅠ(国際教育コミュニケーション論)
卒業研究ゼミ	卒業研究ゼミⅠ(Sociolinguistics of Education and Communication)
卒業研究ゼミ	卒業研究ゼミⅠ(コラボレーションと学習科学)
卒業研究ゼミ	卒業研究ゼミⅡ(物質文化研究)
卒業研究ゼミ	卒業研究ゼミⅡ(健康管理科学)
卒業研究ゼミ	卒業研究ゼミⅡ(国際教育コミュニケーション論)
卒業研究ゼミ	卒業研究ゼミⅡ(Sociolinguistics of Education and Communication)
卒業研究ゼミ	卒業研究ゼミⅡ(コラボレーションと学習科学)
卒業研究	卒業研究(物質文化研究)
卒業研究	卒業研究(健康管理科学)
卒業研究	卒業研究(国際教育コミュニケーション論)
卒業研究	卒業研究(Sociolinguistics of Education and Communication)
卒業研究	卒業研究(コラボレーションと学習科学)

4.2 科目の廃止

科目区分名称	科目名付クラス名
データ(必修)	データテラシーⅢ03
データ(必修)	データテラシーⅢ04
データ(必修)	データテラシーⅢ05
データ(必修)	データテラシーⅢ06
データ(必修)	データテラシーⅢ07
データ(必修)	データテラシーⅢ08
データ(必修)	データテラシーⅢ09
データ(必修)	データテラシーⅢ10
データ(必修)	データテラシーⅢ11
データ(選択)	多変量解析 01
データ(選択)	多変量解析 02
人間科学教養科目 B	医学と医療の歴史
専門科目Ⅰ(実験調査研究法)	対人関係性支援研究法 02
専門科目ⅡB(発展科目)	臨床死生学
専門科目ⅡB(発展科目)	福祉行財政と福祉計画
専門科目ⅡB(発展科目)	メディアコミュニケーション学
専門科目ⅡB(発展科目)	Media Production Studies

科目区分名称	科目名付クラス名
専門ゼミ	専門ゼミⅠ(物質文化論)
専門ゼミ	専門ゼミⅠ(リハビリテーション医学)
専門ゼミ	専門ゼミⅠ(Educational Communication)
専門ゼミ	専門ゼミⅡ(物質文化論)
専門ゼミ	専門ゼミⅡ(リハビリテーション医学)
専門ゼミ	専門ゼミⅡ(Educational Communication)
卒業研究ゼミ	卒業研究ゼミⅠ(物質文化論)
卒業研究ゼミ	卒業研究ゼミⅠ(リハビリテーション医学)
卒業研究ゼミ	卒業研究ゼミⅠ(Educational Communication)
卒業研究ゼミ	卒業研究ゼミⅡ(物質文化論)
卒業研究ゼミ	卒業研究ゼミⅡ(リハビリテーション医学)
卒業研究ゼミ	卒業研究ゼミⅡ(Educational Communication)
卒業研究	卒業研究(物質文化論)
卒業研究	卒業研究(リハビリテーション医学)
卒業研究	卒業研究(Educational Communication)

4.3 科目区分の変更

科目名	変更前	変更後	変更年度	備考
人体の構造と機能及び疾病	専門科目ⅡB(発展科目)	人間科学教養科目 A	2024	
政治学	専門科目ⅡB(発展科目)	人間科学教養科目 A	2024	
経済学	専門科目ⅡB(発展科目)	人間科学教養科目 E	2024	
法学	専門科目ⅡB(発展科目)	人間科学教養科目 G	2024	

科目名	変更前	変更後	変更年度	備考
福祉心理学	専門科目Ⅲ(大学院合併科目)	専門科目ⅡB(発展科目)	2020	
歴史学	専門科目ⅡB(発展科目)	専門科目ⅡA(基盤科目)	2017	
健康福祉工学	専門科目ⅡB(発展科目)	専門科目ⅡA(基盤科目)	2017	旧科目名「健康福祉計測工学」
世界地誌学	専門科目ⅡA(基盤科目)	専門科目ⅡB(発展科目)	2017	
実用医療福祉デバイス創出論	専門科目ⅡA(基盤科目)	専門科目ⅡB(発展科目)	2017	旧科目名「医療福祉工学」
メディアコミュニケーション学	専門科目ⅡA(基盤科目)	専門科目ⅡB(発展科目)	2017	
福祉サービスの組織と経営	自由科目	専門科目ⅡB(発展科目)	2016	
権利擁護と成年後見制度	自由科目	専門科目ⅡB(発展科目)	2016	
基礎地理学	専門科目Ⅰ(実験調査研究法)	専門科目ⅡB(発展科目)	2015	旧科目名「地理学基礎学習」

※「福祉心理学」は、専門科目Ⅲ(大学院合併科目)から専門科目ⅡB(発展科目)へ科目区分が変更となります。2019年度以前に専門科目Ⅲ(大学院合併科目)「福祉心理学」を合格した学生は、専門科目ⅡB(発展科目)「福祉心理学」は履修できません。

4.4 科目名称の変更

変更前の科目名	変更後の科目名	変更年度
対人関係性支援研究法 01	対人関係性支援研究法	2024
発生・発達学	発生学	2024
行動神経科学及び実習	神経科学研究法	2024
専門ゼミⅠ(福祉工学)	専門ゼミⅠ(ハプティックインタフェース)	2024
専門ゼミⅡ(福祉工学)	専門ゼミⅡ(ハプティックインタフェース)	2024
卒業研究ゼミⅠ(福祉工学)	卒業研究ゼミⅠ(ハプティックインタフェース)	2024
卒業研究ゼミⅡ(福祉工学)	卒業研究ゼミⅡ(ハプティックインタフェース)	2024
卒業研究(福祉工学)	卒業研究(ハプティックインタフェース)	2024
農業気象学	生物環境物理学	2023
生活人間工学	安全人間工学	2023
専門ゼミⅠ(生体計測学)	専門ゼミⅠ(健康支援医工学)	2023
専門ゼミⅠ(生活人間工学)	専門ゼミⅠ(安全人間工学)	2023
専門ゼミⅡ(生体計測学)	専門ゼミⅡ(健康支援医工学)	2023
専門ゼミⅡ(生活人間工学)	専門ゼミⅡ(安全人間工学)	2023
卒業研究ゼミⅠ(生体計測学)	卒業研究ゼミⅠ(健康支援医工学)	2023
卒業研究ゼミⅠ(生活人間工学)	卒業研究ゼミⅠ(安全人間工学)	2023
卒業研究ゼミⅡ(生体計測学)	卒業研究ゼミⅡ(健康支援医工学)	2023
卒業研究ゼミⅡ(生活人間工学)	卒業研究ゼミⅡ(安全人間工学)	2023
卒業研究(生体計測学)	卒業研究(健康支援医工学)	2023
卒業研究(生活人間工学)	卒業研究(安全人間工学)	2023
教えることの科学	教えることの科学(教育・学校心理学)	2022
精神疾患とその治療 01	精神疾患とその治療	2021
公的扶助論	貧困に対する支援	2021
権利擁護と成年後見制度	権利擁護を支える法制度	2021
実用医療福祉デバイス創出論	医療福祉機器創出論	2021
専門ゼミⅠ(予防医科学・生物学的精神医学)	専門ゼミⅠ(環境脳科学)	2021
専門ゼミⅡ(予防医科学・生物学的精神医学)	専門ゼミⅡ(環境脳科学)	2021
卒業研究ゼミⅠ(予防医科学・生物学的精神医学)	卒業研究ゼミⅠ(環境脳科学)	2021
卒業研究ゼミⅡ(予防医科学・生物学的精神医学)	卒業研究ゼミⅡ(環境脳科学)	2021
卒業研究(予防医科学・生物学的精神医学)	卒業研究(環境脳科学)	2021
専門ゼミⅠ(細胞制御学)	専門ゼミⅠ(食品生命科学)	2020
専門ゼミⅡ(細胞制御学)	専門ゼミⅡ(食品生命科学)	2020
卒業研究ゼミⅠ(細胞制御学)	卒業研究ゼミⅠ(食品生命科学)	2020
卒業研究ゼミⅡ(細胞制御学)	卒業研究ゼミⅡ(食品生命科学)	2020
セルレギュレーションサイエンス	フードアンドライフサイエンス	2019
心理発達検査法	心理発達検査法(心理的アセスメント)	2018
ケースフォーミュレーション	ケースフォーミュレーション(心理的アセスメント)	2018
行動臨床科学研究法	行動臨床科学研究法(心理学実験)	2018
臨床心理学	臨床心理学概論	2018
行動心理学	学習・言語心理学	2018
医療・産業カウンセリング	産業・組織心理学	2018
統合心理療法	心理学的支援法	2018
健康心理学	健康・医療心理学	2018
犯罪心理学	司法・犯罪心理学	2018
実験心理学研究法	実験心理学研究法(心理学実験)	2018
心理行動学研究法	心理行動学研究法(心理学実験)	2018
社会心理学	社会・集団・家族心理学	2018

変更前の科目名	変更後の科目名	変更年度
認知心理学	知覚・認知心理学	2018
教育心理学の基礎	教育・学校心理学	2018
井深大基金寄附講座 東洋医学の人間科学	東洋医学の人間科学(井深大基金講座)	2018
疫学調査研究法	疫学・保健福祉情報分析法	2017
社会福祉演習Ⅰ(社会福祉士)	社会福祉演習Ⅰ	2017
社会福祉演習Ⅱ(社会福祉士)	社会福祉演習Ⅱ	2017
社会医学	社会予防医学	2017
生態人類学	環境人類学	2017
分子神経科学	ブレインサイエンス	2017
健康科学概論	健康の科学と実践	2017
寿命・老化の医科学	エイジングサイエンス	2017
環境生理学	生体環境の生理学	2017
労働安全衛生法	労働安全衛生法Ⅰ	2017
労働法規	労働安全衛生法Ⅱ	2017
青年期の医学概論	児童青年期の精神医学	2017
子どもと女性の医学概論	子どもと女性の医学	2017
臨床バイオエシックス	生命の哲学と倫理	2017
予防医学	環境医科学	2017
ヒューマン・コンピュータ・インタラクション	ヒューマンコンピュータインタラクション	2017
データベース	情報システム入門	2017
プログラミング入門(Java 言語) 01	プログラミングⅠ(Java 言語)01	2017
プログラミング入門(Java 言語) 02	プログラミングⅠ(Java 言語)02	2017
プログラミング入門(Java 言語) 03	プログラミングⅠ(Java 言語)03	2017
プログラミング入門(Java 言語) 04	プログラミングⅠ(Java 言語)04	2017
プログラミング入門(Perl 言語)	プログラミングⅠ(Perl 言語)	2017
プログラミング上級(Java 言語)	プログラミングⅡ(Java 言語)	2017
プログラミング上級(C 言語)	プログラミングⅡ(C 言語)	2017
プログラミング上級(モバイルプログラミング)	プログラミングⅡ(モバイルプログラミング)	2017
プログラミング上級(Python 言語)	プログラミングⅡ(Python 言語)	2017
ウェブデザイン上級	メディアコンテンツデザイン	2017
専門ゼミⅠ(地球生態系科学)	専門ゼミⅠ(地球環境システム論)	2017
専門ゼミⅡ(地球生態系科学)	専門ゼミⅡ(地球環境システム論)	2017
卒業研究ゼミⅠ(地球生態系科学)	卒業研究ゼミⅠ(地球環境システム論)	2017
卒業研究ゼミⅡ(地球生態系科学)	卒業研究ゼミⅡ(地球環境システム論)	2017
卒業研究(地球生態系科学)	卒業研究(地球環境システム論)	2017
インターネットサーバ	インターネットサービス	2016
実験心理学研究法(心理行動学研究法)	心理行動学研究法	2015
東洋医学の人間科学(井深大基金 寄附講座)	井深大基金寄附講座 東洋医学の人間科学	2015
専門ゼミⅠ(基礎老化学)	専門ゼミⅠ(アンチエイジング医科学)	2015
専門ゼミⅠ(認知心理学)	専門ゼミⅠ(身体性認知科学)	2015
専門ゼミⅡ(基礎老化学)	専門ゼミⅡ(アンチエイジング医科学)	2015
専門ゼミⅡ(認知心理学)	専門ゼミⅡ(身体性認知科学)	2015
卒業研究ゼミⅠ(基礎老化学)	卒業研究ゼミⅠ(アンチエイジング医科学)	2015
卒業研究ゼミⅠ(認知心理学)	卒業研究ゼミⅠ(身体性認知科学)	2015
卒業研究ゼミⅡ(基礎老化学)	卒業研究ゼミⅡ(アンチエイジング医科学)	2015
卒業研究ゼミⅡ(認知心理学)	卒業研究ゼミⅡ(身体性認知科学)	2015
卒業研究(基礎老化学)	卒業研究(アンチエイジング医科学)	2015
卒業研究(認知心理学)	卒業研究(身体性認知科学)	2015
学習心理学	行動心理学	2014
対人環境の心理学	社会心理学	2014
専門ゼミⅠ(日本文化研究)	専門ゼミⅠ(物質文化論)	2014
専門ゼミⅠ(地域社会・地域文化研究)	専門ゼミⅠ(都市人類学)	2014
専門ゼミⅡ(日本文化研究)	専門ゼミⅡ(物質文化論)	2014
専門ゼミⅡ(地域社会・地域文化研究)	専門ゼミⅡ(都市人類学)	2014
卒業研究ゼミⅠ(日本文化研究)	卒業研究ゼミⅠ(物質文化論)	2014
卒業研究ゼミⅠ(地域社会・地域文化研究)	卒業研究ゼミⅠ(都市人類学)	2014
卒業研究ゼミⅡ(日本文化研究)	卒業研究ゼミⅡ(物質文化論)	2014
卒業研究ゼミⅡ(地域社会・地域文化研究)	卒業研究ゼミⅡ(都市人類学)	2014

※変更前の科目名で既得済みの場合は、履修不可。

4.5 合併科目

以下の科目は、大学院人間科学研究科との合併科目になります。

人間科学部での科目名		人間科学研究科での科目名	
科目区分	科目名	科目区分	科目名
専門科目Ⅲ(大学院合併科目)	エコインフォマティクス	専門科目B群	アグリインフォマティクス特論
専門科目Ⅲ(大学院合併科目)	地球生態学	専門科目B群	地球生態学特論
専門科目Ⅲ(大学院合併科目)	場の形成からみた環境デザイン評価論	プロジェクト科目	場の形成からみた欧州における環境デザイン評価研究
専門科目Ⅲ(大学院合併科目)	環境脳科学	専門科目B群	環境脳科学特論
専門科目Ⅲ(大学院合併科目)	化学物質影響科学	プロジェクト科目	化学物質影響科学特論
専門科目Ⅲ(大学院合併科目)	安全人間工学	専門科目A群	安全人間工学特論
専門科目Ⅲ(大学院合併科目)	Intercultural Study A	プロジェクト科目	Global Study A
専門科目Ⅲ(大学院合併科目)	Intercultural Study B	プロジェクト科目	Global Study B
専門科目Ⅲ(大学院合併科目)	Intercultural Study C	プロジェクト科目	Global Study C
専門科目Ⅲ(大学院合併科目)	Intercultural Study D	プロジェクト科目	Global Study D

- ・人間科学研究科と合同で授業を実施します。
- ・各科目には、登録するために単位修得しておかなければならない科目(前提科目)や条件があり、これを満たしていない場合、登録エラーとなります。詳細は、各科目のWebシラバスを確認してください。
Webシラバス:<https://www.wsl.waseda.jp/syllabus/JAA101.php>
- ・人間科学部で単位を修得した後、大学院人間科学研究科に入学して、改めて履修することができます。また、それらを修士課程修了要件に算入することができます。
- ・上記は変更になる可能性があります。

4.6 科目の読み替え表

2013年度以降に履修した場合、履修ができない科目の一覧を以下に示します。

2023年度以前 配当		2024年度以降 配当	
科目区分	科目名	科目区分	科目名
データ(選択)	多変量解析 02	データ(選択)	データリテラシーⅢ(R) 02
データ(選択)	多変量解析 01	データ(選択)	データリテラシーⅢ(SPSS)

2019年度以前 配当		2020年度以降 配当	
科目区分	科目名	科目区分	科目名
専門科目Ⅲ(大学院合併科目)	福祉心理学	専門科目ⅡB(発展科目)	福祉心理学

2017年度以前 配当		2018年度以降 配当	
科目区分	科目名	科目区分	科目名
人間科学基礎科目(必修)	基礎ゼミ	人間科学基礎科目(必修)	基礎ゼミⅠ
		人間科学基礎科目(必修)	基礎ゼミⅡ
人間科学基礎科目(選択)	人間科学のための線形代数・解析	人間科学基礎科目(選択)	人間科学のための微分積分
		人間科学基礎科目(選択)	人間科学のための線形代数
人間科学基礎科目(選択)	人間科学のための力学・電磁気学	人間科学基礎科目(選択)	人間科学のための力学
		人間科学基礎科目(選択)	人間科学のための電磁気学
専門科目ⅡB(発展科目)	Intercultural Study	専門科目Ⅲ(大学院合併科目)	Intercultural Study
専門科目ⅡB(発展科目)	福祉の視点から見た環境デザイン	専門科目Ⅲ(大学院合併科目)	福祉の視点から見た環境デザイン

5. 成績と卒業見込

5.1 成績の判定

成績は試験および受講状況等により総合的に到達度を判定します。相対評価は行っていません。出席不良の場合(個々の科目につき出席が総授業時間数の3分の2に満たない場合)は、試験の成績の如何にかかわらず不合格となります。なお、3分の2以上の出席で合格が保証されるわけではないことに注意してください。

5.2 成績の表記

成績は各科目の点数に応じて、A⁺、A、B、C、Fで表記します。また、学修の成果を評価して単位を授与することが適当と認められる科目については、Pを合格とし、Qを不合格とします。本学部における点数とアルファベットとの対応は下表のとおりです。※他箇所設置科目の成績は、特に不合格評価の表示方法の点で異なることがあります。

合 否 点 数	合 格					不 合 格	
	100~90	89~80	79~70	69~60	—	59以下	—
成績証明書の表記	A ⁺	A	B	C	P	非表示	非表示
成績照会画面の表記 (成績通知書の表記)	A ⁺	A	B	C	P	F	Q

「成績照会画面」の単位修得状況の照会における「所定」「既得」「算入」はそれぞれ以下の単位数を表示しています。

所定: 卒業に必要な単位数(各科目系列ごとの必要な単位数)

既得: 自由科目等、卒業の判定に使われない科目を含んだ修得単位数合計

算入: 卒業のために必要となる単位の修得単位数合計

5.3 GPA 算出方法

科目の成績評価に対して Grade Point と呼ばれる換算値が決められています。それぞれの「科目の単位数」と「成績評価の換算値(Grade Point)」の積の総和を「総登録単位数」で割った、スコアがGPA(Grade Point Average)です。卒業算入対象科目として登録した科目(ただし、PおよびQによる評価科目を除く)が対象となります。自由科目は含まれません。

成 績	A ⁺	A	B	C	F
換 算 値	4	3	2	1	0
算出方法 (小数第3位は四捨五入し、 小数第2位まで表示)	$GPA = \frac{[\text{科目の単位数} \times \text{その科目に対応する換算値}] \text{の総和}}{\text{総登録単位数(不合格科目を含む)}}$				

5.4 成績評価の問い合わせ期間

成績が「F」等の場合につき、当該学期の成績に関する問い合わせを行うことができます。人間科学部科目の成績評価に関する問い合わせ期間は、以下の通りです。

春学期・秋学期の成績発表日より3日間

- ・問い合わせ方法に関する詳細は当該学期の成績発表日までに所沢総合事務センター連絡 Web ページ等にて周知します。
- ・期間外の問い合わせについては一切対応できません。必ず期間内にご自身の成績評価の確認を行ってください。
- ※他箇所設置科目については、科目設置箇所に確認してください。

5.5 卒業・教員免許状取得見込判定《4年生以上対象》

本学部では、学籍状態が在学もしくは留学であり、履修学年が4年以上の学生を対象に、春学期と秋学期の二度、科目区分ごとの残り単位数、合計の残り単位数、当該学期の履修状況等を確認し、卒業および教員免許状取得が見込まれるか「卒業見込判定」「教員免許状取得見込判定」を行っています。見込判定結果の確認方法や「卒業見込証明書」「教員免許状取得見込証明書」の発行についての詳細は、所沢総合事務センター連絡 Web ページ等にて周知します。

判定時期	見込となる条件	見込証明書 発行開始日※2
春学期 科目登録後※1	卒業見込 : 当該年度の卒業研究が登録されていること。または、すでに卒業研究の単位を修得していること。 教員免許状取得見込 : 卒業見込の条件を満たし、以下の科目を履修中または修得済み 「教育実習演習」および「教科教育法1」または「教科教育法2」	6月1日
秋学期 科目登録後	既得単位と合算して卒業・教員免許状取得要件を満たすように、当該年度の秋学期科目登録をしていること。	11月10日

※1 春学期科目登録後の判定では、各科目区分の卒業必要単位数を全て満たしているかどうかは判定していないため、**実際は卒業要件を満たしていない場合でも卒業見込となる場合があります**。就職活動に際し、一部就職先から春学期中に卒業・教員免許状取得見込証明書の提出が求められることがあります。これらの便宜を図るため、上記条件を満たす学生に対しては見込証明書を発行いたします。ただし、正式な見込判定結果ではありませんのでご注意ください。卒業要件を満たしているかどうかについては、必ず各自で確認してください。

※2 各学期には見込証明書の発行停止期間(卒業見込判定・教員免許状取得見込判定の処理時期)があります。発行停止期間の詳細については、後日、所沢総合事務センター連絡 Web ページ等でお知らせします。

5.6 延長生の夏季集中科目・他大学科目の登録に関すること《5年生以上対象》

延長生の方が夏季集中科目や他大学科目を登録する場合、制度上(例:試験、卒業判定、学費額計算等)の不利益が生じる場合があります。科目登録に際しては、可能な限り人間科学部設置科目で夏季休業前に終了する科目を履修することで卒業できるよう計画をたててください。

5.7 9月卒業について《5年生以上対象》

9月卒業となる条件や、スケジュール等に関する詳細は秋学期の成績発表日までに所沢総合事務センター連絡 Web ページ等にて周知します。

科目登録は、他の学生と同様に行ってください。卒業までの不足単位数を超える登録も行えます。前年度までに卒業研究が不合格となった場合は、再び卒業研究および卒業研究ゼミが自動登録されます。

なお、成績発表時期や再試験制度の相違から、可能な限り人間科学部設置科目で夏季休業前に終了する科目を履修することで卒業できるよう計画をたててください。夏季集中科目の成績発表は9月末頃を予定しています(詳細は後日、所沢総合事務センター連絡 Web ページ等で発表)。日程によっては、9月の卒業式までに卒業が確定しない場合があります。

9月卒業できなかった場合は3月卒業に切り替わります。秋学期科目登録期間に科目登録を行ってください(夏季集中科目の成績発表日は、秋学期科目登録期間には間に合わない場合があります)。

6. 試験・レポート

2023年度の試験について、新型コロナウイルス感染症の影響により従来と異なる運用となる場合があります。
最新の情報は所沢総合事務センター連絡 Web ページ>人間科学部生>試験 のページより確認してください。
http://www.waseda.jp/tokorozawa/kg/human-school/examination_h.html

6.1 到達度の確認

「到達度の確認」とは授業時間の中で担当教員の責任において、授業内で行われる試験です(その説明、解説等も含む)。試験の詳細については、授業担当教員の指示に従うようにしてください。

6.2 未済試験

下記に掲げる正当な理由により、「人間科学概論」・「各学科概論」・「データリテラシーⅡ」の「到達度の確認」を受験できなかった者は、以下の未済試験受付期間に手続きを行なうことで未済試験を受験することが出来ます。欠席した理由を客観的に証明できる書類を添付のうえ手続きを行なってください(受験の可否については学部の判断となります)。なお、その他の「到達度の確認」を行う科目の未済試験の受験可否については、原則、担当教員の判断となります。

未済試験の受験申請に際しては、試験の時間が他の科目の試験と重複する場合などを除いて、受験料として1科目につき1,000円を納入する必要があります。詳細については所沢総合事務センターへお問い合わせください。

春学期	未済試験受付	7月30日(火)、7月31日(水)
	未済試験期間	9月5日(木)、9月6日(金)
秋学期	未済試験受付	2月4日(火)、2月5日(水)
	未済試験期間	3月4日(火)、3月5日(水)

※未済試験の受験申請は所沢総合事務センター窓口(9時～17時)でのみ可能です。委任状による代理申請可。

※未済試験は、上記の未済試験期間内(両日または1日)に実施します。試験日の詳細については、後日、所沢総合事務センター連絡 Web ページ等にてお知らせします。

未済試験の対象となる理由

	理由	添付書類
①	病気	医師の診断書
②	事故	※欠席した試験当日の日付が記載されているもの
③	交通機関の遅延	公的証明書
④	二親等以内の冠婚葬祭	会葬礼状・案内状 等
⑤	試験の時間が他箇所の試験と重複する	科目設置事務所発行の「受験証明書」 ※受験料は発生しません
⑥	その他やむを得ない理由 ※事務センターに確認すること	公的証明書

6.3 再試験《4年生以上対象》

以下の条件を満たす卒業年次の学生※は救済措置として再試験の受験が認められます。詳細については所沢総合事務センター連絡 Web ページ等でお知らせしますが、**9月卒業対象者を除き、再試験は全て秋学期の成績発表以降の受験申請手続きおよび試験実施となります。**

春学期	再試験受付	8月30日(金)
	再試験期間	9月5日(水)、9月6日(木)
秋学期	再試験受付	2月26日(水)、2月27日(木) ※2月27日(木)の受付は9:00~10:00のみ
	再試験期間	3月4日(火)、3月5日(水)

※再試験の受験申請は所沢総合事務センター窓口(9時~17時)でのみ可能です。委任状による代理申請可。

※再試験は、上記の再試験期間内(両日または1日)に実施します。受験の手続き、試験日などの詳細については、後日、所沢総合事務センター連絡 Web ページ等にてお知らせします。

【2019年度以降入学者】

【再試験受験資格】

- 1 卒業見込みであること
- 2 社会福祉士および公認心理師の受験資格取得のために必要な科目であること
- 3 2の科目に関する再試験に合格することにより国家試験受験資格(学部)の要件を満たす
- 4 2の受験資格を取得するために不足している単位数が4単位以内であること
- 5 再試験を申請する科目が当該年度の登録科目でありその評価がFであること
- 6 再試験を申請する科目がゼミおよび演習、実習を伴う科目、卒業研究ではない
- 7 再試験受験申請期間に所定の受験料を納入の上、申請手続きをすること

○当該国家試験資格取得のために必要な最低単位数までの受験が可能です。

○他箇所設置科目については、再試験を受験することはできません。

○9月卒業希望者が春学期再試験で不合格となった科目は対象外です。

○上の条件に該当する場合でも、当該科目の受講態度が不良の場合は、再試験の結果は原則として不合格となります。受講態度が不良とは、学部要項に別途定めるとおり、個々の科目につき出席が総授業時間数の3分の2に満たない場合や課題の未提出がある場合などのことを指します。期末課題や到達度確認の未受験者も原則として再試験の受験を認めません。

【2018年度以前入学者】

【再試験受験資格①】

- 1 再試験合格により卒業見込となること
- 2 成績発表の段階で、**卒業までの不足単位が8単位以内**
- 3 再試験受験申請期間に所定の受験料を納入の上、申請手続きをすること

【再試験受験資格②】 ※社会福祉士 or 公認心理師資格取得希望者のみ

- 1 卒業見込である、または、再試験合格により卒業見込となること
- 2 成績発表の段階で、**社会福祉士、または、公認心理師の受験資格(学部)取得までの不足単位が4単位以内**
- 3 再試験合格により、国家試験受験資格(学部)の要件を満たすこと
- 4 再試験受験申請期間に所定の受験料を納入の上、申請手続きをすること

○社会福祉士および公認心理師の国家試験受験資格においては学部卒業後に未履修の科目を補填することができないことを考慮し、上記の条件に合致する場合は再試験の受験が認められます。

○再試験受験資格①・②の両方に該当する場合も、合計で8単位を超えて受験することはできません。

【受験可能科目】

・当該年度に登録し、評価がFであった科目

- ただし専門ゼミ、卒業研究、および情報処理など実習を伴う科目を除きます。
- 他箇所設置科目(グローバルエデュケーションセンター設置科目を含む)は全科目が再試験対象外です。
- 上記の受験可能科目のうち、**最低限必要な単位数までの受験が可能です。**
- 9月卒業希望者が春学期再試験で不合格となった科目は対象外です。

<例>

- ・不足単位は4単位だが、当該年度に不合格であった科目が2単位分しかない→対象外
- ・不足単位は2単位だが、念のため4単位分受験したい→2単位のみ申請可能

なお、上の条件に該当している場合でも、当該科目の出席が不良の場合は、当該科目の再試験受験資格を有しません。
出席が不良とは、学部要項に別途定める通り、個々の科目につき出席が総授業時間数の3分の2に満たない場合を指します。

試験における注意事項

1. カンニング等不正行為については、厳重にこれを処分する。
2. 試験教室では隣の人との間を1名分空けて着席すること。
3. 受験に際しては、必ず学生証を机の上に置くこと。
学生証不携帯による受験は一切認めない。学生証を紛失した場合は、事前に事務所窓口にて、再交付手続きを済ませておくこと(要写真)。なお、現在手続き中の者は、手続きの際に渡した「再交付願(控)」を試験当日に持参し、事務所で当日限り有効の「受験許可証」の交付を受けること。
4. 万一試験当日に学生証を忘れた者は、試験開始までに事務所で、当日限り有効の「受験許可証」の交付を受けること。ただし、受験許可証は原則として当該試験期間中に一度しか発行しない。
5. 学生証・筆記具・時計以外の所持品を机の上に置かないこと。携帯電話等を時計として使用することは一切認めない(持込可の場合、教科書等は可)。
6. 試験開始後20分以上遅刻した者は、原則、受験を許可しない。
7. 問題用紙、および、答案用紙はたとえ白紙でも、学籍番号・氏名を記入して提出しなければならない。問題、および、答案の持ち帰りは不正行為として処分するので十分注意すること。
8. 天候その他不測の事態により予定されていた試験が実施できなかった場合、学部歴に記載の試験期間に実施されるため、時間割等の情報に十分気をつけること。
9. 試験中は担当教員、または試験監督員の指示にしたがうこと。

授業や試験等における不正行為について

試験等における不正行為については、内規によって定められている。
詳細については、「8. 試験等における不正行為」を確認すること。

6.4 レポート

レポートの提出にあたっては、指定された提出場所が「所沢総合事務センター前・レポート BOX」である場合は、必ず所定の表紙(所沢総合事務センター配布)をつけ、提出期日の指定時間までに提出してください。

レポート、論文作成時の注意

レポートや論文を作成する際に、書物やウェブサイトの情報を参考にすることはよくあることです。しかし、参考にした情報の利用の仕方を誤ると「盗用・剽窃行為※」とみなされ、試験における不正行為と同様に学術院による処分の対象となる場合があります。

このようなことのないよう、以下の注意事項をよく理解してレポート、論文作成を行ってください。

※剽窃(ひょうせつ): 他人の文章・語句・説などをぬすんで使うこと(岩波国語辞典・第五版)。

◆「盗用・剽窃」とみなされる行為

書物、ウェブサイトなどの他人の文章、資料を、出典を明示せずにその全部または一部をレポート、論文に記載すること。

(出典を明示すれば「引用」としての利用となり、盗用・剽窃にはあたりません。下記「引用」としての利用方法をよく確認してください。)

<補足>

文章の文体や細部の表現を意図的に変更したり内容の要約を利用した場合も、盗用・剽窃行為とみなされます。なお、これらの不正行為が発覚した場合、登録科目無効を伴う停学処分をはじめとする厳格な処罰を適用します。

◆「引用」としての利用方法

自分の考えをレポート、論文で述べる上で、他人の文章や資料を利用する際は、その出典を明示することで「引用」「参照」とすることができます。その際の一般的ルールは以下のとおりです。

引用には著者が書いた原文通りに引用する直接引用と、間接引用がある。直接引用のうち、引用部分が短い場合には全体を「」でくくり、ページ数を明記する。引用部分が3行以上に渡る場合は、段落を分けてブロックで引用し、ページ数を明記する。間接引用では、読んだ内容を自分の言葉でパラフレーズして引用する。いずれの場合も、著者名・発行年を明記し、どこからどこまでが引用なのかがわかるように書く。

また、文中で引用した文献は、稿末に引用文献のリストを掲載する。

書物であれば著者名、著書(あるいは論文や記事)のタイトル、該当ページ、出版社、出版年を明示する。

ウェブサイトの場合は著者名、タイトル、アドレス、アクセスした日付を明示する。

◆注意

上記は本学術院が学生諸君に求める最低限のルールです。引用方法等の詳細については各自で詳しく調べてみてください(各教員から方法について指定される場合もあります)。また、基本的なことですが、ルールに則っているからといって引用が多すぎるレポート、論文は問題があります。バランスについても自身でよく考えてください。

6.5 Turnitinによる類似度判定機能の利用に関する同意について

類似度判定の対象となる課題を初めて提出する際に表示される「Turnitin エンドユーザーライセンス契約(EULA)」をよく読み、同意してください。これに同意せずに提出された課題等については、評価の対象外となる可能性があります。その結果として、当該科目の成績が不可となる等の不利益が生じる場合はあるので、十分注意してください。

7.

受講態度および課題提出に関するルール

人間科学部のカリキュラムは、広領域にまたがる科目群の有機的な結びつきを学生個々人が念頭に置きつつ履修計画を立てることから成り立っています。同時に、単に出席するだけでなく、能動的な受講を学生に求める授業形態を多くの科目において採用しています。ゆえに、無計画な科目登録を避けるとともに、教室での不十分な取り組みや未提出課題は一つでもあってはいけません。以下に受講にあたっての基本的なルールを改めて示しますので、学生のみなさんにはこれらの再確認と遵守を求めます。

1. 学生は正規授業科目に毎回出席することが原則であり、学部要項に記されているように、当該科目の出席回数が3分の2に満たない場合には単位認定されません。ただし、単に3分の2以上の出席を以って合格点が必ずしも保証されるわけではないことに注意して受講してください。
2. 学生は課題等を含む授業中の取り組み（受講態度）を以ってはじめて出席とカウントされます。また、平常点に重きを置いている科目においては、積極的な受講態度は高く評価されます。
3. 感染症による出席停止と忌引き、および教育実習等の正規授業科目による欠席のみ、所沢総合事務センターで手続きの上、担当教員に欠席の配慮を求めることができます。風邪等の体調不良、アルバイト、就職活動、インターンシップ、課外活動等による欠席は対象外です。
4. 上記の理由等（所沢総合事務センターでの手続き理由による欠席も含む）により欠席せざるをえなかった場合や二次登録以降の科目では、欠席回の授業内容を補う努力をしなければなりません。予習・復習を含め、担当教員の指示を仰ぐなど工夫をしてください。ただし、そのことを以って出席とみなされるわけではないこと、授業の計画上、各自で補うことができない科目においてはその時点で不合格となるので注意してください。また、基礎ゼミ I/II, 学生生活とセルフマネジメント, スタディスキル, データリテラシー I/II/III では LA 制度（所沢図書館内）を活用してください。
5. 授業の進行にともなう課題には当然順序があり、授業中に取り組む課題を含め、未提出課題が一つでもある場合には、単位取得は難しくなります。配点の低い小課題の分だけ減点されるわけではなく、当該科目の到達目標に達していないと総合判断される場合があるからです。
6. 遅刻・早退は欠席と同様に、自らの授業内容の理解に支障をきたすばかりだけでなく、専門 I 群（実験調査研究法）科目は言うまでもなく、講義科目であってもグループワーク等授業進行の大きな妨げとなります。遅刻・早退は他の学生への迷惑行為に等しく、授業担当者によっては欠席と同等と判断されることもあります。すべての授業科目において、常に余裕をもって通学するようにしてください。なお、鉄道会社等による証明書の扱いは担当教員が決めます。
7. 授業中の提出課題、レポート、到達度確認における剽窃・盗用や、試験におけるカンニング、問題用紙持ち帰りを含む不正行為を行った学生は、当該科目が不合格になるだけではありません。学部要項に記されているとおり、3ヶ月以上の停学処分となります。停学3ヶ月の場合、当該学期の履修科目は全て不合格、無期停学の場合は、停学期間の長さに応じて成績無効措置を当該学期および翌学期以降にも適用しますので、いずれの場合にも実質的に留年となります。また、当該年度学内奨学金の全額返還・停学期間中の日本学生支援機構奨学金の支給停止措置がとられますので、十分に注意してください。

単位認定または学位論文審査の判定のために実施される、本学部および他学部提供科目の試験、ならびにその前提となる出席に関して不正行為をした者に対する懲戒処分について、「試験等における不正行為者処分に関する内規」（人間科学学術院教授会決定）に次のように定められているので、精読の上、遵守すること。

1. 対象とする試験等

- (1)出席票：授業出席の根拠となる資料をいう。出席票には、紙媒体および電子媒体（電子出席票、オンデマンドコンテンツの視聴履歴等）のものがある。
- (2)教場試験：科目の成績評価を目的としていることが明示され、教場で実施される筆記試験および口述試験をいう。教場試験には到達度の確認、小テスト、コメントシート、未済試験、再試験、口頭による学位論文審査会等がある。
- (3)論文考査：科目の成績評価を目的としていることが明示され、担当教員により課された課題に取り組んだ結果を記述した報告書（紙媒体・電子媒体）をいう。論文考査には、レポートの他、オンライン（Waseda Moodle等）で実施されるテスト、電子掲示板への投稿および学位論文等がある。

2. 出席に関する不正行為

本内規において「出席に関する不正行為」とは次に掲げるものとする。

- (1)他人の代わりに出席票を記入し、提出すること。
- (2)他人に自身の出席票を記入させ、提出させること。
- (3)複数のオンデマンドコンテンツを同時再生し、個別に視聴したものと偽ること。
- (4)出席確認に関し、担当教員が禁止した行為に及ぶこと。
- (5)その他、上記に類する行為（上記の未遂を含む）。

3. 教場試験に関する不正行為

本内規において「教場試験に関する不正行為」とは次に掲げるものとする。

- (1)教場試験を他人の代わりに受験すること。
- (2)教場試験を自身の代わりに他人に受験させること。
- (3)教場試験において他人と解答の授受をすること。
- (4)教場試験において他人の解答を参照すること。
- (5)教場試験において他人に自身の解答を参照させること。
- (6)教場試験の試験時間中に資料（教科書、参考書、辞書、ノート等）を身の回りに置くこと、または参照すること。
- (7)教場試験の試験時間中に計算・辞書・通信機能等の時刻表示以外の機能の付いた時計、または携帯電話、PC、電卓、電子手帳等の情報端末機器を身の回りに置くこと。
- (8)教場試験の試験時間中に他人との間で持込・使用禁止の資料または機器の貸与もしくは借用を行うこと。
- (9)教場試験の試験時間中に参照することを目的として机、衣服、身体等に予めメモ等を書き込むこと、または教場試験の時間中にメモ等を実際に参照すること。
- (10)教場試験の試験時間中に私語・動作・情報端末等によって他人と連絡を行うこと。
- (11)教場試験の問題用紙および答案用紙を持ち帰ること。

(12)教場試験に関し、担当教員または試験監督員等が禁止した行為に及ぶこと。

(13)その他、上記に類する行為。

2 前項の規定にかかわらず、コメントシートに関する不正行為については、注意を受けたことがあるにもかかわらず、再度同種の行為に及んだ場合のみ、「教場試験に関する不正行為」とする。

注 (6)、(7)および(11)については、担当教員の許可がある場合を除く。

4. 論文審査に関する不正行為（盗用・剽窃等）

本内規において「論文審査に関する不正行為」とは次に掲げるものとする。

(1)論文審査において公刊文献または他人のレポート等から盗用・剽窃を行なうこと。

(2)論文審査においてデータ等の捏造または改ざんを行なうこと。

(3)他人の代わりに論文審査の作成をすること。

(4)自身の論文審査の作成を他人にさせること。

(5)論文審査に関し担当教員が禁止した行為に及ぶこと。

(6)その他、上記に類する行為。

2 前項の規定にかかわらず、電子掲示板への投稿に関する不正行為については、注意を受けたことがあるにもかかわらず、再度同種の行為に及んだ場合のみ、「論文審査に関する不正行為」とする。

5. 懲戒処分の種類

出席票、教場試験および論文審査に関して不正行為をした学生に対する懲戒処分の種類については、早稲田大学学則、早稲田大学大学院学則、学生の懲戒手続に関する規程および「学生処分に関する運用内規」（人間科学学術院教授会決定）に基づき、無期停学、有期停学または訓告とする。

6. 懲戒処分の基準

(1)出席票、教場試験および論文審査に関して不正行為を行った学生は、原則として停学3ヶ月以上とする。

(2)出席票、教場試験および論文審査に関して著しく悪質な不正行為を行った学生（不正行為を2回以上行った者、対価を得て不正行為を行った者、他人のレポート等を不正な手段で入手し、それをを用いて自身のレポートを作成・提出した者等）は、無期停学とする。

(3)(1)および(2)の規定に関わらず、情状により停学期間を短縮する、または停学ではなく訓告に処すなど、懲戒処分を軽減することができる。

注1 懲戒処分に伴う禁止事項および成績無効措置等については、学生処分に関する運用内規に基づく。停学となった場合、以下を含む措置がとられる。

- ・ 学生証の所属箇所での保管
- ・ 大学への登校禁止（※必要措置として特に指示された場合を除く）
- ・ 授業への出席禁止（オンデマンド授業等を含む）
- ・ 課外活動（サークル等）および体育各部の活動の禁止
- ・ 早稲田大学の諸施設（図書館、学生会館等）の利用禁止
- ・ 各種学生サービスの停止（学割発行等）
- ・ 停学期間中の科目登録の禁止
- ・ 当該年度学内奨学金の全額返還、および停学期間中の日本学生支援機構奨学金の支給停止

7. 成績評価

(1) 停学3カ月の場合、不正行為を行った学期（※）の開講科目はすべて不合格とする。無期停学の場合は、停学期間の長さに応じて成績無効措置を翌学期以降にも適用する。

※春学期（春・夏クォーター）の試験における不正行為 → 春学期（春・夏クォーター）科目はすべて不合格

※秋学期（秋・冬クォーター）の試験における不正行為 → 秋学期（秋・冬クォーター）科目はすべて不合格

(2) 懲戒処分により成績無効措置とされた科目は、再試験受験資格を満たす場合でも受験を許可しない。

(3) 教職課程科目、保健体育科目、他箇所聴講科目、グローバルエデュケーションセンター科目の試験等、定期試験以外の試験における不正行為については、その試験の趣旨、性格等を勘案し、本内規を準用する。

8. 懲戒処分の決定

(1) 教務主任は、不正行為を行った疑いのある学生本人と面談し、事情を調査する。面談は、特段の理由がある場合を除き、対面で行う。

(2) 不正行為を認定した場合には、5に規定するいずれの懲戒処分を適用するかを検討し、教授会に諮って処分を決定する。

9. 懲戒処分の通知・公示・報告

(1) 学術院長は決定された懲戒処分について、当該学生を出頭させ、書面および口頭により通知する。保護者等に対する通知については、学生処分に関する運用内規に定められたとおりとする。

(2) 決定された懲戒処分について、当該学生の所属学部・学年、不正行為の事実および処分内容を掲示等により公示し、全学生に周知する。なお、氏名については、原則として公示しない。

10. 懲戒処分が下された学生に対する指導

教務主任は、懲戒処分が下された学生に対し、学生処分に関する運用内規に基づき、特段の理由がある場合を除き、対面による面談により、不正行為を反省させ、再度不正行為を行わないよう指導をする。

11. 懲戒処分の解除

(1) 有期停学の処分は、停学期間の満了をもって解除する。なお、当該学生が改悛したこと等により、教授会において、教育的配慮から早急に停学処分の解除が妥当であると判断したときは、停学処分を解除することができる。

(2) 無期停学の処分は、教授会において、当該処分を受けた学生の反省の程度、学習意欲等を総合的に判断して、処分を解除することができる。

9. 資格取得

9.1 人間科学部で取得できる資格

本学部では所属学科により、以下の資格の取得が可能です。不明点がある場合は、各資格担当教職員へ直接お問い合わせください。

1. 人間科学部設置科目の修得により取得が可能となる資格

資格名称		取得可能な学科	備考	該当ページ
文部科学省	教育職員免許(教職)	すべての学科 ※学科によって取得できる教科の免許状が異なります	国家試験授与資格	P. 71～95
文部科学省・厚生労働省	公認心理師	すべての学科	国家試験受験資格	P. 96～97
公益社団法人 日本心理学会	認定心理士	すべての学科	申請資格	P. 98～100
一般社団法人 社会調査協会	社会調査士	すべての学科	申請資格	P. 101～102
厚生労働省	社会福祉士	健康福祉科学科	国家試験受験資格	P. 103～105
公益財団法人 安全衛生技術試験協会	第一種衛生管理者	健康福祉科学科	国家試験申請資格	P. 106
オラクル社	オラクル認定Java プログラマ (Java SE Bronze 認定資格)	すべての学科	受験特別割引	P. 107
厚生労働省	社会福祉主事	すべての学科	任用資格	P. 108

2. 人間科学部以外(他箇所)設置科目の修得により取得が可能となる資格

以下の資格を取得するためには他箇所設置科目を履修する必要があります。詳細は、教職支援センター発行の『教職課程履修の手引き』を参照してください。

図書館司書	図書館法で定められた資格で、図書館等の専門職員です。都道府県や市町村の公共図書館等で図書館資料の選択、発注及び受入れから、分類、目録作成、貸出業務、読書案内などを行います。
学校図書館司書教諭	教科を担当できる教員が学校で教鞭を執ると同時に、小学校・中学校等の図書館を管理・運営し、学校教育に寄与しながら情報化社会を生きる生徒たちの教養を育成することを目的とした資格です。図書、視覚聴覚教育の資料その他学校教育に必要な資料を収集、整理、保存し、これを児童又は生徒及び教員に貸出することが業務になります。
博物館学芸員	博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業を行う、博物館法に定められた、博物館におかれる専門的職員です。
社会教育主事	都道府県及び市区町村の教育委員会の事務局に置かれる専門的職員で、社会教育を行う者に対する専門的技術的な助言・指導に当たる役割を担います。地域での様々な学習・文化事業の企画・実施を行うと同時に、子どもから大人までの学習者や社会教育団体の指導者等、社会教育を行っている人々に対してより専門的的確なアドバイスを提供し、サポートする仕事です。

9.2 履修指導制度について(2022年度より)

2022年度より新たに「履修指導制度」を導入しました。本学部において「資格を取得したい」という目標と、人間科学部のカリキュラムにおける研究活動(専門ゼミ・卒業研究ゼミの活動を含む)の両立を支援するための制度です。

A群の資格(教職、公認心理師、社会福祉士)の取得希望者に対しては、志望理由書・履修計画書等の提出を前提として、履修指導が行われます。承認された場合、資格に必要な科目の一部の優先履修をはじめ、各資格で定められた授業について計画的な履修ができるようになります。

B群の資格は、他箇所の設置科目の履修が中心となりますが、最終的には人間科学部において資格を認定することになるため、事前の申請を求めます。C群では、実験調査研究法の取得上限8単位の範囲内で、必要単位を取得することを履修指導の条件として定めます。

資格取得と研究活動の両立のためには、計画的な履修と継続的な学修が不可欠です。例年、学修不足に伴う単位の不認定、履修登録漏れ、留学などによって、在学期間中(4年間)での資格取得ができないケースが見られますので、十分に留意をしてください。

1. 対象資格と条件

履修指導の対象となる資格と履修指導申請期限を表1に示す。

表1 履修指導の期限と条件

群	該当資格	申請期限(※1)	申請条件・その他
A群	教職	1年秋学期終了後(2月中旬)	説明会参加 志望理由書 履修計画書 (以降、1年に1回更新)
	公認心理師	1年秋学期終了後(2月中旬)	
	社会福祉士	1年秋学期終了後(2月中旬)	
B群	図書館司書 学校図書館司書教諭 博物館学芸員 社会教育主事	1年秋学期終了後(2月中旬)	志望理由書 履修計画書
C群	社会調査士	次の条件を満たした場合、学期末に申請ができる。 申請時に、社会調査士のカテゴリB「インタビュー調査法」「社会調査法」のうちいずれか1科目、カテゴリC「量的データ分析法」「アンケート調査法」のうちいずれか1科目、合計2科目(4単位)の単位取得済であること。	
D群	その他の資格	とくに履修指導は行わない。	

※1 資格A群、B群ともに、指定の履修指導を過ぎた場合でも、各学期末(8月下旬、2月中旬予定)志望理由書や履修計画書の提出等をもって、追加登録を認める場合があります。また、申請スケジュールは変更の場合がある。ガイダンス時に公表します。2年生以上の申請についても説明会時に公表します。

2. 資格 A 群申請にあたっての注意事項

- 資格 A 群はいずれか 1 資格の申請を原則とする。ただし、社会福祉士資格と教職「福祉」の取得の同時取得などで、例外が認められる場合がある。例外申請を希望する場合は、各資格で志望理由書・履修計画書等を提出すること。ただし、優先履修等の権利は 1 資格のみに限定される。A 群内であっても、複数資格で時間割等に重複が生じた場合は配慮ができない場合がある。

3. 取得単位の上限

- 資格 A 群と、A 群以外の資格の同時取得は妨げない。また、資格 B 群内の重複申請は、履修計画書の内容によって判断する。ただし、履修計画において、年間の取得単位数の上限である 41 単位(自由科目も含む)を超える場合は、複数の資格取得は原則として認められない。また、複数資格で時間割等に重複が生じた場合でも配慮はできない。
- B 群で履修指導を受けずに、事後で資格の申請をしても、認定できないので十分、注意すること。
- C 群(社会調査士)は、資格取得が理由であっても、実験調査研究法の 8 単位の上限を超える履修は認められない。自由科目への読替等も行うことはできないので、計画的に履修すること。

4. その他注意事項

- 申請・登録を認めた学生に対しては、条件に応じた資格履修指導を行う。履修指導で定められた条件を満たさない場合や、自己都合によって単位取得ができなかった場合は、資格履修指導の対象外となる。予め定めた条件、カリキュラムの下で指導を行うための制度であって、最短在籍期間中(4 年間)での資格取得を保証する制度ではない。
- 資格 A 群、B 群ともに、指定の履修指導を過ぎた場合でも、各学期末に、志望理由書や履修計画書の提出等をもって、追加登録を認める場合がある。

9.3 取得可能な資格についての説明会

資格説明会は年 2 回(3 月および 9 月)に実施します。例年 3 月に開催している説明会について、2023 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により開催しません。集合・対面形式ではなく、インターネットによるオンデマンド映像視聴形式です。資格取得希望者は、各自で必ず視聴してください。各資格に関する最新の情報は所沢総合事務センター連絡 Web ページ>人間科学部生>教職・資格関連のページにて確認できます。

http://www.waseda.jp/tokorozawa/kg/human-school/qualification_h.html

資格名	教育職員(教職)第一種免許 中学校・高等学校教諭
種類	国家資格・その他 / 授与資格・申請
窓口	所沢総合事務センター（問合せ先メーリングリスト：kyousyoku-tokorozawa@list.waseda.jp）
管轄機関	文部科学省
ホームページ (本学)	https://www.waseda.jp/fedu/tec/ （早稲田大学教職支援センター） https://www.waseda.jp/tokorozawa/kg/human-school/qualification_h.html （早稲田大学所沢総合事務センター連絡 Web ページ）> 人間科学部生 > 教職・資格関連
概要	<p>・教員免許状の取得に際して、以下の区分を全て満たすように科目の履修を進める必要があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目 2) 教科及び教職に関する科目 教職課程科目（教育学部設置科目） 3) 教科及び教職に関する科目 教科に関する専門的事項（人間科学部設置科目） 4) 大学が独自に設定する科目 <p>・所属する学科により、教員免許状の取得可能な教科が異なりますので、以降のページにて確認してください。</p>
資格取得要件	<p>入学年度によって異なりますので、ご注意ください。</p> <p><u>A. 2022 年 4 月かそれ以降に本学部に入学者</u> 以下、【新課程（2022 年度以降入学者）】を参照すること。</p> <p><u>B. 2019 年 4 月から 2021 年 4 月に本学部に入学者</u> 以下、【新課程（2019-2021 年度入学者）】を参照すること。</p> <p><u>C. 2018 年 4 月かそれ以前に本学部に入学者</u> 以下、【旧課程（2018 年度以前入学者）】を参照すること。</p>
必要な手続き等	<p>教員免許状の取得を希望する場合は、所沢総合事務センター連絡 Web ページの以下のページを必ずご確認ください。</p> <p>https://www.waseda.jp/tokorozawa/kg/human-school/qualification_h.html</p>

※優先的な科目履修を希望する場合は、「履修指導制度」に申請・登録をしてください。

9.4 取得できる教員免許状

所属する学科により、以下の教員免許状の取得が可能です。

学科 免許状の種類	人間環境科学科	健康福祉科学科	人間情報科学科
中学校教諭一種 免許状	社 会	—	英 語
高等学校教諭一種 免許状	地理歴史 公 民	福 祉	英 語 情 報

9.5 教員免許状の申請について

卒業年次に大学が取りまとめ窓口となって申請する「一括申請」と、学生個人が居住地の都道府県教育委員会へ直接申請する「個人申請」の2種類があります。一括申請手続については所沢総合事務センター連絡 Web ページ等にて周知しますが、個人申請を行う場合の申請方法等は、住民票のある都道府県教育委員会へ各自問い合わせてください。

9.6 教員免許状取得要件

本学部で上記の教員免許状の取得をするためには、次の要件をすべて満たす必要があります。それぞれの区分についての詳細は[9.8 履修方法]を確認してください。また、教職支援センター発行の「教職課程履修の手引き」を必ず参照してください。



【重要】教育職員免許法及び同法施行規則改正について

教育職員免許法と同法施行規則の改正を受け、入学年度により適用法令が異なります。

法令ごとに免許状取得の要件(修得が必要な科目や単位数)が決められていますので、履修計画を立てる際には、入学年度をてがかりに自身の法令・必要な科目等を確認してください。

入学年度	本冊子の表記	証明書印字の資格名称
2010年度～2018年度	旧課程(2018年度以前入学者)	**教諭一種免許状 (平成10年改正法 平成20年省令改正)
2019年度～2021年度	新課程(2019～2021年度入学者)	**教諭一種免許状 (平成28年改正法 令和4年省令改正)
2022年度～	新課程(2022年度以降入学者)	

※卒業後に科目等履修生として教員免許状取得をする場合のカリキュラム・法令等はこの限りではありません。

本手引きでは新・旧の課程を併記しておりますので、必ず自身の適用法令を確認し、該当する内容を確認してください。なお、2019年度以降に科目等履修生となる場合、学士入学・編入学・転部転科をする場合等、入学形態によっては、経過措置により適用法令が上記と異なる場合がありますので、事前に所沢総合事務センターに確認してください。

■卒業までに要件を満たさない場合の適用法令について

卒業までに自身が適用となる法令に定められる免許状取得要件を満たさず卒業し、卒業後に教員免許状を目指す場合は、その時点での最新の法令が適用されます。

在学時と異なる法令が適用される場合、必要な科目や単位数が増える等が想定されることから、正規の学生として在学している間に教員免許状取得要件となっている科目のすべてを履修することをおすすめします。

卒業後も引き続き教員免許状の取得を目指す場合は、履修計画を立てる段階で自身に適用される法令の確認を含め、所沢総合事務センターに相談してください。

下表は、「新課程」・「旧課程」それぞれの必要最低修得単位数を表しています。

【新課程(2024年度以降入学者)】

I. 教科及び教職に関する科目

1) 教職課程科目(教育学部設置)*

科目設置箇所は教育学部(教職課程)です。単位は全て「自由科目(年間登録制限単位および卒業単位に含まれない科目)」の単位の扱いとなります。必修は全員必修、中学必修は「中学のみ必修」を表しています。

※教職課程科目(教育学部設置)の履修ルールについては、必ず、教職支援センター発行の「教職課程履修の手引き」をご確認ください。

■「教育の基礎的理解に関する科目」等

教育職員免許法に定める科目		左記に該当する教育学部設置科目	配当年次	単位	履修方法	
教育の基礎的理解に関する科目等	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育基礎総論1(中・高)	1~	2	必修
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職概論(中・高)	1~	2	必修
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育制度総論(中・高)	1~	2	必修
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学(中・高)	1~	2	必修
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育(中・高)	1~	1	必修
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程編成論(中・高)	2~	1	必修
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論および指導法	道徳教育論(中・高)	1~	2	中学必修
		総合的な学習の時間の指導法【中学の場合】	総合的な学習・探究論(中・高)	1~	1	必修
		総合的な探究の時間の指導法【高校の場合】				
		特別活動の指導法	特別活動論(中・高)	1~	1	必修
		教育の方法及び技術	教育方法・技術論(中・高)	2~	2	必修
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育におけるICT活用(中・高)	2~	1	必修
		生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導論(中・高)	1~	2	必修
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	生徒理解と教育相談(中・高)	1~	2	必修		
教育実践に関する科目	教育実習※	教育実習演習(中・高)(3週間)	4	5	中学校免許取得者は3週間(5単位)必修、高校のみの免許状取得者は2週間(3単位)以上必修	
		教育実習演習(中・高)(2週間)	4	3		
	教職実践演習	教職実践演習(中・高)	4	2	必修	
本学カリキュラムの必要単位数小計		中学 28・高校 24				

※教育実習を実施する教科は、原則として所属学科で取得可能な教員免許状に対応した教科で実施してください。

※取得する免許状の種類により必修の教育実習演習が異なります。下記表を参照してください。

免許状の種類	必修科目	単位	備考
中学校のみ	教育実習演習(3週間)	5	実習先は中学校、高等学校どちらでも問題ありません。中学校の免許状を取得予定の場合は、3週間以上、高等学校の免許状を取得予定の場合は2週間以上実習を行ってください。 例：高等学校の免許状を取得予定の場合は、「中学校に2週間」「中学校に3週間」「高等学校に2週間」「高等学校に3週間」のいずれでも可能です。
高等学校のみ	教育実習演習(2週間) または 教育実習演習(3週間)	3 5	
中学高校両方	教育実習演習(3週間)	5	

※：教育実習を行うためには以下の要件をすべて満たしていることを前提とします。

手続の日程等の詳細に関しては教職支援センターが発行する「教職課程履修の手引き」を参照してください。

- ①実習実施前年度の(2年次終了時点の2月)「教育実習ガイダンス」に出席していること。※日程は前後する場合があります。
- ②実習実施前年度の「教育実習事前登録」を期限内に完了していること。
- ③実習実施年度中に教員免許状取得に必要なすべての科目を修得済み、または修得見込みであること。
- ④実習実施年度に4年生以上で、実習実施前年度までに卒業算入単位として83単位以上を修得済みであること。
- ⑤実習実施前年度までに以下の科目を修得済みであること。(いずれも同等科目可。)

- ・「教職概論(中・高)」「教育基礎総論1(中・高)」「教育制度総論(中・高)」「教育心理学(中・高)」「教育課程編成論(中・高)」「教科教育法1および2^{※1)}」「教育方法・技術論(中・高)」「特別支援教育(中・高)」「生徒理解と教育相談(中・高)」
- ・「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」のうち2領域以上
(各領域ごとに2単位以上の修得が必要)
- ・「教科に関する専門的事項」(必修及び選択)のうち16単位以上。^{※2)}

※1：中学校社会、高等学校地理歴史および公民のうち、2教科以上の免許状を取得する場合、いずれか1教科の教科教育法1および2の単位を修得していれば、前提条件を満たすものとする。

※2：「教科に関する専門的事項」は、教育実習で担当予定の教科で修得するものとする。

■各教科の指導法

	教育職員免許法に定める科目	早稲田大学設置科目名	単位	履修方法
教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	〇〇科教育法1 〇〇科教育法2	中学 8 高校 4	取得を希望する各教科の教育法を履修。 ※中学校免許取得者は1~4、高校のみの免許状取得者は1~2必修。
		〇〇科教育法3 〇〇科教育法4		

免許状の教科によって必修の教科教育法が異なります。下記表を参照のこと。

取得免許状の教科	教育学部設置	取得免許状の教科	教育学部設置
社会	社会科教育法1	福祉	福祉科教育法1
	社会科教育法2		福祉科教育法2
	社会科教育法3 ^{※1)}	英語	英語科教育法1 ^{※2)}
	社会科教育法4 ^{※1)}		英語科教育法2 ^{※2)}
地理歴史	地理歴史科教育法1	英語科教育法3 ^{※2)}	
	地理歴史科教育法2	英語科教育法4 ^{※2)}	
公民	公民科教育法1	情報	情報科教育法1
	公民科教育法2		情報科教育法2

※1 「社会科教育法3」および「社会科教育法4」については、高校免許状(地理歴史・公民)取得のための科目としては使用できませんので、ご注意ください。

※2 英語科教育法を履修するためには、以下の前提条件を満たしていることが必要となります。詳細については、『教職課程履修の手引き』に記載の内容をご確認ください。

- ・ WeTEC 600点以上(原則、WeTECの点数で条件をクリアすることが望ましい。)
- ・ TOEIC 555点以上

- 1) 当該科目は教育学部の設置科目です。初回授業の際に担当教員がスコアの提出を求めますので、WeTEC については Tutorial Site からプリントアウトしたものを、TOEIC については証明書のスコアをコピーしたものを提出してください。提出しない場合や、スコアが条件を満たしていない場合は、科目が取り消されます。(取り消しに伴う他の科目の追加登録はできません。)
- 2) 人間科学部で英語授業が免除された学生(TOEFL(iBT)83 以上/ TOEIC Listening & Reading Test + Speaking & Writing Tests × 2.5 = 1700 以上)*2018 年度以前入学者に関しては、TOEFL(iBT)80 以上/ TOEIC Listening & Reading Test が 730 以上)は上記の前提条件を満たしているため、当該試験のスコアコピーを初回授業で提出してください。

■「教育の基礎的理解に関する科目」等(選択)

以下の科目は、「教育の基礎的理解に関する科目」等の選択科目です。修得した単位は教育職員免許法別表第一に定める総単位数(59 単位)に積算されます。

教育職員免許法施行規則に定める科目		早稲田大学設置科目名	配当年次	単位	履修方法
教育の基礎的理解に関する科目	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教職特講Ⅰ(教育法規・理論研究)	2	1	選択
		教職特講Ⅱ(教育法規・事例研究)	2	1	
		教職特講Ⅳ(スクール・ソーシャルワーク)	2	1	
		教職研究Ⅴ(社会変動と教育)	2	2	
		教職研究Ⅸ(教育経営)	2	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術	授業技術演習	3	2	選択

※2022 年度まで開講していた以下の科目は廃止

- 教職研究Ⅰ(学校教育法規)
- 教職研究Ⅱ(教育行政法規)
- 教職研究Ⅲ(日本教育史)
- 教職研究Ⅳ(西洋教育史)

2) 教科に関する専門的事項(人間科学部設置)

人間科学部設置の「教科に関する専門的事項」科目はすべて「13.3 学科目配当表」に掲載されている通りの科目区分で登録されます。それ以外の科目区分で登録することはできません。

(例)専門科目Ⅱ-B(発展科目)を自由科目として登録することはできません。

教科に関する専門的事項(社会)

人間環境科学科

免許法施行規則に定める科目区分	左記に該当する人間科学部設置科目 (○印は必修科目)	単位	履修方法	
日本史・外国史	○日本史A	2	必修を含め 12単位以上履修	
	○日本史B	2		
	○中国史	2		
	○オリエント史	2		
	○地中海史	2		
	○ヨーロッパ中世史	2		
	歴史学	2		
	考古学	2		
	ドイツ近現代史	2		
	史学方法論	2		
地理学(地誌を含む。)	○基礎地形学	2	すべて履修	
	○基礎気候学	2		
	○人文地理学A	2		
	○人文地理学B	2		
	○基礎地理学	2		
	○世界地誌学	2		
「法学、政治学」	法学	2	2単位以上履修	
	政治学	2		
「社会学、経済学」	○経済学	2	必修を含め 2単位以上履修	
	都市社会学	2		
	労働社会学	2		
	人口社会学	2		
	アジア地域研究	2		
	[イスラーム社会論] ^注	2		
	文化人類学	2		
	家族社会学	2		
	社会開発論	2		
	環境社会学	2		
「哲学、倫理学、宗教学」	宗教学	2	1科目 選択必修	選択必修を含め 2単位以上履修
	倫理学	2		
	哲学	2		
	バイオエシックス	2		
本学部での必要単位合計		30 ※		

※「Ⅰ. 教科及び教職に関する科目」「Ⅱ. 大学が独自に設定する科目」を合わせて**59単位以上履修**すること。

注:[]内の科目は2019年度以前に単位を修得した場合は使用できます。

教科に関する専門的事項（地理歴史）

人間環境科学科

免許法施行規則に定める科目区分	左記に該当する人間科学部設置科目（○印は必修）	単位	履修方法
日本史	○日本史A	2	必修を含め 4単位以上履修
	○日本史B	2	
	歴史学	2	
	考古学	2	
外国史	○中国史	2	必修を含め 8単位以上履修
	○オリエント史	2	
	○地中海史	2	
	○ヨーロッパ中世史	2	
	ドイツ近現代史	2	
	史学方法論	2	
人文地理学・ 自然地理学	○基礎地形学	2	すべて履修
	○基礎気候学	2	
	○人文地理学A	2	
	○人文地理学B	2	
地誌	○基礎地理学	2	すべて履修
	○世界地誌学	2	
本学部での必要単位合計		24*	

※「Ⅰ. 教科及び教職に関する科目」「Ⅱ. 大学が独自に設定する科目」を合わせて**59単位以上履修**すること。

教科に関する専門的事項（公民）

人間環境科学科

免許法施行規則に定める科目区分	左記に該当する人間科学部設置科目（○印は必修）	単位	履修方法	
「法学(国際法を含む。)、 政治学(国際政治を含む。)」	法学	2	2単位以上履修	
	政治学	2		
「社会学、経済学 (国際経済を含む。)」	○経済学	2	必修を含め 2単位以上履修	
	都市社会学	2		
	労働社会学	2		
	人口社会学	2		
	アジア地域研究	2		
	[イスラーム社会論] ^注	2		
	文化人類学	2		
	家族社会学	2		
	社会開発論	2		
	環境社会学	2		
「哲学、倫理学、 宗教学、心理学」	宗教学	2	1科目 選択必修	選択必修を含め 2単位以上履修
	倫理学	2		
	哲学	2		
	心理学概論	2		
	バイオエシックス	2		
	発達行動学	2		
	発達心理学	2		
本学部での必要単位合計		20*		

※「Ⅰ. 教科及び教職に関する科目」「Ⅱ. 大学が独自に設定する科目」を合わせて**59単位以上履修**すること。

注:[]内の科目は2019年度以前に単位を修得した場合は使用できます。

教科に関する専門的事項（福祉）

健康福祉科学科

免許法施行規則に定める科目区分	左記に該当する人間科学部設置科目 (○印は必修)	単位	履修方法
社会福祉学 (職業指導を含む。)	○現代社会と福祉	2	必修を含め 2単位以上履修
	社会福祉概論	2	
	[健康福祉産業論] ^{注1}	2	
	社会保障論Ⅰ	2	
	社会保障論Ⅱ	2	
	地域福祉論Ⅰ	2	
高齢者福祉、児童福祉・ 障害者福祉	○老年学	2	必修を含め 6単位以上履修
	○子ども家庭福祉論	2	
	○障害者福祉論	2	
	子どもの健康福祉学	2	
社会福祉援助技術	○社会福祉援助技術総論Ⅰ	2	必修を含め 4単位以上履修
	○社会福祉援助技術総論Ⅱ	2	
	ソーシャルワーク論Ⅰ	2	
	ソーシャルワーク論Ⅱ	2	
	貧困に対する支援 ^{注2}	2	
介護理論及び 介護技術	○介護学概論	2	必修を含め 2単位以上履修
	医療福祉機器創出論 ^{注2}	2	
社会福祉総合実習 (社会福祉援助実習及び社会福祉施設 等における介護実習を含む。)	○社会福祉演習Ⅰ	2	必修を含め 6単位以上履修
	○社会福祉現場実習Ⅱ ^{注3}	4	
	社会福祉演習Ⅱ	2	
人体構造に関する理解・ 日常生活行動に関する理解	○健康福祉医学概論	2	すべて履修
加齢に関する理解・ 障害に関する理解	○エイジング・障害福祉学概論	2	すべて履修
本学部での必要単位合計		24*	

※「Ⅰ. 教科及び教職に関する科目」「Ⅱ. 大学が独自に設定する科目」を合わせて**59単位以上履修**すること。

注1:[]内の科目は2020年度以前に単位を修得した場合のみ使用できます。

注2:下記の科目は科目名が変更になっています。既に修得した単位は使用できます。

現在の科目名	旧科目名
貧困に対する支援	公的扶助論
医療福祉機器創出論	実用医療福祉デバイス創出論

注3:「社会福祉現場実習Ⅱ」は3年次に開講されます。2年次に開講される「社会福祉現場実習Ⅰ」の修得を前提とした必修科目です。また、別途実習料を徴収します。「社会福祉現場実習Ⅰ」は20,000円、「社会福祉現場実習Ⅱ」は40,000円の予定。一度納入した実習費は返金しません。

教科に関する専門的事項（情報）

人間情報科学科

免許法施行規則に定める科目区分	左記に該当する人間科学部設置科目（○印は必修）	単位	履修方法
情報社会（職業に関する内容を含む。）・情報倫理	○情報社会及び情報倫理	2	必修
	○情報社会におけるキャリアデザイン	2	
コンピュータ・情報処理（実習を含む。）	○プログラミングⅠ（JAVA 言語）	2	必修を含め 2単位以上履修
	プログラミングⅠ（Perl 言語）	2	
	[プログラミングⅡ（JAVA 言語）] ^{注2}	2	
	プログラミングⅡ（C 言語）	2	
	プログラミングⅡ（モバイルプログラミング）	2	
	[プログラミングⅡ（Python 言語）] ^{注2}	2	
	コンピュータハードウェア	2	
アルゴリズムとデータ構造	2		
情報システム（実習を含む。）	○情報科学研究法	2	必修を含め 2単位以上履修
	情報システム入門	2	
	ウェブ検索	2	
情報通信ネットワーク（実習を含む。）	○情報通信ネットワーク ^{注1}	2	(2020年度以降入学者) 必修を含め2単位以上履修
	▲[ネットワーク技術初級] ^{注2} [GEC]	2	(2019年以前入学者) △を含め2単位以上履修 または ▲を含め4単位以上履修
	▲[ネットワーク技術準中級] ^{注2} [GEC]	2	
マルチメディア表現・マルチメディア技術（実習を含む。）	○ウェブデザイン入門	2	必修を含め 2単位以上履修
	メディアコンテンツデザイン	2	
	マルチメディア	2	
本学部での必要単位合計		20 [*]	

※「Ⅰ. 教科及び教職に関する科目」「Ⅱ. 大学が独自に設定する科目」を合わせて**59単位以上履修**すること。

注1:「情報通信ネットワーク」は2020年度以降入学者より必修の科目です。

注2:[]内の科目は2019年度以前に単位を修得した場合のみ使用できます。

9. 資格取得

教科に関する専門的事項（英語）

人間情報科学科

免許法施行規則に定める科目区分	左記に該当する人間科学部設置科目（○印は必修）	単位	履修方法
英語学	○英語学	2	必修を含め 4単位以上履修
	○応用言語学入門	2	
	Introduction to Sociolinguistics	2	
英語文学	○米文学史	2	必修を含め 4単位以上履修
	○英文学講読	2	
	米文学講読	2	
英語コミュニケーション	○Oral Presentation 上級・中級 <small>注</small>	2	必修を含め 8単位以上履修
	○Academic Reading 上級・中級 <small>注</small>	2	
	○Academic Listening 上級・中級 <small>注</small>	2	
	○Academic Writing 上級・中級 <small>注</small>	2	
	Current Topics I	1	
	Current Topics II	1	
異文化理解	○英語圏文化概論	2	必修を含め 2単位以上履修
	Intercultural Communication	2	
	非言語行動論	2	
本学部での必要単位合計		20*	

※「Ⅰ. 教科及び教職に関する科目」「Ⅱ. 大学が独自に設定する科目」を合わせて**59単位以上履修**すること。

注：上級・中級のいずれかを履修してください。

Ⅱ. 大学が独自に設定する科目

「Ⅰ. 教科及び教職に関する科目」との合計単位数が**59単位以上**となるよう、必要に応じて選択履修すること。科目名の後ろに特に記載がないものはすべて人間科学部設置科目です。

中学校教諭の免許状取得のためには、「介護体験実習講義」を必修とします。詳細は、教職支援センター発行の「教職課程履修の手引き」を参照してください。

該当する設置科目(科目設置箇所)	単位
介護体験実習講義(教育学部) ※中学校必修	2
人間理解基盤講座(心の健康教育に関する理論と実践)(教育学部) ^{注1}	2
教職研究Ⅵ(生涯教育)(教育学部)	2
教職研究Ⅷ(総合学習の研究)(教育学部)	2
教職特講Ⅲ(部活動論)(教育学部)	1
学級経営インターンシップ(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)(教育学部) ^{注1}	4
特別支援教育インターンシップ(教育学部)	4
インクルーシブ教育インターンシップ(教育学部)	4
初等教育インターンシップ(教育学部)	4
インストラクショナルデザイン	2
遠隔学習支援論	2
[教授学習の心理学] ^{注2}	2
学ぶことの科学	2
教えることの科学(教育・学校心理学) ^{注1}	2
教育のアセスメント理論	2

注1:下記の科目は科目名が変更になっています。既に修得した単位は使用できます。

現在の科目名	旧科目名
人間理解基盤講座(心の健康教育に関する理論と実践)	人間理解基盤講座
学級経営インターンシップ(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	学級経営インターンシップ
教えることの科学(教育・学校心理学)	教えることの科学

注2:[]内の科目は2019年度以前に単位を修得した場合は使用できます。

【新課程(2022 年度以降入学者)】

区分	中学校 教諭一種	高等学校 教諭一種	備考
基礎資格	学士の学位を有すること		本学部を卒業すれば資格を満たす
教育職員免許法施行第 66 条の 6 に定める科目			合計 59 単位にはカウント出来ないので注意すること。
日本国憲法	2	2	
体育(実技)	2	2	
外国語コミュニケーション	2	2	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	2	
I. 教科及び教職に関する科目			合計して、59 単位以上となるように履修すること。 合計 59 以上
教科及び教科の指導法に関する科目			
教科に関する専門的事項	教科ごとの必要最低修得単位数		
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	8	4	
教育の基礎的理解に関する科目※	10	10	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目※	11	9	
教育実践に関する科目※			
教育実習	5	3	
教職実践演習	2	2	
II. 大学が独自に設定する科目			
	2	0	
最低修得単位数合計	67	67	

※「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」および「教育実践に関する科目」の総称として、「教育の基礎的理解に関する科目」等とします。

【新課程(2019-2021 年度入学者)】

区分	中学校 教諭一種	高等学校 教諭一種	備考
基礎資格	学士の学位を有すること		本学部を卒業すれば資格を満たす
教育職員免許法施行第 66 条の 6 に定める科目			合計 59 単位にはカウント出来ないので注意すること。
日本国憲法	2	2	
体育(実技)	2	2	
外国語コミュニケーション	2	2	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	2	
I. 教科及び教職に関する科目			合計して、59 単位以上となるように履修すること。 合計 59 以上
教科及び教科の指導法に関する科目			
教科に関する専門的事項	教科ごとの必要最低修得単位数		
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	8	4	
教育の基礎的理解に関する科目※	10	10	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目※	10	8	
教育実践に関する科目※			
教育実習	5	3	
教職実践演習	2	2	
II. 大学が独自に設定する科目			
	2	0	
最低修得単位数合計	67	67	

※「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」および「教育実践に関する科目」の総称として、「教育の基礎的理解に関する科目」等とします。

【旧課程(2018年度以前入学者)】

区分	中学校 教諭一種	高等学校 教諭一種	備考
基礎資格	学士の学位を有すること		本学部を卒業すれば資格を満たす
教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目			
日本国憲法	2	2	合計 59 単位にはカウント出来ないので注意すること。
体育(実技)	2	2	
外国語コミュニケーション	2	2	
情報機器の操作	2	2	
I. 教職に関する科目	31	25	合計して、59 単位以上となるように履修すること。 合計 59 以上
II. 教科に関する科目	教科ごとの必要最低修得単位数		
III. 教科又は教職に関する科目	2	0	
最低修得単位数合計	67	67	

9.7 教職課程聴講料

教職課程設置科目を履修する場合、教職課程聴講料が発生します。詳細は [3. 9 聴講料(実験実習料)の納入]の[6. 教育学部教職課程聴講料]を確認してください。

9.8 履修方法

■ 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目(新課程・旧課程別)

【新課程(2022年度以降入学者)】および【新課程(2019—2021年度入学者)】

科目	必要 単位数	履修方法
日本国憲法	2	本学部設置の「憲法」を履修。
体育(実技)	2	次の①または②の履修方法による。 ①本学部設置の「体育実技A～D」を履修。 ②グローバルエデュケーションセンター設置の以下の科目から2単位以上履修。 「スポーツ実習Ⅰ、Ⅱ(1単位)」、「スポーツ実習Ⅰ、Ⅱ(2単位)」、「スポーツ実習Ⅰ、Ⅱ(体育各部)」
外国語コミュニケーション	2	リテラシー科目の英語・外国語のいずれかを履修。 「Current TopicsⅠ・Ⅱ」、「必修 Tutorial English」、「外国語基礎Ⅰ・Ⅱ」、「外国語会話入門Ⅰ・Ⅱ」
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	本学部設置の「データリテラシーⅠ」を履修。

※①「情報機器の操作」1単位、「数理、データ活用及び人工知能に関する科目」1単位、の組み合わせは不可です。

【旧課程(2018年度以前入学者)】

科目	必要 単位数	履修方法
日本国憲法	2	本学部設置の「憲法」を履修。
体育(実技)	2	次の①または②の履修方法による。 ①本学部設置の「体育実技A～D」を履修。 ②グローバルエデュケーションセンター設置の以下の科目から2単位以上履修。 「スポーツ実習Ⅰ、Ⅱ(1単位)」、「スポーツ実習Ⅰ、Ⅱ(2単位)」、「スポーツ実習Ⅰ、Ⅱ(体育各部)」
外国語コミュニケーション	2	リテラシー科目の英語・外国語のいずれかを履修。 「Current TopicsⅠ・Ⅱ」、「必修 Tutorial English」、「外国語基礎Ⅰ・Ⅱ」、「外国語会話入門Ⅰ・Ⅱ」
情報機器の操作	2	本学部設置の「データリテラシーⅠ」を履修。

【新課程(2022 年度以降入学者)】

I. 教科及び教職に関する科目

1) 教職課程科目(教育学部設置)*

科目設置箇所は教育学部(教職課程)です。単位は全て「自由科目(年間登録制限単位および卒業単位に含まれない科目)」の単位の扱いとなります。必修は全員必修、中学必修は「中学のみ必修」を表しています。

※教職課程科目(教育学部設置)の履修ルールについては、必ず、教職支援センター発行の「教職課程履修の手引き」をご確認ください。

■ 「教育の基礎的理解に関する科目」等

教育職員免許法に定める科目		左記に該当する教育学部設置科目	配当年次	単位	履修方法	
教育の基礎的理解に関する科目等	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育基礎総論 1 (中・高)	1~	2	必修	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職概論(中・高)	1~	2	必修	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育制度総論(中・高)	1~	2	必修	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学(中・高)	1~	2	必修	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育(中・高)	1~	1	必修	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程編成論(中・高)	2~	1	必修	
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論および指導法	道徳教育論(中・高)	1~	2	中学必修
		総合的な学習の時間の指導法【中学の場合】	総合的な学習・探究論(中・高)	1~	1	必修
		総合的な探究の時間の指導法【高校の場合】				
		特別活動の指導法	特別活動論(中・高)	1~	1	必修
		教育の方法及び技術	教育方法・技術論(中・高)	2~	2	必修
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育における ICT 活用(中・高)	2~	1	必修
		生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導論(中・高)	1~	2	必修
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	生徒理解と教育相談(中・高)	1~	2	必修	
	教育実践に関する科目	教育実習※	教育実習演習(中・高)(3週間)	4	5	中学校免許取得者は3週間(5単位)必修、高校のみの免許取得者は2週間(3単位)以上必修
			教育実習演習(中・高)(2週間)	4	3	
		教職実践演習	教職実践演習(中・高)	4	2	必修
本学カリキュラムの必要単位数小計		中学 28・高校 24				

※教育実習を実施する教科は、原則として所属学科で取得可能な教員免許状に対応した教科で実施してください。

※取得する免許状の種類により必修の教育実習演習が異なります。下記表を参照してください。

免許状の種類	必修科目	単位	備考
中学校のみ	教育実習演習(3週間)	5	実習先は中学校、高等学校どちらでも問題ありません。中学校の免許状を取得予定の場合は、3週間以上、高等学校の免許状を取得予定の場合は2週間以上実習を行ってください。 例：高等学校の免許状を取得予定の場合は、「中学校に2週間」「中学校に3週間」「高等学校に2週間」「高等学校に3週間」のいずれでも可能です。
高等学校のみ	教育実習演習(2週間) または 教育実習演習(3週間)	3 5	
中学高校両方	教育実習演習(3週間)	5	

※：教育実習を行うためには以下の要件をすべて満たしていることを前提とします。

手続の日程等の詳細に関しては教職支援センターが発行する「教職課程履修の手引き」を参照してください。

- ①実習実施前年度の(2年次終了時点の2月)「教育実習ガイダンス」に出席していること。※日程は前後する場合があります。
- ②実習実施前年度の「教育実習事前登録」を期限内に完了していること。
- ③実習実施年度中に教員免許状取得に必要なすべての科目を修得済み、または修得見込みであること。
- ④実習実施年度に4年生以上で、実習実施前年度までに**卒業算入単位として83単位以上**を修得済みであること。
- ⑤実習実施前年度までに以下の科目を修得済みであること。(いずれも同等科目可。)

- ・「教職概論(中・高)」 「教育基礎総論1(中・高)」 「教育制度総論(中・高)」 「教育心理学(中・高)」 「教育課程編成論(中・高)」 「教科教育法1および2^{※1}」 「教育方法・技術論(中・高)」 「特別支援教育(中・高)」 「生徒理解と教育相談(中・高)」
- ・「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」のうち2領域以上
(各領域ごとに2単位以上の修得が必要)
- ・「教科に関する専門的事項」(必修及び選択)のうち16単位以上。^{※2}

※1：中学校社会、高等学校地理歴史および公民のうち、2教科以上の免許状を取得する場合、いずれか1教科の教科教育法1および2の単位を修得していれば、前提条件を満たすものとする。

※2：「教科に関する専門的事項」は、教育実習で担当予定の教科で修得するものとする。

■ 各教科の指導法

	教育職員免許法に定める科目	早稲田大学設置科目名	単位	履修方法
教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	〇〇科教育法1 〇〇科教育法2 〇〇科教育法3 〇〇科教育法4	中学8 高校4	取得を希望する各教科の教育法を履修。 ※中学校免許取得者は1~4、高校のみの免許取得者は1~2必修。

免許状の教科によって必修の教科教育法が異なります。下記表を参照のこと。

取得免許状の教科	教育学部設置	取得免許状の教科	教育学部設置
社会	社会科教育法1	福祉	福祉科教育法1
	社会科教育法2		福祉科教育法2
	社会科教育法3 ^{※1}	英語	英語科教育法1 ^{※2}
	社会科教育法4 ^{※1}		英語科教育法2 ^{※2}
地理歴史	地理歴史科教育法1	英語科教育法3 ^{※2}	
	地理歴史科教育法2	英語科教育法4 ^{※2}	
公民	公民科教育法1	情報	情報科教育法1
	公民科教育法2		情報科教育法2

※1 「社会科教育法3」および「社会科教育法4」については、高校免許状(地理歴史・公民)取得のための科目としては使用できませんので、ご注意ください。

※2 英語科教育法を履修するためには、以下の前提条件を満たしていることが必要となります。詳細については、

『教職課程履修の手引き』に記載の内容をご確認ください。

- ・ WeTEC 600 点以上（原則、WeTEC の点数で条件をクリアすることが望ましい。）
- ・ TOEIC 555 点以上

- 1)当該科目は教育学部の設置科目です。初回授業の際に担当教員がスコアの提出を求めますので、WeTEC については Tutorial Site からプリントアウトしたものを、TOEIC については証明書のスコアをコピーしたものを提出してください。提出しない場合や、スコアが条件を満たしていない場合は、科目が取り消されます。（取り消しに伴う他の科目の追加登録はできません。）
- 2)人間科学部で英語授業が免除された学生(TOEFL(iBT)83 以上/ TOEIC Listening & Reading Test + Speaking & Writing Tests × 2.5 = 1700 以上)*2018 年度以前入学者に関しては、TOEFL(iBT)80 以上/ TOEIC Listening & Reading Test が 730 以上) は上記の前提条件を満たしているため、当該試験のスコアコピーを初回授業で提出してください。

■「教育の基礎的理解に関する科目」等(選択)

以下の科目は、「教育の基礎的理解に関する科目」等の選択科目です。修得した単位は教育職員免許法別表第一に定める総単位数(59 単位)に積算されます。

教育職員免許法施行規則に定める科目		早稲田大学設置科目名	配当年次	単位	履修方法
教育の基礎的理解に関する科目	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教職特講Ⅰ(教育法規・理論研究)	2	1	選択
		教職特講Ⅱ(教育法規・事例研究)	2	1	
		教職特講Ⅳ(スクール・ソーシャルワーク)	2	1	
		教職研究Ⅴ(社会変動と教育)	2	2	
		教職研究Ⅸ(教育経営)	2	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術	授業技術演習	3	2	選択

※2022 年度まで開講していた以下の科目は廃止

- 教職研究Ⅰ(学校教育法規)
- 教職研究Ⅱ(教育行政法規)
- 教職研究Ⅲ(日本教育史)
- 教職研究Ⅳ(西洋教育史)

2) 教科に関する専門的事項(人間科学部設置)

人間科学部設置の「教科に関する専門的事項」科目はすべて「13.3 学科目配当表」に掲載されている通りの科目区分で登録されます。それ以外の科目区分で登録することはできません。

(例)専門科目Ⅱ-B(発展科目)を自由科目として登録することはできません。

教科に関する専門的事項(社会)

人間環境科学科

免許法施行規則に定める科目区分	左記に該当する人間科学部設置科目 (○印は必修科目)	単位	履修方法	
日本史・外国史	○日本史A	2	必修を含め 12単位以上履修	
	○日本史B	2		
	○中国史	2		
	○オリエント史	2		
	○地中海史	2		
	○ヨーロッパ中世史	2		
	歴史学	2		
	考古学	2		
	ドイツ近現代史	2		
	史学方法論	2		
地理学(地誌を含む。)	○基礎地形学	2	すべて履修	
	○基礎気候学	2		
	○人文地理学A	2		
	○人文地理学B	2		
	○基礎地理学	2		
	○世界地誌学	2		
「法律学、政治学」	法学	2	2単位以上履修	
	政治学	2		
「社会学、経済学」	○経済学	2	必修を含め 2単位以上履修	
	都市社会学	2		
	労働社会学	2		
	人口社会学	2		
	アジア地域研究	2		
	[イスラーム社会論] ^注	2		
	文化人類学	2		
	家族社会学	2		
	社会開発論	2		
	環境社会学	2		
「哲学、倫理学、宗教学」	宗教学	2	1科目 選択必修	選択必修を含め 2単位以上履修
	倫理学	2		
	哲学	2		
	バイオエシックス	2		
本学部での必要単位合計		30※		

※「Ⅰ. 教科及び教職に関する科目」「Ⅱ. 大学が独自に設定する科目」を合わせて**59単位以上履修**すること。

注:[]内の科目は2019年度以前に単位を修得した場合は使用できます。

教科に関する専門的事項（地理歴史）

人間環境科学科

免許法施行規則に定める科目区分	左記に該当する人間科学部設置科目（○印は必修）	単位	履修方法
日本史	○日本史A	2	必修を含め 4単位以上履修
	○日本史B	2	
	歴史学	2	
	考古学	2	
外国史	○中国史	2	必修を含め 8単位以上履修
	○オリエント史	2	
	○地中海史	2	
	○ヨーロッパ中世史	2	
	ドイツ近現代史	2	
	史学方法論	2	
人文地理学・ 自然地理学	○基礎地形学	2	すべて履修
	○基礎気候学	2	
	○人文地理学A	2	
	○人文地理学B	2	
地誌	○基礎地理学	2	すべて履修
	○世界地誌学	2	
本学部での必要単位合計		24*	

※「Ⅰ. 教科及び教職に関する科目」「Ⅱ. 大学が独自に設定する科目」を合わせて**59単位以上履修**すること。

教科に関する専門的事項（公民）

人間環境科学科

免許法施行規則に定める科目区分	左記に該当する人間科学部設置科目（○印は必修）	単位	履修方法
「法律学(国際法を含む。)、 政治学(国際政治を含む。)」	法学	2	2単位以上履修
	政治学	2	
「社会学、経済学 (国際経済を含む。)」	○経済学	2	必修を含め 2単位以上履修
	都市社会学	2	
	労働社会学	2	
	人口社会学	2	
	アジア地域研究	2	
	[イスラーム社会論] ^注	2	
	文化人類学	2	
	家族社会学	2	
	社会開発論	2	
	環境社会学	2	
「哲学、倫理学、 宗教学、心理学」	宗教学	2	1科目 選択必修 選択必修を含め 2単位以上履修
	倫理学	2	
	哲学	2	
	心理学概論	2	
	バイオエシックス	2	
	発達行動学	2	
	発達心理学	2	
本学部での必要単位合計		20*	

※「Ⅰ. 教科及び教職に関する科目」「Ⅱ. 大学が独自に設定する科目」を合わせて**59単位以上履修**すること。

注:[]内の科目は2019年度以前に単位を修得した場合は使用できます。

教科に関する専門的事項（福祉）

健康福祉科学科

免許法施行規則に定める科目区分	左記に該当する人間科学部設置科目 (○印は必修)	単位	履修方法
社会福祉学 (職業指導を含む。)	○現代社会と福祉	2	必修を含め 2単位以上履修
	社会福祉概論	2	
	[健康福祉産業論] ^{注1}	2	
	社会保障論Ⅰ	2	
	社会保障論Ⅱ	2	
	地域福祉論Ⅰ	2	
	地域福祉論Ⅱ	2	
高齢者福祉、児童福祉・ 障害者福祉	○老年学	2	必修を含め 6単位以上履修
	○子ども家庭福祉論	2	
	○障害者福祉論	2	
	子どもの健康福祉学	2	
社会福祉援助技術	○社会福祉援助技術総論Ⅰ	2	必修を含め 4単位以上履修
	○社会福祉援助技術総論Ⅱ	2	
	ソーシャルワーク論Ⅰ	2	
	ソーシャルワーク論Ⅱ	2	
	貧困に対する支援 ^{注2}	2	
介護理論及び 介護技術	○介護学概論	2	必修を含め 2単位以上履修
	医療福祉機器創出論 ^{注2}	2	
社会福祉総合実習 (社会福祉援助実習及び社会福祉施設 等における介護実習を含む。)	○社会福祉演習Ⅰ	2	必修を含め 6単位以上履修
	○社会福祉現場実習Ⅱ ^{注3}	4	
	社会福祉演習Ⅱ	2	
人体構造に関する理解・ 日常生活行動に関する理解	○健康福祉医学概論	2	すべて履修
加齢に関する理解・ 障害に関する理解	○エイジング・障害福祉学概論	2	すべて履修
本学部での必要単位合計		24*	

※「Ⅰ. 教科及び教職に関する科目」「Ⅱ. 大学が独自に設定する科目」を合わせて**59単位以上履修**すること。

注1: []内の科目は2020年度以前に単位を修得した場合のみ使用できます。

注2: 下記の科目は科目名が変更になっています。既に修得した単位は使用できます。

現在の科目名	旧科目名
貧困に対する支援	公的扶助論
医療福祉機器創出論	実用医療福祉デバイス創出論

注3: 「社会福祉現場実習Ⅱ」は3年次に開講されます。2年次に開講される「社会福祉現場実習Ⅰ」の修得を前提とした必修科目です。また、別途実習料を徴収します。（「社会福祉現場実習Ⅰ」は 20,000 円、「社会福祉現場実習Ⅱ」は 40,000 円の予定。一度納入した実習費は返金しません。）

教科に関する専門的事項（情報）

人間情報科学科

免許法施行規則に定める科目区分	左記に該当する人間科学部設置科目（○印は必修）	単位	履修方法
情報社会・情報倫理	○情報社会及び情報倫理	2	必修
コンピュータ・情報処理（実習を含む。）	○プログラミングⅠ（JAVA 言語）	2	必修を含め 2単位以上履修
	プログラミングⅠ（Perl 言語）	2	
	[プログラミングⅡ（JAVA 言語）] ^{注2}	2	
	プログラミングⅡ（C言語）	2	
	プログラミングⅡ（モバイルプログラミング）	2	
	[プログラミングⅡ（Python言語）] ^{注2}	2	
	コンピュータハードウェア	2	
	アルゴリズムとデータ構造	2	
情報システム（実習を含む。）	○情報科学研究法	2	必修を含め 2単位以上履修
	情報システム入門	2	
	ウェブ検索	2	
情報通信ネットワーク（実習を含む。）	○情報通信ネットワーク ^{注1}	2	(2020年度以降入学者) 必修を含め2単位以上履修
	▲[ネットワーク技術初級] ^{注2} [GEC]	2	(2019年以前入学者) △を含め2単位以上履修 または
	▲[ネットワーク技術準中級] ^{注2} [GEC]	2	▲を含め4単位以上履修
マルチメディア表現・マルチメディア技術（実習を含む。）	○ウェブデザイン入門	2	必修を含め 2単位以上履修
	メディアコンテンツデザイン	2	
	マルチメディア	2	
		2	
情報と職業	○情報社会におけるキャリアデザイン	2	必修
本学部での必要単位合計		20*	

※「Ⅰ. 教科及び教職に関する科目」「Ⅱ. 大学が独自に設定する科目」を合わせて59単位以上履修すること。

注1:「情報通信ネットワーク」は2020年度以降入学者より必修の科目です。
注2:[]内の科目は2019年度以前に単位を修得した場合のみ使用できます。

9. 資格取得

教科に関する専門的事項（英語）

人間情報科学科

免許法施行規則に定める科目区分	左記に該当する人間科学部設置科目（○印は必修）	単位	履修方法
英語学	○英語学	2	必修を含め 4単位以上履修
	○応用言語学入門	2	
	Introduction to Sociolinguistics	2	
英語文学	○米文学史	2	必修を含め 4単位以上履修
	○英文学講読	2	
	米文学講読	2	
英語コミュニケーション	○Oral Presentation 上級・中級 ^注	2	必修を含め 8単位以上履修
	○Academic Reading 上級・中級 ^注	2	
	○Academic Listening 上級・中級 ^注	2	
	○Academic Writing 上級・中級 ^注	2	
	Current Topics I	1	
	Current Topics II	1	
異文化理解	○英語圏文化概論	2	必修を含め 2単位以上履修
	Intercultural Communication	2	
	非言語行動論	2	
本学部での必要単位合計		20*	

※「Ⅰ. 教科及び教職に関する科目」「Ⅱ. 大学が独自に設定する科目」を合わせて59単位以上履修すること。

注:上級・中級のいずれかを履修してください。

Ⅱ. 大学が独自に設定する科目

「Ⅰ. 教科及び教職に関する科目」との合計単位数が**59単位以上**となるよう、必要に応じて選択履修すること。科目名の後ろに特に記載がないものはすべて人間科学部設置科目です。

中学校教諭の免許状取得のためには、「介護体験実習講義」を必修とします。詳細は、教職支援センター発行の「教職課程履修の手引き」を参照してください。

該当する設置科目(科目設置箇所)	単位
介護体験実習講義(教育学部) ※中学校必修	2
人間理解基盤講座(心の健康教育に関する理論と実践)(教育学部) ^{注1}	2
教職研究Ⅵ(生涯教育)(教育学部)	2
教職研究Ⅷ(総合学習の研究)(教育学部)	2
教職特講Ⅲ(部活動論)(教育学部)	1
学級経営インターンシップ(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)(教育学部) ^{注1}	4
特別支援教育インターンシップ(教育学部)	4
インクルーシブ教育インターンシップ(教育学部)	4
初等教育インターンシップ(教育学部)	4
インストラクショナルデザイン	2
遠隔学習支援論	2
[教授学習の心理学] ^{注2}	2
学ぶことの科学	2
教えることの科学(教育・学校心理学) ^{注1}	2
教育のアセスメント理論	2

注1: 下記の科目は科目名が変更になっています。既に修得した単位は使用できます。

現在の科目名	旧科目名
人間理解基盤講座(心の健康教育に関する理論と実践)	人間理解基盤講座
学級経営インターンシップ(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	学級経営インターンシップ
教えることの科学(教育・学校心理学)	教えることの科学

注2: []内の科目は2019年度以前に単位を修得した場合は使用できます。

【新課程(2019—2021 年度入学者)】

I. 教科及び教職に関する科目

1) 教職課程科目(教育学部設置)*

科目設置箇所は教育学部(教職課程)です。単位は全て「自由科目(年間登録制限単位および卒業単位に含まれない科目)」の単位の扱いとなります。必修は全員必修、中学必修は「中学のみ必修」を表しています。

※教職課程科目(教育学部設置)の履修ルールについては、必ず、教職支援センター発行の「教職課程履修の手引き」をご確認ください。

■ 「教育の基礎的理解に関する科目」等

教育職員免許法に定める科目		左記に該当する教育学部設置科目	配当年次	単位	履修方法	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育基礎総論1(中・高)	1~	2	必修	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職概論(中・高)	1~	2	必修	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育制度総論(中・高)	1~	2	必修	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学(中・高)	1~	2	必修	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育(中・高)	1~	1	必修	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程編成論(中・高)	2~	1	必修	
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論および指導法	道徳教育論(中・高)	1~	2	中学必修
		総合的な学習の時間の指導法【中学の場合】	総合的な学習・探究論(中・高)	1~	1	必修
		総合的な探究の時間の指導法【高校の場合】				
		特別活動の指導法	特別活動論(中・高)	1~	1	必修
		教育の方法及び技術 / 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育方法・技術論(中・高)	2~	2	必修
		生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導論(中・高)	1~	2	必修
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	生徒理解と教育相談(中・高)	1~	2	必修		
教育実践に関する科目	教育実習*	教育実習演習(中・高)(3週間)	4	5	中学校免許取得者は3週間(5単位)必修、高校のみの免許状取得者は2週間(3単位)以上必修	
		教育実習演習(中・高)(2週間)	4	3		
	教職実践演習	教職実践演習(中・高)	4	2	必修	
<p style="text-align: center;">本学カリキュラムの必要単位数小計</p>		<p style="text-align: center;">中学 27・高校 23</p>				

※教育実習を実施する教科は、原則として所属学科で取得可能な教員免許状に対応した教科で実施してください。

※取得する免許状の種類により必修の教育実習演習が異なります。下記表を参照してください。

免許状の種類	必修科目	単位	備考
中学校のみ	教育実習演習(3週間)	5	実習先は中学校、高等学校どちらでも問題ありません。中学校の免許状を取得予定の場合は、3週間以上、高等学校の免許状を取得予定の場合は2週間以上実習を行ってください。
高等学校のみ	教育実習演習(2週間)	3	
	または 教育実習演習(3週間)	5	
中学高校両方	教育実習演習(3週間)	5	例: 高等学校の免許状を取得予定の場合は、「中学校に2週間」「中学校に3週間」「高等学校に2週間」「高等学校に3週間」のいずれでも可能です。

9. 資格取得

※:教育実習を行うためには以下の要件をすべて満たしていることを前提とします。

手続の日程等の詳細に関しては教職支援センターが発行する「教職課程履修の手引き」を参照してください。

- ①実習実施前年度の(2年次終了時点の2月)「教育実習ガイダンス」に出席していること。※日程は前後する場合があります。
- ②実習実施前年度の「教育実習事前登録」を期限内に完了していること。
- ③実習実施年度中に教員免許状取得に必要なすべての科目を修得済み、または修得見込みであること。
- ④実習実施年度に4年生以上で、実習実施前年度までに卒業算入単位として83単位以上を修得済みであること。
- ⑤実習実施前年度までに以下の科目を修得済みであること。(いずれも同等科目可。)

・「教職概論(中・高)」 「教育基礎総論1(中・高)」 「教育制度総論(中・高)」 「教育心理学(中・高)」 「教育課程編成論(中・高)」 「教科教育法1および2^{※1}」 「教育方法・技術論(中・高)」 「特別支援教育(中・高)」 「生徒理解と教育相談(中・高)」

・「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」のうち2領域以上
(各領域ごとに2単位以上の修得が必要)

・「教科に関する専門的事項」(必修及び選択)のうち16単位以上。^{※2}

※1:中学校社会、高等学校地理歴史および公民のうち、2教科以上の免許状を取得する場合、いずれか1教科の教科教育法1および2の単位を修得していれば、前提条件を満たすものとする。

※2:「教科に関する専門的事項」は、教育実習で担当予定の教科で修得するものとする。

■各教科の指導法

	教育職員免許法に定める科目	早稲田大学設置科目名	単位	履修方法
教科及び教科の指導法に関する科目	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	○○科教育法1 ○○科教育法2 ○○科教育法3 ○○科教育法4	中学 8 高校 4	取得を希望する各教科の教育法を履修。 ※中学校免許取得者は1~4、高校のみの免許取得者は1~2必修。

免許状の教科によって必修の教科教育法が異なります。下記表を参照のこと。

取得免許状の教科	教育学部設置	取得免許状の教科	教育学部設置
社会	社会科教育法1	福祉	福祉科教育法1
	社会科教育法2		福祉科教育法2
	社会科教育法3 ^{※1}	英語	英語科教育法1 ^{※2}
	社会科教育法4 ^{※1}		英語科教育法2 ^{※2}
地理歴史	英語科教育法3 ^{※2}		
地理歴史	地理歴史科教育法1	英語科教育法4 ^{※2}	
	地理歴史科教育法2	情報	情報科教育法1
公民	公民科教育法1		情報科教育法2
	公民科教育法2		

※1 「社会科教育法3」 および 「社会科教育法4」 については、高校免許状(地理歴史・公民)取得のための科目としては使用できませんので、ご注意ください。

※2 英語科教育法を履修するためには、以下の前提条件を満たしていることが必要となります。詳細については、『教職課程履修の手引き』に記載の内容をご確認ください。

・ WeTEC 600 点以上 (原則、WeTEC の点数で条件をクリアすることが望ましい。)

・ TOEIC 555 点以上

1)当該科目は教育学部の設置科目です。初回授業の際に担当教員がスコアの提出を求めますので、WeTECについては Tutorial Site からプリントアウトしたものを、TOEIC については証明書のスコアをコピーしたものを提出してください。提出しない場合や、スコアが条件を満たしていない場合は、科目が取り消されます。(取り消しに伴う他の科目の追加登録はできません。)

2)人間科学部で英語授業が免除された学生(TOEFL(iBT)83 以上/ TOEIC Listening & Reading Test + Speaking & Writing Tests × 2.5 = 1700 以上)*2018 年度以前入学者に関しては、TOEFL(iBT)80 以上/ TOEIC Listening & Reading Test が 730 以上)は上記の前提条件を満たしているため、当該試験のスコアコピーを初回授業で提出してください。

■「教育の基礎的理解に関する科目」等(選択)

以下の科目は、「教育の基礎的理解に関する科目」等の選択科目です。修得した単位は教育職員免許法別表第一に定める総単位数(59 単位)に積算されます。

教育職員免許法施行規則に定める科目		早稲田大学設置科目名	配当年次	単位	履修方法
教育の基礎的理解に関する科目	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教職特講Ⅰ(教育法規・理論研究)	2	1	選択
		教職特講Ⅱ(教育法規・事例研究)	2	1	
		教職特講Ⅳ(スクール・ソーシャルワーク)	2	1	
		教職研究Ⅴ(社会変動と教育)	2	2	
		教職研究Ⅸ(教育経営)	2	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術	授業技術演習	3	2	選択
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育における ICT 活用(中・高)	2	1	選択

※2022 年度まで開講していた以下の科目は廃止

教職研究Ⅰ(学校教育法規)

教職研究Ⅱ(教育行政法規)

教職研究Ⅲ(日本教育史)

教職研究Ⅳ(西洋教育史)

2) 教科に関する専門的事項(人間科学部設置)

人間科学部設置の「教科に関する専門的事項」科目はすべて「13.3 学科目配当表」に掲載されている通りの科目区分で登録されます。それ以外の科目区分で登録することはできません。

(例)専門科目Ⅱ-B(発展科目)を自由科目として登録することはできません。

教科に関する専門的事項 (社会)

人間環境科学科

免許法施行規則に定める科目区分	左記に該当する人間科学部設置科目 (○印は必修科目)	単位	履修方法	
日本史・外国史	○日本史A	2	必修を含め 12単位以上履修	
	○日本史B	2		
	○中国史	2		
	○オリエント史	2		
	○地中海史	2		
	○ヨーロッパ中世史	2		
	歴史学	2		
	考古学	2		
	ドイツ近現代史	2		
	史学方法論	2		
地理学(地誌を含む。)	○基礎地形学	2	すべて履修	
	○基礎気候学	2		
	○人文地理学A	2		
	○人文地理学B	2		
	○基礎地理学	2		
	○世界地誌学	2		
「法律学、政治学」	法学	2	2単位以上履修	
	政治学	2		
「社会学、経済学」	○経済学	2	必修を含め 2単位以上履修	
	都市社会学	2		
	労働社会学	2		
	人口社会学	2		
	アジア地域研究	2		
	[イスラーム社会論] ^注	2		
	文化人類学	2		
	家族社会学	2		
	社会開発論	2		
	環境社会学	2		
「哲学、倫理学、宗教学」	宗教学	2	1科目 選択必修	選択必修を含め 2単位以上履修
	倫理学	2		
	哲学	2		
	バイオエシックス	2		
本学部での必要単位合計		30*		

※「Ⅰ. 教科及び教職に関する科目」「Ⅱ. 大学が独自に設定する科目」を合わせて**59単位以上履修**すること。

注:[]内の科目は2019年度以前に単位を修得した場合は使用できます。

教科に関する専門的事項（地理歴史）

人間環境科学科

免許法施行規則に定める科目区分	左記に該当する人間科学部設置科目（○印は必修）	単位	履修方法
日本史	○日本史A	2	必修を含め 4単位以上履修
	○日本史B	2	
	歴史学	2	
	考古学	2	
外国史	○中国史	2	必修を含め 8単位以上履修
	○オリエント史	2	
	○地中海史	2	
	○ヨーロッパ中世史	2	
	ドイツ近現代史	2	
	史学方法論	2	
人文地理学・ 自然地理学	○基礎地形学	2	すべて履修
	○基礎気候学	2	
	○人文地理学A	2	
	○人文地理学B	2	
地誌	○基礎地理学	2	すべて履修
	○世界地誌学	2	
本学部での必要単位合計		24*	

※「Ⅰ. 教科及び教職に関する科目」「Ⅱ. 大学が独自に設定する科目」を合わせて**59単位以上履修**すること。

教科に関する専門的事項（公民）

人間環境科学科

免許法施行規則に定める科目区分	左記に該当する人間科学部設置科目（○印は必修）	単位	履修方法
「法学(国際法を含む。)、 政治学(国際政治を含む。)」	法学	2	2単位以上履修
	政治学	2	
「社会学、経済学 (国際経済を含む。)」	○経済学	2	必修を含め 2単位以上履修
	都市社会学	2	
	労働社会学	2	
	人口社会学	2	
	アジア地域研究	2	
	[イスラーム社会論] ^注	2	
	文化人類学	2	
	家族社会学	2	
	社会開発論	2	
環境社会学	2		
「哲学、倫理学、 宗教学、心理学」	宗教学	2	1科目 選択必修 選択必修を含め 2単位以上履修
	倫理学	2	
	哲学	2	
	心理学概論	2	
	バイオエシックス	2	
	発達行動学	2	
	発達心理学	2	
本学部での必要単位合計		20*	

※「Ⅰ. 教科及び教職に関する科目」「Ⅱ. 大学が独自に設定する科目」を合わせて**59単位以上履修**すること。

注:[]内の科目は2019年度以前に単位を修得した場合は使用できます。

教科に関する専門的事項（福祉）

健康福祉科学科

免許法施行規則に定める科目区分	左記に該当する人間科学部設置科目 (○印は必修)	単位	履修方法
社会福祉学 (職業指導を含む。)	○現代社会と福祉	2	必修を含め 2単位以上履修
	社会福祉概論	2	
	[健康福祉産業論] ^{注1}	2	
	社会保障論Ⅰ	2	
	社会保障論Ⅱ	2	
	地域福祉論Ⅰ	2	
高齢者福祉、児童福祉・ 障害者福祉	○老年学	2	必修を含め 6単位以上履修
	○子ども家庭福祉論	2	
	○障害者福祉論	2	
	子どもの健康福祉学	2	
社会福祉援助技術	○社会福祉援助技術総論Ⅰ	2	必修を含め 4単位以上履修
	○社会福祉援助技術総論Ⅱ	2	
	ソーシャルワーク論Ⅰ	2	
	ソーシャルワーク論Ⅱ	2	
	貧困に対する支援 ^{注2}	2	
介護理論及び 介護技術	○介護学概論	2	必修を含め 2単位以上履修
	医療福祉機器創出論 ^{注2}	2	
社会福祉総合実習 (社会福祉援助実習及び社会福祉施設 等における介護実習を含む。)	○社会福祉演習Ⅰ	2	必修を含め 6単位以上履修
	○社会福祉現場実習Ⅱ ^{注2・3}	4	
	社会福祉演習Ⅱ	2	
人体構造に関する理解・ 日常生活行動に関する理解	○健康福祉医学概論	2	すべて履修
加齢に関する理解・ 障害に関する理解	○エイジング・障害福祉学概論	2	すべて履修
本学部での必要単位合計		24*	

※「Ⅰ. 教科及び教職に関する科目」「Ⅱ. 大学が独自に設定する科目」を合わせて**59単位以上履修**すること。

注1: []内の科目は2020年度以前に単位を修得した場合のみ使用できます。

注2: 下記の科目は科目名が変更になっています。既に修得した単位は使用できます。

現在の科目名	旧科目名
貧困に対する支援	公的扶助論
医療福祉機器創出論	実用医療福祉デバイス創出論
社会福祉現場実習Ⅱ	社会福祉現場実習

注3: 別途実習料を徴収します。(参考: 2022年度 40,000円)一度納入した実習費は返金しません。

教科に関する専門的事項（情報）

人間情報科学科

免許法施行規則に定める科目区分	左記に該当する人間科学部設置科目（○印は必修）	単位	履修方法
情報社会・情報倫理	○情報社会及び情報倫理	2	必修
コンピュータ・情報処理（実習を含む。）	○プログラミングⅠ（JAVA 言語）	2	必修を含め 2単位以上履修
	○プログラミングⅠ（Perl 言語）	2	
	[プログラミングⅡ（JAVA 言語）] ^{注2}	2	
	○プログラミングⅡ（C言語）	2	
	○プログラミングⅡ（モバイルプログラミング）	2	
	[プログラミングⅡ（Python言語）] ^{注2}	2	
	○コンピュータハードウェア	2	
	○アルゴリズムとデータ構造	2	
情報システム（実習を含む。）	○情報科学研究法	2	必修を含め 2単位以上履修
	○情報システム入門	2	
	○ウェブ検索	2	
情報通信ネットワーク（実習を含む。）	○情報通信ネットワーク ^{注1}	2	(2020年度以降入学者) 必修を含め2単位以上履修
	▲[ネットワーク技術初級] ^{注2} [GEC]	2	(2019年以前入学者) △を含め2単位以上履修 または
	▲[ネットワーク技術準中級] ^{注2} [GEC]	2	▲を含め4単位以上履修
マルチメディア表現・マルチメディア技術（実習を含む。）	○ウェブデザイン入門	2	必修を含め 2単位以上履修
	○メディアコンテンツデザイン	2	
	○マルチメディア	2	
情報と職業	○情報社会におけるキャリアデザイン	2	必修
本学部での必要単位合計		20*	

※「Ⅰ. 教科及び教職に関する科目」「Ⅱ. 大学が独自に設定する科目」を合わせて**59単位以上**履修すること。

注1:「情報通信ネットワーク」は2020年度以降入学者より必修の科目です。
注2: []内の科目は2019年度以前に単位を修得した場合のみ使用できます。

9. 資格取得

教科に関する専門的事項（英語）

人間情報科学科

免許法施行規則に定める科目区分	左記に該当する人間科学部設置科目（○印は必修）	単位	履修方法
英語学	○英語学	2	必修を含め 4単位以上履修
	○応用言語学入門	2	
	Introduction to Sociolinguistics	2	
英語文学	○米文学史	2	必修を含め 4単位以上履修
	○英文学講読	2	
	○米文学講読	2	
英語コミュニケーション	○Oral Presentation 上級・中級 ^注	2	必修を含め 8単位以上履修
	○Academic Reading 上級・中級 ^注	2	
	○Academic Listening 上級・中級 ^注	2	
	○Academic Writing 上級・中級 ^注	2	
	○Current Topics I	1	
	○Current Topics II	1	
異文化理解	○英語圏文化概論	2	必修を含め 2単位以上履修
	○Intercultural Communication	2	
	○非言語行動論	2	
本学部での必要単位合計		20*	

※「Ⅰ. 教科及び教職に関する科目」「Ⅱ. 大学が独自に設定する科目」を合わせて**59単位以上**履修すること。

注: 上級・中級のいずれかを履修してください。

Ⅱ. 大学が独自に設定する科目

「Ⅰ. 教科及び教職に関する科目」との合計単位数が**59単位以上**となるよう、必要に応じて選択履修すること。科目名の後ろに特に記載がないものはすべて人間科学部設置科目です。

中学校教諭の免許状取得のためには、「介護体験実習講義」を必修とします。詳細は、教職支援センター発行の「教職課程履修の手引き」を参照してください。

該当する設置科目(科目設置箇所)	単位
介護体験実習講義(教育学部) ※中学校必修	2
人間理解基盤講座(心の健康教育に関する理論と実践)(教育学部) ^{注1}	2
教職研究Ⅵ(生涯教育)(教育学部)	2
教職研究Ⅷ(総合学習の研究)(教育学部)	2
教職特講Ⅲ(部活動論)(教育学部)	1
学級経営インターンシップ(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)(教育学部) ^{注1}	4
特別支援教育インターンシップ(教育学部)	4
インクルーシブ教育インターンシップ(教育学部)	4
初等教育インターンシップ(教育学部)	4
インストラクショナルデザイン	2
遠隔学習支援論	2
[教授学習の心理学] ^{注2}	2
学ぶことの科学	2
教えることの科学(教育・学校心理学) ^{注1}	2
教育のアセスメント理論	2

注1:下記の科目は科目名が変更になっています。既に修得した単位は使用できます。

現在の科目名	旧科目名
人間理解基盤講座(心の健康教育に関する理論と実践)	人間理解基盤講座
学級経営インターンシップ(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	学級経営インターンシップ
教えることの科学(教育・学校心理学)	教えることの科学

注2:[]内の科目は2019年度以前に単位を修得した場合は使用できます。

【旧課程(2018年度以前入学者)】

I. 教職に関する科目

1) 教職に関する科目(必修)*

教職に関する科目の単位はすべて「自由科目(年間登録制限単位および卒業単位に含まれない科目)」の単位の扱いとなります。

※教職課程科目(教育学部設置)の履修ルールについては、必ず、教職支援センター発行の「教職課程履修の手引き」をご確認ください。

教育職員免許法施行規則に定める科目		左記に該当する教育学部設置科目	単位	配当年次	履修方法	
					中学	高校
教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割	教職概論(中・高)	2	1~		
	教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。)					
	進路選択に資する各種の機会の提供等					
教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育基礎総論1(中・高)	2	1~	必修	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	教育制度総論(中・高) ^{注1}	2			
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	教育心理学(中・高)	2	1~		
教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	教育課程編成論(中・高)	1	2~	必修	-
	各教科の指導法 ^{注5}	教科教育法1	2	2~		
		教科教育法2	2			
		教科教育法3	2			
	道徳の指導法	道徳教育論(中・高)	2	1~	必修	-
	特別活動の指導法	特別活動論(中・高) ^{注2}	1	1~	必修	-
教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法・技術論(中・高) ^{注3}	2	2~			
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導論(中・高)	2	1~	必修	-
	進路指導の理論及び方法					
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	生徒理解と教育相談(中・高)	2	1~		
教育実習 ^{注6}		教育実習演習(3週間)	5	4	必修	-
		教育実習演習(2週間)	3	4	-	必修
教職実践演習		教職実践演習(中・高)	2	4	必修	
必要単位数合計^{注4}		中学校31 ・ 高校25				

注1:2018年度以前の科目名は「教育基礎総論2(中・高)」です。

注2:2018年度以前に単位を修得している場合は2単位です。

注3:2018年度以前の科目名は「教育方法研究(中・高)」です。

注4:2018年度以前に「特別活動論(中・高)」の単位を修得している場合は、「中学校32・高校26」となります。

注5:免許状の教科によって必修の教科教育法が異なります。下記表を参照のこと。

取得免許状の教科	教育学部設置
社会	社会科教育法1
	社会科教育法2
	社会科教育法3*1
地理歴史	地理歴史科教育法1
	地理歴史科教育法2
公民	公民科教育法1
	公民科教育法2

取得免許状の教科	教育学部設置
福祉	福祉科教育法1
	福祉科教育法2
英語	英語科教育法1*2
	英語科教育法2*2
	英語科教育法3*2
情報	情報科教育法1
	情報科教育法2

9. 資格取得

※1 「社会科教育法3」は、2018年度までの単位修得者に限り、例外的に、異なる免許教科である高校「地理歴史」「公民」の「教科又は教職に関する科目」としても扱われます。

※2 英語科教育法を履修するためには、以下の前提条件を満たしていることが必要となります。詳細については、教職支援センター発行の『教職課程履修の手引き』に記載の内容をご確認ください。

・ WeTEC 600 点以上（原則、WeTEC の点数で条件をクリアすることが望ましい。）

・ TOEIC 555 点以上

1) 当該科目は教育学部の設置科目です。初回授業の際に担当教員がスコアの提出を求めますので、WeTEC については Tutorial Site からプリントアウトしたものを、TOEIC については証明書のスコアをコピーしたものを提出してください。提出しない場合や、スコアが条件を満たしていない場合は、科目が取り消されます。（取り消しに伴う他の科目の追加登録はできません。）

2) 人間科学部で英語授業が免除された学生(TOEFL(iBT)83 以上/ TOEIC Listening & Reading Test + Speaking & Writing Tests × 2.5 = 1700 以上)*2018 年度以前入学者に関しては、TOEFL(iBT)80 以上/ TOEIC Listening & Reading Test が 730 以上)は上記の前提条件を満たしているため、当該試験のスコアコピーを初回授業で提出してください。

注6: 教育実習を実施する教科は、原則として所属学科で取得可能な教員免許状に対応した教科で実施してください。

注7: 取得する免許状の種類により必修の教育実習演習が異なります。下記表を参照のこと。

免許状の種類	必修科目	単位	備考
中学校のみ	教育実習演習(3週間)	5	実習先は中学校、高等学校どちらでも問題ありません。中学校の免許状を取得予定の場合は、3週間以上、高等学校の免許状を取得予定の場合は2週間以上実習を行ってください。 例: 高等学校の免許状を取得予定の場合は、「中学校に2週間」「中学校に3週間」「高等学校に2週間」「高等学校に3週間」のいずれでも可能です。
高等学校のみ	教育実習演習(2週間)	3	
	または 教育実習演習(3週間)	5	
中学高校両方	教育実習演習(3週間)	5	

注8: 教育実習を行うためには以下の①～⑤の要件をすべて満たしていることを前提とします。

手続の日程等の詳細に関しては、「教職課程履修の手引き」を参照してください。

① 実習実施前年度の(2年次終了時点の2月)「教育実習ガイダンス」に出席していること。※日程は前後する場合があります。

② 実習実施前年度の「教育実習事前登録」を期限内に完了していること。

③ 実習実施年度中に教員免許状取得に必要なすべての科目を修得済み、または修得見込みであること。

④ 実習実施年度に4年生以上で、実習実施前年度までに卒業算入単位として、2012年度以前入学者は **84 単位以上**、2013年度以降入学者は **83 単位以上**を修得済みであること。

⑤ 実習実施前年度までに次の科目を修得済みであること。

- ・「教職概論」
- ・「教育基礎総論1」「教育基礎総論2※」
※2019年度以降に単位を修得する場合は、「教育制度総論(中・高)」
- ・「教育課程編成論」・「教育心理学」
- ・「教科教育法1」「教科教育法2」
※2教科以上の免許を取得する場合(例: 社会と公民)は、1教科(社会か公民どちらか)の「教科教育法1、2」の単位を修得すれば「教育実習前提条件」を満たしているものとみなす。
- ・「教育方法研究※」
※2019年度以降に単位を修得する場合は、「教育方法・技術論(中・高)」
- ・「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」のうち2領域以上※
※各領域で2単位以上の修得が必要
- ・「教科に関する科目」のうち、16単位以上
※原則として、教育実習を行う教科で「16単位以上」修得すること。

2) 教職に関する科目(選択)

「教職に関する科目」の選択科目ですが、早稲田大学では修得した単位は「教科又は教職に関する科目」として取り扱われます。すべて教育学部設置科目です。

該当する設置科目	単位
特別支援教育(中・高)	1
総合的な学習・探究論(中・高)	1
教職特講Ⅰ(教育法規・理論研究)	1
教職特講Ⅱ(教育法規・事例研究)	1
教職特講Ⅳ(スクール・ソーシャルワーク)	1
教職研究Ⅰ(学校教育法規) ^{注1}	2
教職研究Ⅱ(教育行政法規) ^{注1}	2
教職研究Ⅲ(日本教育史) ^{注1}	2
教職研究Ⅳ(西洋教育史) ^{注1}	2
教職研究Ⅴ(社会変動と教育)	2
[教職研究Ⅷ(人権教育論)] ^{注2}	2
教職研究Ⅸ(教育経営)	2
授業技術演習	2
社会科教育法4 ※社会、地理歴史、公民 ^{注3}	2
英語科教育法4 ※英語 ^{注3}	2
教育におけるICT活用(中・高)	1

注1:「教職研究Ⅰ(学校教育法規)」、「教職研究Ⅱ(教育行政法規)」、「教職研究Ⅲ(日本教育史)」、「教職研究Ⅳ(西洋教育史)」は廃止されました。2022年度以前に単位を修得した場合は使用できます。

注2:「教職研究Ⅷ(人権教育論)」は廃止されました。2016年度以前に単位を修得した場合は使用できます。

注3:「教科教育法4」は、科目名の後ろに記載のある教科にのみ利用可能です。ただし、「社会科教育法4」は、例外的に、2018年度までの単位取得者に限り、異なる免許教科である高校「地理歴史」「公民」の「教科又は教職に関する科目」としても扱われます。

Ⅱ. 教科に関する科目

教科に関する科目のうち、人間科学部設置科目はすべて「13.3 学科目配当表」に掲載されている通りの科目区分で登録されます。それ以外の科目区分で登録することはできません。

(例)専門科目Ⅱ-B(発展科目)を自由科目として登録することはできません。

教科に関する科目(社会)

人間環境科学科

免許法施行規則に定める科目区分	左記に該当する人間科学部設置科目 (○印は必修科目)	単位	履修方法
日本史及び外国史	○日本史A ○日本史B ○中国史 ○オリエント史 ○地中海史 ○ヨーロッパ中世史 歴史学 考古学 ドイツ近現代史 史学方法論	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	必修を含め 12単位以上履修
地理学(地誌を含む)	○基礎地形学 ○基礎気候学 ○人文地理学A ○人文地理学B ○基礎地理学 ^{注1} ○世界地誌学	2 2 2 2 2 2	すべて履修
「法学、政治学」	法学 政治学	2 2	2単位以上履修
「社会学、経済学」	○経済学 都市社会学 労働社会学 人口社会学 アジア地域研究 [イスラーム社会論] ^{注2} 文化人類学 家族社会学 社会開発論 環境社会学	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	必修を含め 2単位以上履修
「哲学、倫理学、宗教学」	宗教学 倫理学 哲学 [心理学概論] ^{注3} [芸術・技術の哲学] ^{注3} [バイオエシックス] ^{注4}	2 2 2 2 2 2	1科目 選択必修 選択必修を含め 2単位以上履修
本学部での必要単位合計		30*	

※「教職に関する科目」「教科又は教職に関する科目」と合わせて**59単位以上**履修すること。

注1:2013年度、2014年度の科目名は「地理学基礎実習」です。

注2:[]内の科目は2019年度以前に単位を修得した場合は使用できます。

注3:[]内の科目は2017年度以前に単位を修得した場合は使用できます。

注4:[]内の科目は2018年度以降に修得した単位のみ使用できます。

教科に関する科目(地理歴史)

人間環境科学科

免許法施行規則に定める科目区分	左記に該当する人間科学部設置科目 (○印は必修)	単位	履修方法
日本史	○日本史A	2	必修を含め 4単位以上履修
	○日本史B	2	
	歴史学	2	
	考古学	2	
外国史	○中国史	2	必修を含め 8単位以上履修
	○オリエント史	2	
	○地中海史	2	
	○ヨーロッパ中世史	2	
	ドイツ近現代史	2	
	史学方法論	2	
人文地理学及び 自然地理学	○基礎地形学	2	すべて履修
	○基礎気候学	2	
	○人文地理学A	2	
	○人文地理学B	2	
地誌	○基礎地理学 ^注	2	すべて履修
	○世界地誌学	2	
本学部での必要単位合計		24*	

※「教職に関する科目」「教科又は教職に関する科目」と合わせて**59単位以上履修**すること。

注：2013年度、2014年度の科目名は「地理学基礎実習」です。

教科に関する科目(公民)

人間環境科学科

免許法施行規則に定める科目区分	左記に該当する人間科学部設置科目 (○印は必修)	単位	履修方法
「法律学(国際法を含む)、 政治学(国際政治を含む)」	法学	2	2単位以上履修
	政治学	2	
「社会学、経済学 (国際経済を含む)」	○経済学	2	必修を含め 2単位以上履修
	都市社会学	2	
	労働社会学	2	
	人口社会学	2	
	アジア地域研究	2	
	[イスラーム社会論] ^{注3}	2	
	文化人類学	2	
	家族社会学	2	
	社会開発論	2	
環境社会学	2		
「哲学、倫理学、 宗教学、心理学」	宗教学	2	1科目 選択必修 選択必修を含め 2単位以上履修
	倫理学	2	
	哲学	2	
	心理学概論	2	
	[芸術・技術の哲学] ^{注1}	2	
	[バイオエシックス] ^{注2}	2	
	発達行動学	2	
発達心理学	2		
本学部での必要単位合計		20*	

※「教職に関する科目」「教科又は教職に関する科目」と合わせて**59単位以上履修**すること。

注1:[]内の科目は2017年度以前に単位を修得した場合は使用できます。

注2:[]内の科目は2018年度以降に修得した単位のみ使用できます。

注3:[]内の科目は2019年度以前に単位を修得した場合は使用できます。

教科に関する科目(福祉)

健康福祉科学科

免許法施行規則に定める科目区分	左記に該当する人間科学部設置科目 (○印は必修)	単位	履修方法
社会福祉学 (職業指導を含む。)	○現代社会と福祉	2	必修を含め 2単位以上履修
	社会福祉概論	2	
	[健康福祉産業論] ^{注1}	2	
	社会保障論Ⅰ	2	
	社会保障論Ⅱ	2	
	地域福祉論Ⅰ	2	
	地域福祉論Ⅱ	2	
高齢者福祉、児童福祉 及び障害者福祉	○老年学	2	必修を含め 6単位以上履修
	○子ども家庭福祉論	2	
	○障害者福祉論	2	
	子どもの健康福祉学	2	
社会福祉援助技術	○社会福祉援助技術総論Ⅰ	2	必修を含め 4単位以上履修
	○社会福祉援助技術総論Ⅱ	2	
	ソーシャルワーク論Ⅰ	2	
	ソーシャルワーク論Ⅱ	2	
	貧困に対する支援 ^{注2}	2	
介護理論及び 介護技術	○介護学概論	2	必修を含め 2単位以上履修
	医療福祉機器創出論 ^{注2}	2	
社会福祉総合実習 (社会福祉援助実習及び社会福祉施設 等における介護実習を含む。)	○社会福祉演習Ⅰ	2	必修を含め 6単位以上履修
	○社会福祉現場実習Ⅱ ^{注2・3}	4	
	社会福祉演習Ⅱ	2	
人体構造及び日常生活 行動に関する理解	○健康福祉医学概論	2	すべて履修
加齢及び障害に関する理解	○エイジング・障害福祉学概論	2	すべて履修
本学部での必要単位合計		24*	

※「教職に関する科目」「教科又は教職に関する科目」と合わせて**59単位以上履修**すること。

注1:[]内の科目は2020年度以前に単位を修得した場合のみ使用できます。

注2:下記の科目は科目名が変更になっています。既に修得した単位は使用できます。

現在の科目名	旧科目名	旧々科目名
貧困に対する支援	公的扶助論	
医療福祉機器創出論	実用医療福祉デバイス創出論	医療福祉工学
社会福祉現場実習Ⅱ	社会福祉現場実習	

注3:別途実習料を徴収します。(参考:2021年度 40,000円)一度納入した実習費は返金しません。

教科に関する科目(情報)

人間情報科学科

免許法施行規則に定める科目区分	左記に該当する人間科学部設置科目(○印は必修)		単位	履修方法
	2017年度以降の科目名	2016年度～2013年度の科目名		
情報社会及び情報倫理	○情報社会及び情報倫理	○情報社会及び情報倫理	2	必修を含め 2単位以上履修
		[情報と人間] 注1	2	
コンピュータ及び情報処理(実習を含む。)	○プログラミング I (JAVA 言語)	○プログラミング入門(JAVA 言語)	2	必修を含め 2単位以上履修
		プログラミング入門(C 言語)	2	
		プログラミング入門(Perl 言語)	2	
		プログラミング上級(JAVA 言語)	2	
		プログラミング上級(C 言語)	2	
		プログラミング上級(モバイルプログラミング)	2	
		プログラミング上級(Python 言語)	2	
		コンピュータハードウェア	2	
	アルゴリズムとデータ構造	2		
情報システム(実習を含む。)	○情報科学研究法	○情報科学研究法	2	必修を含め 2単位以上履修
	情報システム入門	データベース	2	
	ウェブ検索	ウェブ検索	2	
情報通信ネットワーク(実習を含む。)	○情報通信ネットワーク注4	△情報通信ネットワーク	2	(2020年度以降入学者) 必修を含め2単位以上履修
	▲[ネットワーク技術初級]注2 [GEC]	▲ネットワーク技術初級 [GEC]	2	
	▲[ネットワーク技術準中級]注2 [GEC]	▲ネットワーク技術準中級 [GEC]	2	(2019年以前入学者) △を含め2単位以上履修 または ▲を含め4単位以上履修
		[ネットワーク技術中級] 注3 [GEC]	2	
マルチメディア表現及び技術(実習を含む。)	○ウェブデザイン入門	○ウェブデザイン入門	2	必修を含め 2単位以上履修
	メディアコンテンツデザイン	ウェブデザイン上級	2	
	マルチメディア	マルチメディア	2	
	Media Production Studies	Media Production Studies	2	
情報と職業	○情報社会におけるキャリアデザイン	○情報社会におけるキャリアデザイン	2	必修
本学部での必要単位合計			20*	

※「教職に関する科目」「教科又は教職に関する科目」と合わせて**59単位以上履修**すること。

注1:[]内の科目は廃止されました。2014年度以前に単位を修得した場合は使用できます。

注2:[]内の科目は2019年度以前に単位を修得した場合のみ使用できます。

注3:[]内の科目は廃止されました。2015年度以前に単位を修得した場合は使用できます。

注4:「情報通信ネットワーク」は2020年度以降入学者より必修の科目です。

教科に関する科目(英語)

人間情報科学科

免許法施行規則に定める科目区分	左記に該当する人間科学部設置科目(○印は必修)	単位	履修方法
英語学	○英語学	2	必修を含め履修 (単位数は入学年度により異なる) ^{注1}
	○応用言語学入門 ^{注1}	2	
	Introduction to Sociolinguistics	2	
	[専門ゼミⅠ(Linguistics and Language Studies)] ^{注2}	4	
	[専門ゼミⅡ(Linguistics and Language Studies)] ^{注2}	4	
英米文学	○米文学史	2	必修を含め 4単位以上履修
	○英文学講読	2	
	米文学講読	2	
英語コミュニケーション	○Oral Presentation 上級・中級 ^{注3}	2	必修を含め 8単位以上履修
	○Academic Reading 上級・中級 ^{注3}	2	
	○Academic Listening 上級・中級 ^{注3}	2	
	○Academic Writing 上級・中級 ^{注3}	2	
	Current Topics I	1	
	Current Topics II	1	
	[The Developing Adult] ^{注4}	2	
	[専門ゼミⅠ(Educational Communication)] ^{注2}	4	
	[専門ゼミⅡ(Educational Communication)] ^{注2}	4	
異文化理解	○英語圏文化概論	2	必修を含め 2単位以上履修
	Intercultural Communication	2	
	非言語行動論	2	
本学部での必要単位合計		20*	

※「教職に関する科目」「教科又は教職に関する科目」と合わせて**59単位以上**履修すること。

- 注1:「応用言語学入門」は 2018 年度以降入学者より必修の科目です。2017 年度以前入学者が単位を修得する場合は教科に関する科目(選択科目)として使用できます。
- 注2:[]内の科目は 2017 年度以前に単位を修得した場合は使用できます。
- 注3:上級・中級のいずれかを履修してください。
- 注4:[]内の科目は 2016 年度以前に単位を修得した場合は使用できます。

Ⅲ. 教科又は教職に関する科目(全教科共通)

「教職に関する科目」および「教科に関する科目」との合計単位数が**59単位以上**となるよう、必要に応じて選択履修すること。科目名の後ろに特に記載がないものはすべて人間科学部設置科目です。

中学校教諭の免許状取得のためには、「介護体験実習講義」を必修とします。詳細は、「教職課程履修の手引き」を参照してください。

該当する設置科目(科目設置箇所)	単位	該当する設置科目(科目設置箇所)	単位	開講年度 ^{注1}
介護体験実習講義(教育学部) ※中学校必修	2	教授学習の心理学	2	2019 年度まで
教職研究Ⅵ(生涯教育)(教育学部)	2	[2012 年度まで:教授学習過程論]		
教職研究Ⅷ(総合学習の研究)(教育学部)	2	教職研究Ⅶ(特別支援教育)(教育学部)	2	2018 年度まで
教職特講Ⅲ(部活動論)(教育学部)	1	[旧:教職研究Ⅶ(障害児教育)]		
人間理解基盤講座(心の健康教育に関する理論と実践)(教育学部)	2	教育メディア科学	2	2017 年度まで
学級経営インターンシップ(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)(教育学部)	4	教育測定論	2	2016 年度まで
特別支援教育インターンシップ(教育学部)	4	教育評価論	2	2016 年度まで
インクルーシブ教育インターンシップ(教育学部)	4	中等国語科インターンシップ(教育学部)	2	2013 年度まで
初等教育インターンシップ(教育学部)	2	教育インターンシップ(教育学部)	4	2013 年度まで
インストラクショナルデザイン	2	国語科授業技術演習(教育学部)	2	2013 年度まで
遠隔学習支援論 [2012 年度まで:遠隔教育論]	2	異文化間教育論	2	2012 年度まで
学ぶことの科学	2	教育測定評価論	2	2010 年度まで
教えることの科学(教育・学校心理学)	2			
教育のアセスメント理論	2			

注1:上記の科目は廃止されました。既に修得した科目は使用できます。

注2:下記の科目は科目名が変更になっています。既に修得した単位は使用できます。

現在の科目名	旧科目名
人間理解基盤講座(心の健康教育に関する理論と実践)	人間理解基盤講座
学級経営インターンシップ(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	学級経営インターンシップ
教えることの科学(教育・学校心理学)	教えることの科学

資格名	公認心理師(国家試験受験資格)
種類	国家資格・その他 / 受験資格・申請
担当教員	田山 淳先生 (問合せ先メールリスト: psychology19@list.waseda.jp)
管轄機関	文部科学省・厚生労働省(共管)
ホームページ	http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000116049.html (厚生労働省) https://www.jccpp.or.jp/Top.cgi (一般財団法人 日本心理研修センター) 等
概要	<p>公認心理師とは、心理職の国家資格であり、公認心理師登録簿への登録を受け、「公認心理師」の名称を用いて、保健医療、福祉、教育その他の分野において、心理学に関する専門的知識及び技術をもって、公認心理師法に定められた次に掲げる行為を行うことを業とする者です。</p> <p>(1) 心理に関する支援を要する者の心理状態の観察、その結果の分析 (2) 心理に関する支援を要する者に対する、その心理に関する相談及び助言、指導その他の援助 (3) 心理に関する支援を要する者の関係者に対する相談及び助言、指導その他の援助 (4) 心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供</p> <p>人間科学部において所定の科目を履修して卒業した上で、人間科学研究科等の公認心理師養成に対応した大学院で所定の科目を履修して修了することで公認心理師国家試験の受験資格が得られ、その試験に合格することで公認心理師の資格が与えられます。そのほか、学部において所定の科目を履修して卒業した上で、公認心理師養成に対応したプログラムを有すると認められた機関で一定期間以上の実務に従事することで受験資格が得られます。</p>
資格取得要件	<p>A. 2018年4月以降に学部に入学者</p> <p>以下の1と2をともに満たすこと。</p> <ol style="list-style-type: none"> 早稲田大学人間科学部(すべての学科。通信教育課程を除く)において、「公認心理師法施行規則(平成29年文部科学省・厚生労働省令第3号)」で定められた「大学における公認心理師となるために必要な科目」(25科目:表A-1)等を履修し、卒業要件を満たして卒業すること。 早稲田大学大学院人間科学研究科(修士課程)に2018年4月以降に入学し、公認心理師国家試験受験資格の取得に対応した特定の大学院研究指導(研究室)に所属して、「公認心理師法施行規則(平成29年文部科学省・厚生労働省令第3号)」で定められた「大学院における公認心理師となるために必要な科目」(10科目:表A-3)等を履修した上で、人間科学研究科における修了要件を満たして研究科(修士課程)を修了すること。もしくは、公認心理師の受験資格に対応した研修プログラムをもつ機関で一定期間の実務経験を積むこと。 <p>B. 2017年10月以前に学部に入学者、現在も在学している者</p> <p>以下の1と2をともに満たすこと。</p> <ol style="list-style-type: none"> 早稲田大学人間科学部(すべての学科。通信教育課程を含む)において、「公認心理師法施行規則(平成29年文部科学省・厚生労働省令第3号)」で定められた「<u>大学における公認心理師となるために必要な科目</u>」等もしくはそれに読み替えられる科目等を、<u>基準に従って合計12科目以上履修し、卒業要件を満たして卒業すること。</u>読替科目については、Waseda Moodle等で提示される資料を参照すること。 A-2に同じ。
必要な手続き等	公認心理師国家試験の申込み手続き、実施スケジュール等の詳細については、一般財団法人日本心理研修センターのウェブサイト< http://certified.shinri-kenshu.jp/support/examination.html >を参照してください。
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 各科目には定員があり、抽選や選抜等の結果、希望する科目を受講できない場合があります。優先的な科目履修を希望する場合は、「履修指導制度」に申請・登録をしてください。 実習授業を受講するために、通常の学費・諸会費の他に、追加の費用(2023年度は、年間20,000円)が必要です。一度納入された実習費は返還されません。 実習先への訪問のために必要な交通費等は自己負担となります。実習先への訪問は、時間割外の時間に行われることがあります。 各科目の担当教員から教科書の購入を求められた場合には、その指示に従ってください。 心理演習・心理実習等の一部の科目を登録するための要件(事前に履修しておかなければいけない科目等)が設定されています(表A-2)。 3年卒業制度は適用されません。 最新の情報については、学部WebサイトやWaseda Moodle等でお知らせします。 資格取得要件を満たしていない場合も卒業の要件を満たした場合、自動的に卒業となります。 卒業後に科目等履修生として不足科目を履修することはできません。 公認心理師となるために必要な科目のうち一部の科目は開講時限が重複しています。時間割を確認して、計画的に受講してください。 何らかの事情で実習を欠席した場合、代替実習を用意できない可能性があります。

表 A-1. 学部における「公認心理師となるために必要な科目」(25 科目) : 2018 年 4 月以降入学者

① 公認心理師の職責 【自由科目】	⑬ 障害者・障害児心理学
② 心理学概論	⑭*2 次のうちいずれか一科目以上 : 心理発達検査法 (心理的アセスメント), ケースフォーミュレーション (心理的アセスメント)
③ 臨床心理学概論	⑮ 心理学的支援法
④ 心理学研究法 【自由科目】*1	⑯ 健康・医療心理学
⑤ 心理学統計法 【自由科目】*1	⑰ 福祉心理学
⑥*2 次のうちいずれか一科目以上 : 心理学実験 A、心理学実験 B、心理学実験 C、心理学実験 D、行動臨床科学研究法 (心理学実験)、心理行動学研究法 (心理学実験) [2018 年度], 実験心理学研究法 (心理学実験) [2018 年度]	⑱ 教えることの科学 (教育・学校心理学) / 教育・学校心理学 [2021 年度以前]
⑦ 知覚・認知心理学	⑲ 司法・犯罪心理学
⑧ 学習・言語心理学	⑳ 産業・組織心理学
⑨ 感情・人格心理学 【自由科目】*1	㉑ 人体の構造と機能及び疾病
⑩ 神経・生理心理学【専門科目】/神経・生理心理学【自由科目 [2018 年度]]*1	㉒ 精神疾患とその治療
⑪ 社会・集団・家族心理学	㉓ 関係行政論 【自由科目】*1
⑫ 発達心理学	㉔ 心理演習 【自由科目】*1
	㉕ 心理実習 【自由科目】*1

※1 : 【自由科目】と付した科目は公認心理師国家試験受験資格の取得のために必要な科目ですが、卒業単位には算入されません。

※2 : 2 科目以上修得済みの場合も「公認心理師となるために必要な科目」(25 科目) のうちの 1 科目を修得したものと扱われます。

表 A-2. 心理演習・心理実習の登録要件 : 2018 年 4 月以降入学者

<p>A) 3 年次秋学期に「心理演習」(3 年次・春期集中) を登録するための要件 (2022 年度改訂)</p> <p>原則として、次の条件をすべて満たすこと。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 公認心理師の職責、心理学概論、臨床心理学概論、をすべて修得済みであること。 2) 「公認心理師となるために必要な科目」(25 科目 : 表 A-1) の①~⑫のうち、1) で挙げた科目を含み、<u>15 科目以上を修得済み (※注)</u> であること。 <p>B) 4 年次春学期に「心理実習」(4 年次・通年) を登録するための要件</p> <p>原則として、次の条件をすべて満たすこと。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 心理演習を修得済みであること。 2) 関係行政論、精神疾患とその治療、健康・医療心理学、教えることの科学 (教育・学校心理学) / 教育・学校心理学 (2021 年度以前)、司法・犯罪心理学、産業・組織心理学を修得済みであること。 3) 「公認心理師となるために必要な科目」(25 科目 : 表 A-1) の①~⑫のうち、1) から 2) で挙げた科目を含み、<u>20 科目以上を修得済み (※注)</u> であること。 <p>※注 ⑥および⑬については、複数科目を修得済みの場合も、「公認心理師となるために必要な科目」(25 科目 : 表 A-1) のうち、それぞれ 1 科目を修得したものととして扱われるので注意してください。</p> <p>例) ⑥のうち 3 科目、⑬のうち 2 科目修得済みの場合は、「公認心理師となるために必要な科目」のうち 2 科目修得したものととして扱われます。</p> <p><補足></p> <ul style="list-style-type: none"> ・いずれも原則として人間科学部開講科目を対象とし、他大学および他箇所開講科目は上記の要件に算入しない ・科目登録における「選外」によって条件を満たさないケースについては、状況を精査の上で、特例として「心理演習」もしくは「心理実習」の履修を認める措置を講じる場合があるものとする。 ・「心理実習」(および「心理演習」) においては、科目登録に際して選考を実施する場合がある。

表 A-3. 大学院における「公認心理師となるために必要な科目」(10 科目) : 2018 年 4 月以降入学者

① 心身医学特論 (保健医療分野に関する理論と支援の展開)
② 福祉心理学特論 (福祉分野に関する理論と支援の展開)
③ 学校臨床生徒指導学特論 (教育分野に関する理論と支援の展開)
④ 犯罪心理学特論 (司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)
⑤ 産業・労働心理学特論 (産業・労働分野に関する理論と支援の展開)
⑥ 臨床心理査定演習 I (心理的アセスメントに関する理論と実践) / 臨床心理査定特論 I (心理的アセスメントに関する理論と実践) [2021 年度以前]
⑦ 臨床心理面接特論 I (心理支援に関する理論と実践) / 臨床心理面接法特論 I (心理支援に関する理論と実践) [2022 年度以前]
⑧ 家族臨床心理学特論 (家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)
⑨ 心の健康教育に関する理論と実践
⑩ 臨床心理実習 I (心理実践実習) A と臨床心理実習 I (心理実践実習) B, および, 心理実践実習で合計 10 単位

※優先的な科目履修を希望する場合は、「履修指導制度」に申請・登録をしてください。

資格名	認定心理士													
種類	国家資格・ <u>その他</u> / 受験資格・ <u>申請</u>													
担当教員	杉森 絵里子 先生 (sugimori@waseda.jp) 野村 亮太 先生 (nomuraryota@waseda.jp)													
管轄機関	公益社団法人 日本心理学会													
ホームページ	https://psych.or.jp/qualification/													
概要	<p>心理学の専門家として仕事をするために必要な、最小限の標準的基礎学力と技能を修得している、と日本心理学会が認定した場合に与えられる資格です。申請は、大学を卒業した後で資格取得希望者が個人の資格で申し込むことを原則としていますが、卒業前に「仮認定」を受けて条件付きの「仮認定証」を受領できる「仮認定制度」があります。「仮認定審査」の申請の手続きができる者は、申請書提出時に卒業見込証明書が発行される在学中の学生に限ります。なお、卒業見込証明書は、卒業年度の6月1日以降に発行が可能となります。</p>													
資格取得要件	<p>【表1】に記載されている科目を、以下の要件に従って履修し、書類審査に合格することが必要です。どの科目も、複数領域に重複しては申請できないので注意してください。</p> <table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>「基礎科目」(a~c領域)と「選択科目」(d~h領域)、および「その他の科目」(i領域)から所定の単位数以上を修得することにより資格認定の申請が可能となる。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>「基礎科目」と「選択科目」の各領域は、それぞれ「基本主題」と「副次主題」の項に分類される。「副次主題」は、修得単位数の2分の1が認定の対象となる。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>心理系の「卒業研究」については4単位が「その他の科目」の領域の単位として認められる。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>「基礎科目」はa領域で4単位以上、b領域とc領域の合計が8単位以上(ただし、c領域単独で4単位以上)で、合計が12単位以上であること。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>「選択科目」はd・e・f・g・hの5領域のうち3領域以上でそれぞれが少なくとも4単位以上(必ず「基本主題」を含むこと)で、5領域の合計が16単位以上であること。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>これら「基礎科目」と「選択科目」での単位に、「その他の科目」の単位(必須ではない)を加えて総計36単位以上であること。</td> </tr> </table>		1	「基礎科目」(a~c領域)と「選択科目」(d~h領域)、および「その他の科目」(i領域)から所定の単位数以上を修得することにより資格認定の申請が可能となる。	2	「基礎科目」と「選択科目」の各領域は、それぞれ「基本主題」と「副次主題」の項に分類される。「副次主題」は、修得単位数の2分の1が認定の対象となる。	3	心理系の「卒業研究」については4単位が「その他の科目」の領域の単位として認められる。	4	「基礎科目」はa領域で4単位以上、b領域とc領域の合計が8単位以上(ただし、c領域単独で4単位以上)で、合計が12単位以上であること。	5	「選択科目」はd・e・f・g・hの5領域のうち3領域以上でそれぞれが少なくとも4単位以上(必ず「基本主題」を含むこと)で、5領域の合計が16単位以上であること。	6	これら「基礎科目」と「選択科目」での単位に、「その他の科目」の単位(必須ではない)を加えて総計36単位以上であること。
1	「基礎科目」(a~c領域)と「選択科目」(d~h領域)、および「その他の科目」(i領域)から所定の単位数以上を修得することにより資格認定の申請が可能となる。													
2	「基礎科目」と「選択科目」の各領域は、それぞれ「基本主題」と「副次主題」の項に分類される。「副次主題」は、修得単位数の2分の1が認定の対象となる。													
3	心理系の「卒業研究」については4単位が「その他の科目」の領域の単位として認められる。													
4	「基礎科目」はa領域で4単位以上、b領域とc領域の合計が8単位以上(ただし、c領域単独で4単位以上)で、合計が12単位以上であること。													
5	「選択科目」はd・e・f・g・hの5領域のうち3領域以上でそれぞれが少なくとも4単位以上(必ず「基本主題」を含むこと)で、5領域の合計が16単位以上であること。													
6	これら「基礎科目」と「選択科目」での単位に、「その他の科目」の単位(必須ではない)を加えて総計36単位以上であること。													
必要な手続き等	<p>電子申請による方法と、郵送申請による方法があります。</p> <p>電子申請：<https://psych.or.jp/qualification/shinsei_shinrishi_densi> から申請を行うことができます。申請にあたっては、上記サイトの『電子申請マニュアル』を参照してください。申請データ送信後に審査料(2021年度は10,000円)を支払います。支払方法は、クレジットカード、コンビニ支払、銀行振込を選択可能です。(電子申請の場合、郵送申請の際には必要となる「資格担当教員の署名・捺印」は不要です)</p> <p>郵送申請：「認定心理士資格申請書類」を日本心理学会認定心理士資格認定委員会から取り寄せ(https://psych.or.jp/qualification/doc_index からダウンロード)、「心理学関係科目修得単位表」を作成し、<u>資格担当教員の署名・捺印を受けた後</u>、審査料(振込：2020年度は11,000円)を支払った上で、必要書類一式を認定委員会に送付します。</p> <p>申請後、認定委員会において所定の書類審査が行われ、要件を満たしているか判定された後、本人に結果が通知されます。(合格者は認定料を支払います。2020年度は30,000円。)</p>													
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 認定委員会では、担当者・シラバスの内容に及ぶ審査が行われます。ある年度で認定された科目が、内容等の変更により別の年度では認定されない可能性もあります。 3年次履修登録の前までに、それまでの履修状況と今後の履修計画について、資格担当教員と相談することが望ましいです。(3~4年生については、取得を決意した後すみやかに相談を行ってください。なお相談の際には、既修科目について申請書類(「心理学関係科目修得単位表(郵送用申請書様式3)」に必要事項を記入したもの、もしくは、申請科目を入力した電子申請画面のハードコピー)の形式でまとめ、持参してください。 申請に際して、申請科目のシラバス(受講当該年度のもの)の写しが必要となるため、申請予定者はこれを手元に保存しておいてください。 													

【表1】認定心理士の資格取得に必要な科目の例（2023年度の開講見込科目）

	領域	基本主題	副次主題 (算入単位は、正規単位の1/2)
基礎科目	a. 心理学概論	心理学概論(2), 教えることの科学(教育・学校心理学)(2) [旧: 教育・学校心理学(2), 教育心理学の基礎(2)]	発達心理学(2のうち1), 臨床心理学概論(2のうち1) [旧: 臨床心理学(2のうち1)], 社会・集団・家族心理学(2のうち1) [旧: 社会心理学(2のうち1)], 学習・言語心理学(2のうち1) [旧: 行動心理学(2のうち1)], 感情・人格心理学(2のうち1)
	b. 心理学研究法	心理学研究法(2), 心理学統計法(2), 行動臨床科学研究法(2) [2017年度以前], 実験計画法(2), 多変量解析(2), 実験計画法(応用)(2), SEM(統計的因果分析)(2), 行動観察法01(2), 教育測定論(2) [廃止], 統計学Ⅱ(2) [廃止], 臨床実践研究法(2) [廃止]	統計学Ⅰ(2のうち1) [廃止], 研究法の修得を目的に含む心理系の専門ゼミⅠ・Ⅱ(各4のうち2), データリテラシーⅠ・Ⅲ(各2のうち1), データリテラシーⅡ(4のうち2), 教育のアセスメント理論(2のうち1)
	c. 心理学実験・実習	心理学実験 A/B/C/D(2)のうち2科目 (心理行動学研究法(心理学実験)(4) [廃止] * あるいは 実験心理学研究法(心理学実験)(4) * [*:どちらか一方しか履修できない])	行動臨床科学研究法(心理学実験)(2のうち1) [2018年度以降]
選択科目	d. 知覚心理学・学習心理学	知覚・認知心理学(2) [旧: 認知心理学(2)], 学習・言語心理学(2) [旧: 行動心理学(2)], 感情・人格心理学(2), 環境動機づけ論(2), デザイン心理学(2) [廃止], 行動分析学(2), 生態心理学(2), 日常記憶心理学(2), 情報処理心理学(2) [廃止], 情報と人間(2) [廃止], 教育評価論(2) [廃止]	人間工学(2のうち1), 加齢人間工学(2のうち1), 色彩情報論(2のうち1), 感覚情報工学(2のうち1), この領域の専門ゼミⅠ・Ⅱ(各4のうち2)
	e. 生理心理学・比較心理学	神経・生理心理学(2), 人間行動学(2), 非言語行動論(2)	動物行動学(2のうち1) [廃止], 感覚生理学(2のうち1) [廃止], この領域の専門ゼミⅠ・Ⅱ(各4のうち2)
	f. 教育心理学・発達心理学	発達心理学(2), 教えることの科学(教育・学校心理学)(2) [旧: 教育・学校心理学(2), 教育心理学の基礎(2)], 行動の発達科学(2), 教授学習の心理学(2) [廃止], 発達行動学(2) [休講]	心理教育学(2のうち1), インストラクショナルデザイン(2のうち1), この領域の専門ゼミⅠ・Ⅱ(各4のうち2)
	g. 臨床心理学・人格心理学	臨床心理学概論(2) [旧: 臨床心理学(2)], 感情・人格心理学(2), 障害者・障害児心理学(2), 心理発達検査法(心理学的アセスメント)(2), ケースフォーミュレーション心理学的アセスメント(2), 心理学的支援法(2) [旧: 統合心理療法(2)], 健康・医療心理学(2) [旧: 健康心理学(2)], 福祉心理学(2), 司法・犯罪心理学(2) [旧: 犯罪心理学(2)], 医療・産業カウンセリング(2) [2017年度以前], 認知行動療法(2), 発達臨床心理学(2) [廃止], 高齢者臨床心理学(2) [廃止], 健康の科学と実践(2) [旧: 健康科学概論(2)] [廃止]	精神疾患とその治療(2のうち1), 心身医学(2のうち1) [廃止], 行動医学(2のうち1), 児童青年期の精神医学(2のうち1), 青年期の医学概論(2のうち1) [廃止], ヘルスコミュニケーション(2のうち1) [廃止], この領域の専門ゼミⅠ・Ⅱ(各4のうち2)
h. 社会心理学・産業心理学	社会・集団・家族心理学(2) [旧: 社会心理学(2)], 産業・組織心理学(2), 司法・犯罪心理学 [旧: 犯罪心理学(2)], 文化心理学(2)	建築環境心理学(2のうち1), この領域の専門ゼミⅠ・Ⅱ(各4のうち2)	
のそ科の目他	i. 心理学関連科目, 卒業論文・卒業研究	心理系の卒業研究(4), 心理系の卒業研究ゼミⅠ・Ⅱ(各2), 安全人間工学(2) [廃止], 身体コミュニケーション概論(2), 身体・環境論(2), 劇場認知科学(2)	

◆特記事項

- ・表1の囲みは公認心理師対応科目です。
- ・表には2021年度以前に開講され、その後に廃止もしくは名称変更された科目を含む場合があります。
- ・表1で2領域以上にまたがって記載されている科目であっても、いずれか一つの領域でしか申請できません。
- ・前年度までに廃止となった科目であっても、過去に認定可能とみなされていた科目であれば申請に含めることができます。
- ・他学部での開講科目については、資格担当教員に個別に相談してください。
- ・表中で「基本主題」として分類されている科目であっても、年度によっては認定委員会によって「副次主題」として判断されることもあります。可能な限り単位数に余裕のある申請を行ってください。特にa～c領域の「基本主題」については厳格な審査の対象となるため、提示されている基準単位数に加えて1～2単位程度の安全マージンをとれるように履修計画を立てることが望ましいです。

◆履修の一例（ は基本主題， は副次主題）

以下は説明のための事例であり、年度によっては休講科目が含まれている場合もあります。

基礎科目 (14 単位)	a : <u>「心理学概論」</u> 「 <u>教えることの科学(教育・学校心理学)</u> 」(2+2=4 単位) b : <u>「心理学研究法」</u> 「 <u>心理学統計法</u> 」 <u>「行動観察法 01」</u> (2+2+2=6 単位) c : <u>「心理学実験 C」</u> 「 <u>心理学実験 D」</u> (2+2=4 単位)
選択科目 (23 単位)	d : <u>「知覚・認知心理学」</u> 「 <u>生態心理学</u> 」 <u>「日常記憶心理学」</u> 「 <u>加齢人間工学</u> 」(2+2+2+1=7 単位) e : <u>「非言語行動論」</u> (2 単位) f : <u>「発達心理学」</u> 「 <u>教えることの科学(教育・学校心理学)</u> 」(2+2=4 単位) g : <u>「臨床心理学概論」</u> 「 <u>心理学的支援法</u> 」 <u>「健康・医療心理学」</u> (2+2+2=6 単位) h : <u>「社会・集団・家族心理学」</u> 「 <u>文化心理学</u> 」(2+2=4 単位)
その他の科目 (6 単位)	i : <u>「身体・環境論」</u> 「 <u>心理系の卒業研究</u> 」(2+4=6 単位)
以上の場合、総計 43 単位となる	

資格名	社会調査士
種類	国家資格・ <u>その他</u> / 受験資格 <u>申請</u>
担当教員	浅川 達人先生(t.asakawa@waseda.jp)
管轄機関	一般社団法人 社会調査協会
ホームページ	http://jasr.or.jp/
概要	<p>社会調査士とは、社会調査の企画から実施および報告書作成までの全過程を学習することにより、社会調査に必要な知識や技術を身につけた専門家です。社会調査協会が認定を行います。学部卒業レベルの資格であり、社会調査に関する基礎的な知識・技能、相応の応用力と倫理観を身につけることが要求されます。</p> <p>また、この正規資格とは別に学部在籍中に「社会調査士(キャンディデイト)」資格の認定を受けられますので、就職活動などに利用できます。</p> <p>この資格が役立つ分野としては、研究教育機関、専門調査機関、官公庁、自治体、各種団体、マスコミなどがあげられますが、より広くは社会調査を活用して企業のマーケティングや営業活動に役立てたいという方にも有用です。</p>
資格取得要件	<p>在籍中に【表 1】に記載されている科目を、以下の要件に従って履修することが必要です。</p> <p>◆社会調査士(キャンディデイト): 在籍期間が1年以上(学部2年生)であること</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 標準カリキュラム(A~G)に対応する科目の単位を、すでに3科目(各種類 1 科目ずつ・計 3 科目)以上取得していること。 2. 取得済み・今学期履修中の科目の合計が5科目(各種類 1 科目ずつ・計 5 科目)以上であること。ただし、EとFは選択のため1科目と数える。 <p>※計算の際は、同じアルファベットの科目は、何科目取得しても1科目としてカウントしますので注意してください。</p> <p>◆社会調査士(正規資格): 卒業決定後</p> <p>標準カリキュラム(A~G)に対応する科目の単位を各種類ごとに1科目(計6科目)は修得すること。ただし、EとFはどちらか1つを選択すればよい。</p>
必要な手続き等	<p>◆社会調査士(キャンディデイト)</p> <p>毎年6月と10月の2回、申請を受け付けています。以下の手順にしたがって申請してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 社会調査協会の HP(http://jasr.or.jp/)で「学生の方」の下にある「資格申請(WEB 入力)」ボタンを押し、「資格申請のための登録」を行います。 ② この登録を行った後に、ログインして申請のための必要な情報を入力し、プリントアウトします。 ③ 申請手数料(2020年度からは16,500円)を郵便局で振り込み、振り込み受領書(またはコピー)を認定申請書の裏面に貼り付けてください。 ④ 最後に、それら必要書類を揃えて学部事務所に提出してください。 <p>◆社会調査士(正規資格)</p> <p>卒業時(3月)に申請を受け付けています。以下の手順で申請してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 社会調査協会の HP(http://jasr.or.jp/)で「学生の方」の下にある「資格申請(WEB 入力)」を押し必要項目を入力し、「申請書」を作成・印刷してください。 ただし、社会調査士(キャンディデイト)をおもちの方は「社会調査士資格変更申請書」を、それ以外の方は「社会調査士資格申請書」を作成します。 ② 認定手数料(2020年度からは16,500円)を郵便局で振り込み、その振り込み受領書(またはコピー)を申請書の裏面に貼り付けます。 ※すでに社会調査士(キャンディデイト)を認定済みで、社会調査士(正規資格)に変更する場合は、資格変更手数料(2020年度からは5,500円)だけが必要です。 ③ それらの必要書類を揃えて学部事務所に提出します。
注意事項	<p>資格要件等の詳細は、あらかじめ社会調査協会のホームページで必ず確認しておいてください。また、申請時期が近づいた際には所沢総合事務センター連絡 Web ページ等で周知しますので、見過ごさないようご注意ください。</p>

※優先的な科目履修を希望する場合は、「履修指導制度」に申請・登録をしてください。

【表1】社会調査士の資格取得に必要な科目 ○のついている年度に履修した科目のみ使用できます。

標準カリキュラム	人間科学部で 対応する科目名	年度					
		2013	2014	2015 ～ 2020	2021	2022	2023 ～ 2024
A 社会調査の基本的 事項に関する科目	家族社会学	○	○	○	○	○	
	社会調査論	○	○	○	○	○	○
	人口社会学					○	○
B 調査設計と実施方法 に関する科目	社会開発論	○	○				
	社会調査法 01～04	○	○	○	○	○	○
	インタビュー調査法 01～ 04	○	○	○	○	○	○
C 基本的な資料とデ ータの分析に関する 科目	調査データ分析法 01、02	○	○	○	○	○	○
	アンケート調査法 01～05	○	○	○	○	○	○
D 社会調査に必要な 統計学に関する科目	データリテラシーⅡ	○	○	○	○	○	○
E 量的データ解析の 方法に関する科目	データリテラシーⅢ		○	○	○	○	○
	多変量解析 01	○	○	○	○	○	○
	多変量解析 02		○	○	○	○	○
F 質的な分析の方法 に関する科目	生態人類学	○					
	環境社会学	○	○				
G 社会調査の実習を 中心とする科目	社会調査実習	○	○	○			
	社会調査実習Ⅰ、Ⅱ				○	○	○
	専門ゼミⅠ(人口研究) 武田尚子ゼミ				○	○	○

◆科目履修の一例

- *表2は説明のための事例であり、各学年で実際に履修する科目の組み合わせは変更可能です。
- *ただし、「データリテラシーⅡ」と「データリテラシーⅢ」は自動登録科目として配当学年が定められています。
- *この例では、3年生の段階で履修済み(3科目)+履修中(2科目)を合わせて5科目となり、春学期ないし秋学期の途中で「社会調査士(キャンディデート)」資格を申請することができます。
- *最終的にA～Gまでの6種類6科目を履修して、社会調査士資格を取得できます。
- *2021年度より開講されている「社会調査実習Ⅰ(春)」と「社会調査実習Ⅱ(秋)」は、両方とも取得する必要があります。「社会調査実習Ⅱ(秋)」の履修については、「社会調査実習Ⅰ(春)」を修得することを前提とします。

【表2】社会調査士資格取得までの履修例

1～2年生 (3科目)	A:「社会調査論」 D:「 <u>データリテラシーⅡ</u> 」(1年生配当) E:「 <u>データリテラシーⅢ</u> 」(2年生配当)
3年生 (4科目)	B:「社会調査法」 C:「アンケート調査法」 G:「社会調査実習Ⅰ,Ⅱ」

資格名	社会福祉士(国家試験受験資格)
種類	国家資格・その他 / 受験資格・申請
担当教員	松原 由美先生(y-matsubara@waseda.jp)
管轄機関	厚生労働省
ホームページ	http://www.sssc.or.jp/shakai/index.html
概要	<p>社会福祉士とは、社会福祉領域の国家資格で「ソーシャルワーカー」とも言われ、公的機関、医療、福祉、教育等の領域で相談援助に携わる職種です。社会福祉士及び介護福祉士法の中で、少子高齢化、新たな貧困問題、虐待等、増大する福祉ニーズに対応するために、「福祉に関する相談に応じ、助言、指導、福祉サービスを提供する者又は医師その他の保健医療サービスを提供する者その他の関係者との連絡及び調整その他の援助を行う」者として位置づけられています</p> <p>増加するニーズに伴い、今、福祉人材は需要が多い職種です。自治体でも福祉専門職の採用があるところが増加していますし、一般企業でも高齢社会への対応やSDG's への取組が求められる中、福祉の視点を持つ人材が求められています。キャリアを積み、独立型社会福祉士として開業している方もいます。将来、多様な働き方ができる社会福祉士国家資格の受験資格をぜひ、取得してみませんか。</p>
資格取得要件	<p>在学中に【表1】に記載されている科目を、すべて履修し、卒業すると受験資格が得られます。</p> <p>中には、2021年度以降入学者:240時間(30日以上)／2020年度以前入学者:180時間(23日以上)の現場実習が含まれています。相談機関や福祉施設での実習を通じて、社会福祉に関する知識と技術を高めます。実習の期間は、2020年度以前入学者は3年生の夏休み、2021年度以降入学者は2年生と3年生の夏休みですが、他のインターンシップなどと重なる場合は、相談に応じます。</p>
必要な手続き等	<p>国家試験は、卒業直前の1月下旬から2月初旬に実施され、受験願書や必要書類(大学が発行する指定科目履修に関する証明書等)は前年の10月に提出するのが通例です。全国24カ所の会場で、19科目に関して試験が実施されます。結果は3月15日前後に公表され、合格すれば登録手続きを経て、社会福祉士となります。</p> <p>受験の手続きに関しては、所沢総合事務センター連絡 Web ページ等にて周知します。</p>
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 健康福祉科学科在籍者のみ取得可能です。 現場実習を受講する前年度に行われる社会福祉士受験資格取得のための説明会への出席が必須です。説明会の詳細は所沢総合事務センター連絡 Web ページ等にて周知します。説明会に参加できない場合は、必ず資格担当教員に連絡してください。 受験資格を得るためには、「1つの大学で、指定科目を修めて卒業すること」が条件となっています。よって、在学中にすべての単位を修得する必要があります。卒業後に科目等履修生として不足科目を修得しても、受験資格を得ることはできません。(※ただし、社会福祉現場実習Ⅱのみ科目等履修可) 社会福祉現場実習ⅠとⅡを行なうにあたり、別途実習費(社会福祉現場実習Ⅰ(2年次)は20,000円、社会福祉現場実習Ⅱ(3年次)は40,000円)が必要です。一度納入した実習費は返金しません。 「社会福祉演習ⅠとⅡ」また「社会福祉演習ⅢとⅣ」は同時に履修することを前提としています。条件を満たさないとエラーとなります。 以下の科目は【】内の年度に履修した場合には自由科目扱いとなり、卒業所要単位には含まれません。 【2013年度以降】社会福祉演習Ⅲ～Ⅴ、社会福祉現場実習指導Ⅰ～Ⅲ、社会福祉現場実習【2015年度以前】福祉サービスの組織と経営、権利擁護と成年後見制度

※優先的な科目履修を希望する場合は、「履修指導制度」に申請・登録をしてください。

【表1】社会福祉士(国家試験受験資格)の資格取得に必要な科目

※2021年度以降の入学者・2020年度以前の入学者によって適用となるカリキュラムが異なります。

(2021年度以降入学者)

厚生労働省指定科目	科目名
医学概論	人体の構造と機能及び疾病
心理学と心理的支援	心理学概論
社会学と社会システム	社会学
社会福祉の原理と政策	現代社会と福祉 社会福祉概論
社会福祉調査の基礎	社会調査論
ソーシャルワークの基盤と専門職	社会福祉援助技術総論Ⅰ
ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	社会福祉援助技術総論Ⅱ
ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワーク論Ⅰ ソーシャルワーク論Ⅱ
ソーシャルワークの理論と方法(専門)	ソーシャルワーク論Ⅲ ソーシャルワーク論Ⅳ
地域福祉と包括的支援体制	地域福祉論Ⅰ 地域福祉論Ⅱ
福祉サービスの組織と経営	福祉サービスの組織と経営
社会保障	社会保障論Ⅰ 社会保障論Ⅱ
高齢者福祉	老年学
障害者福祉	障害者福祉論
児童・家庭福祉	子ども家庭福祉論
貧困に対する支援	貧困に対する支援
保健医療と福祉	保健福祉制度
権利擁護を支える法制度	権利擁護を支える法制度
刑事司法と福祉	司法福祉 ^{※1}
ソーシャルワーク演習	社会福祉演習Ⅰ
ソーシャルワーク演習(専門)	社会福祉演習Ⅱ 社会福祉演習Ⅲ 社会福祉演習Ⅳ 社会福祉演習Ⅴ
ソーシャルワーク実習指導	社会福祉現場実習指導Ⅰ 社会福祉現場実習指導Ⅱ 社会福祉現場実習指導Ⅲ
ソーシャルワーク実習	社会福祉現場実習Ⅰ 社会福祉現場実習Ⅱ

(2020年度以前入学者)

厚生労働省指定科目	科目名
人体の構造と機能及び疾病、心理学理論と心理的支援、社会学理論と社会システムのうち1科目	人体の構造と機能及び疾病、心理学概論、社会学のうちいずれか1科目
現代社会と福祉	現代社会と福祉 社会福祉概論
社会調査の基礎	社会調査論
相談援助の基礎と専門職	社会福祉援助技術総論Ⅰ 社会福祉援助技術総論Ⅱ
相談援助技術の理論と方法	ソーシャルワーク論Ⅰ ソーシャルワーク論Ⅱ ソーシャルワーク論Ⅲ ソーシャルワーク論Ⅳ
地域福祉の理論と方法	地域福祉論Ⅰ 地域福祉論Ⅱ
福祉行財政と福祉計画	福祉行財政と福祉計画
福祉サービスの組織と経営	福祉サービスの組織と経営
社会保障	社会保障論Ⅰ 社会保障論Ⅱ
高齢者に対する支援と介護保険制度	老年学 介護学概論

(次ページへ続く)

障害者に対する支援と障害者自立支援制度	障害者福祉論
児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	子ども家庭福祉論
低所得者に対する支援と生活保護制度	貧困に対する支援 ^{※2}
保健医療サービス	保健福祉制度
就労支援サービス、権利擁護と成年後見制度、更生保護制度のうち1科目	就労支援及び更生保護、権利擁護を支える法制度 ^{※3} のいずれか1科目
相談援助演習	社会福祉演習Ⅰ 社会福祉演習Ⅱ 社会福祉演習Ⅲ 社会福祉演習Ⅳ 社会福祉演習Ⅴ
相談援助実習指導	社会福祉現場実習指導Ⅰ 社会福祉現場実習指導Ⅱ 社会福祉現場実習指導Ⅲ
相談援助実習	社会福祉現場実習Ⅱ ^{※4}

※1 2023年度は開講しません。

※2 2020年度までの科目名は「公的扶助論」であり、「貧困に対する支援」を修得済の場合は「公的扶助論」を修得したものと読み替えます。

※3 2020年度までの科目名は「権利擁護と成年後見制度」であり、「権威擁護を支える法制度」を修得済の場合は「権利擁護と成年後見制度」を修得したものと読み替えます。

※4 2021年度までの科目名は、「社会福祉現場実習」であり、「社会福祉現場実習Ⅱ」を修得済の場合は、「社会福祉現場実習」を修得したものと読み替えます。

資格名	第一種衛生管理者
種類	国家資格・その他 / 受験資格(申請)
担当教員	辻内 琢也 先生 (tsujiuchi@waseda.jp)
管轄機関	公益財団法人 安全衛生技術試験協会
ホームページ	http://www.exam.or.jp/exmn/H_shikaku502.htm
概要	<p>常時50人以上の労働者を使用する事業場では、衛生管理者免許を有する者のうちから労働者数に応じ一定数以上の衛生管理者を選任し、安全衛生業務のうち、衛生に係わる技術的な事項を管理させることが必要です。</p> <p>第一種衛生管理者免許を有する者は、すべての業種の事業場において衛生管理者となることができます。</p> <p>主な職務は、労働者の健康障害を防止するための作業環境管理、作業管理及び健康管理、労働衛生教育の実施、健康の保持増進措置などです。</p>
資格取得要件	在学中に【表1】に記載されている科目をすべて履修し、卒業すると資格が得られます。
必要な手続き等	<p>卒業年次の3月15日以降、指定科目履修証明書と卒業証明書を取得し、4月1日以降に現住所の都道府県労働局安全主務課に個人で申請する必要があります。交付まで1カ月ぐらいかかるので早めに手続きをしてください。必要書類は以下のとおりです。</p> <p>①免許申請書(あらかじめ所定の労働局に電話して送ってもらう)</p> <p>②卒業証明書と指定科目履修証明書各1通</p> <p>③収入印紙、写真、印鑑など(免許申請書とともに送られてくる書類を確認すること)</p>
注意事項	健康福祉科学科在籍者のみ取得可能です。
その他	<p>この資格の取得を希望する人は通常国家試験を受けなくてはなりませんが、国家資格としては珍しく、一定の条件を満たした場合には無試験で資格を取得できます。</p> <p>そのため申請できる人は限られており、保健師、薬剤師、医師、歯科医師の資格を持っている人のほか、厚生労働省によって衛生管理者資格取得が許可された学科(本学部では健康福祉科学科のみ)を専攻し、所定の科目を全て履修して卒業した人のみが資格申請の対象者になります。</p> <p>会社で取得するように言われた場合には受験のための勉強がかなり必要になりますので、学生の間に取得しておくことをお勧めします。</p>

【表1】第一種衛生管理者の資格取得に必要な科目 ※1

2024 年度以降 科目名	2017 年度～2023 年度 科目名
労働安全衛生法Ⅰ	労働安全衛生法Ⅰ
労働安全衛生法Ⅱ	労働安全衛生法Ⅱ
生理学	生理学
環境医科学	環境医科学
生活習慣病の人間科学	生活習慣病の人間科学
社会予防医学	社会予防医学
人体の構造と機能及び疾病※3	人体の構造と機能及び疾病※2
	救急医学※2
産業医学	産業医学

※1:2024 年度の申請より、資格取得に必要な科目数が 8 科目に変更となりました。

※2:2023 年度までに履修された「救急医学」は、2024 年度以降の申請時に「人体の構造と機能及び疾病」を履修したものと読み替える。

※3:資格取得を目指しており、以下に該当する学生は科目登録期間中に所沢総合事務センターへ来室してください。Web 上では科目登録ができませんので注意してください。

・2024 年度新開講の「人体の構造と機能及び疾病」は、救急医学の内容を半分含みます。2023 年度までに「救急医学」が未履修であり、2023 年度以前の「人体の構造と機能及び疾病」の単位を修得済の方は、2024 年度以降の「人体の構造と機能及び疾病」の履修が必要ですので、「自由科目」として登録します。

資格名	オラクル認定 Java プログラマ (Java SE Bronze 認定資格)
種類	国家資格(その他) / (受験資格)申請
担当教員	尾澤 重知 先生(ozawa@waseda.jp)
管轄機関	オラクル社
ホームページ	http://education.oracle.com/
概要	<p>Java 言語の基本的な技術力や実践的な開発力・設計力といった幅広い能力について、オラクル社が認定する資格です。オラクル社は Java 言語の開発・普及を行なっている企業であると同時に、データベースにおいて世界トップクラスのソフトウェア開発企業です。本資格の取得により、Java 言語を用いたプログラミングなどについて基本的な能力をもっていることを世界共通で証明することができます。</p>
資格取得要件	<p>オンライン試験もしくは、オラクル社の指定する方法・会場にて受験し、一定基準を満たすことにより資格を取得できます。プログラミング I (Java 言語)、プログラミング II (Java 言語)で関連する内容を学習することができます。</p>
必要な手続き 注意事項等	<p>オラクル認定資格制度(Java SE)は3段階のレベルに分かれており、Bronze → Silver → Gold とステップアップを目指す仕組みになっています。Bronze はプログラミング I(Java 言語)の内容全てと II(Java 言語)の一部が出題範囲です。</p> <p>段階によって授業方法や受験料などが異なるので Web で確認してください。</p> <p>人間科学部 はオラクル社の Oracle Academy に参加しており、登録すると各種ソフトウェアや教材の利用や、認定資格の受験の特別割引などの特典を受けられます。</p>

資格名	社会福祉主事(任用資格)
管轄機関	厚生労働省
ホームページ	http://www.mhlw.go.jp/bunya/seikatsuhogo/shakai-kaigo-fukushi8.html
概要	福祉事務所現業員として任用される者に要求される資格(任用資格)であり、社会福祉施設職員等の資格に準用されています。
資格取得要件	在学中に【表1】に記載されている厚生労働省告示による指定科目一覧のうち、3科目以上を履修し、公務員として役所に勤務して初めてなることのできる資格です。
必要な手続き等	社会福祉主事の任用条件を満たしているかについては、履修済科目が記載された「成績証明書」および「卒業証明書」もしくは「卒業・成績証明書」により証明します。単位修得証明書は発行しません。
注意事項	国家資格ではありません。社会福祉士との混同に注意すること。

【表1】社会福祉主事(任用資格)に必要な科目

厚生労働省告示 による指定科目	2013年度以降 科目名
社会福祉概論	「現代社会と福祉」及び「社会福祉概論」 (両方の単位修得が必要)
社会福祉援助技術論	① 社会福祉援助技術総論Ⅰ、Ⅱ (両方の単位修得が必要) ② ソーシャルワーク論Ⅰ～Ⅳ (すべての単位修得が必要)
社会福祉調査論	社会調査論
社会福祉施設経営論	福祉サービスの組織と経営
社会福祉行政論	福祉行財政と福祉計画
社会保障論	社会保障論Ⅰ、Ⅱ(両方の単位修得が必要)
公的扶助論	公的扶助論(2020年度修得点まで有効)
児童福祉論	なし
身体障害者福祉論	障害者福祉論
知的障害者福祉論	障害者福祉論
精神障害者保健福祉論	なし
老人福祉論	なし
地域福祉論	地域福祉論Ⅰ、Ⅱ(両方の単位修得が必要)
法学	法学
心理学	心理学概論
社会学	社会学
倫理学	倫理学
医学一般	人体の構造と機能及び疾病
リハビリテーション論	なし
介護概論	介護学概論
栄養学	なし

(注)既に右記の科目を履修した場合は社会福祉主事の対象科目となります。【児童福祉論Ⅰ、老人福祉論Ⅰ、法学概論】

10.

その他の伝達事項

10.1 所沢総合事務センターからの連絡

科目登録に関する訂正などの伝達事項は人間科学部 Web サイトに掲載します。科目登録の前に確認してください。【URL】
<https://www.waseda.jp/fhum/hum/>

緊急を要する個別の連絡は MyWaseda のお知らせ および メール等を用いる場合もありますので、こまめに確認してください（週に1度はメールの整理をし、容量オーバーで重要な伝達を受け取れないことがないようにしましょう）。

携帯電話にメッセージを残す設定が出来る場合、必ず設定をしてください。また、緊急時の連絡先として携帯電話の番号を MyWaseda 上で登録してください。

10.2 緊急連絡の通知方法

早稲田大学では、台風や大地震による交通機関の不通やインフルエンザを含む法定伝染病の流行などに際して、全学休講などに関する緊急連絡をすることがあります。早稲田大学のトップページのほか、トップページにアクセスが集中して閲覧しにくくなった場合に備え、以下のサイトでも同じ内容を通知します。緊急時に大学からの連絡が確認できるよう、普段から以下のサイトにアクセスできることを確認するとともに、これらのサイトを各自のPCや携帯電話などの「お気に入り」に登録してください。

1]早稲田大学トップページ

<https://www.waseda.jp/>

2]早稲田大学緊急用お知らせサイト(携帯端末からのアクセス可能)

<https://emergency-notice.waseda.jp/>

3]MyWasedaログイン前画面

<https://my.waseda.jp/>

4]早稲田大学公式X(旧Twitter)アカウント

アカウント名: @waseda_univ

10.3 学生情報変更

学生本人の情報のうち、現住所等の変更については、MyWaseda から行うのが便利です。「個人情報照会・変更」の「学生基本情報変更」から申請を行ってください。事務センターでは変更内容を確認後、学生証裏面シールを発行します。その旨のメールが届きましたら、なるべく早いうちに事務センターへお越しください。

10.4 クラス担任

学生の相談相手となって、勉学・学生生活に関して必要な助言を与えるために学生クラス担任制度が設けられています。各種学籍異動願を提出する際にも、クラス担任との面談が必要となります。

1・2年生は初年度春学期科目「基礎ゼミⅠ」の担当教員が、3年生以上は各自の所属している専門ゼミ・卒業研究の指導教員がクラス担任となります。なお、入学後3年目以降(休学・留学を含む)に専門ゼミに所属していない場合は教務主任(学生担当)がクラス担任となります。

通常の勉学・学生生活に限らず、留学のこと、就職のことなど遠慮なくクラス担任に相談してください。

10.5 休講の確認方法

授業の休講については、以下の方法で確認してください。

- ① 掲示板
- ② MyWaseda

MyWaseda にログイン

画面上部メニュー
の「授業」をクリック

メニュー左側の「授業関連」
-「休講」をクリック

10.6 授業休講措置

気象情報悪化等、次に挙げる事案に際し、全学休講とする場合があります(休日および休業期間を除く)。休講・延期となるのは、対象キャンパスにて対面で実施されるすべての授業および試験となります。

学生は大学の決定した授業の休講・試験の延期措置に原則として従うこととしますが、授業が実施されるキャンパスまでの経路において、交通機関の乱れや弾道ミサイル発射に伴う J アラート発信等により通学することが危険又は困難であると自身で判断し、通学を見合わせた場合は、所属箇所事務所による承認済みの欠席届をもって、該当科目の担当教員へ配慮を願うことができます。(ただし、最終的な判断は担当科目の教員が行います。)

■例外的な対応

オンライン授業受講にあたっては、授業を受講する場所において、気象状況の影響等により受講が困難である場合は、各自で判断してください。各自の判断で視聴を見合わせた場合は、後日、所沢総合事務センターにおいて手続きを行うことにより、欠席の配慮を求めることができます(ただし、最終的な判断は担当科目の教員が行います)。

(1)気象状況悪化

気象庁による気象警報のみに基づく授業の休講・試験の延期措置は行いません。

ただし、大雨、洪水、暴風、暴風雪、大雪等の気象状況および気象庁による気象警報をもとに、危険であると判断した場合は、次のとおり、授業の休講・試験の延期措置をとります。なお、大学から特段の通知等がない場合は、原則として授業の休講・試験の延期措置は行いません。

1. 授業の休講・試験の延期措置を決定する場合は、原則として、各時限の授業・試験開始 60 分前までに決定し、以下に記載の「緊急時の通知方法」に従って周知・広報します。ただし、できる限り授業・試験開始の 2 時間前までには周知できるよう努力します。
2. 台風や大雪等、気象状況が時間の経過とともに悪化することが十分予測される場合は、前日に授業の休講・試験の延期措置の決定を行うことがあります。その場合は、前日の午後7時までに決定の判断を行い、学生への周知は以下「(5) 緊急時の通知方法」に従って前日の午後9時までに周知します。

(2)大地震

大地震発生により、授業実施が困難であると判断した場合は、次のとおり、授業の休講・試験の延期措置をとります。

1. 授業の休講・試験の延期措置を決定した場合は、直ちに以下「(5) 緊急時の通知方法」に従って周知・広報します。
2. 授業時間中の場合は、校内放送で迅速に周知します。

(3)大規模停電発生

電力需要量が供給量を大幅に上回り、予測不能な大規模停電が発生した際には、次のとおり授業を休講とし、復旧の翌日の1時限から授業を再開することとします。

1. 授業時間中(1～7時限)に大規模停電が発生した場合
状況が落ち着くまで教室待機とします。その後の授業は全て休講とします。
2. 授業時間外に大規模停電が発生した場合
当日の授業は全て休講とします。

(4)首都圏交通機関のストライキ

所沢キャンパスでは、次の1、2、3、5を適用し、早稲田・戸山・西早稲田キャンパスの場合は、1、2、3、4を適用します。

1. JR等交通機関のストライキが実施された場合(ゼネスト)
 首都圏におけるJRのストライキが
 - A 午前0時まで中止された場合、平常通り授業を行います。
 - B 午前8時まで中止された場合、授業は3時限目から行います。
 - C 午前8時まで中止の決定がない場合は、授業は終日休講とします。
 上記は、JRの順法闘争および私鉄のストには適用しません。
2. 首都圏JRの部分(拠点)ストライキが実施された場合
 通常通り授業を行います。
3. 首都圏JRの全面時限ストライキが実施された場合
 - A 午前8時までストライキが実施された場合、授業は3時限目から行います。
 - B 正午までストライキが実施された場合、6時限目から授業を行います。
 - C 正午を越えてストライキが実施された場合、授業を終日休講とします。
4. 私鉄、都市交通のみストライキが実施された場合
 平常通り授業を行います。
5. ① 西武鉄道新宿線または西武鉄道池袋線のどちらか一方でもストライキが実施された場合
 ② ①の西武鉄道両線のストライキが実施されない場合でも、西武バスのストライキが実施された場合
 次の通りとします。
 - A 午前8時までストライキが実施された場合、授業は3時限目から行います。
 - B 午前8時を越えてストライキが実施された場合、授業を終日休講とします。

(5)緊急時の通知方法

緊急時に大学から通知する内容は、以下の方法で確認してください。

- 1) 早稲田大学緊急用お知らせサイト
<https://emergency-notice.waseda.jp/>
- 2) MyWaseda 内のお知らせ
- 3) Waseda メール

また、以下からも同一の内容にアクセスできます。

- 1) MyWaseda ログイン前画面 <https://my.waseda.jp/>
- 2) 早稲田大学公式 Web サイト <https://www.waseda.jp/>
- 3) 早稲田大学公式 X(旧 Twitter) https://twitter.com/waseda_univ
- 4) 早稲田大学公式 Facebook <https://www.facebook.com/WasedaU>

10.7 授業を欠席した場合の扱い

人間科学部では授業を欠席した者に対する措置は定めていませんが、以下の事例により、「授業欠席(オンライン授業における未受講を含む)」、「レポート未提出」、「試験未受験」に該当する場合は、所沢総合事務センターで手続きを行うことで、その間の取り扱いについて成績評価において不利にならないよう当該科目の担当教員に配慮を願い出ることができます。

ただし、欠席の取り扱いの最終的な判断は担当教員が行いますので、その点理解いただき手続きを行ってください。

※以下の手続き方法は感染症の流行や災害の発生、および社会情勢の影響により変更する可能性があります。最新の手続き方法は以下の web サイトから確認してください。

・人間科学部 Web サイト
<https://www.waseda.jp/fhum/hum/>

(1)忌引き

〈忌引きの対象および日数〉

対象:1親等(親、子)、2親等(兄弟姉妹、祖父母、孫)および配偶者

日数:授業実施日連続7日まで

※ただし、対象者が海外在住者の場合は、その日数については柔軟に対応する。

〈手続方法〉

- ① 欠席期間終了後10日以内に、所沢総合事務センターに申し出て、「忌引きによる欠席届」を受け取る。(所沢総合事務センター連絡Web ページよりダウンロード可能)
- ② 「忌引きによる欠席届」(記入済)および会葬礼状等を、すみやかに所沢総合事務センターに提出する。
 ※保護者等が死去した場合は、保護者等変更の手続きも必要となる。
- ③ 所沢総合事務センターにて「忌引きによる授業欠席等に関する取扱いのお願い」を受け取る。
- ④ 「忌引きによる授業欠席等に関する取扱いのお願い」を持参し、科目担当の先生(オンライン授業の場合はEメール、LMS等を通じて、あるいは科目設置箇所事務所)に欠席等に関する取扱いを申し出る。また、Tutorial Englishを履修している場合は「早稲田大学アカデミックソリューション」にも連絡する。(03-5286-8030)

(2)学校において予防すべき感染症

〈対象〉

対象:保健センターWeb サイト「学校において予防すべき感染症」を参照

<https://www.waseda.jp/inst/hsc/information/healthcare/infection>

※新型コロナウイルス感染症関連についても、上記 Web サイトをご確認ください。

〈手続方法〉

- ① 罹患したことを、所沢総合事務センターに連絡する。
- ② 登校の許可または出席停止期間終了後に、診断を受けた医師に『「学校において予防すべき感染症」登校許可証明書』（所沢総合事務センター連絡Webページよりダウンロード可能）の記入を依頼する。
- ③ 記入済みの『「学校において予防すべき感染症」登校許可証明書』および「学校における感染症に関わる欠席届」（所沢総合事務センター連絡Webページよりダウンロード可能）を所沢総合事務センターに提出する。
- ④ 受付印の押された「学校における感染症に関わる欠席届」を受け取る。
- ⑤ 「学校における感染症に関わる欠席届」を持参し、科目担当教員（オンデマンド授業の場合は科目設置個所）に欠席等に関する取扱いを申し出る。また、Tutorial Englishを履修されている方は「早稲田大学アカデミックソリューション」にも連絡すること。（03-5286-8030）

※新型コロナウイルス感染症の場合は、出席停止を指示する範囲及び手続方法が異なる場合があるため、最新の情報を上記の保健センターホームページで確認してください。なお、罹患の場合のみならず、ワクチン接種の副反応による欠席および大学が出席停止を指示した場合等の欠席も、配慮を願い出ることが可能です。詳細は所属箇所（学部・研究科等）事務所までお問合せください。

(3)裁判員制度

【対象】

裁判員候補者に指名され、裁判員選任手続期日、審理・公判当日に、裁判所へ出頭する本学通学課程に在学する者（国内交換留学生は、これに準ずる）

※科目等履修生や人間科学部 e スクール学生は対象外とする。

【手続方法】

- ① 「裁判員制度に関わる欠席届」（所沢総合事務センターにて入手）および「選任手続き期日のお知らせ（呼出状）」を所沢総合事務センターに提出する。
- ② 受付印の押された「裁判員制度に関わる欠席届」を受け取る。
- ③ 「裁判員制度に関わる欠席届」を持参し、科目担当教員（オンライン授業の場合はEメール、LMS等を通じて、あるいは科目設置箇所事務所）に欠席等に関する取扱いを申し出る。また、Tutorial Englishを履修されている方は「早稲田大学アカデミックソリューション」にも連絡する。（03-5286-8030）

参考

法律により学生であることを理由に、裁判員の辞退を願い出ることができます。

裁判員の参加する刑事裁判に関する法律（第十六条抜粋）

（辞退事由）

第十六条 次の各号のいずれかに該当する者は、裁判員となることについて辞退の申し立てをすることができる。

- 一 年齢七十年以上の者
- 二 地方公共団体の議会の議員（会期中の者に限る。）
- 三 学校教育法第一条、第二百二十四条又は第三百四十四条の学校の学生又は生徒（常時通学を要する課程に在学するものに限る）

(4)「介護等体験」「教育実習」期間の取扱い【教職課程】

【対象】

教職課程を履修し、「介護等体験」または「教育実習」を行う者

【日数】

実習期間

※ただし、クォーター科目の履修期間中に実習期間が該当する場合、配慮が難しいため、当該期間にはクォーター科目の履修登録を行わないこと。

【手続方法】

介護等体験:「教職課程履修の手引き」に定める方法により、配慮を願い出る。詳細は介護等体験ガイダンスおよびガイダンス配布資料にて案内する。

教育実習:「教職課程履修の手引き」に定める方法により、配慮を願い出る。詳細は実習前年度の3月頃に配布する「教育実習関連書類」にて案内する。

上記(1)(2)(3)(4)以外の欠席理由については、個別に該当科目の担当教員に相談してください。

10.8 2024年度における延長生の学費

2024年度において延長生である学生の学費については、前学期終了時点での判定を元に以下のとおりとなりますので、十分注意してください。ここでいう延長生とは、在学年数(休留学期間を含まない)が標準修業年限である4年間を超えている学生を指します。

※入学年度により、学費減免基準が異なりますので、十分に注意してください。

【2016年度以前の入学者】

単位取得状況	授業料	全学グローバル教育費 教育環境整備費 実験実習料	学生健康増進 互助会費
不足単位数が4単位以下	学則所定額の 50%	学則所定額	学期ごと 1,500円
不足単位数が 5単位以上、20単位以下	学則所定額の 70%		
不足単位数が21単位以上	学則所定額		

※学則所定額についての案内は事務センターで配付しています。

【2017年度以降の入学者】<参考>

単位取得状況	授業料	実験実習料	学生健康増進 互助会費
不足単位数が4単位以下	当該学期4年度生の 50%	当該学期4年度生と 同額	学期ごと 1,500円
不足単位数が5単位以上	当該学期4年度生と 同額		

※この場合の不足単位数とは、卒業所要単位数と前学期終了時点での卒業算入既得単位数との差を指します。

※延長生の方の口座振替日は4年生までと異なり、春学期分7月5日、秋学期分12月5日となります。

※休学や留学の経験がある学生や、早稲田大学に学費を支払う種類の留学(在学)期間中の学費については、算出方法が異なるので、個別に問い合わせてください。

※人間科学部の場合卒業研究(2012年度以前入学者は4単位・2013年度以降入学者は8単位)・卒業研究ゼミⅠ(卒業研究A)(2単位)・卒業研究ゼミⅡ(卒業研究B)(2単位)の合計8単位または12単位は、卒業研究合格と同時に成績がつく(単位修得となる)ので、注意してください。

10.9 端末室(コンピュータールーム)

■端末室開室予定(2024年3月18日～4月11日 ※日曜・祝日は閉室)

キャンパス	号館	教室	設置台数	開室日	開室時間
所沢	100号館 (3F)	321-1	32	3/18～4/11 (日曜・祝日は閉室)	平日 8:50～18:00 土曜 8:50～14:00 ※4/1からは土曜閉室
		321-2	32		
		322	64		
東伏見	79号館 (4F)	405	52	3/18～4/11の平日のみ	平日 8:50～18:00
		406	50	閉室	閉室

※2024年4月12日より、土曜・日曜・祝日は全室閉室

※更新作業や臨時メンテナンスなどにより開室予定が変更となる場合があります。利用を予定している方は、各キャンパスの掲示物や下記【端末室利用状況案内】などで開室予定をご確認の上、各キャンパスへお越しください。

※プリンタを利用する方は、印刷用の用紙を各自でご用意ください。

※キャンパスマップは以下の URL を参照してください。

所沢キャンパス

>>>>> <http://www.waseda.jp/fhum/hum/facility/>

>>>>> <http://www.waseda.jp/fsps/sps/facility/>

東伏見キャンパス

>>>>> <http://www.waseda.jp/top/access/higashifushimi-campus>

【参考】授業期間中の利用について

<開室時間>

【所沢：月～金 8:50～18:00、土日祝閉室】

【東伏見：月～金 8:50～18:00、土日祝閉室】

※閉室日は基本的に授業カレンダーに則ります。

・端末室の使用は授業利用などが優先となります。

・授業などの予定がない時間帯は、オープン利用教室として開放します。

・端末室スケジュールなどをご確認の上、ご利用ください。

■4月の授業開始までは、科目登録及びメールアドレス取得での利用を優先いたします。

■自宅でパソコンが使用できない場合は積極的にご活用ください。ただし、科目登録の受付締切時間の2時間前からは混雑が予想されますので、この時間帯の利用はできるだけ避けてください。

■所沢、東伏見キャンパス以外の端末室の開室予定は、早稲田大学 I T サービスナビ(Web サイト)のコンピュータルームガイドをご確認ください。

>>>>> <http://www.waseda.jp/navi/room/>

■主要な端末室の開室状況やパソコンの空き状況については、I T サービスナビの端末室利用状況案内から確認可能です。

>>>>> <http://www.waseda.jp/navi/room/mobile.html>

【 端 末 室 利 用 状 況 案 内 】



パソコン・スマートフォン版（日本語版）

>>>>> <http://crai.waseda.jp/clv/s/>

※英語版 URL

>>>>> <http://crai.waseda.jp/clv/e/>



携帯電話版 ※日本語版のみ

>>>>> <http://crai.waseda.jp/clv/i/>

10.10 代理人申請と委任状

止むを得ない事情で本人による手続きができない場合、代理人による登録手続きが可能です。ただし代理人の手続き不備により不利益が生じても学部は一切責任を負いません。

代理人が手続きを行う際には以下の①～③全てが必要となります。

【提出書類】

- 1 必要事項が記入され、捺印がされた委任状
- 2 本人の学生証のコピー
- 3 代理人の身分証明書(学生証・免許証等)

《 代理人申請における注意事項 》

- 委任状は人間科学部 Web サイトからのダウンロードも可能です。
>>>>> <https://www.waseda.jp/fhum/hum/>
- 委任状はそれぞれの手続きの際回収しますので、**複数の手続きがある場合手続き回数分の枚数の委任状が必要**となります
 <例>区分変更申請用紙 → 委任状1枚必要
- 先着順登録では、一人が複数人分の手続を行う場合には、一人分の手続が終了後、再度後ろに並びなおす必要があります。
- Web 科目登録期間中に登録者本人がインターネットを使用できない場合は、代理人による申請用紙(所定のもの)を用いた登録となり、この場合でも手続きの際に委任状が必要となります。手続きは所沢総合事務センターで行います。なお、申請用紙の配布・受付日時は Web 科目登録期間中で、かつ、事務センター開室時間中となります。
- 手続き書類に不備がある場合は代理人とは認められませんので、本人が欠席した場合と同様の扱いとなります。手続きは行えませんので注意してください。
- **捺印がない(拇印も不可)、捺印してからコピーしている場合などは不備書類となります。**
 ※例年、捺印がない委任状を提出しようとして手続きができなかったケースが発生しています。必ず捺印された委任状を準備してください。

11. よくあるQ&A

以下では例年多く寄せられる問い合わせと回答を集めました。事務所に問い合わせる前に一度確認してください。

11.1 登録全般

Q. 初めて科目登録するため、よくわかりません。どのように行えばよいですか？

A. まずは、科目登録の手引きにある「科目登録日程表」で日程を確認してください。次に、「改めて知ってほしいこと…科目登録の考え方」を参照し、科目登録の考え方を理解してください。登録申請のやり方は「13. Web 科目登録利用手順」を参照してください。その他の注意事項等は、科目登録の手引きを一通り参照してください。

Q. 科目登録に関する問い合わせはどこにすればよいですか？

A. ITヘルプデスク(MyWaseda)の成績照会・科目登録専用メニューの問い合わせフォームから問い合わせ可能)へ問い合わせを行ってください。なお、電話での問い合わせは言い間違いや聞き間違いによるトラブルを防止する理由から対応できませんので予めご了承ください。(「困ったときの対処」参照)

Q. 集中講義の日程はいつですか。

A. 人間科学部およびスポーツ科学部設置科目の集中講義については別紙で日程を周知しています(人間科学部 Web サイトから確認可能)。人間科学部・スポーツ科学部以外の箇所の科目については、まずは早稲田大学のWebページにあるシラバスシステムから該当科目の講義内容を調べて、それでもわからない場合は直接科目設置箇所に問い合わせてください。

Q. 卒業のためにはどの科目を何単位とればよいですか？

A. 総単位数では124単位となりますが、科目の区分ごとにもそれぞれ卒業までに必要な単位がありますので注意してください。

Q. 科目登録期間中に Web 科目登録をすることができないのですが、どうしたらよいですか？

A. 代理人の方が科目登録期間中に所沢総合事務センター窓口にお越しください(ただし、事務センター開室時間に限りです。)。委任状と身分証明書を確認の上、科目登録用の申請用紙を代理人の方にお渡しいたします。そちらを用いて代理人による科目登録を行ってください。

Q. Web 登録をしようとしても画面が真っ白になってできないのですが…

A. 使用している端末の設定が大学の推奨する設定になっていますか？MyWaseda のログイン画面にある「情報企画部で提供する各種システムの推奨環境」の項目から調べてみてください。パソコンの不具合による科目登録の未申請の場合でも、救済措置はありませんできるだけ早めに登録を行い、パソコンに問題がある場合は大学の端末室で科目登録をするようにしてください。

Q. 抽選で選外になるかもしれないから、いくつか制限単位数よりも多く登録しておいたほうがよいですか？

A. いいえ。登録制限単位数をオーバーして登録した場合、まずは登録チェックで登録エラーを引き起こしている科目をランダムで抽出した上で登録不可として処理をし、その後初めて抽選をおこないますのでエラーになることを前提に余分に登録しても有利になることはありません。

Q. 登録結果が出る前に授業が始まってしまうのですが、出席してよいのですか？

A. はい、出席してください。ただし、科目登録の途中の段階であることから初回の授業については教室サイズより履修者が多いことがあります。翌週か遅くとも翌々週には適正な履修者数となる予定です。

Q. 学科目配当表の曜日時限と Web 科目登録時に表示されている曜日時限が違っているのですが、これはなぜですか？

A. 本紙「科目登録の手引き」配付後に曜日時限が変更となっている可能性があります。別途配布されている訂正一覧を確認してください。訂正一覧は所沢総合事務センター連絡 Web ページからも確認可能です。

Q. 1次登録申請を行わなかったのですが、2次登録の申請は可能ですか？

A. 人間科学部では1次登録を行わなくとも2次登録の申請を行うことが可能です。また3次登録も、1次・2次の登録申請を行ったかどうかは問われません。ただし、登録可能科目が減少している等、申請機会を逃したことによる不利益は発生すると思われるので、ご注意ください。また、教職課程科目の登録では手続きが異なりますので、『教職課程履修の手引き』をご確認ください。

11.2 科目登録上のルール

Q. 人間科学部設置科目で科目ごとに設定されている配当年次が自分の履修学年より高い科目の登録はできますか？

A. できません。ただし、新入生で外国語免除制度の適用を受けた学生は、配当年次が2年以上の一部の科目の履修ができます。

Q. 卒業のために通常の登録制限単位数では足りないのもっと登録したいです。4年生は登録制限単位数を超えて登録できると聞いたのですが…？

A. 人間科学部では卒業単位に含まれる科目は3年卒業制度適用者を除き、登録制限単位数を超えて登録することはできません。（「登録制限単位数」参照。）

Q. 通年科目・夏季集中科目・冬季集中科目は、半期登録制限単位のエラーチェックにおいて春学期か秋学期のどちらの学期の単位としてカウントされますか？

A. 次の表を参照してください。特に科目の開講学期が「通年」の場合に注意してください。（「登録制限単位数」参照）

科目が開講されている学期	半期登録制限単位のチェックにおいてカウントされる学期
通年	春学期
夏季集中	春学期
冬季集中	秋学期
春季集中	秋学期

Q. 自動登録で登録されていない科目があるのですが？

A. 「2.4 自動登録」の内容を確認してください。

Q. こちらの不注意で登録受付後になって、今回申請したある科目がエラーを起こしていることに気づきました。この場合、他に申請した科目もすべて登録不可となりますか？

A. いいえ。エラーを引き起こしている科目のみが登録不可科目として処理されますので、エラーを引き起こしていない科目については登録できる可能性があります。（登録制限単位数オーバーエラーのケースのようにエラー対象科目が不特定の場合は、無作為で登録不可科目が選ばれます。）

Q. 教員免許状取得のために必要な科目を登録しようとしたのですが、既に自動登録されている必修外国語科目と曜日時限が重なってしまっています。教免状取得のために必要な科目を少しでも多く履修したいので、自動登録科目（ここでは必修外国語科目）のほうのクラスを変更していただきたいのですが。

A. 自動登録科目が優先となりますので変更できません。教員免許状取得のために必要な科目については、別クラスの科目や代替科目を履修するか、翌年度に履修してください。（「自動登録について」参照）

Q. グローバルエデュケーションセンターの外国語科目を登録したいのですが、入学時に選択した人科必修の外国語とは違う外国語のものでも履修できますか？

A. 人間科学部側では特に制約はありませんが、科目設置箇所側のルールで登録できない場合がありますので、語学力に不安がある場合はあらかじめ講義内容を確認して受講レベルや登録ルールを確認しておくことをお勧めします。

Q. 2時限目に所沢キャンパス、3時限目に東伏見キャンパスの科目（対面）を申請したのですが、登録結果を確認したところ、3時限目の科目が遠距離エラーとなっていました。自分はバイクでキャンパス間を移動することから、昼休みの50分以内で所沢から東伏見への移動が無理なくできることはわかっています。エラーとなった登録を有効にしていただけませんか？

A. 2時限目と3時限目の間で所沢キャンパスと東伏見キャンパスを行き来する形での登録は認めておりません。これは一律でエラーとすることで、学生の方個々人の経済事情等によって登録の有利不利が発生する事態を防ぐための措置です。

Q. 登録結果を確認したところ、過去に履修したことのない科目が「既得エラー」として表示されており、登録ができませんでした。どうしてですか？

A. 過去にあなたが履修した科目で、その後名称が変更された科目を履修しようとしたためだと思われます。新カリキュラム導入により、学科目配当が大きく変更となっておりますので、「科目の対照表、読み替えについて」を確認してください。

Q. 1次登録で「社会福祉演習Ⅰ」は申請せず、「社会福祉演習Ⅱ」のみを申請しました（どちらの科目も過去に履修したことはありません）。ところが、登録結果を確認したところ、「前提条件エラー」となってⅡが登録できていません。どうしてですか？

A. 「社会福祉演習Ⅱ」は「社会福祉演習Ⅰ」とセットで申請しなければ前提条件エラーとなり、登録できません（Ⅰのみの申請でも同様のエラーとなります。）。もし当該科目を登録したいのであれば、ⅠとⅡをセットで申請してください。

Q. 現在1年生です。グローバルエデュケーションセンター設置の保健体育科目で「野球 03」と「バレーボール 01」と「卓球 05」をそれぞれ1科目ずつ計6単位分申請したのですが、登録結果を確認したところ、「野球 03」だけ系列別制限単位数エラーとなっていました。どうしてですか？

A. 保健体育科目は年間4単位までしか登録できません。（「他箇所設置科目」参照）

Q. 現在2年生です。グローバルエデュケーションセンター設置の保健体育科目で1年生の時に「野球 03」2単位を修得しました。今年は「バレーボール 01」と「卓球 05」をそれぞれ1科目ずつ計4単位分申請し、いずれの科目も登録決定となり、授業にも出席し、最終的に単位を修得しました。ところがMyWaseda における成績照会画面の単位修得状況の照会を確認したところ、6単位のうち4単位分しか卒業単位として算入されていません。どうしてですか？

A. 保健体育科目は卒業まで4単位分までしか卒業単位として取り扱われません。あなたの場合は保健体育科目を通算で6単位修得していますので、そのうち卒業単位として算入されるのは4単位までとなります。

また、保健体育科目は卒業まで履修できるのは通算で8単位までとなります。（「他箇所設置科目」の2）参照）

Q. 聴講料が必要な科目を数科目登録しました。しかし、その中の一部の科目は金銭的な事情により登録したくないので、登録したい科目のみに限定して聴講料を支払いたいのですが、そういったことは可能ですか。

A. できません。一部の科目に対してのみ聴講料を支払うことは全学的な取り決めにより、対応できません。もし聴講料を支払わなければ、聴講料納入が必要な科目はすべて登録取消となります。さらに、次の登録から抽選の優先順位が下がる可能性もありますので、聴講料未納による不本意な科目登録とならないようにあらかじめ科目内容や金額を確認したうえで科目の登録申請をしてください。（「聴講料(実験実習料)の納入」参照）

Q. 登録決定となった科目で授業に出席したのですが、授業内容のレベルが高すぎてついていくことができません。この科目を取消したいのですが。

A. 取消対象外の科目を除いて、3次登録期間中に取消することができます。

なお、検討が不十分な状態で安易に科目を登録することはせず、あらかじめ登録希望科目の講義内容を十分に確認した上で慎重に科目登録を行ってください。（「決定科目の取消について」参照）

11.3 単位の取り扱い

Q. 他箇所(他大学を含む)設置科目の単位の扱いはどのようになりますか？

A. ほとんどの科目は「他箇所聴講科目」の区分の科目となり、卒業単位扱いになります。ただし、教育学部設置の教職課程科目や、科目設置側で自由科目扱いとなっている科目といった一部のものは卒業単位扱いになりません。（「他箇所設置科目」参照。）

Q. 現在2年生で、1次登録の機会にグローバルエデュケーションセンター設置の「Tutorial English」を登録しました。入学時に自動登録されていた必修の「Tutorial English」は不合格だったため未履修なのですが、今回登録した「Tutorial English」は入学時と同様に必修科目扱いになるのですか？

A. 所定の期間に科目区分の変更手続きをすることで、英語の必修科目として認められます。

Q. グローバルエデュケーションセンター設置の「インターンシップ実習」が通常の科目登録時期とは別の時期に追加で登録されました。この科目に関して、人間科学部での単位の扱いはどのようになりますか？

A. 当該科目が追加で登録された結果、年間や半期の登録単位数が登録制限単位の範囲内で収まる場合は「他箇所聴講科目」の区分となり、卒業単位扱いになります。ただし、登録制限単位数をオーバーする場合は自動的に「自由科目」の区分となります。なお、当該科目の登録スケジュールは他のグローバルエデュケーションセンター設置科目と大幅に異なりますので、登録希望者はキャリアセンターで配布される「インターンシップの手引き」を確認してください。

Q. グローバルエデュケーションセンター設置の保健体育科目の中で、「スポーツ理論」の区分に該当する科目も他の実技系の保健体育科目と同様の卒業単位の扱いとなったり、登録制限を受けたりするのでしょうか？

A. はい。スポーツ理論も保健体育科目に含まれますので、実技系のものと同様のルールとなります。(「他箇所設置科目」参照)

Q. グローバルエデュケーションセンター設置の保健体育科目の中で、早稲田大学公認の体育各部と同名称の科目があり、自分は実際に所属している「ウエイトリフティング部(1年目)」を登録しようと思うのですが、この科目も他の保健体育科目と同様の単位の扱いとなるのでしょうか？

A. はい。体育各部と同名称の科目も保健体育科目の一部なので、他のものと同様のルールとなります。ただし、「ウエイトリフティング部(2年目)」は「～部(1年目)」を前年度までに履修済みでないと登録できません。

Q. 人間科学部設置の専門科目を「自由科目」へ区分変更できますか？

A. 人間科学部設置科目の科目区分の変更はできません。MyWasedaの科目登録画面でご確認いただき、記載している科目区分が適用されます。なお、他箇所設置科目は、科目登録する際に「自由科目」か「他箇所聴講科目」の科目区分を選択できます。選択した科目区分は、3次登録期間において、変更も可能です。

11.4 語句の意味

Q. 「自由科目」とは何ですか？

A. 卒業単位に含まれず、かつ、登録制限単位数にも含まれない科目を指します。(「2.3 自由科目と資格関連科目の取り扱い」参照)

Q. 「全学オープン科目」と「グローバルエデュケーションセンター設置科目」、「他学部提供科目」は別物なのですか？どちらも他学部の科目だと思のですが、違いがよくわかりません。

A. 「科目登録用語集」を確認してください。

Q. 登録結果通知で、「登録単位数」と「登録算入単位数」というのがありますが、これはどう違うのですか？

A. 「登録単位数」は自由科目も含めて今年度登録した科目の単位数をすべて合算した値となります。「登録算入単位数」は「年間や半期の登録制限単位数」にカウントされる単位を合算した値となります。なお、ここで使用されている「算入」という言葉は、「登録制限単位数への算入」のことを指しており、「卒業単位数への算入」のことを指していませんので、注意してください。

Q. 登録結果についている¥マークは何ですか？

A. 別途聴講料(実験実習料)の必要となる科目が登録された場合、登録結果通知の際に科目名とともに¥マークが表示されます。聴講料納入期間に納入をしてください。ただし、新入生に自動登録されている必修のTutorial Englishについては学費の中に聴講料が含まれているので、改めて納入する必要はありません。

11.5 その他

Q. 教職科目の聴講料の費用を教えてください。

A. ●2015年度～2018年度入学者

聴講料は1単位につき1,000円です。詳細は、[3.9 聴講料(実験実習料)の納入]の[6.教育学部教職課程聴講料]および、教職支援センター発行の[教職課程履修の手引き]を確認してください。

●2019年度以降入学者

聴講料は1単位につき1,000円です。教職課程科目のうち、「教職に関する科目(必修・選択)」、「教育の基礎的理解に関する科目等(必修・選択)」、「各教科の指導法(必修・選択)」は、登録単位数に応じた聴講料の納入が必要です。詳細は、[3.9 聴講料(実験実習料)の納入]の[6.教育学部教職課程聴講料]および、教職支援センター発行の[教職課程履修の手引き]を確認してください。

Q. 聴講料の納入方法を変更することはできませんか？

A. 一度確定した納入方法を変更することはできません。確定した方法で期限までに納入できない場合、聴講料納入が必要な科目はすべて登録取消となります。さらに、次の登録から抽選の優先順位が下がる可能性もありますので、聴講料未納による不本意な科目登録とならないようあらかじめ科目内容や金額を確認したうえで科目の登録申請をしてください。(「聴講料(実験実習料)の納入」参照)

Q. 留学した場合の科目登録や留学先で修得した単位の認定について教えてください。

A. 所沢総合事務センターでお知らせしますので、カウンターでお声がけください。単位認定については所沢総合事務センター連絡Webページ>人間科学部生>留学より確認してください。

Q. 指定科目・推奨科目を履修していない場合、ゼミ選抜に影響はありますか？

A. 指定科目・推奨科目が未修得でも、ゼミ選抜の選考に影響はありません。ただし、定員を超過した場合、教員によっては指定科目の履修状況を尋ね、選抜する際の判断材料にすることがあります。しかし、科目登録において指定科目が選外になった場合は、未履修であることが選抜において不利になることはありません。

なお、指定科目・推奨科目は研究の理解を深める上で重要な科目です。今後の履修については、専門ゼミ登録後、担当の専門ゼミの先生と相談してください。詳しくは教員ガイドの「指定科目」「推奨科目」一覧も参照してください。

Q. 指定科目は、専門ゼミ選抜(2年次の11月頃予定)までに履修済みにしないとダメですか？

A. 可能な限り、履修済みにしてください。履修できない場合、3年次の専門ゼミと同時に履修してください。

Q. 所属している専門ゼミの指定科目・推奨科目を履修しないと卒業できないのですか？

A. 指定科目・推奨科目は卒業要件ではありません。これらを履修できなくても、卒業要件を満たせば卒業は可能です。ただし、指定科目はできるだけ履修するようにしてください。例えば、実験調査研究法科目は卒業に最低6単位必要ですが、8単位までは卒業算入できます。この2単位分はゼミ指定の実調科目を履修する等、卒業算入上限を意識して登録・履修してください。また、実調科目8単位修得済だが更にゼミ指定の実調科目の履修が必要な場合、4年次に自由科目として追加登録する制度もあります。

Q. インターネットでいろいろ調べたいのですが、まずどこを見たらよいでしょうか？

A. 以下を参考にしてください。

人間科学部 Web サイト

<https://www.waseda.jp/fhum/hum/>

各箇所 Web ページ一覧

<http://www.waseda.jp/top/academics>

12.

Web 科目登録利用手順

Web 科目登録利用手順にしたがい、登録希望科の申請を行ってください。

Web 科目登録利用手順

Web 科目登録利用手順

※凡例

…中心となる作業。数字は、作業順序

【注意】科目登録をWEBで申請する場合、申請する科目をあらかじめ決めて申請をしてください！

1. Web 科目登録の流れ

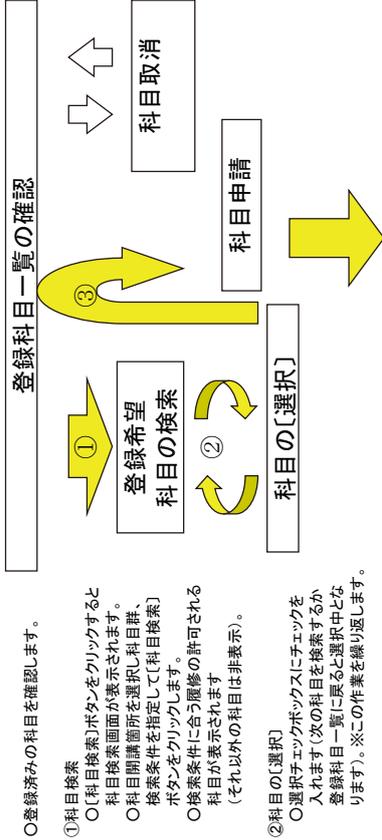
「成績照会・科目登録専用ログイン」画面からのログイン

○MyWaseda ログイン前画面左下の「成績照会・科目登録専用」

をクリックし「成績照会・科目登録専用ログイン」画面からログインを行い、

「成績照会・科目登録専用メニュー」から科目登録を選択します。

○登録済みの科目を確認します。



①科目検索

- [科目検索]ボタンをクリックすると科目検索画面が表示されます。
- 科目別講義箇所を選択し科目群、検索条件を指定して[科目検索]ボタンをクリックします。
- 検索条件に合う履修の許可される科目が表示されます(それ以外の科目は非表示)。

②科目の[選択]

- 選択チェックボックスにチェックを入れます(次の科目を検索するか登録科目一覧に戻るかと選択中となります)。

③科目申請

- 選択中の科目を[科目申請]ボタンをクリックして申請します。

【重要】

- 検索結果を選択しただけでは、申請は完了しません。必ず[科目申請]ボタンをクリックして、申請を行ってください。
- 登録科目一覧の状態で「申請中」と表示されれば、申請は完了しています。

申請内容確認

申請中

- エラーの場合、エラー内容を確認してエラーを解消します。

エラー

抽選/登録チェック

- 抽選/登録チェックは大学の行う作業です。

確認

- 取消可能な科目の一覧が表示されますので「取り消す科目の」取消チェックボックスにチェックを入れて「取消」ボタンをクリックします。

- 申請中となった科目は申請が完了しています。登録結果発表で抽選結果を確認します。
- 申請時のチェックで判定を行わない履修規定については、その登録結果発表にて併せて発表されます。

登録結果発表

決定
登録完了

選外・不可
次の登録へ

2. Web 科目登録画面説明

Web 科目登録は、すべての画面（ログイン後、メニュー後、メニューから科目登録を選択した状態）から行います。

(1) 申請期間表示
 (2) 登録科目一覧
 (3) 各機能ボタン
 (4) 印刷ボタン

学期	科目	科目名	担当教員	キャンパス	教室名	科目区分	単位数	単位	状態	申請期間
春学期	15-202	新中・国際視野 2	中野 隆史	15-202	新中・国際視野 2	新中・国際視野 2	2	申請中	0	春学期
春学期	15-401	英語入門必 修以外	鈴木 由香	15-401	英語入門必 修以外	英語入門必 修以外	2	申請中	0	春学期
春学期	16-201	英検文化 2	早川 真二	16-201	英検文化 2	英検文化 2	2	申請中	0	春学期
春学期	4-207(C)	専門基礎必 修以外	松村 幸博	4-207(C)	専門基礎必 修以外	専門基礎必 修以外	2	申請中	0	春学期
春学期	8-8101	英語入門必 修	藤上 亮	8-8101	英語入門必 修	英語入門必 修	2	申込	0	春学期
春学期	1-201	英語特修 4	高橋 健一	1-201	英語特修 4	英語特修 4	4	申込	0	春学期

- 申請期間表示
科目により申請締切日が異なります。科目群ごとの申請期間を確認してください。
- 登録科目一覧
現在の科目登録の状態を科目ごとに表示します。備考欄に「[?]」マークの表示される科目は、聴講料等の納入が必要です（期限までに納入しない場合、申請科目の登録が取り消されます）。
- 各機能ボタン
 - 【科目検索】【科目申請】【科目取消】の各機能ボタンが用意されています。
 - 【科目検索】
【科目検索】ボタンを押すと「科目検索画面」に遷移します。「科目検索画面」では、申請しようとする科目の開講箇所を指定して「確定」ボタンを押し、科目群を選択します。検索条件には必ず1項目以上を入力します。【科目検索】ボタンを押すと申請可能な科目のリストを表示します（履修できない科目はあらかじめ検索対象から除かれます）。
 - 【科目申請】
【科目申請】ボタンを押すと、選択中の科目の申請を確定するための確認画面が表示されます。
 - 【科目取消】
【科目取消】ボタンを押すと、科目取消を確定するための確認画面が表示されます。取り消すことができるのは、選択中、申請中の科目が対象です。
※学部によっては限られた期間内で登録決定科目を取り消すことができます。
 - 印刷ボタン
使用中のPCがプリンターに接続している場合、このボタンを押すことで画面イメージを印刷することができます。申請科目の保管に利用してください。

3. Web 科目登録利用手順

- 成績照会・科目登録
専用メニュー

<https://my.waseda.jp/>
上記のURLにアクセスし、
成績照会・科目登録専用メニューを選択し
ます。

 - 専用メニューはMyWaseda ログイン画面の左下にあります
 - 科目登録期間中は専用メニューを利用してください。
- ログイン
 Waseda メールアドレス、パスワードを入力して（Login）ボタンをクリックします。
- 成績照会・科目登録
専用メニュー
 ログインすると「成績照会・科目登録専用メニュー」が表示されます。
成績照会・科目登録専用メニューを選択し、科目登録専用メニューをクリックします。
 ○履修申請に関する問い合わせを行う場合には、「お問い合わせフォーム」ボタンをクリックし、必要事項を記入し送信してください。

4 登録科目一覧

科目登録をクリックすると「登録科目一覧画面」が表示されます。自動登録科目など、登録済科目の状況や時間割を確認します。

- 登録単位数で卒業単位に算入される登録科目の合計単位数がわかります。制限単位数と比較しながら申請してください（登録単位数は、連年・春学期・秋学期の合計となります）。



5 科目検索

登録希望科目を検索します。

- 学部を選択し「確定」ボタンを押します。
- 次に科目群の中から登録を希望する科目の科目群を選択します。
- 検索条件を1項目以上を入力して「科目検索」ボタンを押します。
- 希望の科目が単位からない場合は検索条件を再度確認し、検索条件を例えば学期のみにするなど、極力減らして検索してください。



いろいろな検索方法

▼科目名
部分一致検索です。

▼曜日・時間
ブルタウメニューで学期・曜日・時間を指定して検索することができます。

6 科目の選択

科目を選択するには、検索結果から科目名の左側にある選択チェックボックスにチェックを入れます。

複数の科目を同時に選択することができます。



7 科目申請

選択が終了すると一覧画面に戻り、選択した科目の状態は「選択中」となっています。

- 「選択中」の科目は「科目申請」ボタンを押して申請を確定します。
- 科目検索を繰り返して複数の科目を同時に申請することもできます。
- 「選択中」の科目がある場合は、「選択中の科目」の科目があります。科目申請ボタンで科目を申請してください。「」というメッセージが表示されます。



8 申請の確認

(OK) ボタンをクリックすると申請時登録チェックが行われ、科目の履修可否が判定されます。

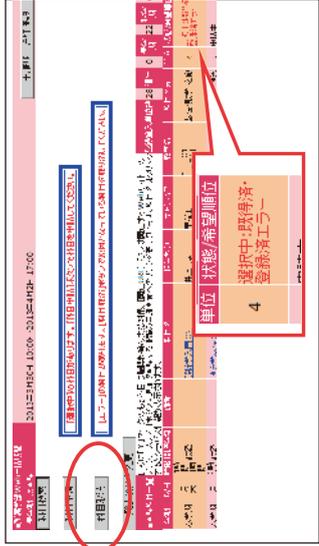
- エラーがない場合は状態が「選択中」から「申請中」に変わります。
- エラーが発生するとエラーメッセージが表示されますので、エラーの原因となった科目を取り消して問題を解消し、あらためて「科目申請」ボタンを押してください。



9 科目取消

登録期間中は「申請中」「選択中」の科目を取り消すことができます。科目を取り消すには「科目取消」ボタンをクリックします。

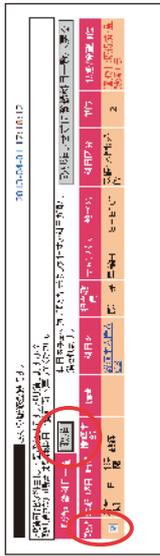
※登録決定科目の取り消し
一部の科目で登録決定科目の取り消しを限られた期間内に行うことが可能です。一度取り消すと登録データが消えてしまい、再度登録決定に属すことはできませんので、十分注意してください。



10 取消の確認

取り消し可能な科目の一覧が表示されますので、取り消したい科目のチェックボックスにチェックを入れて【取消】ボタンを押してください。

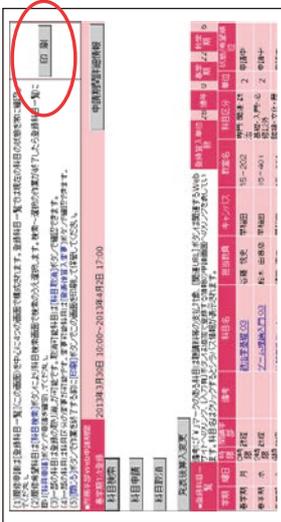
○取消ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。



11 登録一覧画面の印刷

もし利用中のPCにプリンターが接続されていたり、申請作業が終了した時点で登録科目一覧画面を印刷して保管してください。

○科目の状態で「申請中」となっている科目が申請の確定した科目です。「選択中」の科目は画面を閉じると情報が破棄されてしまいますので【科目申請】ボタンで申請を確定してください。プリンターが接続されていない場合は、申請した科目の状態をメモに残して保管しましょう。



登録科目一覧画面上、科目の状態は、次のとおり遷移します。

状態	説明	状態	説明
選択中	科目検索～【選択】後の状態。このまま作業を終了すると選択は無効となります。取消可。	不可	【選択】（申請）後、履修上の問題があり申請が許可されなかった科目。（発表期間中の表示）
申請中	【申請】ボタンにより申請の許可された科目。取消可。	処理中	申請期間が終了し処理中の状態。取消不可。 （申請期間終了後、発表開始前までの表示）
決定	履修の決定した科目。取消不可。（発表開始後の表示）	選外	履修希望者が定員を超えていたため無作為に抽選が行われ抽選に外れ、履修の許可されなかった科目。（発表期間中の表示）

※表示件数の制限について

条件を入力し、科目の検索を行う際に検索結果が100件より多い場合には、検索結果表示欄にエラーメッセージが表示されます。このメッセージが表示された場合は、曜日、時間、科目名の先頭の数字など、検索条件を追加してから、再度検索を行ってください。

いろいろな申請方法

希望順位登録：希望順位登録とは、抽選が行われる可能性が高い科目を同時に複数申請できる登録方法です。希望順位を選択できる科目群は、希望順位選択のプルダウンメニューが表示されます。希望順位を選択する場合は、必ず第1希望から順に選択してください。例えば、第1希望のみを選択した場合、抽選は第1希望の後に行われますので、科目を登録できる可能性は極端に低くなります。

科目区分変更：検索結果一覧に表示される「科目区分」の欄がプルダウンメニューで選択可能になっている場合は、科目区分を変更して申請することができます。例えば登録制限単位数オーバーエラーになった科目を一度取り消し、科目区分を制限単位数に算入されない科目区分に変更してあらためて申請することにより、申請が受け付けられる場合があります。

科目区分	単位	希望順位
選外・他箇所	2	General Tutorial English(希) 順位入
選外・他箇所	2	Ge1 Tu2 English(希) 順位入

科目区分	単位
基礎・社会	4
基礎・超過履修	

●他箇所設置科目を申請してみよう。

1. 学部を選択
グローバル

2. 科目群を選択
所定外科目

確定

学部を変更し【確定】ボタンをクリックします。次に科目群の中から登録を希望する科目の科目群を指定します。自学部の科目登録と同じ要領で科目を検索し、選択後、科目申請ボタンを押して申請します。

科目区分	単位	所要/希望単位
基礎・社会	4	申請中
基礎・社会	4	申請中
基礎・人文	2	選外
必修・英語 I	2	英語 I (必修) ~>3/25

- 登録結果を確認しましょう。
各登録の発表日になると、申請した科目の登録結果が発表されます。登録が認められた科目は「決定」、抽選の結果、登録できなかった科目については「選外」、登録エラーのため登録できなかった科目については「不可」がそれぞれ表示されます。

4. Web 科目登録上の注意事項

申請科目のチェック機能について

Web 科目登録では、科目申請時に以下のチェックが行われエラー情報が表示されます。

[主な登録エラー]

エラー名称	エラー内容	解消方法
既登録エラー	既に登録されている科目を申請している	申請できないため科目取消する
希望順位重複エラー	希望順位を指定する場合に同一希望順位で科目を申請している	同一希望順位の科目についていづれかを科目取消する
曜日制限重複エラー	既に申請・登録されている科目と曜日制限が重複する科目を申請している	いづれかの科目を取消する
前提条件エラー	履修の前提となる条件を満たしていない	申請できないため科目取消する
遠距離エラー	休み時間内で移動できないキャンパスの科目を申請している	いづれかの科目を取消する
制限単位数エラー	登録可能な単位数の上限を超えて申請している	いづれかの科目を取消するか、修正せずに申請を行う (※)

この他にも履修規則上のエラーがあります。内容がわからない場合は、「科目登録関連冊子」などを参照して問題を解決してください。

※制限単位数エラーは修正しなくても申請可能です。但し、エラーのまま申請を行った場合は、登録結果発表時に無作為に選ばれた科目がエラーとなるため注意してください。

5. その他の機能

- 関連ページへのリンク
科目検索画面の備考欄に「関連 URL」ボタンが表示される科目は、関連するホームページへのリンクが設定されています。必要な情報が記載されていますので、必ずクリックして確認ください。
- 志望理由等の入力が必要な科目
科目検索画面の備考欄に「入力有」が表示される科目は、別画面から「申請フォーム」を呼び出し、志望理由などの内容を入力する必要がある科目です。
※申請フォームは 120 分間操作がないとセッションが切れ、再度呼び出す必要がありますのでご注意ください。

備考	科目名
関連URL	EU欧州協定研究入門

備考	科目名
入力有	EU欧州協定研究入門

- 聴講料等が必要な科目
科目検索画面の備考欄に「※(要聴講料等)」が表示される科目は、聴講料等が必要な科目です。

備考	科目名
※(要聴講料等) 関連URL	General Tutorial English (初級) 07 英語 I (要聴講)

- Web シラバスの参照
科目選択画面で科目名をクリックすると、該当科目の Web シラバスを参照することが可能です。

科目名	担当教員
英語研究入門(現代語訳)	久藤 新一

6. エラー表示について

- サービスを提供することができない場合
以下のメッセージが表示された場合は、[お問い合わせフォーム]ボタンを押し、必要事項を記載の上、問い合わせを行ってください。

早稲田大学システムセンター Welcomeback	学生部サービス
さん	さん

サービスは提供することができません。
2014-01-27 17:26:32
Eラーニング1122-0035

このエラーに関するお問い合わせは、システムセンターの必要事項を記載し、お送りください。
お問い合わせフォーム

※内容によっては、宛先メールアドレスが変更される場合があります。

- 操作を受け付けることができない場合
全てのブラウザを閉じて、「成績照会・科目登録専用ログイン」からログインしてご利用ください。

早稲田大学システムセンター Welcomeback	学生部サービス
さん	さん

操作を受け付けることができません。
次の原因が考えられます。

- ※初期ログインIDでログインしている。から「科目登録」を選択していない。
- ※「成績照会・科目登録専用メニュー」から「科目登録」を選択した後、長時間操作していない。
- ※初期ログインIDでログインしている場合は、Wasidid取得後にご利用ください。
- ※「科目登録」は必ず「成績照会・科目登録専用メニュー」から「科目登録」を選択してください。

- メンテナンス中の場合

Web 科目登録システムはシステム最適化作業のため、毎日、メンテナンス時間を設けています (2:00AM~7:00AM)。メンテナンス中の場合、以下のメッセージが表示されます。



- 同じボタンを続けて複数回押してしまった場合

[OK] ボタンを押して、処理が終了するまでお待ちください。



7. 推奨環境について

Web 科目登録の推奨環境は下記のウェブサイトをご確認ください。

http://www.waseda.jp/navi/services/system/sys_requirements.html

以上

13.2 2024 年度 指定科目と推奨科目

【指定科目・推奨科目の概要】

1. 内容

種別	内容の説明
指定科目	専門ゼミ履修開始前に、履修済となることを原則とする科目(ただし、登録直前に志望ゼミを変更した学生、選外等の理由で履修していない学生は、専門ゼミ終了までに履修済になることを原則とする)
推奨科目	専門ゼミ終了までに履修済となることを推奨する科目

※指定科目・推奨科目が未修得でも、ゼミ登録は可能です。科目登録における選外によって、指定科目・推奨科目が未修得の場合は、ゼミ選考で不利にはなりません。また、指定科目・推奨科目自体は卒業要件ではなく、これらの単位を修得しないことで即時に卒業不可ということにはなりません。但し、専門ゼミによってはゼミ単位修得の要件となる場合があるため、詳細はゼミ担当教員に確認してください。

2. 指定科目・推奨科目で指定できる科目数

種別	基盤科目	実調科目	発展科目	その他	合計
指定	1	1	2~4		4~6
推奨	1~2	1~2	2~7		4~9

※指定科目+推奨科目の総合計は8~13科目です。

3. その他

諸事情のため、来年度専門ゼミを開講しない教員の指定科目・推奨科目も掲載されています。詳細は、後述の<注意事項>を参照してください。

1. 人間環境科学科

(1)生物・環境系

氏名	種別	基盤科目	実調科目	発展科目	その他
赤沼 哲史 (極限環境生命科学)	指定	地球生態系科学	環境生命化学実習	環境微生物学 ライフサイエンス入門 A(遺伝子と物質)	
	推奨	生理学	ライフサイエンス研究法 A	基礎生態学 動物生態学 ヒトと陸上生態系 生物環境物理学 (旧:農業気象学)	現代の生命科学 進化論
太田 俊二 (地球環境システム論)	指定	地球生態系科学	環境シミュレーション実習	基礎生態学 生物環境物理学 (旧:農業気象学)	
	推奨	情報学	環境変遷史実習	基礎気候学 動物生態学 ヒトと水界生態系 ヒトと陸上生態系 プログラミング I (Python 言語)	現代の地球科学 データリテラシー III (R または Python)
風間健太郎 (野生動物生態学)	指定	地球生態系科学	森林科学野外実習	動物生態学 里山保全論	
	推奨	生理学	環境変遷史実習	基礎生態学 ヒトと陸上生態系 ヒトと水界生態系 環境社会学 環境経済学	進化論
柏 雅之 (地域資源論)	指定	社会学	社会調査法	経済人類学 地域資源論 環境経済学	
	推奨	人口学	インタビュー調査法	環境社会学 階級・階層論 経済学	グローバルゼーション論 NPO/NGO 論 社会科学の理論

氏名	種別	基盤科目	実調科目	発展科目	その他
平塚 基志 (森林環境科学)	指定	地球生態系科学	森林科学野外実習	ヒトと陸上生態系 里山保全論	
	推奨	社会学	調査データ分析法	基礎生態学 環境社会学 世界地誌学 動物生態学	
松本 淳 (大気環境科学)	指定	地球生態系科学	大気環境観測実習	環境化学 大気環境計測論	
	推奨	情報学	環境シミュレーション実習	基礎生態学 ヒトと陸上生態系 生物環境物理学 (旧:農業気象学)	現代の物質科学 現代の地球科学 データテラシーⅢ (クラスは問わない)
山田 和芳 (水域環境科学)	指定	地球生態系科学	環境変遷史実習	基礎地理学 水域環境変遷学	現代の地球科学
	推奨	文化人類学 考古学	環境シミュレーション実習	世界地誌学 基礎地形学 環境史	
横沢 正幸 (耕地環境科学)	指定	地球生態系科学	環境シミュレーション実習	生物環境物理学 (旧:農業気象学) 基礎生態学	
	推奨	情報学	大気環境観測実習	基礎気候学 大気環境計測論 ヒトと陸上生態系	現代の地球科学 データテラシーⅢ (R または Python)

(2) 社会系

氏名	種別	基盤科目	実調科目	発展科目	その他
浅川 達人 (都市社会学)	指定	社会学	社会調査法	都市社会学 人口社会学	
	推奨	人口学	アンケート調査法 調査データ分析法	労働社会学 環境社会学 階級・階層論 家族社会学	データテラシーⅢ (SPSS)
井上 真 (環境社会学)	指定	社会学	インタビュー調査法	環境社会学 アジア地域研究	
	推奨	人口学 文化人類学	アンケート調査法 参与観察法	地域資源論 経済人類学 環境人類学 熱帯保全論	
武田 尚子 (人口研究)	指定	人口学	インタビュー調査法	人口社会学 都市社会学	
	推奨	社会学	参与観察法	階級・階層論 家族社会学 環境社会学	
橋本 健二 (格差社会学)	指定	社会学	社会調査法	階級・階層論 労働社会学	
	推奨	人口学	アンケート調査法 調査データ分析法	人口社会学 都市社会学 家族社会学 環境社会学	データテラシーⅢ (SPSS)
樋口 直人 (国際社会学)	指定	社会学	インタビュー調査法	家族社会学 階級・階層論 国際社会学 社会開発論	
	推奨	文化人類学 人口学	アンケート調査法	人口社会学 労働社会学 都市社会学 環境社会学 Topics in Migration Studies	グローバリゼーション論 データテラシーⅢ (クラスは問わない)

氏名	種別	基盤科目	実調科目	発展科目	その他
松木 洋人 (家族社会学)	指定	社会学	インタビュー調査法	家族社会学 現代家族論	
	推奨	人口学	アンケート調査法 参与観察法	人口社会学 都市社会学 階級・階層論 国際社会学 環境社会学	ジェンダー論

(3)文化系

氏名	種別	基盤科目	実調科目	発展科目	その他
加藤 茂生 (科学史・科学論)	指定	歴史学	思想文化研究法		科学史・科学哲学 哲学 論理学 グローバリゼーション論
	推奨	文化人類学	インタビュー調査法	史学方法論	医学と医療の歴史 バイオエシックス 倫理学 メディア論
里見 龍樹 (歴史人類学)	指定	文化人類学	参与観察法	歴史人類学 現代芸術論 史学方法論	
	推奨	社会学	インタビュー調査法	環境人類学	社会科学の理論 科学史・科学哲学
竹中 宏子 (都市人類学)	指定	文化人類学	参与観察法		
	推奨	建築都市デザイン論	インタビュー調査法 行動観察法	環境社会学 動物生態学 身体・環境論 地域研究(欧、米、 亜)の中から1科目 日本民俗学 史学方法論	科学史・科学哲学 ジェンダー論
中山 なな (物質文化研究)	指定	考古学	物質文化研究法	日本民俗学 環境史	
	推奨	文化人類学 歴史学	参与観察法	史学方法論 環境民俗学 基礎地理学	自然人類学
原 知章 (開発人類学)	指定	文化人類学	参与観察法	環境人類学 環境民俗学 社会開発論	グローバリゼーション論
	推奨	考古学 歴史学	インタビュー調査法	歴史人類学 環境社会学	社会科学の理論
福島 勲 (芸術・表象文化論)	指定	歴史学	思想文化研究法	現代芸術論 芸術・技術の哲学 歴史人類学	
	推奨	文化人類学	参与観察法 物質文化研究法	生命の哲学と倫理 階級・階層論	芸術論 科学史・科学哲学 哲学
牧野 広樹 (政治・文化複合史)	指定	歴史学	思想文化研究法	芸術・技術の哲学 史学方法論	社会科学の理論 文学
	推奨	社会学	参与観察法	ヨーロッパ中世史 ドイツ近現代史 政治学	メディア論 ジェンダー論

氏名	種別	基盤科目	実調科目	発展科目	その他
森本 豊富 (移住論) ☆	指定	文化人類学	参与観察法	アメリカ地域研究	グローバリゼーション論
	推奨	歴史学	アンケート調査法 インタビュー調査法	アジア地域研究 国際社会学 Topics in Migration Studies ヨーロッパ地域研究 世界地誌学	
余語 琢磨 (技術・生活文化研究)	指定	歴史学	参与観察法	史学方法論 日本民俗学	ものづくりの技術論
	推奨	考古学 文化人類学	物質文化研究法 思想文化研究法	環境民俗学 人文地理学B 医療人類学	科学史・科学哲学

(4)心理・行動系

氏名	種別	基盤科目	実調科目	発展科目	その他
小島 隆矢 (建築環境学)	指定	建築都市デザイン論	環境心理測定法	環境行動学 建築環境心理学 インテリア環境論	建築論
	推奨	人間行動学	建築空間表現実習 行動観察法	建築人間工学 防災安全論	多変量解析(2023 年度まで開講) 実験計画法
佐治 伸郎 (意味生成の発達科学)	指定	心理学概論	心理学実験A、 B、C、Dのいずれ か 1 科目	発達心理学 文化心理学 行動の発達科学	実験計画法
	推奨	人間行動学 言語学	心理学実験A、 B、C、Dのいずれ か 1 科目(指定科 目で選択した以外 のもの)	環境動機づけ論 身体・環境論 非言語行動論 日常記憶心理学 言語情報科学	データテラシーⅢ (R)
佐藤 将之 (環境デザイン学)	指定	建築都市デザイン論	建築空間表現実習	建築環境心理学	建築論
	推奨	人間行動学	行動観察法	環境行動学 建築人間工学 発達行動学 発達心理学 身体・環境論 インテリア環境論 学習環境デザイン	
佐野 友紀 (建築人間工学)	指定	建築都市デザイン論	建築空間表現実習	建築人間工学 防災安全論	建築論
	推奨	人間行動学	環境シミュレーション実習 行動観察法	建築環境心理学 環境行動学 発達心理学 生態心理学 インテリア環境論	
外山 紀子 (発達動機づけ論)	指定	人間行動学	行動観察法	発達心理学 環境動機づけ論 行動の発達科学 身体・環境論	
	推奨	心理学概論	心理学実験A、B、 C、Dのいずれか 1 科目	日常記憶心理学 環境行動学 教授学習の心理学 生態心理学 文化心理学	
古山 宣洋 (社会文化心理学)	指定	心理学概論	心理学実験A、B、 C、Dのいずれか 1 科目	身体・環境論 文化心理学 生態心理学 パフォーマンス認知 科学	データテラシーⅢ (R)
	推奨	文化人類学 言語学	行動観察法	発達心理学 行動の発達科学 非言語行動論 知覚・認知心理学 劇場認知科学	

2. 健康福祉科学科

(1) 健康・生命系

氏名	種別	基盤科目	実調科目	発展科目	その他
大須 理英子 (認知神経科学)	指定	人間計測・人間情報モデリング	ライフサイエンス研究法 B	システムニューロサイエンス	多変量解析(2023年度まで開講) データテラシーⅢ (R)
	推奨	心理学概論	ものづくり設計演習 B 人間計測・人間情報モデリング研究法	ブレインサイエンス 身体運動解析力学 人工知能論 感覚情報工学 プログラミングⅡ (Python 言語)	脳の間人科学 データテラシーⅢ (Python)
榊原 伸一 (分子神経科学)	指定	解剖学	ライフサイエンス研究法 A	ライフサイエンス入門 B(生体システム) ブレインサイエンス ライフサイエンス入門 A(遺伝子と物質)	
	推奨	生理学	ライフサイエンス研究法 B	生体環境の生理学 薬理学 エイジングサイエンス フードアンドライフサイエンス システムニューロサイエンス	発生学
千葉 卓哉 (アンチエイジング医科学)	指定	解剖学	ライフサイエンス研究法 A	エイジングサイエンス ライフサイエンス入門 A(遺伝子と物質) ライフサイエンス入門 B(生体システム)	バイオエシックス
	推奨	生理学	ライフサイエンス研究法 B 環境生命化学実習	免疫学 栄養科学 ブレインサイエンス 生体環境の生理学 フードアンドライフサイエンス	発生学
永島 計 (環境生理学) ※	指定	解剖学	ライフサイエンス研究法 B	生体環境の生理学 ライフサイエンス入門 B(生体システム)	バイオエシックス
	推奨	生理学	ライフサイエンス研究法 A	ブレインサイエンス 薬理学 免疫学 ライフサイエンス入門 A(遺伝子と物質)	
原 太一 (食品生命科学)	指定	解剖学	ライフサイエンス研究法 A	フードアンドライフサイエンス ライフサイエンス入門 A(遺伝子と物質) ライフサイエンス入門 B(生体システム)	
	推奨	生理学	ライフサイエンス研究法 B	薬理学 栄養科学 免疫学 エイジングサイエンス ブレインサイエンス	バイオエシックス

氏名	種別	基盤科目	実調科目	発展科目	その他
ユウ ハイキョウ (医療評価科学)	指定	社会予防医学	社会調査法	予防医療の科学的意義	多変量解析(2023年度まで開講) データテラシーⅢ (SPSS)
	推奨	解剖学 生理学	疫学・保健福祉情報分析法 ライフサイエンス研究法B	健康教育の理論と実践 経済学 環境医科学	アンケート調査法 調査データ分析法

(2)保健福祉系

氏名	種別	基盤科目	実調科目	発展科目	その他
岩崎 香 (ソーシャルワーク論)	指定	現代社会と福祉	社会福祉演習Ⅰ・Ⅱ	社会福祉援助技術総論Ⅰ 保健福祉制度	
	推奨	心理学概論	社会調査法	子ども家庭福祉論 社会保障論Ⅰ 社会保障論Ⅱ 地域福祉論Ⅰ 地域福祉論Ⅱ	データテラシーⅢ (クラスは問わない)
大島 千帆 (老年学)	指定	現代社会と福祉	社会調査法	地域福祉論Ⅰ	老年学
	推奨	社会福祉概論	アンケート調査法 インタビュー調査法	地域福祉論Ⅱ 社会保障論Ⅰ	
上鹿渡 和宏 (子ども家庭福祉)	指定	現代社会と福祉	社会調査法	子ども家庭福祉論 児童青年期の精神医学	
	推奨	社会福祉概論	アンケート調査法	精神疾患とその治療 障害者・障害児心理学	
川村 顕 (健康福祉行政)	指定	現代社会と福祉	社会調査法	社会保障論Ⅰ	
	推奨	社会福祉概論	インタビュー調査法 アンケート調査法	経済学 社会保障論Ⅱ	プログラミングⅠ プログラミングⅡ 調査データ分析法 データテラシーⅢ (R)
古山 周太郎 (地域福祉論)	指定	現代社会と福祉	社会調査法	障害者福祉論	
	推奨	社会福祉概論 社会学	アンケート調査法	都市社会学 建築都市デザイン論	
前橋 明 (健康福祉教育) ※	指定	現代社会と福祉	アンケート調査法	子どもの健康福祉学 健康福祉指導法	
	推奨	社会学	社会調査法	健康の科学と実践 健康福祉マネジメント論 健康・医療心理学 子どもと女性の医学概論 教育・学校心理学	
松原 由美 (健康福祉マネジメント)	指定	現代社会と福祉	アンケート調査法 インタビュー調査法	健康福祉マネジメント論 社会保障論Ⅰ 福祉サービスの組織と経営	
	推奨	社会福祉概論	社会調査法	地域福祉論Ⅰ 社会福祉論Ⅱ	データテラシーⅢ (SPSS)

(3) 医工人間学系

氏名	種別	基盤科目	実調科目	発展科目	その他
巖淵 守 (生活支援工学)	指定	健康福祉工学	ものづくり設計演習 A	情報技術とバリアフリー 生活支援工学	
	推奨	心理学概論	ものづくり設計演習 B	ヒューマンコンピュータインタラクション 感覚情報工学 加齢人間工学 言語情報科学 社会福祉援助技術総論 I 社会福祉援助技術総論 II	
扇原 淳 (社会医学)	指定	社会予防医学	疫学・保健福祉情報分析法	国際保健医療協力論 医療人類学	データリテラシーⅢ (SPSS)
	推奨	健康福祉工学	対人関係性支援研究法	ソーシャルワーク論 I 人体の構造と機能及び疾病 生命の哲学と倫理	データリテラシーⅢ (R または Python)
岡崎 善朗 (健康福祉産業学)	指定	健康福祉工学	ものづくり設計演習 A	健康福祉産業論 医療福祉機器創出論	人体の構造と機能及び疾病
	推奨	人間計測・人間情報モデリング	ものづくり設計演習 B	情報技術とバリアフリー リハビリテーションと身体科学 国際保健医療協力論	健康福祉医学概論
掛山 正心 (環境脳科学)	指定	生理学	神経科学研究法	神経科学 ブレインサイエンス 高齢者・超高齢社会の医学	脳の間科学 現代の生命科学 人体の構造と機能及び疾病
	推奨	解剖学	ライフサイエンス研究法 A ライフサイエンス研究法 B	環境医科学 生体環境の生理学	
笹月 桃子 (緩和医療学・臨床死生学)	指定	社会予防医学	対人関係性支援研究法	死生学と医療 医療人類学	人体の構造と機能及び疾病
	推奨	臨床医学	インタビュー調査法	生命の哲学と倫理 子どもと女性の医学	バイオエシックス
鈴木 里砂 (健康管理科学)	指定	解剖学	ものづくり設計演習 A	リハビリテーションと身体科学	人体の構造と機能及び疾病
	推奨	生理学 健康福祉工学	疫学・保健福祉情報分析法	情報技術とバリアフリー 生活習慣病の人間科学 医療福祉機器創出論	健康福祉医学概論
辻内 琢也 (ヘルスプロモーション)	指定	社会予防医学	対人関係性支援研究法	生活習慣病の人間科学 医療人類学	健康福祉医学概論
	推奨	文化人類学 臨床心理学概論	参与観察法 インタビュー調査法	国際保健医療協力論 東洋医学の人間科学 子どもと女性の医学	バイオエシックス

氏名	種別	基盤科目	実調科目	発展科目	その他
村岡 慶裕 (健康支援医工学)	指定	健康福祉工学	ものづくり設計演習 A	医療福祉機器創出論 リハビリテーションと身体科学	人体の構造と機能及び疾病
	推奨	人間計測・人間情報モデリング	ものづくり設計演習 B	情報技術とバリアフリー 健康福祉産業論	健康福祉医学概論
森岡 正博 (バイオエシックス)	指定	文化人類学	思想文化研究法	生命の哲学と倫理	ジェンダー論
	推奨	臨床心理学概論	対人関係性支援研究法	医療人類学 芸術・技術の哲学	哲学 論理学 A Philosophy of Human Sciences 倫理学 科学史・科学哲学

(4)臨床心理系

氏名	種別	基盤科目	実調科目	発展科目	その他
井合 真海子 (心理学的支援論)	指定	臨床心理学概論	行動臨床科学研究法(心理学実験)	心理学的支援法 健康・医療心理学	データテラシーⅢ (SPSS)
	推奨	学習・言語心理学 心理学概論	ケースフォーミュレーション(心理的アセスメント) 心理発達検査法(心理的アセスメント)	認知行動療法 行動分析学 行動医学 精神疾患とその治療	
大月 友 (行動分析学)	指定	学習・言語心理学	行動臨床科学研究法(心理学実験)	行動分析学 心理学的支援法	
	推奨	心理学概論 臨床心理学概論	ケースフォーミュレーション(心理的アセスメント)	認知行動療法 行動医学 産業・組織心理学 健康・医療心理学 障害者・障害児心理学 インストラクショナルデザイン 学習環境デザイン	データテラシーⅢ (R または SPSS)
大森 幹真 (発達臨床心理学)	指定	学習・言語心理学	行動臨床科学研究法(心理学実験)	障害者・障害児心理学 福祉心理学	
	推奨	臨床心理学概論	心理発達検査法(心理的アセスメント) ケースフォーミュレーション(心理的アセスメント)	神経・生理心理学 行動分析学 認知行動療法 人体の構造と機能及び疾病	
桂川 泰典 (カウンセリング)	指定	臨床心理学概論	心理発達検査法(心理的アセスメント)	福祉心理学 心理学的支援法	
	推奨	学習・言語心理学	インタビュー調査法 参与観察法	認知行動療法 行動分析学 行動医学 健康・医療心理学	
熊野 宏昭 (行動医学)	指定	学習・言語心理学	ケースフォーミュレーション(心理的アセスメント)	行動医学 神経・生理心理学	
	推奨	心理学概論 臨床心理学概論	行動臨床科学研究法(心理学実験)	認知行動療法 健康・医療心理学 産業・組織心理学 行動分析学 システムニューロサイエンス	実験計画法 データテラシーⅢ (R)

氏名	種別	基盤科目	実調科目	発展科目	その他
嶋田 洋徳 (行動臨床心理学)	指定	臨床心理学概論	行動臨床科学研究法(心理学実験)	認知行動療法 行動分析学 健康・医療心理学	
	推奨	学習・言語心理学 心理学概論	ケースフォーミュレーション(心理的アセスメント)	司法・犯罪心理学 産業・組織心理学 行動医学	
鈴木 伸一 (医療心理学/職場メンタルヘルス学)	指定	学習・言語心理学	ケースフォーミュレーション(心理的アセスメント)	健康・医療心理学 産業・組織心理学 精神疾患とその治療	
	推奨	心理学概論 臨床心理学概論	行動臨床科学研究法(心理学実験)	行動分析学 行動医学 認知行動療法	実験計画法
田山 淳 (神経・生理心理学)	指定	心理学概論	行動臨床科学研究法(心理学実験)	神経・生理心理学 精神疾患とその治療	
	推奨	臨床心理学概論	ケースフォーミュレーション(心理的アセスメント)	健康・医療心理学 行動医学 認知行動療法 行動分析学 産業・組織心理学 障害者・障害児心理学	データテラシーⅢ (SPSS)

3. 人間情報科学科

(1)情報科学系

氏名	種別	基盤科目	実調科目	発展科目	その他
金子 孝夫 (情報コミュニケーション科学) ※	指定	情報学	行動観察法	マルチメディア 情報通信ネットワーク	
	推奨	心理学概論	心理学実験A、B、C、Dのいずれか1科目	情報コミュニケーション科学 人工知能論	
菊池 英明 (言語情報科学)	指定	人間計測・人間情報モデリング	人間計測・人間情報モデリング研究法	言語情報科学	データテラシーⅢ (RまたはPython) 多変量解析(2023年度まで開講)
	推奨	情報学	情報科学研究法	人工知能論 情報数学 情報システム入門 ヒューマンコンピュータインタラクション プログラミングⅠ (Python 言語)	実験計画法
金 群 (情報システム科学)	指定	情報学	情報科学研究法	情報システム入門 ヒューマンコンピュータインタラクション	
	推奨	人間計測・人間情報モデリング	人間計測・人間情報モデリング研究法	インターネットサービス 言語情報科学 人工知能論 プログラミングⅠ (Python 言語) プログラミングⅡ (Python 言語)	データテラシーⅢ (RまたはPython)

氏名	種別	基盤科目	実調科目	発展科目	その他
西村 昭治 (インターネット科学)	指定	情報学	情報科学研究法	インターネットサービス プログラミングⅠ (Python 言語) ウェブデザイン入門	
	推奨	人間工学	ものづくり設計演習 B	プログラミングⅡ (Python 言語) プログラミングⅡ(モバイルプログラミング) プログラミングⅡ (Java 言語) メディアコンテンツデザイン 情報システム入門	
松居 辰則 (知識情報科学)	指定	人間計測・人間 情報モデリング	人間計測・人間情 報モデリング研究法	人工知能論	データリテラシーⅢ (Python)
	推奨	心理学概論 情報学	心理学実験A、B、 C、Dのいずれか1 科目	ヒューマンコンピュー タインタラクション 言語情報科学 知覚・認知心理学 感覚情報工学 システムニューロサイ エンス	メディア論 脳の間科学

(2) 認知科学系

氏名	種別	基盤科目	実調科目	発展科目	その他
杉森 絵里子 (日常記憶心理学)	指定	心理学概論	心理学実験A、B、 C、Dのいずれか1 科目	知覚・認知心理学 日常記憶心理学	実験計画法 データリテラシーⅢ (SPSS)
	推奨	人間行動学	心理学実験A、B、 C、Dのいずれか1 科目(指定科目で 選択した以外のもの)	認知行動療法 発達心理学 生態心理学 非言語行動論 劇場認知科学	脳の間科学 多変量解析(2023 年度まで開講) 実験計画法(応用) データリテラシーⅢ (R または Python)
野村 亮太 (劇場認知科学)	指定	心理学概論	心理学実験A、B、 C、Dのいずれか1 科目	劇場認知科学	実験計画法 データリテラシーⅢ (Python)
	推奨	人間計測・人間 情報モデリング	参与観察法	パフォーマンス認知 科学 身体・環境論 非言語行動論 生態心理学	データリテラシーⅢ (R または SPSS)
三浦 哲都 (パフォーマンス認知科学)	指定	心理学概論	心理学実験A、B、 C、Dのいずれか1 科目	パフォーマンス認知 科学 生態心理学 システムニューロサイ エンス	実験計画法
	推奨	人間行動学	行動観察法	知覚・認知心理学 身体・環境論 劇場認知科学	実験計画法(応 用) データリテラシーⅢ (クラスは問わない)
三嶋 博之 (生態心理学)	指定	心理学概論	心理学実験A、B、 C、Dのいずれか1 科目	生態心理学 身体・環境論 パフォーマンス認知 科学	データリテラシーⅢ (クラスは問わない)
	推奨	人間工学 人間計測・人間 情報モデリング	心理学実験A、B、 C、Dのいずれか1 科目(指定科目で 選択した以外のもの)	知覚・認知心理学 日常記憶心理学 劇場認知科学 非言語行動論	実験計画法

氏名	種別	基盤科目	実調科目	発展科目	その他
百瀬 桂子 (生体情報工学)	指定	人間計測・人間情報モデリング	人間計測・人間情報モデリング研究法	感覚情報工学	脳の間科学
	推奨	心理学概論 人間工学	心理学実験A、B、C、Dのいずれか1科目 ものづくり設計演習A、Bのいずれか1科目	加齢人間工学 色彩情報論 生態心理学 知覚・認知心理学 システムニューロサイエンス	データリテラシーⅢ (クラスは問わない)

(3)人間工学系

氏名	種別	基盤科目	実調科目	発展科目	その他
加藤 麻樹 (安全人間工学)	指定	人間工学	心理学実験A、B、C、Dのいずれか1科目	建築人間工学 加齢人間工学 産業人間工学	データリテラシーⅢ (R)
	推奨	人間計測・人間情報モデリング	人間計測・人間情報モデリング研究法	生活支援工学 感覚情報工学 生態心理学 知覚・認知心理学	実験計画法 データリテラシーⅢ (Python)
倉片 憲治 (加齢人間工学)	指定	人間工学	心理学実験A、B、C、Dのいずれか1科目	加齢人間工学 生活支援工学 感覚情報工学	多変量解析(2023年度まで開講) 実験計画法 データリテラシーⅢ (SPSS)
	推奨	心理学概論 人間計測・人間情報モデリング	人間計測・人間情報モデリング研究法	言語情報科学 色彩情報論 建築人間工学 産業人間工学 情報技術とバリアフリー	
肥田 拓哉 (産業人間工学)	指定	人間計測・人間情報モデリング	人間計測・人間情報モデリング研究法	産業人間工学 建築人間工学	
	推奨	人間工学	ものづくり設計演習A 心理学実験A、B、C、Dのいずれか1科目	加齢人間工学 身体運動解析力学 生活支援工学 感覚情報工学 人工知能論	
藤本 浩志 (ハプティックインタフェース)	指定	人間計測・人間情報モデリング	人間計測・人間情報モデリング研究法	生活支援工学 身体運動解析力学	
	推奨	人間工学	ものづくり設計演習A 心理学実験A、B、C、Dのいずれか1科目	生態心理学 感覚情報工学 加齢人間工学	

(4)教育工学系

氏名	種別	基盤科目	実調科目	発展科目	その他
浅田 匡 (教育実践学)	指定	学ぶことの科学	アクションリサーチ アンケート調査法	教師学 心理教育学 教えることの科学(教育・学校心理学)	システム論
	推奨	教育工学	参与観察法 インタビュー調査法	発達心理学 学習環境デザイン 教育のアセスメント理論 教育データ解析論	デザイン論 哲学 データリテラシーⅢ (SPSS)
井上 典之 (教育システム開発論)	指定	学ぶことの科学	アクションリサーチ アンケート調査法	教えることの科学(教育・学校心理学) 教育のアセスメント理論 心理教育学 教育イノベーション論	哲学
	推奨	教育工学	参与観察法 インタビュー調査法	教師学 心理教育学 学習環境デザイン インストラクショナルデザイン 教育データ解析論	リーダーシップ論

氏名	種別	基盤科目	実調科目	発展科目	その他
尾澤 重知 (学習環境デザイン)	指定	学ぶことの科学	参与観察法	学習環境デザイン 教えることの科学(教育・学校心理学)	デザイン論
	推奨	教育学 情報学	アクションリサーチ 教育学研究法	インストラクショナルデザイン メディアコンテンツデザイン 教育のアセスメント理論	システム論 データリテラシーⅢ (クラスは問わないがPython>R>SPSSの順で推奨する)
向後 千春 (インストラクショナルデザイン) ※	指定	教育学	教育学研究法	インストラクショナルデザイン 生涯学習と成人教育学	
	推奨	心理学概論 学ぶことの科学	心理学実験A、B、C、Dのいずれか1科目	行動分析学 認知行動療法 学習環境デザイン 生態心理学 情報メディア教育論 教えることの科学(教育・学校心理学) 教育データ解析論	
杉澤 武俊 (教育データサイエンス)	指定	学ぶことの科学	アンケート調査法	教えることの科学(教育・学校心理学) 教育のアセスメント理論 教育データ解析論	データリテラシーⅢ (クラスは問わない)
	推奨	教育学 情報学	教育学研究法 アクションリサーチ	心理教育学 情報メディア教育論	多変量解析 実験計画法
望月 俊男 (コラボレーションと学習科学)	指定	学ぶことの科学	教育学研究法	協調学習と学習科学 知覚・認知心理学 学習環境デザイン 情報メディア教育論	日常記憶心理学
	推奨	教育学 心理学概論	参与観察法 アンケート調査法	ヒューマンコンピュータインタラクション 教えることの科学 人工知能論	デザイン論
森田 裕介 (情報メディア教育論)	指定	教育学	教育学研究法	情報メディア教育論 インストラクショナルデザイン 学習環境デザイン	
	推奨	情報学 学ぶことの科学	情報科学研究法 アンケート調査法	遠隔学習支援論 ヒューマンコンピュータインタラクション	デザイン論 ものづくりの技術論

(5)コミュニケーション学系

氏名	種別	基盤科目	実調科目	発展科目	その他
杉本 清香 (国際教育コミュニケーション論)	指定	学ぶことの科学	アンケート調査法	International Education and Communication Intercultural Communication 教育イノベーション論	
	推奨	教育学	インタビュー調査法 社会調査法	学習環境デザイン 教えることの科学(教育・学校心理学) 協調学習と学習科学 情報メディア教育論 英語圏大化概論	

氏名	種別	基盤科目	実調科目	発展科目	その他
スコット ダグラス (情報コミュニケーション技術)	指定	教育工学	アンケート調査法	Intercultural Communication Introduction to Sociolinguistics 英語圏文化概論	
	推奨	情報学	インタビュー調査法		Academic Writing Academic Reading
関根 和生 (マルチモーダルコミュニケーション)	指定	心理学概論	心理学実験A、B、C、Dのいずれか1科目	非言語行動論	実験計画法
	推奨	人間計測・人間情報モデリング	心理学実験A、B、C、Dのいずれか1科目(指定科目で選択した以外のもの)	行動の発達科学 発達心理学 身体・環境論 知覚・認知心理学 劇場認知科学	実験計画法(応用)
ムラー セロン (Sociolinguistics of Education and Communication)	指定	社会学	社会調査法 01、04 のいずれか 1 科目	Introduction to Sociolinguistics 英語圏文化概論 応用言語学入門	
	推奨	情報学	インタビュー調査法 01、03、04 のいずれか 1 科目	英語学 Intercultural Communication	

＜注意事項(学生向け)＞

1. 次の教員は 2024 年度末退職予定である。2024 年度の専門ゼミは開講されず、2023 年度秋に行われる専門ゼミ登録では募集対象外となる。

- 健康福祉科学科
 - ・永島 計(環境生理学)
 - ・前橋 明(健康福祉教育)
- 人間情報科学科
 - ・金子 孝夫(情報コミュニケーション科学)
 - ・向後 千春(インストラクショナルデザイン)

これらの教員は、指定科目・推奨科目一覧の氏名欄に「※」が記載されている。

2. 次の教員は、2025 年度末退職予定で、専門ゼミの開講は 2024 年度までとなる。2025 年度の専門ゼミは開講されず、2024 年度秋に行われる専門ゼミ登録では募集対象外となる。(2025 年度は、4 年次配当の卒業研究ゼミのみ開講となる。)

- 人間環境科学科
 - ・森本 豊富(移住論)

これらの教員は、指定科目・推奨科目一覧の氏名欄に「☆」が記載されている。

3. 上記1～2の教員について、諸事情のため退職予定年度が変更となる場合がある。
4. 上記1～2以外の教員について、諸事情のため専門ゼミが開講されない場合がある。
5. 最新の指定科目、推奨科目は随時人間科学部 Web サイトに掲載する。
<https://www.waseda.jp/fhum/hum/>

13.3 学科目配当表

配当表を確認する際は以下の点に留意すること。

- ・「4 科目の対照表・読み替え表」を必ず確認すること。(科目新設、廃止、科目区分変更、名称変更等あり)
- ・各項目の変更点(正誤表)や集中授業の詳細日程は「所沢総合事務センター連絡 Web ページ」に掲載する。確認漏れがないよう注意すること。

(URL: http://www.waseda.jp/tokorozawa/kg/human-school/registration_h.html)

【人間科学基礎科目】

人間科学基礎科目(必修)

科目名	担当教員	学期	曜日	時限	配当年次	単位数
スタディスキル 01	山本 敦	春クォーター	月	4 時限	1年以上	1
スタディスキル 02	廣松 ちあき	春クォーター	月	4 時限	1年以上	1
スタディスキル 03	平澤 寅庄	春クォーター	月	4 時限	1年以上	1
スタディスキル 04	北原 卓也	春クォーター	火	4 時限	1年以上	1
スタディスキル 05	川崎 弥生	春クォーター	火	4 時限	1年以上	1
スタディスキル 06	門田 圭祐	春クォーター	木	4 時限	1年以上	1
スタディスキル 07	高橋 麻衣子	春クォーター	木	4 時限	1年以上	1
スタディスキル 08	廣松 ちあき	春クォーター	木	4 時限	1年以上	1
スタディスキル 09	八木 創太	春クォーター	金	4 時限	1年以上	1
スタディスキル 10	矢野 敏史	春クォーター	金	4 時限	1年以上	1
スタディスキル 11	廣松 ちあき	夏季集中	無	その他	1年以上	1
学生生活とセルフマネジメント 01	山本 敦	夏クォーター	月	4 時限	1年以上	1
学生生活とセルフマネジメント 02	廣松 ちあき	夏クォーター	月	4 時限	1年以上	1
学生生活とセルフマネジメント 03	平澤 寅庄	夏クォーター	月	4 時限	1年以上	1
学生生活とセルフマネジメント 04	北原 卓也	夏クォーター	火	4 時限	1年以上	1
学生生活とセルフマネジメント 05	川崎 弥生	夏クォーター	火	4 時限	1年以上	1
学生生活とセルフマネジメント 06	門田 圭祐	夏クォーター	木	4 時限	1年以上	1
学生生活とセルフマネジメント 07	高橋 麻衣子	夏クォーター	木	4 時限	1年以上	1
学生生活とセルフマネジメント 08	廣松 ちあき	夏クォーター	木	4 時限	1年以上	1
学生生活とセルフマネジメント 09	八木 創太	夏クォーター	金	4 時限	1年以上	1
学生生活とセルフマネジメント 10	矢野 敏史	夏クォーター	金	4 時限	1年以上	1
学生生活とセルフマネジメント 11	廣松 ちあき	夏季集中	無	その他	1年以上	1
基礎ゼミ I 01	柏 雅之/笹月 桃子	春学期	月	6 時限	1年以上	1
基礎ゼミ I 02	笹月 桃子/柏 雅之	春学期	月	6 時限	1年以上	1
基礎ゼミ I 03	外山 紀子/望月 俊男	春学期	月	6 時限	1年以上	1
基礎ゼミ I 04	望月 俊男/外山 紀子	春学期	月	6 時限	1年以上	1
基礎ゼミ I 05	鈴木 里砂/杉森 絵里子	春学期	月	6 時限	1年以上	1
基礎ゼミ I 06	杉森 絵里子/鈴木 里砂	春学期	月	6 時限	1年以上	1
基礎ゼミ I 07	田山 淳/浅田 匡	春学期	火	6 時限	1年以上	1
基礎ゼミ I 08	浅田 匡/田山 淳	春学期	火	6 時限	1年以上	1
基礎ゼミ I 09	中山 なな/千葉 卓哉	春学期	火	6 時限	1年以上	1
基礎ゼミ I 10	千葉 卓哉/中山 なな	春学期	火	6 時限	1年以上	1
基礎ゼミ I 11	井上 真/古山 周太郎	春学期	木	6 時限	1年以上	1
基礎ゼミ I 12	古山 周太郎/井上 真	春学期	木	6 時限	1年以上	1
基礎ゼミ I 13	余語 琢磨/ムラー セロン	春学期	木	6 時限	1年以上	1
基礎ゼミ I 14	ムラー セロン/余語 琢磨	春学期	木	6 時限	1年以上	1
基礎ゼミ I 15	森本 豊富/森田 裕介	春学期	木	6 時限	1年以上	1
基礎ゼミ I 16	森田 裕介/森本 豊富	春学期	木	6 時限	1年以上	1
基礎ゼミ I 17	風間 健太郎/辻内 琢也	春学期	金	6 時限	1年以上	1
基礎ゼミ I 18	辻内 琢也/風間 健太郎	春学期	金	6 時限	1年以上	1
基礎ゼミ I 19	桂川 泰典/金 群	春学期	金	6 時限	1年以上	1
基礎ゼミ I 20	金 群/桂川 泰典	春学期	金	6 時限	1年以上	1
基礎ゼミ I 21	里見 龍樹	夏季集中	無	その他	1年以上	1
基礎ゼミ II 01	山本 敦	秋学期	月	4 時限	1年以上	1
基礎ゼミ II 02	廣松 ちあき	秋学期	月	4 時限	1年以上	1
基礎ゼミ II 03	平澤 寅庄	秋学期	月	4 時限	1年以上	1
基礎ゼミ II 04	北原 卓也	秋学期	火	4 時限	1年以上	1

科目名	担当教員	学期	曜日	時限	配当年次	単位数
基礎ゼミ II 05	川崎 弥生	秋学期	火	4時限	1年以上	1
基礎ゼミ II 06	廣松 ちあき	秋学期	木	4時限	1年以上	1
基礎ゼミ II 07	門田 圭祐	秋学期	木	4時限	1年以上	1
基礎ゼミ II 08	高橋 麻衣子	秋学期	木	4時限	1年以上	1
基礎ゼミ II 09	八木 創太	秋学期	金	4時限	1年以上	1
基礎ゼミ II 10	矢野 敏史	秋学期	金	4時限	1年以上	1
基礎ゼミ II 11	山本 敦	秋学期	月	4時限	1年以上	1
基礎ゼミ II 12	廣松 ちあき	秋学期	月	4時限	1年以上	1
基礎ゼミ II 13	平澤 寅庄	秋学期	月	4時限	1年以上	1
基礎ゼミ II 14	北原 卓也	秋学期	火	4時限	1年以上	1
基礎ゼミ II 15	川崎 弥生	秋学期	火	4時限	1年以上	1
基礎ゼミ II 16	廣松 ちあき	秋学期	木	4時限	1年以上	1
基礎ゼミ II 17	門田 圭祐	秋学期	木	4時限	1年以上	1
基礎ゼミ II 18	高橋 恵理子	秋学期	木	4時限	1年以上	1
基礎ゼミ II 19	八木 創太	秋学期	金	4時限	1年以上	1
基礎ゼミ II 20	矢野 敏史	秋学期	金	4時限	1年以上	1
基礎ゼミ II 21	廣松 ちあき	秋学期	木	3時限	1年以上	1
人間科学概論 01	里見 龍樹 他	秋クォーター	無	フルオンデマンド	1年以上	1
人間科学概論 02	里見 龍樹 他	秋クォーター	無	フルオンデマンド	1年以上	1

人間科学基礎科目（学科必修）

科目名	担当教員	学期	曜日	時限	配当年次	単位数
人間環境科学概論	太田 俊二 他	夏クォーター	月	5時限	2年以上	1
健康福祉科学概論	村岡 慶裕 他	春クォーター	無	フルオンデマンド	2年以上	1
人間情報科学概論	菊池 英明 他	春クォーター	無	フルオンデマンド	2年以上	1

人間科学基礎科目（選択）

科目名	担当教員	学期	曜日	時限	配当年次	単位数
人間科学のための微分積分	坂田 裕	春学期	無	フルオンデマンド	1年以上	2
人間科学のための線形代数	坂田 裕	秋学期	無	フルオンデマンド	1年以上	2
人間科学のための力学	有澤 哲郎	春学期	無	フルオンデマンド	1年以上	2
人間科学のための電磁気学	有澤 哲郎	秋学期	無	フルオンデマンド	1年以上	2
人間科学のための基礎化学	中島 康	春学期	水	4時限	1年以上	2
人間科学のための生命科学	中島 康	春学期	水	3時限	1年以上	2

【リテラシー科目】

データ

科目名	担当教員	学期	曜日	時限	配当年次	単位数
データリテラシー I 01	山本 敦	春学期	月	5時限	1年以上	2
データリテラシー I 02	廣松 ちあき	春学期	月	5時限	1年以上	2
データリテラシー I 03	高橋 麻衣子	春学期	月	5時限	1年以上	2
データリテラシー I 04	北原 卓也	春学期	火	5時限	1年以上	2
データリテラシー I 05	川崎 弥生	春学期	火	5時限	1年以上	2
データリテラシー I 06	牧野 遼作	春学期	木	5時限	1年以上	2
データリテラシー I 07	高橋 麻衣子	春学期	木	5時限	1年以上	2
データリテラシー I 08	矢野 敏史	春学期	木	5時限	1年以上	2
データリテラシー I 09	八木 創太	春学期	金	5時限	1年以上	2
データリテラシー I 10	矢野 敏史	春学期	金	5時限	1年以上	2
データリテラシー I 11	牧野 遼作	夏季集中	無	その他	1年以上	2
データリテラシー I 12	(今年度休講)					
データリテラシー II 01	山本 敦	秋学期	月	5時限～6時限	1年以上	4
データリテラシー II 02	廣松 ちあき	秋学期	月	5時限～6時限	1年以上	4
データリテラシー II 03	平澤 真庄	秋学期	月	5時限～6時限	1年以上	4
データリテラシー II 04	北原 卓也	秋学期	火	5時限～6時限	1年以上	4
データリテラシー II 05	川崎 弥生	秋学期	火	5時限～6時限	1年以上	4
データリテラシー II 06	牧野 遼作	秋学期	木	5時限～6時限	1年以上	4
データリテラシー II 07	門田 圭祐	秋学期	木	5時限～6時限	1年以上	4
データリテラシー II 08	高橋 麻衣子	秋学期	木	5時限～6時限	1年以上	4
データリテラシー II 09	八木 創太	秋学期	金	5時限～6時限	1年以上	4
データリテラシー II 10	矢野 敏史	秋学期	金	5時限～6時限	1年以上	4
データリテラシー II 11	門田 圭祐	春学期	月	4時限～5時限	1年以上	4
データリテラシー II 12	(今年度休講)					
データリテラシー III 01	八木 創太	春学期	金	3時限	2年以上	2
データリテラシー III 02	牧野 遼作	秋学期	木	4時限	2年以上	2
データリテラシー III (R) 01	山本 敦	春学期	金	2時限	2年以上	2
データリテラシー III (R) 02	上田 卓司	夏季集中	無	その他	2年以上	2
データリテラシー III (R) 03	望月 俊男	秋学期	火	3時限	2年以上	2
データリテラシー III (Python) 01	牧野 遼作	春学期	木	2時限	2年以上	2
データリテラシー III (Python) 02	牧野 遼作	秋学期	木	2時限	2年以上	2
データリテラシー III (SPSS)	芳賀 麻誉美	春学期	木	2時限	2年以上	2
実験計画法	芳賀 麻誉美	春学期	木	1時限	2年以上	2
SEM(統計的因果分析)	芳賀 麻誉美	夏季集中	無	その他	3年以上	2
実験計画法(応用)	芳賀 麻誉美	夏季集中	無	その他	2年以上	2

日本語

科目名	担当教員	学期	曜日	時限	配当年次	単位数
学術的文章の作成 ※		秋クォーター			1年以上	1
日本語と日本文化 01	平井 裕香	秋クォーター	月	2時限	1年以上	1
日本語と日本文化 02	平井 裕香	冬クォーター	月	2時限	1年以上	1
日本語と日本文化 03	江口 文恵	秋クォーター	火	2時限	1年以上	1
日本語と日本文化 04	江口 文恵	冬クォーター	火	2時限	1年以上	1
日本語と日本文化 05	未定	秋クォーター	木	4時限	1年以上	1
日本語と日本文化 06	未定	冬クォーター	木	4時限	1年以上	1

※「学術的文章の作成」は、グローバルエデュケーションセンター設置科目。

英語

科目名	担当教員	学期	曜日	時限	配当年次	単位数
Current Topics I 01	池山 和子	春学期	水	3時限	1年以上	1
Current Topics I 02	池山 和子	春学期	火	2時限	1年以上	1
Current Topics I 03	満尾 貞行	春学期	木	1時限	1年以上	1
Current Topics I 04	満尾 貞行	春学期	木	2時限	1年以上	1
Current Topics I 05	ヘニグマン デイビッド ファレル	春学期	火	1時限	1年以上	1
Current Topics I 06	清水 順	春学期	月	2時限	1年以上	1
Current Topics I 07	須永 美奈子	春学期	木	1時限	1年以上	1
Current Topics I 08	須永 美奈子	春学期	木	2時限	1年以上	1
Current Topics I 09	満尾 貞行	春学期	木	3時限	1年以上	1
Current Topics I 10	清水 順	春学期	月	3時限	1年以上	1
Current Topics I 11	藤城 晴佳	春学期	水	2時限	1年以上	1
Current Topics I 12	山田 亜紀	春学期	月	2時限	1年以上	1
Current Topics I 13	ムラー セロン	春学期	火	1時限	1年以上	1
Current Topics I 14	ムラー セロン	春学期	火	2時限	1年以上	1
Current Topics I 15	清水 順	春学期	木	2時限	1年以上	1
Current Topics I 16	清水 順	春学期	木	3時限	1年以上	1
Current Topics I 17	江里口 歡人	春学期	水	3時限	1年以上	1
Current Topics I 18	江里口 歡人	春学期	水	4時限	1年以上	1
Current Topics I 19	池山 和子	春学期	水	2時限	1年以上	1
Current Topics I 20	ヘニグマン デイビッド ファレル	春学期	火	2時限	1年以上	1
Current Topics II 01	池山 和子	秋学期	水	3時限	1年以上	1
Current Topics II 02	池山 和子	秋学期	火	2時限	1年以上	1
Current Topics II 03	満尾 貞行	秋学期	木	1時限	1年以上	1
Current Topics II 04	満尾 貞行	秋学期	木	2時限	1年以上	1
Current Topics II 05	ヘニグマン デイビッド ファレル	秋学期	火	1時限	1年以上	1
Current Topics II 06	清水 順	秋学期	月	2時限	1年以上	1
Current Topics II 07	須永 美奈子	秋学期	木	1時限	1年以上	1
Current Topics II 08	須永 美奈子	秋学期	木	2時限	1年以上	1
Current Topics II 09	満尾 貞行	秋学期	木	3時限	1年以上	1
Current Topics II 10	清水 順	秋学期	月	3時限	1年以上	1
Current Topics II 11	藤城 晴佳	秋学期	水	2時限	1年以上	1
Current Topics II 12	山田 亜紀	秋学期	月	2時限	1年以上	1
Current Topics II 13	ムラー セロン	秋学期	火	1時限	1年以上	1
Current Topics II 14	ムラー セロン	秋学期	火	2時限	1年以上	1
Current Topics II 15	清水 順	秋学期	木	2時限	1年以上	1
Current Topics II 16	清水 順	秋学期	木	3時限	1年以上	1
Current Topics II 17	江里口 歡人	秋学期	水	3時限	1年以上	1
Current Topics II 18	江里口 歡人	秋学期	水	4時限	1年以上	1
Current Topics II 19	池山 和子	秋学期	水	2時限	1年以上	1
Current Topics II 20	ヘニグマン デイビッド ファレル	秋学期	火	2時限	1年以上	1
英文学講読	満尾 貞行	夏季集中	無	その他	1年以上	2
米文学講読	中垣 恒太郎	春学期	月	1時限	1年以上	2
米文学史	中垣 恒太郎	秋学期	月	1時限	1年以上	2
Academic Reading 中級 01	池山 和子	秋学期	火	3時限	2年以上	2
Academic Reading 中級 02	山田 亜紀	春学期	月	3時限	2年以上	2
Academic Reading 中級 03	藤城 晴佳	春学期	水	3時限	2年以上	2
Academic Reading 中級 04	鈴木 広子	春学期	水	1時限	2年以上	2
Academic Reading 中級 05	鈴木 広子	秋学期	水	1時限	2年以上	2
Academic Reading 中級 06	藤城 晴佳	秋学期	水	3時限	2年以上	2
Academic Reading 中級 07	山田 亜紀	秋学期	月	3時限	2年以上	2
Academic Reading 上級 01	コックス キャシー L.	春学期	金	3時限	2年以上	2
Academic Reading 上級 02	森本 豊富	秋学期	火	2時限	2年以上	2
Academic Reading 上級 03	コックス キャシー L.	秋学期	金	3時限	2年以上	2
Academic Writing 中級 01	スコット ダグラス	春学期	木	4時限	2年以上	2
Academic Writing 中級 02	杉本 清香	春学期	金	3時限	2年以上	2
Academic Writing 中級 03	コックス キャシー L.	秋学期	金	4時限	2年以上	2
Academic Writing 中級 04	スコット ダグラス	秋学期	木	4時限	2年以上	2

科目名	担当教員	学期	曜日	時限	配当年次	単位数
Academic Writing 中級 05	ベック ダニエル	春学期	水	4 時限	2年以上	2
Academic Writing 中級 06	ベック ダニエル	秋学期	水	4 時限	2年以上	2
Academic Writing 上級 01	スコット ダグラス	春学期	木	3 時限	2年以上	2
Academic Writing 上級 02	スコット ダグラス	秋学期	木	3 時限	2年以上	2
Oral Presentation 中級 01	ケネス ウェイン ビーゲル	春学期	火	2 時限	2年以上	2
Oral Presentation 中級 02	ベック ダニエル	春学期	水	2 時限	2年以上	2
Oral Presentation 中級 03	ベック ダニエル	春学期	水	3 時限	2年以上	2
Oral Presentation 中級 04	ケネス ウェイン ビーゲル	秋学期	火	3 時限	2年以上	2
Oral Presentation 中級 05	ベック ダニエル	秋学期	水	1 時限	2年以上	2
Oral Presentation 中級 06	ベック ダニエル	秋学期	水	2 時限	2年以上	2
Oral Presentation 上級 01	コックス キャシー L.	春学期	金	4 時限	2年以上	2
Oral Presentation 上級 02	コックス キャシー L.	秋学期	金	5 時限	2年以上	2
Academic Listening 中級 01	ケネス ウェイン ビーゲル	春学期	火	3 時限	2年以上	2
Academic Listening 中級 02	ケネス ウェイン ビーゲル	春学期	火	4 時限	2年以上	2
Academic Listening 中級 03	パートレイ ドナルド クレイトン	春学期	月	1 時限	2年以上	2
Academic Listening 中級 04	杉本 清香	秋学期	木	3 時限	2年以上	2
Academic Listening 中級 05	ケネス ウェイン ビーゲル	秋学期	火	4 時限	2年以上	2
Academic Listening 上級 01	ベック ダニエル	秋学期	水	2 時限	2年以上	2
Academic Listening 上級 02	ムラー セロン	秋学期	火	4 時限	2年以上	2
Academic Listening 上級 03	ベック ダニエル	秋学期	水	3 時限	2年以上	2

※「Tutorial English」は、グローバルエデュケーションセンター設置科目。

外国語（英語以外）

科目名	担当教員	学期	曜日	時限	配当年次	単位数
ドイツ語基礎 I 01	江口 陽子	春学期	金	2 時限	1年以上	1
ドイツ語基礎 I 02	甲斐崎 由典	春学期	月	3 時限	1年以上	1
ドイツ語基礎 I 03	牧野 広樹	春学期	火	3 時限	1年以上	1
ドイツ語基礎 I 04	長谷川 悦朗	春学期	木	1 時限	1年以上	1
ドイツ語基礎 II 01	江口 陽子	秋学期	金	2 時限	1年以上	1
ドイツ語基礎 II 02	甲斐崎 由典	秋学期	月	3 時限	1年以上	1
ドイツ語基礎 II 03	牧野 広樹	秋学期	火	3 時限	1年以上	1
ドイツ語基礎 II 04	長谷川 悦朗	秋学期	木	1 時限	1年以上	1
ドイツ語会話入門 I 01	トレップフェルト ミヨウジン ラルフ ウィルヘルム	春学期	月	2 時限	1年以上	1
ドイツ語会話入門 I 02	オストヴァルト イェンス	春学期	金	1 時限	1年以上	1
ドイツ語会話入門 I 03	オストヴァルト イェンス	春学期	金	2 時限	1年以上	1
ドイツ語会話入門 I 04	オストヴァルト イェンス	春学期	金	3 時限	1年以上	1
ドイツ語会話入門 II 01	トレップフェルト ミヨウジン ラルフ ウィルヘルム	秋学期	月	2 時限	1年以上	1
ドイツ語会話入門 II 02	オストヴァルト イェンス	秋学期	金	1 時限	1年以上	1
ドイツ語会話入門 II 03	オストヴァルト イェンス	秋学期	金	2 時限	1年以上	1
ドイツ語会話入門 II 04	オストヴァルト イェンス	秋学期	金	3 時限	1年以上	1
ドイツ語圏の社会と言語 I 01	長谷川 悦朗	春学期	木	2 時限	2年以上	2
ドイツ語圏の社会と言語 II 01	長谷川 悦朗	秋学期	木	2 時限	2年以上	2
ドイツ語コミュニケーション I 01	オストヴァルト イェンス	春学期	金	4 時限	2年以上	2
ドイツ語コミュニケーション I 02	トレップフェルト ミヨウジン ラルフ ウィルヘルム	春学期	月	3 時限	2年以上	2
ドイツ語コミュニケーション II 01	オストヴァルト イェンス	秋学期	金	4 時限	2年以上	2
ドイツ語コミュニケーション II 02	トレップフェルト ミヨウジン ラルフ ウィルヘルム	秋学期	月	3 時限	2年以上	2
ドイツ語圏社会文化論A 01	甲斐崎 由典	春学期	月	2 時限	3年以上	2
ドイツ語圏社会文化論B 01	甲斐崎 由典	秋学期	月	2 時限	3年以上	2
フランス語基礎 I 01	福島 勲	春学期	火	2 時限	1年以上	1
フランス語基礎 I 02	長嶋 由紀子	春学期	水	2 時限	1年以上	1
フランス語基礎 I 03	岡本 健	春学期	金	1 時限	1年以上	1
フランス語基礎 I 04	岡本 健	春学期	金	2 時限	1年以上	1
フランス語基礎 II 01	福島 勲	秋学期	火	2 時限	1年以上	1
フランス語基礎 II 02	長嶋 由紀子	秋学期	水	2 時限	1年以上	1
フランス語基礎 II 03	岡本 健	秋学期	金	1 時限	1年以上	1
フランス語基礎 II 04	岡本 健	秋学期	金	2 時限	1年以上	1

科目名	担当教員	学期	曜日	時限	配当年次	単位数
フランス語会話入門 I 01	シェレンバウム ゾエ セラン	春学期	金	2時限	1年以上	1
フランス語会話入門 I 02	シェレンバウム ゾエ セラン	春学期	金	3時限	1年以上	1
フランス語会話入門 I 03	ルヌール クレール	春学期	水	2時限	1年以上	1
フランス語会話入門 I 04	ルヌール クレール	春学期	水	3時限	1年以上	1
フランス語会話入門 II 01	シェレンバウム ゾエ セラン	秋学期	金	2時限	1年以上	1
フランス語会話入門 II 02	シェレンバウム ゾエ セラン	秋学期	金	3時限	1年以上	1
フランス語会話入門 II 03	ルヌール クレール	秋学期	水	2時限	1年以上	1
フランス語会話入門 II 04	ルヌール クレール	秋学期	水	3時限	1年以上	1
フランス語圏の社会と言語 I 01	岡本 健	春学期	金	3時限	2年以上	2
フランス語圏の社会と言語 II 01	岡本 健	秋学期	金	3時限	2年以上	2
フランス語コミュニケーション I 01	ルヌール クレール	春学期	水	4時限	2年以上	2
フランス語コミュニケーション II 01	ルヌール クレール	秋学期	水	4時限	2年以上	2
フランス語圏社会文化論A 01	長嶋 由紀子	春学期	水	3時限	3年以上	2
フランス語圏社会文化論B 01	長嶋 由紀子	秋学期	水	3時限	3年以上	2
中国語基礎 I 01	日野 康一郎	春学期	月	1時限	1年以上	1
中国語基礎 I 02	日野 康一郎	春学期	月	2時限	1年以上	1
中国語基礎 I 03	加藤 茂生	春学期	木	3時限	1年以上	1
中国語基礎 I 04	平澤 歩	春学期	水	2時限	1年以上	1
中国語基礎 I 05	平澤 歩	春学期	水	3時限	1年以上	1
中国語基礎 I 06	多田 恵	春学期	水	1時限	1年以上	1
中国語基礎 I 07	内田 宏美	春学期	火	1時限	1年以上	1
中国語基礎 I 08	内田 宏美	春学期	火	3時限	1年以上	1
中国語基礎 I 09	川島 麻衣	春学期	火	1時限	1年以上	1
中国語基礎 I 10	川島 麻衣	春学期	火	2時限	1年以上	1
中国語基礎 I 11	川島 麻衣	春学期	火	3時限	1年以上	1
中国語基礎 I 12	日野 康一郎	春学期	火	1時限	1年以上	1
中国語基礎 I 13	日野 康一郎	春学期	火	2時限	1年以上	1
中国語基礎 I 14	日野 康一郎	春学期	火	3時限	1年以上	1
中国語基礎 II 01	日野 康一郎	秋学期	月	1時限	1年以上	1
中国語基礎 II 02	日野 康一郎	秋学期	月	2時限	1年以上	1
中国語基礎 II 03	加藤 茂生	秋学期	木	3時限	1年以上	1
中国語基礎 II 04	平澤 歩	秋学期	水	2時限	1年以上	1
中国語基礎 II 05	平澤 歩	秋学期	水	3時限	1年以上	1
中国語基礎 II 06	多田 恵	秋学期	水	1時限	1年以上	1
中国語基礎 II 07	内田 宏美	秋学期	火	1時限	1年以上	1
中国語基礎 II 08	内田 宏美	秋学期	火	3時限	1年以上	1
中国語基礎 II 09	川島 麻衣	秋学期	火	1時限	1年以上	1
中国語基礎 II 10	川島 麻衣	秋学期	火	2時限	1年以上	1
中国語基礎 II 11	川島 麻衣	秋学期	火	3時限	1年以上	1
中国語基礎 II 12	日野 康一郎	秋学期	火	1時限	1年以上	1
中国語基礎 II 13	日野 康一郎	秋学期	火	2時限	1年以上	1
中国語基礎 II 14	日野 康一郎	秋学期	火	3時限	1年以上	1
中国語会話入門 I 01	黄 耀進	春学期	火	1時限	1年以上	1
中国語会話入門 I 02	黄 耀進	春学期	火	2時限	1年以上	1
中国語会話入門 I 03	王 克西	春学期	火	1時限	1年以上	1
中国語会話入門 I 04	李 軼倫	春学期	火	1時限	1年以上	1
中国語会話入門 I 05	雷 桂林	春学期	木	2時限	1年以上	1
中国語会話入門 I 06	雷 桂林	春学期	木	1時限	1年以上	1
中国語会話入門 I 07	黄 耀進	春学期	水	1時限	1年以上	1
中国語会話入門 I 08	喬 志航	春学期	水	1時限	1年以上	1
中国語会話入門 I 09	喬 志航	春学期	水	2時限	1年以上	1
中国語会話入門 I 10	黄 耀進	春学期	水	2時限	1年以上	1
中国語会話入門 I 11	黄 耀進	春学期	水	3時限	1年以上	1
中国語会話入門 I 12	王 克西	春学期	火	2時限	1年以上	1
中国語会話入門 I 13	王 克西	春学期	火	3時限	1年以上	1
中国語会話入門 I 14	李 軼倫	春学期	火	2時限	1年以上	1
中国語会話入門 II 01	黄 耀進	秋学期	火	1時限	1年以上	1
中国語会話入門 II 02	黄 耀進	秋学期	火	2時限	1年以上	1

科目名	担当教員	学期	曜日	時限	配当年次	単位数
中国語会話入門Ⅱ 03	王 克西	秋学期	火	1時限	1年以上	1
中国語会話入門Ⅱ 04	李 鞅倫	秋学期	火	1時限	1年以上	1
中国語会話入門Ⅱ 05	雷 桂林	秋学期	木	2時限	1年以上	1
中国語会話入門Ⅱ 06	雷 桂林	秋学期	木	1時限	1年以上	1
中国語会話入門Ⅱ 07	黄 耀進	秋学期	水	1時限	1年以上	1
中国語会話入門Ⅱ 08	喬 志航	秋学期	水	1時限	1年以上	1
中国語会話入門Ⅱ 09	喬 志航	秋学期	水	2時限	1年以上	1
中国語会話入門Ⅱ 10	黄 耀進	秋学期	水	2時限	1年以上	1
中国語会話入門Ⅱ 11	黄 耀進	秋学期	水	3時限	1年以上	1
中国語会話入門Ⅱ 12	王 克西	秋学期	火	2時限	1年以上	1
中国語会話入門Ⅱ 13	王 克西	秋学期	火	3時限	1年以上	1
中国語会話入門Ⅱ 14	李 鞅倫	秋学期	火	2時限	1年以上	1
中国語圏の社会と言語Ⅰ 01	日野 康一郎	春学期	月	3時限	2年以上	2
中国語圏の社会と言語Ⅰ 02	内田 宏美	春学期	火	2時限	2年以上	2
中国語圏の社会と言語Ⅱ 01	日野 康一郎	秋学期	月	3時限	2年以上	2
中国語圏の社会と言語Ⅱ 02	内田 宏美	秋学期	火	2時限	2年以上	2
中国語コミュニケーションⅠ 01	喬 志航	春学期	水	3時限	2年以上	2
中国語コミュニケーションⅠ 02	黄 耀進	春学期	火	3時限	2年以上	2
中国語コミュニケーションⅡ 01	喬 志航	秋学期	水	3時限	2年以上	2
中国語コミュニケーションⅡ 02	黄 耀進	秋学期	火	3時限	2年以上	2
中国語圏社会文化論A 01	雷 桂林	春学期	木	3時限	3年以上	2
中国語圏社会文化論B 01	雷 桂林	秋学期	木	3時限	3年以上	2
スペイン語基礎Ⅰ 01	竹中 宏子	春学期	火	2時限	1年以上	1
スペイン語基礎Ⅰ 02	山越 英嗣	春学期	月	3時限	1年以上	1
スペイン語基礎Ⅰ 03	櫻井 道子	春学期	金	1時限	1年以上	1
スペイン語基礎Ⅰ 04	横藤田 稔泰	春学期	水	2時限	1年以上	1
スペイン語基礎Ⅰ 05	横藤田 稔泰	春学期	水	3時限	1年以上	1
スペイン語基礎Ⅰ 06	倉田 量介	春学期	金	2時限	1年以上	1
スペイン語基礎Ⅰ 07	倉田 量介	春学期	金	3時限	1年以上	1
スペイン語基礎Ⅰ 08	渋谷 賢	春学期	月	2時限	1年以上	1
スペイン語基礎Ⅰ 09	渋谷 賢	春学期	月	3時限	1年以上	1
スペイン語基礎Ⅰ 10	渋谷 賢	春学期	火	2時限	1年以上	1
スペイン語基礎Ⅱ 01	竹中 宏子	秋学期	火	2時限	1年以上	1
スペイン語基礎Ⅱ 02	山越 英嗣	秋学期	月	3時限	1年以上	1
スペイン語基礎Ⅱ 03	櫻井 道子	秋学期	金	1時限	1年以上	1
スペイン語基礎Ⅱ 04	横藤田 稔泰	秋学期	水	2時限	1年以上	1
スペイン語基礎Ⅱ 05	横藤田 稔泰	秋学期	水	3時限	1年以上	1
スペイン語基礎Ⅱ 06	倉田 量介	秋学期	金	2時限	1年以上	1
スペイン語基礎Ⅱ 07	倉田 量介	秋学期	金	3時限	1年以上	1
スペイン語基礎Ⅱ 08	渋谷 賢	秋学期	月	2時限	1年以上	1
スペイン語基礎Ⅱ 09	渋谷 賢	秋学期	月	3時限	1年以上	1
スペイン語基礎Ⅱ 10	渋谷 賢	秋学期	火	2時限	1年以上	1
スペイン語会話入門Ⅰ 01	セラ ロドリゲス ペドロ カルロス	春学期	木	2時限	1年以上	1
スペイン語会話入門Ⅰ 02	ドメネク アロンソ ルルデス マリア	春学期	木	2時限	1年以上	1
スペイン語会話入門Ⅰ 03	モンレアル カンマニュ パウ	春学期	月	3時限	1年以上	1
スペイン語会話入門Ⅰ 04	マガーニャ サンチェス ホアン ホセ	春学期	金	3時限	1年以上	1
スペイン語会話入門Ⅰ 05	マガーニャ サンチェス ホアン ホセ	春学期	金	4時限	1年以上	1
スペイン語会話入門Ⅰ 06	モンレアル カンマニュ パウ	春学期	月	2時限	1年以上	1
スペイン語会話入門Ⅰ 07	モンレアル カンマニュ パウ	春学期	月	1時限	1年以上	1
スペイン語会話入門Ⅰ 08	ドメネク アロンソ ルルデス マリア	春学期	木	1時限	1年以上	1
スペイン語会話入門Ⅰ 09	ドメネク アロンソ ルルデス マリア	春学期	木	3時限	1年以上	1
スペイン語会話入門Ⅰ 10	セラ ロドリゲス ペドロ カルロス	春学期	木	4時限	1年以上	1
スペイン語会話入門Ⅱ 01	セラ ロドリゲス ペドロ カルロス	秋学期	木	2時限	1年以上	1
スペイン語会話入門Ⅱ 02	ドメネク アロンソ ルルデス マリア	秋学期	木	2時限	1年以上	1
スペイン語会話入門Ⅱ 03	モンレアル カンマニュ パウ	秋学期	月	3時限	1年以上	1
スペイン語会話入門Ⅱ 04	マガーニャ サンチェス ホアン ホセ	秋学期	金	3時限	1年以上	1
スペイン語会話入門Ⅱ 05	マガーニャ サンチェス ホアン ホセ	秋学期	金	4時限	1年以上	1
スペイン語会話入門Ⅱ 06	モンレアル カンマニュ パウ	秋学期	月	2時限	1年以上	1

科目名	担当教員	学期	曜日	時限	配当年次	単位数
スペイン語会話入門Ⅱ 07	モンレアル カンマニュ パウ	秋学期	月	1時限	1年以上	1
スペイン語会話入門Ⅱ 08	ドメネク アロンソ ルルデス マリア	秋学期	木	1時限	1年以上	1
スペイン語会話入門Ⅱ 09	ドメネク アロンソ ルルデス マリア	秋学期	木	3時限	1年以上	1
スペイン語会話入門Ⅱ 10	セラ ロドリゲス ペドロ カルロス	秋学期	木	4時限	1年以上	1
スペイン語圏の社会と言語Ⅰ 01	渋谷 賢	春学期	火	3時限	2年以上	2
スペイン語圏の社会と言語Ⅱ 01	渋谷 賢	秋学期	火	3時限	2年以上	2
スペイン語コミュニケーションⅠ 01	モンレアル カンマニュ パウ	春学期	月	4時限	2年以上	2
スペイン語コミュニケーションⅠ 02	セラ ロドリゲス ペドロ カルロス	春学期	木	3時限	2年以上	2
スペイン語コミュニケーションⅠ 03	マガーニャ サンチェス ホアン ホセ	春学期	金	2時限	2年以上	2
スペイン語コミュニケーションⅡ 01	モンレアル カンマニュ パウ	秋学期	月	4時限	2年以上	2
スペイン語コミュニケーションⅡ 02	セラ ロドリゲス ペドロ カルロス	秋学期	木	3時限	2年以上	2
スペイン語コミュニケーションⅡ 03	マガーニャ サンチェス ホアン ホセ	秋学期	金	2時限	2年以上	2
スペイン語圏社会文化論A 01	櫻井 道子	春学期	金	2時限	3年以上	2
スペイン語圏社会文化論B 01	櫻井 道子	秋学期	金	2時限	3年以上	2

【人間科学教養科目】

人間科学教養科目 A (人間学)

科目名	担当教員	学期	曜日	時限	配当年次	単位数
進化論	未定	秋学期	金	2時限	1年以上	2
脳の人間科学	掛山 正心	春学期	金	2時限	1年以上	2
自然人類学	藤澤 珠織	夏季集中	無	その他	1年以上	2
哲学	高崎 将平	秋学期	水	3時限	1年以上	2
ジェンダー論	熱田 敬子	春学期	水	2時限	1年以上	2
老年学	大島 千帆	秋学期	木	2時限	1年以上	2
宗教学	村田 敦郎	夏季集中	無	その他	1年以上	2
芸術論	濱村 蘭衣子	春学期	水	3時限	1年以上	2
人体の構造と機能及び疾病	笹月 桃子/鈴木 里砂	秋学期	火	3時限	1年以上	2
政治学	柏崎 正憲	秋学期	木	1時限	1年以上	2

人間科学教養科目 B (科学論)

科目名	担当教員	学期	曜日	時限	配当年次	単位数
科学史・科学哲学	加藤 茂生	秋学期	火	3時限	1年以上	2
A Philosophy of Human Sciences	パートレイ ドナルド クレイトン	秋学期	月	1時限	1年以上	2

人間科学教養科目 C (論理的・数理的思考)

科目名	担当教員	学期	曜日	時限	配当年次	単位数
社会科学の理論	山根 伸洋	春学期	水	2時限	1年以上	2
論理学	山田 竹志	秋学期	水	2時限	1年以上	2
現代の物質科学	藤田 康元	秋学期	火	2時限	1年以上	2
現代の生命科学	ベナー 聖子/奥野 浩行/掛山 正心	秋学期	月	3時限	1年以上	2
現代の地球科学	内記 昭彦	春学期	火	2時限	1年以上	2

人間科学教養科目 D (言語)

科目名	担当教員	学期	曜日	時限	配当年次	単位数
言語学	浅岡 健志朗	秋学期	水	3時限	1年以上	2
メディア論	大黒 岳彦	秋学期	月	3時限	1年以上	2
文学	平井 裕香	春学期	月	2時限	1年以上	2
The Internet: Origins, Uses and Its Effects on Our Lives	ケネス ウェイン ビーゲル	秋学期	火	2時限	1年以上	2

人間科学教養科目 E (システム)

科目名	担当教員	学期	曜日	時限	配当年次	単位数
システム論	橋本 敬	夏季集中	無	その他	1年以上	2
エネルギーとエントロピー	米村 正一郎	夏季集中	無	その他	1年以上	2
経済学	鈴木 康夫	春学期	火	2時限	1年以上	2
グローバリゼーション論	本山 謙二	春学期	金	1時限	1年以上	2

人間科学教養科目 F (デザイン)

科目名	担当教員	学期	曜日	時限	配当年次	単位数
デザイン論	石井 力重	夏季集中	無	その他	1年以上	2
ものづくりの技術論	余語 琢磨 他	夏季集中	無	その他	1年以上	2
建築論	連 健夫	秋学期	水	2時限	1年以上	2

人間科学教養科目 G (倫理と共生)

科目名	担当教員	学期	曜日	時限	配当年次	単位数
倫理学	川本 隆	秋学期	木	2時限	1年以上	2
バイオエシックス	森岡 正博	春学期	火	2時限	1年以上	2
NPO/NGO論	未定	秋学期	火	1時限	1年以上	2
憲法	青山 豊	秋学期	火	2時限	1年以上	2
法学	平松 直登	秋学期	木	4時限	1年以上	2

人間科学教養科目（選択）

科目名	担当教員	学期	曜日	時限	配当年次	単位数
体育実技A	(今年度休講)					
体育実技B	(今年度休講)					
体育実技C	(今年度休講)					
体育実技D	(今年度休講)					

【専門科目】

専門科目Ⅰ（実験調査研究法）

科目名	担当教員	学期	曜日	時限	配当年次	単位数
大気環境観測実習	松本 淳	春クォーター	月	3時限～4時限	1年以上	2
森林科学野外実習	平塚 基志	夏季集中	無	その他	1年以上	2
環境シミュレーション実習	太田 俊二/佐野 友紀	秋学期	木	2時限～3時限	1年以上	4
環境生命化学実習	赤沼 哲史	夏クォーター	月	3時限～4時限	1年以上	2
環境変遷史実習	山田 和芳	夏季集中	無	その他	1年以上	2
アンケート調査法 01	浅川 達人	秋学期	金	2時限	1年以上	2
アンケート調査法 02	中野 佑一	春学期	木	3時限	1年以上	2
アンケート調査法 03	(今年度休講)					
アンケート調査法 04	中野 佑一	秋学期	木	3時限	1年以上	2
アンケート調査法 05	青木 淳弘	秋学期	金	3時限	1年以上	2
インタビュー調査法 01	松木 洋人	秋学期	金	2時限	1年以上	2
インタビュー調査法 02	(今年度休講)					
インタビュー調査法 03	橋本 みゆき	秋学期	火	4時限	1年以上	2
インタビュー調査法 04	朴 慧原	春学期	水	4時限	1年以上	2
社会調査法 01	熱田 敬子	春学期	火	3時限	1年以上	2
社会調査法 02	(今年度休講)					
社会調査法 03	(今年度休講)					
社会調査法 04	熱田 敬子	春学期	火	2時限	1年以上	2
調査データ分析法 01	村田 久	夏季集中	無	その他	1年以上	2
調査データ分析法 02	川崎 弥生	春学期	月	2時限	1年以上	2
物質文化研究法	中山 なな	春学期	月	4時限	1年以上	2
参与観察法 01	余語 琢磨	秋学期	木	3時限	1年以上	2
参与観察法 02	酒井 貴広	秋学期	金	2時限	1年以上	2
参与観察法 03	北田 綾	春学期	木	3時限	1年以上	2
参与観察法 04	吉村 竜	春学期	金	3時限	1年以上	2
参与観察法 05	北原 卓也	春学期	火	3時限	1年以上	2
思想文化研究法 01	洪 貴義	春学期	金	3時限	1年以上	2
思想文化研究法 02	洪 貴義	秋学期	金	3時限	1年以上	2
環境心理測定法 01	小島 隆矢/白川 真裕/彭 博/ 松尾 綾子	夏クォーター	月	3時限～4時限	1年以上	2
環境心理測定法 02	小島 隆矢/白川 真裕/彭 博/ 松尾 綾子	夏クォーター	月	3時限～4時限	1年以上	2
行動観察法 01	佐治 伸郎	秋学期	金	3時限	1年以上	2
行動観察法 02	佐藤 将之/深井 祐紘	春クォーター	月	3時限～4時限	1年以上	2
行動観察法 03	深井 祐紘/佐藤 将之	春クォーター	月	3時限～4時限	1年以上	2
建築空間表現実習	藤江 創	秋学期	水	3時限～4時限	1年以上	4
ライフサイエンス研究法 A	永島 計 他	春クォーター	金	3時限～4時限	1年以上	2
ライフサイエンス研究法 B	永島 計 他	夏クォーター	金	3時限～4時限	1年以上	2
対人関係性支援研究法	大園 康文	秋学期	火	2時限	1年以上	2
疫学・保健福祉情報分析法 01	扇原 淳	春クォーター	火	1時限～2時限	1年以上	2
疫学・保健福祉情報分析法 02	宮本 雄司	冬クォーター	火	3時限～4時限	1年以上	2
ものづくり設計演習 A 01	巖淵 守/村岡 慶裕/岡崎 善朗	春学期	火	2時限	1年以上	2
ものづくり設計演習 A 02	巖淵 守/村岡 慶裕/岡崎 善朗	春学期	火	2時限	1年以上	2
ものづくり設計演習 B	藤本 浩志/百瀬 桂子	秋学期	木	2時限	1年以上	2
社会福祉演習Ⅰ 01	荒井 浩道	秋学期	水	1時限	2年以上	2
社会福祉演習Ⅰ 02	岡安 朋子	秋学期	水	1時限	2年以上	2
社会福祉演習Ⅱ 01	荒井 浩道	秋学期	水	2時限	2年以上	2
社会福祉演習Ⅱ 02	岡安 朋子	秋学期	水	2時限	2年以上	2
心理発達検査法（心理的アセスメント） 01	桂川 泰典/大森 幹真	秋学期	月	2時限	1年以上	2
心理発達検査法（心理的アセスメント） 02	高橋 恵理子	春学期	水	4時限	1年以上	2

科目名	担当教員	学期	曜日	時限	配当年次	単位数
心理発達検査法(心理的アセスメント) 03	輕部 雄輝	秋学期	木	2時限	1年以上	2
心理発達検査法(心理的アセスメント) 04	輕部 雄輝	秋学期	木	4時限	1年以上	2
ケースフォーミュレーション(心理的アセスメント) 01	熊野 宏昭/鈴木 伸一	春学期	木	3時限	1年以上	2
ケースフォーミュレーション(心理的アセスメント) 02	高橋 恵理子	秋学期	水	4時限	1年以上	2
ケースフォーミュレーション(心理的アセスメント) 03	佐藤 さやか	春学期	水	3時限	1年以上	2
ケースフォーミュレーション(心理的アセスメント) 04	佐藤 さやか	春学期	水	4時限	1年以上	2
行動臨床科学研究法(心理学実験) 01	嶋田 洋徳/大月 友	秋学期	木	3時限	1年以上	2
行動臨床科学研究法(心理学実験) 02	輕部 雄輝	秋学期	木	3時限	1年以上	2
行動臨床科学研究法(心理学実験) 03	橋本 壘	春学期	木	3時限	1年以上	2
心理学実験 A 01	倉片 憲治/三浦 哲都	春クォーター	月	3時限~4時限	1年以上	2
心理学実験 A 02	倉片 憲治/三浦 哲都	秋クォーター	月	3時限~4時限	1年以上	2
心理学実験 B 01	三嶋 博之/加藤 麻樹	夏クォーター	月	3時限~4時限	1年以上	2
心理学実験 B 02	三嶋 博之/加藤 麻樹	冬クォーター	月	3時限~4時限	1年以上	2
心理学実験 C 01	清水 武	春クォーター	金	3時限~4時限	1年以上	2
心理学実験 C 02	清水 武	秋クォーター	金	3時限~4時限	1年以上	2
心理学実験 D 01	清水 武	夏クォーター	金	3時限~4時限	1年以上	2
心理学実験 D 02	清水 武	冬クォーター	金	3時限~4時限	1年以上	2
人間計測・人間情報モデリング研究法 01	藤本 浩志 他	秋クォーター	月	3時限~4時限	1年以上	2
人間計測・人間情報モデリング研究法 02	藤本 浩志 他	秋クォーター	月	3時限~4時限	1年以上	2
人間計測・人間情報モデリング研究法 03	藤本 浩志 他	秋クォーター	月	3時限~4時限	1年以上	2
教育工学研究法 01	長濱 澄	夏季集中	無	その他	1年以上	2
教育工学研究法 02	脇本 健弘	秋クォーター	月	3時限~4時限	1年以上	2
教育工学研究法 03	長濱 澄	秋クォーター	金	4時限~5時限	1年以上	2
教育工学研究法 04	(今年度休講)					
情報科学研究法 01	佐々木 整	春学期	木	3時限	1年以上	2
情報科学研究法 02	林 一雅	春学期	金	2時限	1年以上	2
情報科学研究法 03	未定	秋学期	木	3時限	1年以上	2
情報科学研究法 04	未定	秋学期	木	4時限	1年以上	2
アクションリサーチ	浅田 匡	秋学期	月	3時限	1年以上	2

専門科目ⅡA(基盤科目)

科目名	担当教員	学期	曜日	時限	配当年次	単位数
地球生態系科学	太田 俊二	春学期	火	2時限	1年以上	2
社会学	浅川 達人	春学期	木	2時限	1年以上	2
人口学	武田 尚子	秋学期	火	2時限	1年以上	2
文化人類学	竹中 宏子	春学期	火	1時限	1年以上	2
考古学	中山 なな	秋学期	月	4時限	1年以上	2
歴史学	余語 琢磨	秋学期	火	2時限	1年以上	2
建築都市デザイン論	佐藤 将之	春学期	火	2時限	1年以上	2
人間行動学	岸本 健	春学期	木	2時限	1年以上	2
生理学	永島 計	秋学期	火	2時限	1年以上	2
解剖学	小林 正樹/千葉 卓哉/高澤 涼子	春クォーター	金	3時限~4時限	1年以上	2
社会予防医学	扇原 淳	秋学期	金	1時限	1年以上	2
健康福祉工学	村岡 慶裕/岡崎 善朗	秋学期	火	2時限	1年以上	2
現代社会と福祉	川村 顕	春学期	月	2時限	1年以上	2
社会福祉概論	上鹿渡 和宏	秋学期	金	2時限	1年以上	2
臨床心理学概論 01	桂川 泰典	秋学期	木	1時限	1年以上	2
臨床心理学概論 02	畑 琴音/西中 宏吏	春学期	木	1時限	1年以上	2
学習・言語心理学	岡島 義	秋学期	月	2時限	1年以上	2
心理学概論 01	関根 和生/野村 亮太	春学期	月	1時限	1年以上	2
心理学概論 02	野村 亮太/関根 和生	秋学期	月	1時限	1年以上	2
人間工学	加藤 麻樹	春学期	火	2時限	1年以上	2
人間計測・人間情報モデリング	藤本 浩志 他	春学期	月	2時限	1年以上	2
情報学	玉城 絵美	夏季集中	無	その他	1年以上	2
教育工学	長濱 澄	秋学期	金	3時限	1年以上	2
学ぶことの科学	尾澤 重知	秋学期	木	3時限	1年以上	2

専門科目ⅡB（発展科目）

科目名	担当教員	学期	曜日	時限	配当年次	単位数
基礎地理学	内記 昭彦	秋学期	火	3時限	1年以上	2
環境化学	松本 淳	春学期	金	3時限	1年以上	2
大気環境計測論	松本 淳/猪俣 敏	秋学期	金	3時限	1年以上	2
環境微生物学	赤沼 哲史	春学期	金	2時限	1年以上	2
動物生態学	風間 健太郎	秋学期	木	3時限	1年以上	2
水域環境変遷学	山田 和芳	春学期	月	4時限	1年以上	2
基礎生態学	太田 俊二/横沢 正幸/風間 健太郎	秋学期	火	2時限	1年以上	2
ヒトと水生生態系	吉富 友恭	秋学期	月	4時限	1年以上	2
ヒトと陸上生態系	平塚 基志	春学期	月	2時限	1年以上	2
里山保全論	渋江 桂子	春学期	金	3時限	1年以上	2
熱帯林保全論	岩永 青史	夏季集中	無	その他	1年以上	2
植物生理生態学	山崎 淳也	春学期	水	3時限	1年以上	2
基礎地形学	清水 長正	春学期	水	5時限	1年以上	2
基礎気候学	宇野 史睦	春学期	金	2時限	1年以上	2
生物環境物理学	横沢 正幸	春学期	月	3時限	1年以上	2
世界地誌学	宇根 寛	秋学期	火	4時限	1年以上	2
家族社会学	松木 洋人	春学期	木	2時限	1年以上	2
現代家族論	松木 洋人	秋学期	木	2時限	1年以上	2
地域資源論	柏 雅之	春学期	月	3時限	1年以上	2
環境経済学	柏 雅之	秋学期	月	3時限	1年以上	2
労働社会学	橋本 健二	秋学期	木	2時限	1年以上	2
現代社会理論	木村 正人	春学期	火	2時限	1年以上	2
階級・階層論	橋本 健二	春学期	木	2時限	1年以上	2
社会開発論	樋口 直人	春学期	火	2時限	1年以上	2
国際社会学	樋口 直人	秋学期	火	2時限	1年以上	2
人口社会学	武田 尚子	春学期	火	2時限	1年以上	2
都市社会学	浅川 達人	秋学期	木	2時限	1年以上	2
環境社会学	井上 真	春学期	木	1時限	1年以上	2
経済人類学	呉 篤	春学期	木	2時限	1年以上	2
社会調査論	大坪 真利子	秋学期	水	2時限	1年以上	2
人文地理学 A	若林 芳樹	春学期	金	2時限	1年以上	2
人文地理学 B	若林 芳樹	秋学期	金	2時限	1年以上	2
史学方法論	里見 龍樹	春学期	月	3時限	1年以上	2
アメリカ地域研究	森本 豊富	秋学期	木	3時限	1年以上	2
Topics in Migration Studies	森本 豊富	春学期	木	3時限	1年以上	2
アジア地域研究	井上 真	秋学期	木	1時限	1年以上	2
環境人類学	原 知章	秋学期	木	4時限	1年以上	2
歴史人類学	里見 龍樹	秋学期	月	3時限	1年以上	2
環境民俗学	原 知章	春学期	木	4時限	1年以上	2
現代芸術論	福島 勲	秋学期	木	3時限	1年以上	2
ドイツ近現代史	牧野 広樹	秋学期	火	4時限	1年以上	2
ヨーロッパ地域研究	植村 清加	秋学期	月	2時限	1年以上	2
日本民俗学	後藤 麻衣子	秋学期	水	3時限	1年以上	2
環境史	樋泉 岳二	春学期	月	2時限	1年以上	2
芸術・技術の哲学	片岡 大右	秋学期	水	2時限	1年以上	2
日本史 A	滝口 正哉	春学期	水	2時限	1年以上	2
日本史 B	今井 修	秋学期	水	3時限	1年以上	2
中国史	小澤 正人	春学期	金	1時限	1年以上	2
オリент史	小泉 龍人	春学期	金	2時限	1年以上	2
地中海史	川崎 康司	秋学期	水	4時限	1年以上	2
ヨーロッパ中世史	上尾 信也	秋学期	月	2時限	1年以上	2
発達心理学	外山 紀子	春学期	月	2時限	1年以上	2
環境動機づけ論	外山 紀子	秋学期	月	2時限	1年以上	2
文化心理学	古山 宣洋	秋学期	木	2時限	1年以上	2
身体・環境論	古山 宣洋	春学期	木	2時限	1年以上	2
環境行動学	小島 隆矢	秋学期	木	3時限	1年以上	2
建築人間工学	佐野 友紀	春学期	木	2時限	1年以上	2

科目名	担当教員	学期	曜日	時限	配当年次	単位数
発達行動学	(今年度休講)					
行動の発達科学	佐治 伸郎	春学期	金	3時限	1年以上	2
防災安全論	長澤 夏子	秋学期	火	2時限	1年以上	2
インテリア環境論	渡邊 秀俊	春学期	月	2時限	1年以上	2
建築環境心理学	深井 祐紘	秋学期	木	2時限	1年以上	2
社会・集団・家族心理学	大野 祥子	秋学期	月	4時限	1年以上	2
ブレインサイエンス	榊原 伸一	秋学期	木	3時限	1年以上	2
予防医療の科学的意義	ユウ ヘイキョウ	春学期	木	5時限	1年以上	2
健康教育の理論と実践	ユウ ヘイキョウ	秋学期	木	5時限	1年以上	2
エイジングサイエンス	千葉 卓哉	秋学期	無	その他	1年以上	2
生体環境の生理学	永島 計	春学期	火	2時限	1年以上	2
フードアンドライフサイエンス	原 太一	秋学期	火	4時限	1年以上	2
薬理学	櫻井 裕之	秋学期	金	1時限	1年以上	2
免疫学	西村 泰光/千葉 卓哉	夏季集中	無	その他	1年以上	2
発生学	武藤 彩	秋学期	月	1時限	1年以上	2
栄養科学	村上 太郎	夏季集中	無	その他	1年以上	2
ライフサイエンス入門A(遺伝子と物質)	千葉 卓哉/原 太一	春学期	木	4時限	1年以上	2
ライフサイエンス入門B(生体システム)	榊原 伸一/中川 剣人	春学期	木	3時限	1年以上	2
システムニューロサイエンス	栗原 勇人	秋学期	火	2時限	1年以上	2
リハビリテーションと身体科学	鈴木 里砂	春学期	火	3時限	1年以上	2
死生学と医療	笹月 桃子	春学期	火	3時限	1年以上	2
生活習慣病の人間科学	辻内 琢也	秋学期	木	3時限	1年以上	2
医療人類学	金 智慧	春学期	木	3時限	1年以上	2
産業医学	大澤 雄気	秋学期	金	4時限	1年以上	2
労働安全衛生法Ⅰ	松葉 剛	秋学期	木	1時限	1年以上	2
労働安全衛生法Ⅱ	佐渡島 啓	春学期	金	1時限	1年以上	2
児童青年期の精神医学	井上 祐紀/大成 晃/白神 敬介	夏季集中	無	その他	1年以上	2
子どもと女性の医学	辻内 優子	秋学期	水	2時限	1年以上	2
東洋医学の人間科学(井深大基金講座)	熊野 宏昭 他	秋学期	金	2時限	1年以上	2
生命の哲学と倫理	森岡 正博	秋学期	火	2時限	1年以上	2
環境医科学	掛山 正心/松本 光晴/前川 文彦	秋学期	月	2時限	1年以上	2
神経科学	掛山 正心/奥野 浩行/前川 文彦/ 田村 誠	秋学期	木	2時限	1年以上	2
国際保健医療協力論	澤崎 康	春学期	水	3時限	1年以上	2
医療福祉機器創出論	村岡 慶裕	春学期	火	3時限	1年以上	2
健康福祉産業論	岡崎 善朗	秋学期	金	3時限	1年以上	2
生活支援工学	藤本 浩志/巖淵 守	春学期	木	2時限	1年以上	2
神経科学研究法	掛山 正心	夏クォーター	月	3時限~4時限	1年以上	2
高齢者・超高齢社会の医学	掛山 正心/梶井 靖/和田 圭司/ 皆川 栄子/梶井 文子	秋学期	木	4時限	1年以上	2
情報技術とバリアフリー	巖淵 守	秋学期	月	4時限	1年以上	2
社会福祉援助技術総論Ⅰ	岩崎 香	秋学期	火	2時限	1年以上	2
社会福祉援助技術総論Ⅱ	内田 和宏	秋学期	火	1時限	1年以上	2
保健福祉制度	岩崎 香	秋学期	木	3時限	1年以上	2
福祉サービスの組織と経営	松原 由美	春学期	火	3時限	1年以上	2
社会保障論Ⅰ	川村 顕	春学期	月	3時限	1年以上	2
社会保障論Ⅱ	川村 顕	秋学期	月	2時限	1年以上	2
地域福祉論Ⅰ	古山 周太郎	春学期	金	2時限	1年以上	2
地域福祉論Ⅱ	古山 周太郎	秋学期	金	3時限	1年以上	2
子どもの健康福祉学	前橋 明	春学期	木	2時限	1年以上	2
健康福祉指導法	前橋 明	春学期	木	3時限	1年以上	2
子ども家庭福祉論	上鹿渡 和宏	春学期	金	3時限	1年以上	2
健康福祉マネジメント論	松原 由美	秋学期	火	3時限	1年以上	2
障害者福祉論	木下 大生	秋学期	月	2時限	1年以上	2
貧困に対する支援	長谷川 千種	夏季集中	無	その他	1年以上	2
介護学概論	李 泰俊	春学期	水	2時限	1年以上	2
ソーシャルワーク論Ⅰ	大島 千帆	春学期	木	2時限	1年以上	2
ソーシャルワーク論Ⅱ	岡安 朋子	秋学期	金	3時限	1年以上	2
ソーシャルワーク論Ⅲ	岡安 朋子	春学期	火	3時限	1年以上	2

科目名	担当教員	学期	曜日	時限	配当年次	単位数
ソーシャルワーク論 IV	岡安 朋子	秋学期	金	2時限	1年以上	2
権利擁護を支える法制度	岩崎 香	春学期	木	3時限	1年以上	2
行動分析学	大月 友	秋学期	木	1時限	1年以上	2
行動医学	熊野 宏昭	秋学期	木	2時限	1年以上	2
認知行動療法	嶋田 洋徳	春学期	月	3時限	1年以上	2
産業・組織心理学	橋本 真紀子	秋学期	月	4時限	1年以上	2
心理学的支援法	井合 真海子 他	春学期	木	3時限	1年以上	2
神経・生理心理学	田山 淳	秋学期	月	3時限	1年以上	2
健康・医療心理学	鈴木 伸一	春学期	木	2時限	1年以上	2
司法・犯罪心理学	谷 真如	夏季集中	無	その他	1年以上	2
障害者・障害児心理学	大森 幹真	春学期	月	2時限	1年以上	2
福祉心理学	菅野 恵	秋学期	月	3時限	1年以上	2
精神疾患とその治療	田山 淳/高橋 恵理子	春学期	月	3時限	1年以上	2
知覚・認知心理学	杉森 絵里子	春学期	火	2時限	1年以上	2
日常記憶心理学	杉森 絵里子	秋学期	火	2時限	1年以上	2
加齢人間工学	倉片 憲治/梁 辰	春学期	火	3時限	1年以上	2
産業人間工学	肥田 拓哉	春学期	月	5時限	1年以上	2
言語情報科学	菊池 英明	春学期	木	2時限	1年以上	2
パフォーマンス認知科学	三浦 哲都	春学期	無	フルオンデマンド	1年以上	2
非言語行動論	関根 和生	秋学期	火	2時限	1年以上	2
身体運動解析力学	藤本 浩志	秋学期	木	1時限	1年以上	2
人工知能論	松居 辰則	秋学期	火	4時限	1年以上	2
生態心理学	友野 貴之	夏季集中	無	その他	1年以上	2
劇場認知科学	野村 亮太	春学期	木	3時限	1年以上	2
感覚情報工学	百瀬 桂子	春学期	月	3時限	1年以上	2
色彩情報論	石田 泰一郎	夏季集中	無	その他	1年以上	2
マルチメディア	金子 孝夫	春学期	木	3時限	1年以上	2
情報コミュニケーション科学	金子 孝夫	秋学期	木	3時限	1年以上	2
情報社会におけるキャリアデザイン	尾澤 重知	春学期	月	3時限	1年以上	2
学習環境デザイン	尾澤 重知	秋学期	月	3時限	1年以上	2
ヒューマンコンピュータインタラクション	金 群	秋学期	火	2時限	1年以上	2
情報システム入門	金 群	春学期	火	2時限	1年以上	2
インストラクショナルデザイン	向後 千春	秋学期	月	4時限	1年以上	2
生涯学習と成人教育学	向後 千春	春学期	月	4時限	1年以上	2
遠隔学習支援論	林 雅子	秋学期	月	3時限	1年以上	2
情報メディア教育論	森田 裕介	春学期	月	2時限	1年以上	2
心理教育学	浅田 匡	春学期	火	3時限	1年以上	2
Intercultural Communication	スコット ダグラス	春学期	火	3時限	1年以上	2
情報社会及び情報倫理	古井 秀法	春季集中	無	その他	1年以上	2
教えることの科学(教育・学校心理学)	井上 典之	春学期	火	2時限	1年以上	2
教育のアセスメント理論	杉澤 武俊	秋学期	金	2時限	1年以上	2
教育データ解析論	杉澤 武俊	春学期	金	2時限	1年以上	2
教育イノベーション論	井上 典之	秋学期	火	2時限	1年以上	2
協調学習と学習科学	望月 俊男	春学期	火	3時限	1年以上	2
インターネットサービス	遠西 学	夏クォーター	月	3時限~4時限	1年以上	2
教師学	高橋 敏	春学期	月	1時限	1年以上	2
英語学	鈴木 広子	春学期	水	2時限	1年以上	2
応用言語学入門	鈴木 広子	秋学期	水	2時限	1年以上	2
英語圏文化概論	杉本 清香/ムラー セロン/森本 豊富 /スコット ダグラス	春学期	金	4時限	1年以上	2
International Education and Communication	杉本 清香	春学期	火	2時限	1年以上	2
身体コミュニケーション概論	山地 弘起	夏季集中	無	その他	1年以上	2
Introduction to Sociolinguistics	ムラー セロン	春学期	火	4時限	1年以上	2
コンピュータハードウェア	シュティフ ロマン	夏季集中	無	その他	1年以上	2
アルゴリズムとデータ構造	陳 健	夏季集中	無	その他	1年以上	2
プログラミングI (Java 言語)	佐々木 整	秋クォーター	月	3時限~4時限	1年以上	2
プログラミングI (Python 言語) 01	林 一雅	春クォーター	金	3時限~4時限	1年以上	2
プログラミングI (Python 言語) 02	遠西 学	春クォーター	月	3時限~4時限	1年以上	2
プログラミングI (Python 言語) 03	林 一雅	秋クォーター	金	3時限~4時限	1年以上	2

科目名	担当教員	学期	曜日	時限	配当年次	単位数
プログラミングⅠ (Perl 言語)	(今年度休講)					
プログラミングⅡ (Java 言語)	佐々木 整	冬クォーター	月	3時限～4時限	1年以上	2
プログラミングⅡ (C 言語)	脇本 健弘	冬クォーター	月	3時限～4時限	1年以上	2
プログラミングⅡ (モバイルプログラミング)	岩瀬 義昌	冬クォーター	金	4時限～5時限	1年以上	2
プログラミングⅡ (Python 言語)	加藤 公一	秋クォーター	水	4時限～5時限	1年以上	2
ウェブ検索	西田 光良	秋学期	金	4時限	1年以上	2
ウェブデザイン入門	服部 充典	夏季集中	無	その他	1年以上	2
メディアコンテンツデザイン	佐野 彰	夏季集中	無	その他	1年以上	2
情報通信ネットワーク	原田 登	夏季集中	無	その他	1年以上	2
情報数理学	吉田 賢史	春クォーター	金	3時限～4時限	1年以上	2

専門科目Ⅲ (大学院合併科目)

科目名	担当教員	学期	曜日	時限	配当年次	単位数
Intercultural Study A	井上 典之/浅田 匡	春季集中	無	その他	3年以上	2
Intercultural Study B	扇原 淳	夏季集中	無	その他	3年以上	2
Intercultural Study C	扇原 淳/浅田 匡	春季集中	無	その他	3年以上	2
Intercultural Study D	浅田 匡	夏季集中	無	その他	3年以上	2
環境脳科学	掛山 正心/奥野 浩行	春クォーター	無	フルオンデマンド	3年以上	1
安全人間工学	佐藤 健	春クォーター	水	1時限	3年以上	1
地球生態学	太田 俊二	夏クォーター	無	その他	3年以上	1
エコインフォマティクス	横沢 正幸/飯泉 仁之直	夏季集中	無	その他	3年以上	1
化学物質影響科学	掛山 正心/前川 文彦	春クォーター	無	フルオンデマンド	3年以上	1
場の形成からみた環境デザイン評価論	佐藤 将之/牧野 広樹/竹中 宏子	夏季集中	無	その他	3年以上	2

【専門ゼミ】
専門ゼミ I

科目名	担当教員	学期	曜日	時限	配当年次	単位数
専門ゼミ I (地球環境システム論)	太田 俊二	春学期	火	3時限～4時限	3年以上	4
専門ゼミ I (森林環境科学)	平塚 基志	春学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミ I (水域環境科学)	山田 和芳	春学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミ I (野生動物生態学)	風間 健太郎	春学期	木	5時限～6時限	3年以上	4
専門ゼミ I (大気環境科学)	松本 淳	春学期	金	5時限～6時限	3年以上	4
専門ゼミ I (耕地環境科学)	横沢 正幸	春学期	火	3時限～4時限	3年以上	4
専門ゼミ I (極限環境生命科学)	赤沼 哲史	春学期	金	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミ I (家族社会学)	松木 洋人	春学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミ I (都市社会学)	浅川 達人	春学期	木	3時限～4時限	3年以上	4
専門ゼミ I (環境社会学)	井上 真	春学期	木	3時限～4時限	3年以上	4
専門ゼミ I (国際社会学)	樋口 直人	春学期	火	3時限～4時限	3年以上	4
専門ゼミ I (格差社会論)	橋本 健二	春学期	木	3時限～4時限	3年以上	4
専門ゼミ I (地域資源論)	柏 雅之	春学期	火	3時限～4時限	3年以上	4
専門ゼミ I (人口研究)	武田 尚子	春学期	火	3時限～4時限	3年以上	4
専門ゼミ I (移住論)	森本 豊富	春学期	火	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミ I (物質文化研究)	(今年度休講)					
専門ゼミ I (芸術・表象文化論)	福島 勲	春学期	火	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミ I (政治・文化複合史)	牧野 広樹	春学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミ I (技術・生活文化研究)	余語 琢磨	春学期	火	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミ I (科学史・科学論)	加藤 茂生	春学期	木	5時限～6時限	3年以上	4
専門ゼミ I (歴史人類学)	里見 龍樹	春学期	金	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミ I (都市人類学)	竹中 宏子	春学期	火	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミ I (開発人類学)	原 知章	春学期	金	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミ I (建築人間工学)	佐野 友紀	春学期	火	3時限～4時限	3年以上	4
専門ゼミ I (建築環境学)	小島 隆矢	春学期	火	3時限～4時限	3年以上	4
専門ゼミ I (環境デザイン学)	佐藤 将之	春学期	火	3時限～4時限	3年以上	4
専門ゼミ I (発達動機づけ論)	外山 紀子	春学期	月	3時限～4時限	3年以上	4
専門ゼミ I (意味生成の発達科学)	佐治 伸郎	春学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミ I (社会文化心理学)	古山 宣洋	春学期	火	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミ I (食品生命科学)	原 太一	春学期	月	5時限～6時限	3年以上	4
専門ゼミ I (環境脳科学)	掛山 正心	春学期	金	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミ I (医療評価科学)	ユウ ヘイキョウ	春学期	金	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミ I (環境生理学)	永島 計	春学期	火	3時限～4時限	3年以上	4
専門ゼミ I (分子神経科学)	榊原 伸一	春学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミ I (認知神経科学)	大須 理英子/加藤 一聖	春学期	月	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミ I (アンチエイジング医科学)	千葉 卓哉	春学期	木	5時限～6時限	3年以上	4
専門ゼミ I (緩和医療学・臨床死生学)	(今年度休講)					
専門ゼミ I (ヘルスプロモーション)	辻内 琢也	春学期	月	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミ I (バイオエシックス)	森岡 正博	春学期	火	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミ I (社会医学)	扇原 淳	春学期	月	1時限～2時限	3年以上	4
専門ゼミ I (生活支援工学)	巖淵 守	春学期	火	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミ I (健康支援医工学)	村岡 慶裕	春学期	火	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミ I (健康福祉産業学)	岡崎 善朗	春学期	火	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミ I (健康管理科学)	(今年度休講)					
専門ゼミ I (老年学)	大島 千帆	春学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミ I (健康福祉マネジメント)	松原 由美	春学期	火	5時限～6時限	3年以上	4
専門ゼミ I (健康福祉行政)	川村 顕	春学期	月	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミ I (子ども家庭福祉)	上鹿渡 和宏	春学期	金	5時限～6時限	3年以上	4
専門ゼミ I (健康福祉教育)	前橋 明	春学期	金	5時限～6時限	3年以上	4
専門ゼミ I (地域福祉論)	古山 周太郎	春学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミ I (ソーシャルワーク論)	岩崎 香	春学期	火	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミ I (カウンセリング)	桂川 泰典	春学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミ I (神経・生理心理学)	田山 淳	春学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミ I (行動臨床心理学)	嶋田 洋徳	春学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミ I (発達臨床心理学)	大森 幹真	春学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミ I (医療心理学/職場メンタルヘルス学)	鈴木 伸一	春学期	木	4時限～5時限	3年以上	4

科目名	担当教員	学期	曜日	時限	配当年次	単位数
専門ゼミⅠ（行動医学）	熊野 宏昭	春学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅠ（行動分析学）	大月 友	春学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅠ（心理学的支援論）	井合 真海子	春学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅠ（言語情報科学）	菊池 英明	春学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅠ（パフォーマンス認知科学）	三浦 哲都	春学期	火	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅠ（劇場認知科学）	野村 亮太	春学期	月	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅠ（日常記憶心理学）	杉森 絵里子	春学期	月	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅠ（生体情報工学）	百瀬 桂子	春学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅠ（マルチモーダルコミュニケーション）	関根 和生	春学期	火	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅠ（ハプティックインタフェース）	藤本 浩志	春学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅠ（知識情報科学）	松居 辰則	春学期	木	5時限～6時限	3年以上	4
専門ゼミⅠ（生態心理学）	三嶋 博之	春学期	月	5時限～6時限	3年以上	4
専門ゼミⅠ（安全人間工学）	加藤 麻樹	春学期	木	5時限～6時限	3年以上	4
専門ゼミⅠ（加齢人間工学）	倉片 憲治	春学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅠ（産業人間工学）	肥田 拓哉	春学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅠ（情報コミュニケーション科学）	金子 孝夫	春学期	火	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅠ（情報システム科学）	金 群	春学期	火	5時限～6時限	3年以上	4
専門ゼミⅠ（インストラクショナルデザイン）	向後 千春	春学期	月	5時限～6時限	3年以上	4
専門ゼミⅠ（インターネット科学）	西村 昭治	春学期	火	5時限～6時限	3年以上	4
専門ゼミⅠ（教育実践学）	浅田 匡	春学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅠ（教育システム開発論）	井上 典之	春学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅠ（情報コミュニケーション技術）	スコット ダグラス	春学期	月	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅠ（情報メディア教育論）	森田 裕介	春学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅠ（学習環境デザイン）	尾澤 重知	春学期	月	1時限～2時限	3年以上	4
専門ゼミⅠ（教育データサイエンス）	杉澤 武俊	春学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅠ（国際教育コミュニケーション論）	（今年度休講）					
専門ゼミⅠ（Sociolinguistics of Education and Communication）	（今年度休講）					
専門ゼミⅠ（コラボレーションと学習科学）	（今年度休講）					

専門ゼミⅡ

科目名	担当教員	学期	曜日	時限	配当年次	単位数
専門ゼミⅡ（地球環境システム論）	太田 俊二	秋学期	火	3時限～4時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（森林環境科学）	平塚 基志	秋学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（水域環境科学）	山田 和芳	秋学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（野生動物生態学）	風間 健太郎	秋学期	木	5時限～6時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（大気環境科学）	松本 淳	秋学期	金	5時限～6時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（耕地環境科学）	横沢 正幸	秋学期	火	3時限～4時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（極限環境生命科学）	赤沼 哲史	秋学期	月	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（家族社会学）	松木 洋人	秋学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（都市社会学）	浅川 達人	秋学期	木	3時限～4時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（環境社会学）	井上 真	秋学期	木	3時限～4時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（国際社会学）	樋口 直人	秋学期	火	3時限～4時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（格差社会論）	橋本 健二	秋学期	木	3時限～4時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（地域資源論）	柏 雅之	秋学期	火	3時限～4時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（人口研究）	武田 尚子	秋学期	火	3時限～4時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（移住論）	森本 豊富	秋学期	火	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（物質文化研究）	（今年度休講）					
専門ゼミⅡ（芸術・表象文化論）	福島 勲	秋学期	火	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（政治・文化複合史）	牧野 広樹	秋学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（技術・生活文化研究）	余語 琢磨	秋学期	火	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（科学史・科学論）	加藤 茂生	秋学期	木	5時限～6時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（歴史人類学）	里見 龍樹	秋学期	金	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（都市人類学）	竹中 宏子	秋学期	火	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（開発人類学）	原 知章	秋学期	金	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（建築人間工学）	佐野 友紀	秋学期	火	3時限～4時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（建築環境学）	小島 隆矢	秋学期	火	3時限～4時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（環境デザイン学）	佐藤 将之	秋学期	火	3時限～4時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（発達動機づけ論）	外山 紀子	秋学期	月	3時限～4時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（意味生成の発達科学）	佐治 伸郎	秋学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（社会文化心理学）	古山 宣洋	秋学期	火	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（食品生命科学）	原 太一	秋学期	月	5時限～6時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（環境脳科学）	掛山 正心	秋学期	金	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（医療評価科学）	ユウ ヘイキョウ	秋学期	金	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（環境生理学）	永島 計	秋学期	火	3時限～4時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（分子神経科学）	榊原 伸一	秋学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（認知神経科学）	加藤 一聖	秋学期	月	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（アンチエイジング医科学）	千葉 卓哉	秋学期	木	5時限～6時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（緩和医療学・臨床死生学）	（今年度休講）					
専門ゼミⅡ（ヘルスプロモーション）	辻内 琢也	秋学期	月	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（バイオエシックス）	森岡 正博	秋学期	火	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（社会医学）	扇原 淳	秋学期	月	1時限～2時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（生活支援工学）	巖淵 守	秋学期	火	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（健康支援医工学）	村岡 慶裕	秋学期	火	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（健康福祉産業学）	岡崎 善朗	秋学期	火	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（健康管理科学）	（今年度休講）					
専門ゼミⅡ（老年学）	大島 千帆	秋学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（健康福祉マネジメント）	松原 由美	秋学期	火	5時限～6時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（健康福祉行政）	川村 顕	秋学期	月	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（子ども家庭福祉）	上鹿渡 和宏	秋学期	金	5時限～6時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（健康福祉教育）	前橋 明	秋学期	金	5時限～6時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（地域福祉論）	古山 周太郎	秋学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（ソーシャルワーク論）	岩崎 香	秋学期	火	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（カウンセリング）	桂川 泰典	秋学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（神経・生理心理学）	田山 淳	秋学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（行動臨床心理学）	嶋田 洋徳	秋学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（発達臨床心理学）	大森 幹真	秋学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（医療心理学／職場メンタルヘルス学）	鈴木 伸一	秋学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（行動医学）	熊野 宏昭	秋学期	木	4時限～5時限	3年以上	4

科目名	担当教員	学期	曜日	時限	配当年次	単位数
専門ゼミⅡ（行動分析学）	大月 友	秋学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（心理学の支援論）	井合 真海子	秋学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（言語情報科学）	菊池 英明	秋学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（パフォーマンス認知科学）	三浦 哲都	秋学期	火	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（劇場認知科学）	野村 亮太	秋学期	月	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（日常記憶心理学）	杉森 絵里子	秋学期	月	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（生体情報工学）	百瀬 柱子	秋学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（マルチモーダルコミュニケーション）	関根 和生	秋学期	火	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（ハプティックインタフェース）	藤本 浩志	秋学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（知識情報科学）	松居 辰則	秋学期	木	5時限～6時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（生態心理学）	三嶋 博之	秋学期	月	5時限～6時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（安全人間工学）	加藤 麻樹	秋学期	木	5時限～6時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（加齢人間工学）	倉片 憲治	秋学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（産業人間工学）	肥田 拓哉	秋学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（情報コミュニケーション科学）	金子 孝夫	秋学期	火	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（情報システム科学）	金 群	秋学期	火	5時限～6時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（インストラクショナルデザイン）	向後 千春	秋学期	月	5時限～6時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（インターネット科学）	西村 昭治	秋学期	火	5時限～6時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（教育実践学）	浅田 匡	秋学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（教育システム開発論）	井上 典之	秋学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（情報コミュニケーション技術）	スコット ダグラス	秋学期	月	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（情報メディア教育論）	森田 裕介	秋学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（学習環境デザイン）	尾澤 重知	秋学期	月	1時限～2時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（教育データサイエンス）	杉澤 武俊	秋学期	木	4時限～5時限	3年以上	4
専門ゼミⅡ（国際教育コミュニケーション論）	（今年度休講）					
専門ゼミⅡ（Sociolinguistics of Education and Communication）	（今年度休講）					
専門ゼミⅡ（コラボレーションと学習科学）	（今年度休講）					

【卒業研究】

卒業研究ゼミⅠ

科目名	担当教員	学期	曜日	時限	配当年次	単位数
卒業研究ゼミⅠ (地球環境システム論)	太田 俊二	春学期	火	5時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (森林環境科学)	平塚 基志	春学期	木	6時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (水域環境科学)	山田 和芳	春学期	木	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (野生動物生態学)	風間 健太郎	春学期	木	4時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (大気環境科学)	松本 淳	春学期	金	4時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (耕地環境科学)	横沢 正幸	春学期	火	5時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (極限環境生命科学)	赤沼 哲史	春学期	金	6時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (家族社会学)	(今年度休講)					
卒業研究ゼミⅠ (都市社会学)	浅川 達入	春学期	木	5時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (環境社会学)	井上 真	春学期	木	5時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (国際社会学)	樋口 直人	春学期	火	5時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (格差社会論)	橋本 健二	春学期	木	5時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (地域資源論)	柏 雅之	春学期	火	5時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (人口研究)	武田 尚子	春学期	火	5時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (移住論)	森本 豊富	春学期	火	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (物質文化研究)	(今年度休講)					
卒業研究ゼミⅠ (芸術・表象文化論)	福島 勲	春学期	火	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (政治・文化複合史)	牧野 広樹	春学期	木	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (技術・生活文化研究)	余語 琢磨	春学期	火	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (科学史・科学論)	加藤 茂生	春学期	木	4時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (歴史人類学)	里見 龍樹	春学期	金	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (都市人類学)	竹中 宏子	春学期	火	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (開発人類学)	原 知章	春学期	月	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (建築人間工学)	佐野 友紀	春学期	火	5時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (環境デザイン学)	佐藤 将之	春学期	火	5時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (建築環境学)	小島 隆矢	春学期	火	5時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (発達動機づけ論)	外山 紀子	春学期	火	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (意味生成の発達科学)	佐治 伸郎	春学期	木	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (社会文化心理学)	古山 宣洋	春学期	火	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (食品生命科学)	原 太一	春学期	月	4時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (環境脳科学)	掛山 正心	春学期	木	6時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (医療評価科学)	(今年度休講)					
卒業研究ゼミⅠ (環境生理学)	永島 計	春学期	火	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (分子神経科学)	榊原 伸一	春学期	金	2時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (認知神経科学)	大須 理英子/栗原 勇人	春学期	月	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (アンチエイジング医科学)	千葉 卓哉	春学期	月	4時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (緩和医療学・臨床死生学)	(今年度休講)					
卒業研究ゼミⅠ (ヘルスプロモーション)	辻内 琢也	春学期	月	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (バイオエシックス)	森岡 正博	春学期	火	6時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (社会医学)	扇原 淳	春学期	月	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (健康福祉産業学)	岡崎 善朗	春学期	火	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (生活支援工学)	巖淵 守	春学期	火	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (健康支援医工学)	村岡 慶裕	春学期	月	4時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (健康管理科学)	(今年度休講)					
卒業研究ゼミⅠ (老年学)	大島 千帆	春学期	木	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (健康福祉マネジメント)	松原 由美	春学期	火	4時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (健康福祉行政)	川村 顕	春学期	火	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (子ども家庭福祉)	上鹿渡 和宏	春学期	金	4時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (健康福祉教育)	前橋 明	春学期	金	4時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (地域福祉論)	古山 周太郎	春学期	木	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (ソーシャルワーク論)	岩崎 香	春学期	火	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (カウンセリング)	桂川 泰典	春学期	木	6時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (神経・生理心理学)	田山 淳	春学期	木	6時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (行動臨床心理学)	嶋田 洋徳	春学期	木	6時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (発達臨床心理学)	大森 幹真	春学期	木	6時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅠ (医療心理学/職場メンタルヘルス学)	鈴木 伸一	春学期	木	6時限	4年以上	2

科目名	担当教員	学期	曜日	時限	配当年次	単位数
卒業研究ゼミ I (行動医学)	熊野 宏昭	春学期	木	6時限	4年以上	2
卒業研究ゼミ I (行動分析学)	大月 友	春学期	木	6時限	4年以上	2
卒業研究ゼミ I (心理学の支援論)	井合 真海子	春学期	木	6時限	4年以上	2
卒業研究ゼミ I (言語情報科学)	菊池 英明	春学期	木	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミ I (パフォーマンス認知科学)	三浦 哲都	春学期	火	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミ I (劇場認知科学)	野村 亮太	春学期	月	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミ I (日常記憶心理学)	杉森 絵里子	春学期	月	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミ I (生体情報工学)	百瀬 桂子	春学期	木	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミ I (マルチモーダルコミュニケーション)	関根 和生	春学期	火	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミ I (ハプティックインタフェース)	藤本 浩志	春学期	火	4時限	4年以上	2
卒業研究ゼミ I (知識情報科学)	松居 辰則	春学期	木	4時限	4年以上	2
卒業研究ゼミ I (生態心理学)	三嶋 博之	春学期	月	2時限	4年以上	2
卒業研究ゼミ I (安全人間工学)	加藤 麻樹	春学期	木	4時限	4年以上	2
卒業研究ゼミ I (加齢人間工学)	倉片 憲治	春学期	木	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミ I (産業人間工学)	(今年度休講)					
卒業研究ゼミ I (情報コミュニケーション科学)	金子 孝夫	春学期	火	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミ I (情報システム科学)	金 群	春学期	火	4時限	4年以上	2
卒業研究ゼミ I (インストラクショナルデザイン)	向後 千春	春学期	月	5時限	4年以上	2
卒業研究ゼミ I (インターネット科学)	西村 昭治	春学期	火	4時限	4年以上	2
卒業研究ゼミ I (教育実践学)	浅田 匡	春学期	木	6時限	4年以上	2
卒業研究ゼミ I (教育システム開発論)	井上 典之	春学期	木	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミ I (情報コミュニケーション技術)	スコット ダグラス	春学期	火	4時限	4年以上	2
卒業研究ゼミ I (情報メディア教育論)	森田 裕介	春学期	木	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミ I (学習環境デザイン)	尾澤 重知	春学期	月	4時限	4年以上	2
卒業研究ゼミ I (教育データサイエンス)	杉澤 武俊	春学期	木	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミ I (国際教育コミュニケーション論)	(今年度休講)					
卒業研究ゼミ I (Sociolinguistics of Education and Communication)	(今年度休講)					
卒業研究ゼミ I (コラボレーションと学習科学)	(今年度休講)					

卒業研究ゼミⅡ

科目名	担当教員	学期	曜日	時限	配当年次	単位数
卒業研究ゼミⅡ (地球環境システム論)	太田 俊二	秋学期	火	5時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (森林環境科学)	平塚 基志	秋学期	木	6時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (水域環境科学)	山田 和芳	秋学期	木	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (野生動物生態学)	風間 健太郎	秋学期	木	4時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (大気環境科学)	松本 淳	秋学期	金	4時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (耕地環境科学)	横沢 正幸	秋学期	火	5時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (極限環境生命科学)	赤沼 哲史	秋学期	月	6時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (家族社会学)	(今年度休講)					
卒業研究ゼミⅡ (都市社会学)	浅川 達人	秋学期	木	5時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (環境社会学)	井上真	秋学期	木	5時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (国際社会学)	樋口 直人	秋学期	火	5時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (格差社会論)	橋本 健二	秋学期	木	5時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (地域資源論)	柏 雅之	秋学期	火	5時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (人口研究)	武田 尚子	秋学期	火	5時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (移住論)	森本 豊富	秋学期	火	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (物質文化研究)	(今年度休講)					
卒業研究ゼミⅡ (芸術・表象文化論)	福島 勲	秋学期	火	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (政治・文化複合史)	牧野 広樹	秋学期	木	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (技術・生活文化研究)	余語 琢磨	秋学期	火	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (科学史・科学論)	加藤 茂生	秋学期	木	4時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (歴史人類学)	里見 龍樹	秋学期	金	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (都市人類学)	竹中 宏子	秋学期	火	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (開発人類学)	原 知章	秋学期	月	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (建築人間工学)	佐野 友紀	秋学期	火	5時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (環境デザイン学)	佐藤 将之	秋学期	火	5時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (建築環境学)	小島 隆矢	秋学期	火	5時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (発達動機づけ論)	外山 紀子	秋学期	火	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (意味生成の発達科学)	佐治 伸郎	秋学期	木	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (社会文化心理学)	古山 宣洋	秋学期	火	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (食品生命科学)	原 太一	秋学期	月	4時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (環境脳科学)	掛山 正心	秋学期	金	6時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (医療評価科学)	(今年度休講)					
卒業研究ゼミⅡ (環境生理学)	永島 計	秋学期	火	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (分子神経科学)	榊原 伸一	秋学期	金	2時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (認知神経科学)	栗原 勇人	秋学期	月	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (アンチエイジング医科学)	千葉 卓哉	秋学期	月	4時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (緩和医療学・臨床死生学)	(今年度休講)					
卒業研究ゼミⅡ (ヘルスプロモーション)	辻内 琢也	秋学期	月	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (バイオエシックス)	森岡 正博	秋学期	火	6時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (社会医学)	扇原 淳	秋学期	月	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (健康福祉産業学)	岡崎 善朗	秋学期	火	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (生活支援工学)	巖淵 守	秋学期	火	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (健康支援医工学)	村岡 慶裕	秋学期	火	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (健康管理科学)	(今年度休講)					
卒業研究ゼミⅡ (老年学)	大島 千帆	秋学期	木	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (健康福祉マネジメント)	松原 由美	秋学期	火	4時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (健康福祉行政)	川村 顕	秋学期	月	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (子ども家庭福祉)	上鹿渡 和宏	秋学期	金	4時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (健康福祉教育)	前橋 明	秋学期	金	4時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (地域福祉論)	古山 周太郎	秋学期	木	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (ソーシャルワーク論)	岩崎 香	秋学期	木	4時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (カウンセリング)	桂川 泰典	秋学期	木	6時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (神経・生理心理学)	田山 淳	秋学期	木	6時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (行動臨床心理学)	嶋田 洋徳	秋学期	木	6時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (発達臨床心理学)	大森 幹真	秋学期	木	6時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (医療心理学/職場メンタルヘルス学)	鈴木 伸一	秋学期	木	6時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (行動医学)	熊野 宏昭	秋学期	木	6時限	4年以上	2

科目名	担当教員	学期	曜日	時限	配当年次	単位数
卒業研究ゼミⅡ (行動分析学)	大月 友	秋学期	木	6時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (心理学的支援論)	井合 真海子	秋学期	木	6時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (言語情報科学)	菊池 英明	秋学期	木	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (パフォーマンス認知科学)	三浦 哲都	秋学期	火	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (劇場認知科学)	野村 亮太	秋学期	月	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (日常記憶心理学)	杉森 絵里子	秋学期	月	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (生体情報工学)	百瀬 柱子	秋学期	木	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (マルチモーダルコミュニケーション)	関根 和生	秋学期	火	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (ハプティックインタフェース)	藤本 浩志	秋学期	火	4時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (知識情報科学)	松居 辰則	秋学期	木	4時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (生態心理学)	三嶋 博之	秋学期	月	2時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (安全人間工学)	加藤 麻樹	秋学期	木	4時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (加齢人間工学)	倉片 憲治	秋学期	木	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (産業人間工学)	(今年度休講)					
卒業研究ゼミⅡ (情報コミュニケーション科学)	金子 孝夫	秋学期	火	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (情報システム科学)	金 群	秋学期	火	4時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (インストラクショナルデザイン)	向後 千春	秋学期	月	5時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (インターネット科学)	西村 昭治	秋学期	火	4時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (教育実践学)	浅田 匡	秋学期	木	6時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (教育システム開発論)	井上 典之	秋学期	木	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (情報コミュニケーション技術)	スコット ダグラス	秋学期	火	4時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (情報メディア教育論)	森田 裕介	秋学期	木	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (学習環境デザイン)	尾澤 重知	秋学期	月	4時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (教育データサイエンス)	杉澤 武俊	秋学期	木	3時限	4年以上	2
卒業研究ゼミⅡ (国際教育コミュニケーション論)	(今年度休講)					
卒業研究ゼミⅡ (Sociolinguistics of Education and Communication)	(今年度休講)					
卒業研究ゼミⅡ (コラボレーションと学習科学)	(今年度休講)					

【自由科目】

自由科目（人科）

科目名	担当教員	学期	曜日	時限	配当年次	単位数
教育支援実習Ⅰ	大森 幹真	秋学期	無	その他	1年以上	2
教育支援実習Ⅱ	大森 幹真	秋学期	無	その他	1年以上	2
社会調査実習Ⅰ	中野 佑一	春学期	木	2時限	2年以上	2
社会調査実習Ⅱ	中野 佑一	秋学期	木	2時限	2年以上	2
社会福祉現場実習指導Ⅰ 01	岡安 朋子／丸山 晃	春学期	火	2時限	2年以上	2
社会福祉現場実習指導Ⅰ 02	内田 和宏／山田 真由美	春学期	火	2時限	2年以上	2
社会福祉現場実習指導Ⅱ 01	岡安 朋子／丸山 晃	春学期	火	1時限	3年以上	2
社会福祉現場実習指導Ⅱ 02	内田 和宏／山田 真由美	春学期	火	1時限	3年以上	2
社会福祉現場実習指導Ⅲ 01	岡安 朋子／丸山 晃	秋学期	火	3時限	3年以上	2
社会福祉現場実習指導Ⅲ 02	内田 和宏／山田 真由美	秋学期	火	3時限	3年以上	2
社会福祉演習Ⅲ 01	岡安 朋子	春学期	金	2時限	2年以上	2
社会福祉演習Ⅲ 02	内田 和宏	春学期	金	2時限	2年以上	2
社会福祉演習Ⅳ 01	岡安 朋子	春学期	金	3時限	2年以上	2
社会福祉演習Ⅳ 02	内田 和宏	春学期	金	3時限	2年以上	2
社会福祉演習Ⅴ 01	岡安 朋子	秋学期	火	2時限	2年以上	2
社会福祉演習Ⅴ 02	内田 和宏	秋学期	火	2時限	2年以上	2
社会福祉現場実習Ⅰ	内田 和宏	夏季集中	無	その他	2年以上	2
社会福祉現場実習Ⅱ	岡安 朋子／山田 真由美／丸山 晃	夏季集中	無	その他	3年以上	4
就労支援及び更生保護	(今年度休講)					
司法福祉	宇津木 朗	夏季集中	無	その他	1年以上	2
エイジング・障害福祉学概論	内田 和宏／松尾 隆司	秋学期	木	1時限	2年以上	2
健康福祉医学概論	辻内 琢也 他	秋学期	無	フルオンデマンド	1年以上	2
公認心理師の職責	高橋 恵理子／橋本 壘	春季集中	無	その他	1年以上	2
心理学研究法 01	中村 健太郎	秋学期	火	1時限	1年以上	2
心理学統計法	中村 健太郎	秋学期	火	2時限	1年以上	2
感情・人格心理学	一言 英文	夏季集中	無	その他	1年以上	2
関係行政論	岩崎 香 他	春学期	無	フルオンデマンド	1年以上	2
心理演習	井合 真海子 他	春季集中	無	その他	3年以上	2
心理実習	井合 真海子 他	通年	木	2時限	4年以上	2

授業時間割記入用紙(登録を希望した科目を記入しておきましょう)

	1時限(8:50~10:30)	2時限(10:40~12:20)	3時限(13:10~14:50)	4時限(15:05~16:45)	5時限(17:00~18:40)	6時限(18:55~20:35)	7時限(20:45~21:35)
月							
火							
水							
木							
金							
土							

その他の
登録科目

Support Anywhere サポエニ



Support Anywhere (サポエニ) は、早稲田大学の学生のみなさんの疑問や不安を **いつでも (Anytime) どこでも (Anywhere)** 解決するために開設された在学向けお役立ち Web サイトです。

例えば科目登録については以下のような情報が掲載されています！

科目登録で注意しなければいけないことは何？

Web 科目登録はどうやってやるの？

科目登録でわからないことはどこに問い合わせればいいのか？

全学オープン科目って何？他学部提供科目と何が違うの？

科目登録でエラーが出たのはどうして？

資格や副専攻について知りたい！

Etc…

※ 学部・研究科・センターのカリキュラムや科目に関する情報は該当する学部・研究科・センターから配付される科目登録関連書類（学部要項・科目登録の手引き・学科目配当表など）を十分確認してください。

その他にも、

#証明書発行 #学費・奨学金 #教員免許状 #成績 #施設利用 #学生生活

など豊富な学内情報をひとまとめに掲載しています。



分からないことや知りたいことがあれば、辞書で調べるような感覚でまずは Support Anywhere (サポエニ) を使ってみてください。

そして、それでも問題が解決できない場合は、窓口にお問い合わせください。

ブックマークに登録を！

➤ URL: <https://wnpspt.waseda.jp/student/supportanywhere/>

科目登録、お手伝いします！



こうはいナビは、2007年に発足した“こうはい”をサポートする早稲田大学公式プロジェクトです。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！

この文章を読んでいるということは、『科目登録の手引き』を読みながら、準備を進めているところでしょうか？

はじめての科目登録、何か困っていることはありませんか？

「そもそも、どうやって授業を選べばいいのか分からない…。」

「空きコマってよく聞くけど、あった方がいいの？ない方がいいの？」

「とりあえず時間割を組んでみたけど、これでいいのか不安だ…。」などなど

**先輩であるこうはいナビ学生スタッフが学生目線で、1対1で、
あなたの科目登録をお手伝いします！**

ぜひお気軽に、こうはいナビ主催・科目登録相談会にお越しください♪



アンケートを参考に、
担当する学生スタッフを
マッチングします！

基本的に1対1で、
学生スタッフが
丁寧にご対応します！



【公式サイト】



【公式X(旧Twitter)】



科目登録相談会は、 4月1日(月)～3日(水)開催予定！

詳細は、こうはいナビ公式SNSをチェック♪

各種お問い合わせ：kouhainavi@list.waseda.jp

早稲田大学 () 学部 / 研究科長 殿
To Dean of (), Waseda University

DATE: 年 YYYYY / MM / DD

委任状 Proxy Form

学籍番号 -
Student ID No. ▲本学学生の場合のみ (Students Only)

委任者氏名 _____ 印 Sign/Seal
Applicant's Name

連絡先 (携帯番号等) _____
Phone No.

私は、〔委任理由〕 _____ のため、
〔代理人氏名〕 _____ を代理人として
下記の委任事項についてその手続を委任いたします。なお、委任により手続き上の不備、その他の不利な
事情が生じた場合は、委任者である私が全ての責任を負うものとします。

Due to the reason of _____, I hereby appoint _____ to
act as my proxy and to undertake on my behalf the following procedure. I shall bear full responsibility for any and all
administrative mishaps or adverse consequences arising from this proxy appointment.

【委任者 本人確認書類コピー貼付欄 / Copy of ID】

・在学生：学生証のコピー
・その他：本人確認書類のコピー
(運転免許証、パスポート、**健康保険証***、住民基本台帳カード)
*健康保険証の保険者番号および被保険者等記号・番号は必ず黒塗り等で隠してください。
・Student : Photocopy of Student ID card
・Others : Photocopy of ID (e.g. Driver's license, passport,
health insurance card*, Basic Resident Registration Card.)
*Please make sure to paint 「保険者番号」、「記号」、「番号」 in black on the health insurance card.

※ 貼りつけられない場合は、コピーを添付可。
* You may enclose the document if it cannot be pasted onto this space.

委任する事項 I authorize my proxy to:
該当する項目にチェックしてください。
(Please indicate the appropriate box below with a tick.)

<input type="checkbox"/>	各種証明書の発行申請 Request for certificates
<input type="checkbox"/>	その他 (Other)
※下記に手続内容を記入ください。 * Please describe in detail.	

【代理人記入欄】 【Proxy Information】

私は上記のとおり、代理人として委任された手続を行ないます。
I shall act as the proxy for the above Applicant and undertake the procedure I have been authorized to perform on his/her behalf.

住所 〒 _____
Address

電話番号 _____ (携帯電話 または 自宅)
Phone No. (Cell or Home)

学籍番号 _____ (本学学生のみ)
Student ID (Students Only)

代理人氏名 _____ 印 sign/seal
Name of Proxy

(委任者との続柄または関係 : _____)
Relationship to the Applicant

【注意事項】

- 1) 委任により手続き上の不備、その他不利な事情が生じた場合は、委任者が全ての責任を負うものとし、大学及び委任状受付箇所は一切責任を負いません。
- 2) 委任者氏名欄および代理人氏名欄に、**署名 (自筆) および捺印 (サイン可)** のないものは全て無効になります。
- 3) すべての項目を**ペン書き**で記入してください。
- 4) 委任者の**本人確認書類のコピー**を必ず添付してください。
- 5) 代理人の**本人確認書類 (本学学生の場合は学生証)**を必ず持参してください。
- 6) 一つの手続きにつき、1 枚の委任状が必要です。なお、提出された委任状は返却いたしません。

【Important】

- 1) The Applicant will bear full responsibility for any and all administrative mishaps or adverse consequences arising from this proxy appointment. In any event, neither the University nor the administrative office processing the procedure in question will be held responsible.
- 2) This document is invalid if the name and seal/sign of BOTH the Applicant and the Proxy are not included.
- 3) Use a pen to complete the entire form.
- 4) A photocopy of the Applicant's ID **MUST** be included.
- 5) The Proxy **MUST** present ID. (Student ID card in the case of a student)
- 6) Submit a separate Proxy Form for each instance of proxy appointment. Proxy forms received will not be returned.

困ったときの 対処方法

科目登録に関して不明な点があった場合は、以下の手順により問題を解決してください。

手続きについて 科目について

『科目登録の手引き』の「よくある問い合わせと回答」を確認。

『科目登録の手引き』と『学部要項(入学時配付)』、および『Web シラバス』を熟読する。

人間科学部 設置科目

他箇所 設置科目

科目設置箇所に問い合わせる。
各箇所問合せ先一覧 URL
<http://www.waseda.jp/gec/>

人間科学部Webサイトから科目登録に関する情報が掲載されていないか確認する。(URL <https://www.waseda.jp/fhum/hum/>)

Web 申請の 操作について

『科目登録の手引き』の「12. Web 科目登録利用手順」を確認。

MyWaseda の成績照会・科目登録専用メニュー(ログインする前、右方に入口あり)から Web 科目登録画面を開き、「Web 科目登録関連情報」を確認する。

MyWaseda の成績照会・科目登録専用メニュー(ログインする前、右方に入口あり)の「問い合わせ」ボタンを押し、申請フォームから問い合わせる。

※回答は原則として 24 時間以内に行いますが、状況によっては時間がかかる場合があります。また、17:00 以降に届いたお問合せへの対応は翌日以降(翌日が日祝日の場合は次の所沢総合事務センター開室日以降)の対応になりますので予めご了承ください。

特に Web 科目登録の締切日当日に質問を行う場合、フォームからの問い合わせの回答は申請時間内に間に合わない可能性がありますのでご注意ください。

言い間違いや聞き間違いによる登録ミス等のトラブル防止のため
電話による問い合わせは、受け付けておりませんので予めご了承ください

